

ドコモ光ルーター 01

取扱説明書

'16.12

1.はじめに

1-1.はじめに.....	5
1-2.本体付属品.....	6
1-3.本製品のご利用について.....	7

2.ご利用にあたっての注意事項

2-1.安全上のご注意（必ずお守りください）.....	9
2-2.取り扱い上のご注意.....	16

3.本製品のご利用にあたって

3-1.本製品の動作モードについて.....	21
3-2.回線契約とプロバイダの加入について.....	25

4.各部の名称とはたらき

4-1.ドコモ光ルーター 01 <正面図>.....	27
4-2.ドコモ光ルーター 01 <右側面/背面/底面図>.....	32

5.設置のしかた

5-1.置き場所を決める.....	35
5-2.スタンドの取り付けかた.....	36
5-3.接続して電源を入れる.....	40

6.本製品でできること（親機として使う）

6-1.子機から本製品にWi-Fi接続しよう	
さまざまな子機からWi-Fi接続する.....	43
異なる暗号化方式の子機を同時に接続する（マルチSSID機能）.....	116
Wi-Fi通信を安定させたい.....	118
Wi-Fiの通信速度を向上させたい.....	122
6-2.本製品を設定しよう	
クイック設定Webの使いかた.....	126
RT/BR/CNVモード切替スイッチの使いかた.....	143
6-3.本製品をネットワークに接続しよう	
インターネットに接続する.....	146
設定がうまくいかないときは？（遠隔設定）.....	182

6-4.セキュリティ対策をしよう	
セキュリティ機能について	185
セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能	187
Wi-Fiネットワーク側のセキュリティを強化する.....	236
WAN側のセキュリティを強化する	260
送信元を詐称した通信を遮断する	273
6-5.便利な機能を使う	
らくらく「かざして」スタート機能を使う	277
らくらくQRスタートを使う.....	278
らくらく無線スタートで接続する.....	279
Wi-Fiのスケジュール設定で消費電力を抑える.....	284
TVモードを使う	286
LANポート間の通信を効率よく行う（LAN側ジャンボフレーム透過機能）	289
6-6.高度な機能を使う	
ルータ機能.....	292
PPPoEルータ機能	304
DHCPサーバ機能（DHCPv4サーバ）.....	305
UPnP機能	309
ポートマッピング機能.....	317
VPNパススルー機能	322

7.本製品でできること（中継機として使う）

7-1.本製品を中継機として使う	
本製品の中継機能	337
本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する	342
親機との電波強度を確認する	357
他のネットワークへの電波干渉を回避する	358
TVモードを使う（子機／中継機の設定）	360
クイック設定Webの使いかた（子機／中継機としてご使用のとき）.....	363
7-2.セキュリティ対策をしよう	
送信元を詐称した通信を遮断する（子機／中継機としてご使用のとき）	368

8.本製品でできること（Wi-Fi子機として使う）

8-1.本製品をWi-Fi子機として使う	
本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する	372
親機との電波強度を確認する	383
TVモードを使う（子機／中継機の設定）	384
クイック設定Webの使いかた（子機／中継機としてご使用のとき）	387

8-2.セキュリティ対策をしよう

送信元を詐称した通信を遮断する（子機／中継機としてご使用のとき）[392](#)

9.メンテナンス・こんなときには

9-1.メンテナンス

設定内容を確認・保存・復元する[396](#)

再起動する[403](#)

初期化する[406](#)

ファームウェアをバージョンアップする[410](#)

時刻を合わせる[413](#)

9-2.こんなときには

動作モードを変更する[416](#)

管理者パスワードを変更する[417](#)

装置名を変更する（親機のみ）[420](#)

ホスト名を設定する（親機のみ）[422](#)

ネームサーバを設定する（親機のみ）[424](#)

10.付録／索引

10-1.故障かな？と思ったら[427](#)

10-2.保証とアフターサービス[433](#)

10-3.製品仕様[435](#)

10-4.輸出管理規制[440](#)

10-5.知的財産権[441](#)

10-6.索引[443](#)

1.はじめに

1-1.はじめに

このたびはドコモ光ルーター 01をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前やご使用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

▶ 本書の見かた

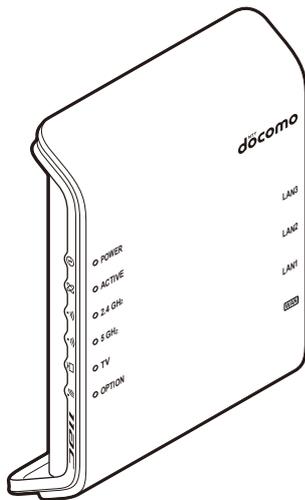
- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。OS、WWWブラウザの種類など、ご利用の環境によっては実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ドコモ光ルーター 01」を「本製品」と表記しております。あらかじめご了承ください。
- 本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

▶ マニュアル構成

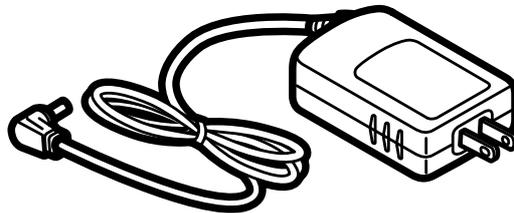
- かんたんセットアップマニュアル〈本体付属品〉
インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、「故障かな?と思ったら」などを記載しています。付属品についても確認することができます。
- ご利用にあたっての注意事項〈本体付属品〉
本製品をご使用前に確認していただきたい注意事項、本製品でできることを記載しています。
- 取扱説明書(本書)〈PDFファイル〉
本製品のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本製品の基本事項についても記載しています。
目次から、必要な項目を選んでお読みください。
 - ・ドコモのホームページでダウンロード
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/>
※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

1-2.本体付属品

■ ドコモ光ルーター 01(保証書付き)

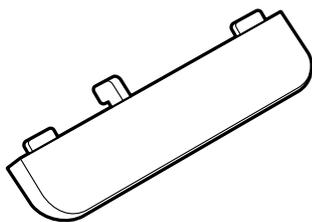


■ ドコモ光ルーター専用ACアダプタ01



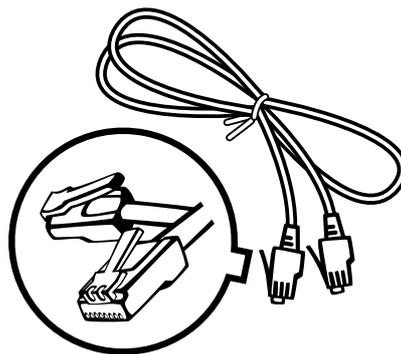
※ ACアダプタの形状は、変更になる場合があります。

■ ドコモ光ルーター専用スタンド01



■ LANケーブル(試供品)

※ カテゴリ5eストレート



■ Wi-Fi設定シート

らくらくQRスタート用QRコード、らくらく「かざして」スタート用NFCタグなどが記載されています。

■ かんたんセットアップマニュアル

■ ご利用にあたっての注意事項

1-3.本製品のご利用について

- 本製品は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n(2.4GHz/5GHz)、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠したWi-Fi(無線LAN)ホームルーターです。また、Wi-Fi通信の子機や中継機としてもご使用いただくことができます。
- 本製品の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなる場合があります。
- 本製品は、音声通話、SMSおよびデジタル通信(テレビ電話、64Kデータ通信)、パケット通信には対応しておりません。
- 接続先によっては、接続時にユーザー認証(IDとパスワード)が必要となります。その場合はIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは、事前にプロバイダから郵送された書類など(接続ID /パスワードが記載のもの)に記載されております。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は、日本国内でのみご利用になれます。海外で利用すると罰せられる可能性があります。
- 本製品のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。ソフトウェアの更新方法は[「ファームウェアをバージョンアップする」](#)を参照してください。
- 本製品をより安全にお使いいただくために、管理者パスワードと暗号化キーはお買い上げ時の値から変更してください。複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。
管理者パスワードの変更方法は、「9-2.こんなときには」-[「管理者パスワードを変更する」](#)を参照してください。
暗号化キーの変更方法は、「6-4.セキュリティ対策をしよう」-[「WEP」](#)または[「WPA-PSK/WPA2-PSK」](#)を参照してください。
- その他、サービスなどの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

2.ご利用にあたっての注意事項

2-1.安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1. 本製品、ドコモ光ルーター専用ACアダプタ、ドコモ光ルーター専用スタンドの取り扱いについて(共通)

危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)、温度変化の激しい場所(エアコンのそばなど)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

電源端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

ACアダプタやスタンドは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

布などで覆ったり、包んだりしないでください。また、他の機器と重ねたり、風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置したりしないでください。

熱がこもり、火災、やけどなどの原因となります。



禁止

風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、本製品やACアダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

本製品にACアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、クリップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

本製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落としたりしないでください。
火災、感電などの原因となります。



禁止

本製品の内部や周囲でエアダスターなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。
引火による爆発、火災などの原因となります。



禁止

本製品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)には接続しないでください。
人的被害などの原因となります。



指示

使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ACアダプタは、異常がみられた場合にすぐに抜き差し可能な状態で使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ペットなどが噛みつかないようにご注意ください。
発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本製品にACアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する電源端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

電源端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
電源端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプタは、必ず本製品に同梱のものをお使いください。また、本製品に同梱のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
火災、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



電源プラグを抜く

長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の発生する場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所、高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。



禁止

本製品のそばに花瓶や植木鉢、コップ、化粧品や薬品のびんなど、水などの液体の入った容器、または金属類を置かないでください。
火災、感電などの原因となります。



指示

本製品を廃棄するときは、各地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、廃棄する地域の自治体にお問い合わせください。



指示

本製品を使用中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。
本製品やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
⇒[P.14](#)「3.材質一覧」



指示

本製品を壁などに設置する際は、ベニヤ板などの柔らかい壁には設置せず、確実に固定できる場所に設置してください。
確実に固定しないと、ネジが外れ本製品が落下し、けがなどの原因となります。



指示

壁掛け設置されている状態で、本製品にケーブルを接続したり、スイッチの操作をしたりする場合は、必ず本製品を手で支えながら行ってください。
手で支えないと、本製品が落下し、けがなどの原因となります。

2. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

3. 材質一覧

使用箇所		材質・表面処理
本体	外装ケース(表)	PC・印刷
	外装ケース(裏)	PC
	LEDレンズ	PC
	銘板シール	PET
	ネジ	冷間圧造用炭素鋼線材・Niメッキ
	遠隔設定ボタン	PC・印刷
	らくらくスタートボタン	サーモプラスチックナイロン
	RT/BR/CNVモード切替スイッチ	ナイロン
	LANポートおよびWANポート	樹脂部:PBT(PBT+15%Fiber,94V0) 端子部:銅・金メッキ(50u)
	ACアダプタ接続コネクタ	ABS/PBT アロイ
ドコモ 光ルーター専用 ACアダプタ01	外装ケース	PC・印刷
	DCコード	PVC
	DCプラグ	ツマミ部 :PVC プラグ金属部:黄銅・Niメッキ プラグ樹脂部:PBT+GF15%
	ACプラグ	黄銅・Niメッキ
ドコモ 光ルーター専用 スタンド01	スタンド	PC
Wi-Fi設定シート	シート	台紙:紙 ラベル:紙
	タグ	PET
LANケーブル	コード	PVC
	コネクタ	PC
	接続端子	黄銅・金メッキ

4. 試供品 (LANケーブル) の取り扱いについて

危険



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体 (飲料水、汗、海水、ペットの尿など) で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

端子に導電性異物 (金属片、鉛筆の芯など) を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

LANケーブルのコードを持って本製品を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故の原因となります。

2-2. 取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)をかけないでください。
本製品、ACアダプタは防水性能を有しておりません。湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、傷がつく場合があります。また、金属等で擦ると、破損、故障の原因となります。
 - 水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れる原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたりすると、破損、故障の原因となります。
- ACアダプタやスタンドは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。
- 本製品を壁などに設置する際は、ベニヤ板などの柔らかい壁には設置せず、確実に固定できる場所に設置してください。
確実に固定しないと、ネジが外れ本製品が落下し、故障、破損の原因となります。
- 壁掛け設置されている状態で、本製品にケーブルを接続したり、スイッチの操作をしたりする場合は、必ず本製品を手で支えながら行ってください。
手で支えないと、本製品が落下し、故障、破損の原因となります。
- 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本製品についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は0℃～40℃、湿度は10%～90%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本製品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ACアダプタやLANケーブルを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障、破損の原因となります。
- 使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 磁気カードなどを本製品に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作、故障の原因となります。

アダプタについてのお願い

- 使用は、適正な周囲温度(0°C~40°C)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、使用しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 使用中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、電源端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

無線LANについてのお願い

- 無線LANは、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
無線LAN搭載機器が使用する周波数帯は、本製品背面に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①	②	③	④
2.4 DS/OF 4			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="width: 30%; height: 10px; background-color: black;"></div> <div style="width: 30%; height: 10px; background-color: black;"></div> <div style="width: 30%; height: 10px; background-color: black;"></div> </div>			
⑤			

 - ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
 - ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ ■■■ ■■■ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

無線LAN 搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

- 本製品に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になりません。
- 従来のIEEE802.11aで使用する34, 38, 42, 46ch (J52) の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g/n	W52 (5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch) 、
IEEE802.11a/n/ac	W53 (5.3GHz帯/52, 56, 60, 64ch) 、
J52 W52 W53 W56	W56 (5.6GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch) が利用できます。

- 5GHz帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。
 - W52 (5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch)
 - W53 (5.3GHz帯/52, 56, 60, 64ch)
 - W56 (5.6GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)
- W53またはW56を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャンネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

注意

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本製品の銘板シールに表示されています。

本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- **無線LAN機能は日本国内で利用してください。**

本製品の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご利用になると罰せられることがあります。

- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

3.本製品のご利用にあたって

3-1.本製品の動作モードについて

本製品には、次の動作モードがあります。

用途に応じた動作モードに設定することで、親機、中継機、または子機としてご使用いただくことができます。

●ルータモード(RT側)

- [PPPoEルータモード](#)
- [ローカルルータモード](#)
- [IPv4 over IPv6通信モード](#)
 - 「transix」モード
 - 「v6プラス」モード
 - 「OCNバーチャルコネクト」モード
 - 「IPv6オプション(BIGLOBE)」モード

●ブリッジモード(BR側)

●子機(CONVERTER)モード／中継機モード(CNV側)

▶ 親機として使用する場合

●ルータモード(RT側)

- PPPoEルータモード

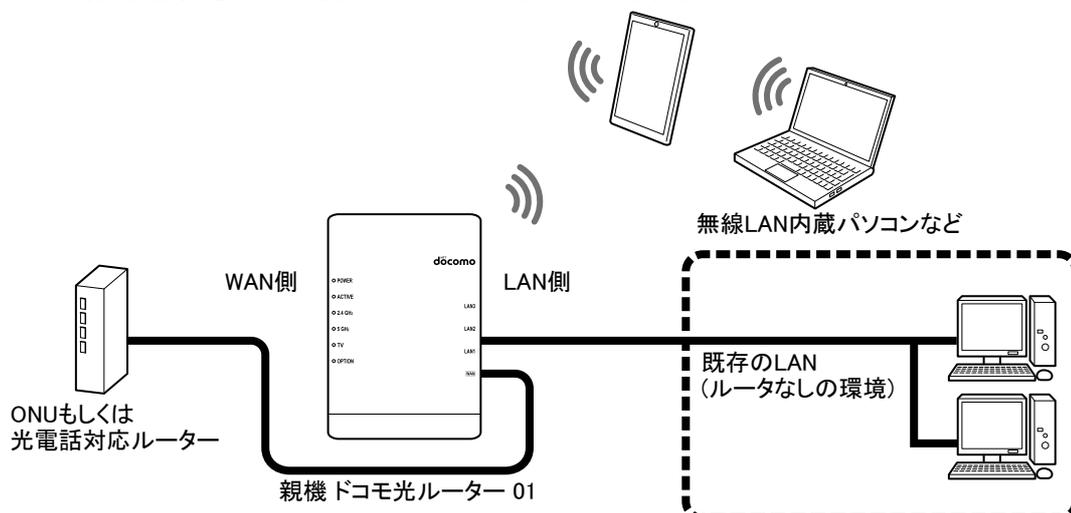
ご契約されているプロバイダがPPPoE接続の場合、本製品をPPPoEルータモードに設定します。

PPPoEルータモードでは、本製品自身がPPPoEでプロバイダ(または接続事業者)に接続するルータの役割を持ちます。

◆ 注意 ◆

- ・ 本製品はPPPoEのIPv6には非対応です。
- ・ IPoE接続のIPv6にはIPv6ブリッジとして動作します。

自宅の利用回線が詳しくわからない場合でも、本製品のらくらくネットスタートLiteを使えば回線を自動判別して動作モードを設定します。お客様は、プロバイダと契約したときに入手した接続情報を手元に用意して、らくらくネットスタートLite画面にしたがって 接続情報を入力していきます。設定が完了し、PPPoEで接続されると、本製品のACTIVEランプが黄緑点灯、OPTIONランプが消灯します。



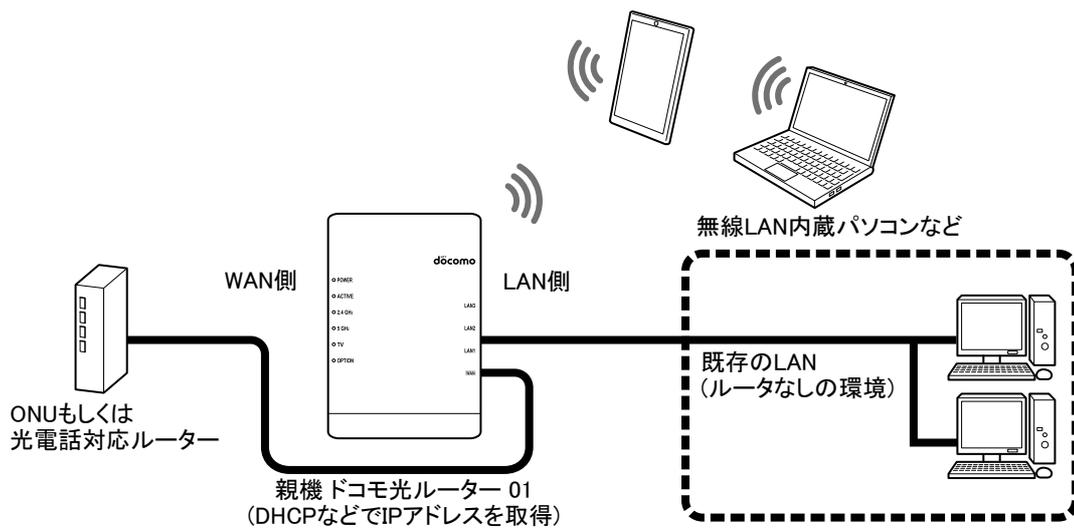
- ローカルルータモード

ご契約されているプロバイダがPPPoE以外で、本製品のルータ機能を利用する場合は、本製品をローカルルータモードに設定します。

通常はONUがルータ機能を持っていない場合に、本製品をローカルルータモードに設定します。自宅の利用回線が詳しくわからない場合でも、本製品のらくらくネットスタートLiteを使えば回線を自動判別して動作モードを設定します。

ローカルルータモードでは、WAN側のIPアドレスを取得すると、ACTIVEランプが黄緑点灯、OPTIONランプが消灯します。

また、WAN側にIPアドレスが割り当てられている、またはDHCPで取得する場合もローカルルータモードに設定します。



- IPv4 over IPv6通信モード

IPv6通信網を経由してIPv4のサイトと通信します。

自動判定機能を使えば、回線を自動判定してご利用可能な通信サービスに対応した動作モードに設定できます。設定が完了して接続されると、本製品のACTIVEランプが黄緑点灯します。

本製品は、「transix」サービス、「v6プラス」サービス、「OCNバーチャルコネクト」サービス、「IPv6オプション(BIGLOBE)」サービスに対応しています。

- 「transix」モード

「transix」サービスを利用してインターネットに接続します。

インターネットマルチフィード株式会社仕様のDS-LiteプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。

- 「v6プラス」モード

「v6プラス」サービスを利用してインターネットに接続します。

日本ネットワークイネイブラー株式会社仕様のMAP-EプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。

- 「OCNバーチャルコネクト」モード

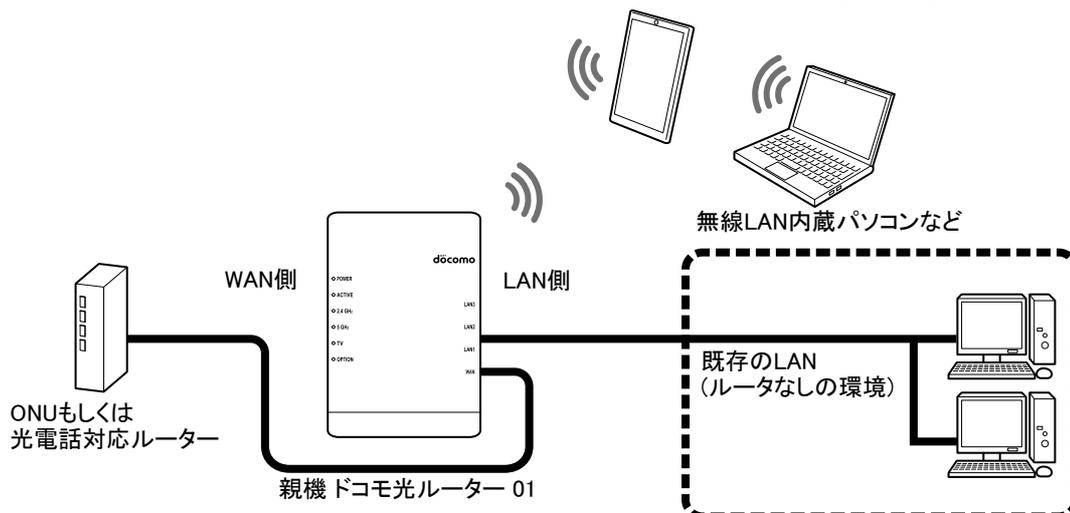
「OCNバーチャルコネクト」サービスを利用してインターネットに接続します。

NTTコミュニケーションズ株式会社仕様のMAP-EプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。

- 「IPv6オプション(BIGLOBE)」モード

「IPv6オプション(BIGLOBE)」サービスを利用してインターネットに接続します。

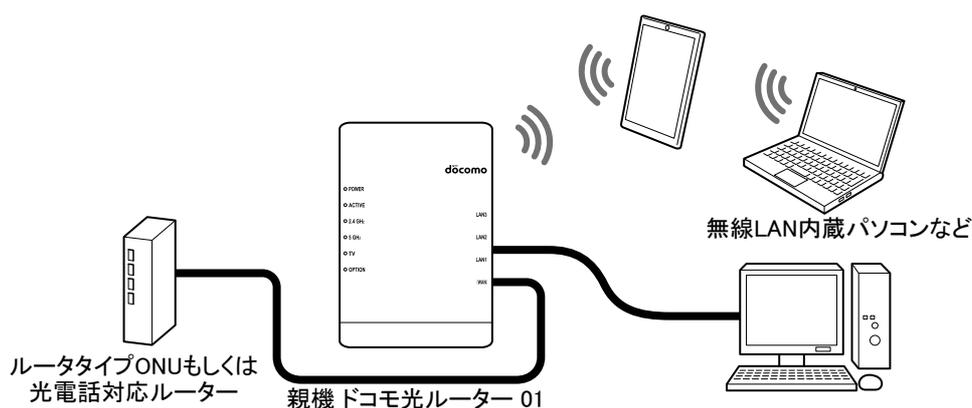
ビッグロブ株式会社仕様のMAP-EプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。



- ブリッジモード(BR側)

本製品のルータ機能を停止して利用するモードです。ルータまたはルータ機能内蔵のONUに有線で接続するときを使用します。

光電話対応ルーターにWi-Fi機能がない場合にもスマートフォンなどが接続できます。



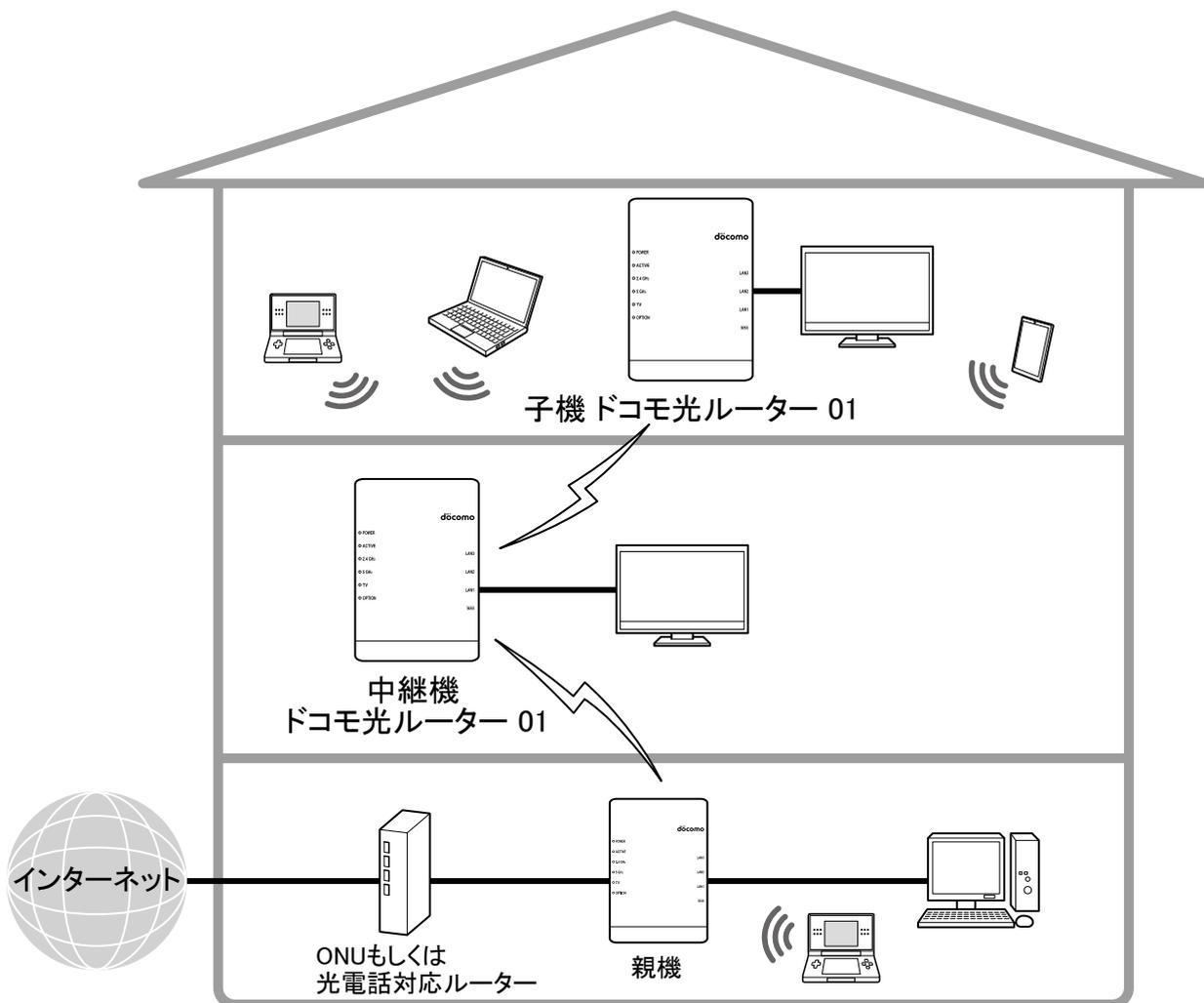
▶ Wi-Fiの子機／中継機として使用する場合

● 子機 (CONVERTER) モード／中継機モード (CNV側)

本製品のLANポート、WANポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などを接続して、子機 (イーサネットコンバータ) として使用できます。

さらに、本製品は子機 (イーサネットコンバータ) として利用しながら、他のWi-Fi子機と親機間の電波を中継する中継機として使用できます。

本製品を子機として使用する場合、本製品の通信性能を活かすには、親機もIEEE802.11acに対応している必要があります。



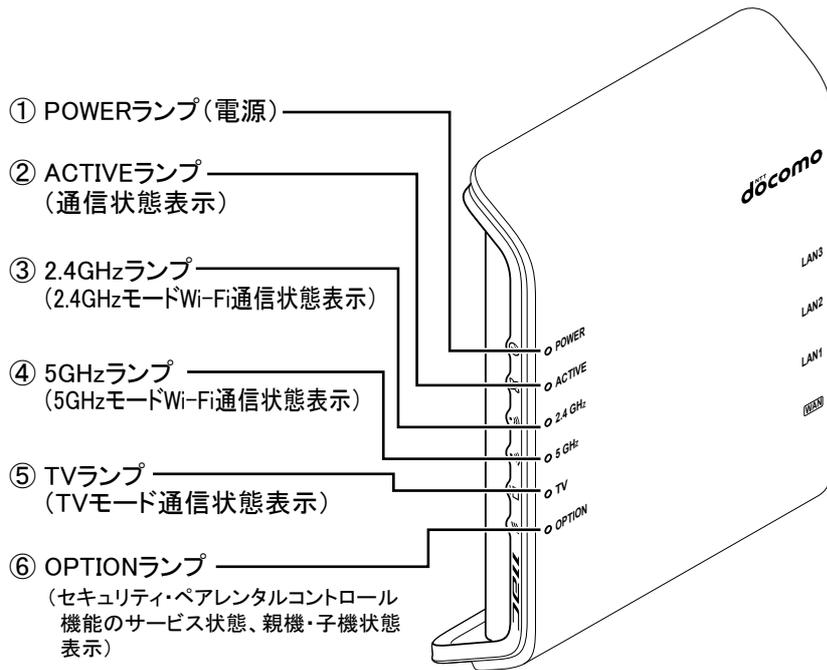
3-2.回線契約とプロバイダの加入について

本製品をお使いの前に、あらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。

また、本製品の設定に必要な情報(接続ユーザー名/接続パスワード、IPアドレス)を、契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

4.各部の名称とはたらき

4-1.ドコモ光ルーター 01 <正面図>



※ 本製品の電源を入れると、いったん正面のすべてのランプが黄緑および緑点灯します。

親機としてご使用になる場合

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
①POWERランプ (電源) 	黄緑(点灯)	電源が入っているとき(起動完了後)
	黄緑(点滅)	らくらく無線スタートでWi-Fi設定をしているとき
		WPSでWi-Fi設定しているとき
	橙(点灯) (※1)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		らくらく無線スタートのWi-Fi設定が完了したとき
	橙(点滅)	らくらく無線スタートのWi-Fi設定が完了したとき
		らくらく無線スタートでWi-Fi設定をしているとき
	赤(点灯) (※2)	らくらく無線スタートでWi-Fi設定に失敗したとき
		WPSでWi-Fi設定に失敗したとき
		起動中
	赤(点滅)	本製品が破損しているとき
赤(点滅)	初期化準備状態	
赤(速い点滅)	WPSでWi-Fi設定に失敗したとき	
消灯	電源が入っていないとき	

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
②ACTIVEランプ (通信状態表示) 	黄緑(点灯)	PPPoEルータモードの場合にPPPリンクが確立しているとき
		ローカルルータモードの場合にWAN側にIPアドレスが設定されているとき
		IPv4 over IPv6通信モードの場合にIPv4 over IPv6通信が確立しているとき
	黄緑(速い点滅)	PPPoEルータモードの場合に相手からの応答を確認しているとき
		IPv4 over IPv6通信モードの場合にIPv4 over IPv6通信が確立待ちのとき
	黄緑(遅い点滅)	PPPoEルータモードの場合にPPP認証を再確認しているとき(1秒間隔)
	橙(点灯)	ブリッジモードのとき
	橙(遅い点滅)	IPv4動作モードの設定が「自動判定」の場合に、回線自動判定の結果、IPv4 over IPv6通信でインターネットに接続できることを検知し、動作モードの変更を推奨するとき
		IPv4 over IPv6通信モードの場合にローカルルータモードへの変更を推奨するとき
	赤(遅い点滅)	IPv4 over IPv6通信モードの場合に一定期間インターネット通信ができないとき
消灯	PPPoEルータモードの場合にPPPリンクが確立していないとき	
	ローカルルータモードの場合にWAN側にIPアドレスが設定されていないとき	
	IPv4 over IPv6通信モードの場合にIPv4 over IPv6通信が確立していないとき	
③2.4GHzランプ (2.4GHzモード Wi-Fi通信状態表示) 	黄緑(点灯)	2.4GHzモードで通信可能なとき
	黄緑(速い点滅)	2.4GHzでデータ送受信しているとき
	消灯	2.4GHz通信機能を「使用しない」に設定しているとき

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
④5GHzランプ (5GHzモード Wi-Fi通信状態表 示) 	黄緑(点灯)	5GHzモードで通信可能なとき
	黄緑(速い点滅)	5GHzでデータ送受信しているとき
	赤(点滅)	5GHzモードでW53、W56を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波(レーダー波)がないか検出しているとき
	消灯	5GHz通信機能を「使用しない」に設定しているとき
⑤TVランプ (TVモード通信状 態表示) 	黄緑(点灯)	ストリーミング視聴に適したモードで子機とリンクしているとき
	赤(点滅)	5GHzモードでW53、W56を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波(レーダー波)がないか検出しているとき
	消灯	親機がTVモードになっていないとき
⑥OPTIONランプ (セキュリティ・ペ アレンタルコント ロール機能のサ ービス状態、親 機・子機状態表 示) 	緑(点滅)	ブリッジモードでDHCPサーバ機能が動作しているとき
	青(点灯) (※3)	ルータモードの場合に、セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能の光ルーターセキュリティ(有料オプションサービス)に加入しているとき
	紫(点灯) (※3)	ルータモードの場合に、セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能の光ルーターセキュリティ(有料オプションサービス)に未加入のとき
	紫(遅い点滅)	ルータモードの場合に、遠隔設定ボタン押下から遠隔代行設定(遠隔保守)が終了するまで
	消灯	セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能が使用できないとき

- (※1) POWERランプが橙点灯中は、ファームウェア書き換え時または、設定情報を自動的に書き換え時の場合がありますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。
- (※2) らくらく無線スタート実行、WPS実行および起動時以外でPOWERランプが赤点灯している場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にお問い合わせください。
- (※3) 光ルーターセキュリティ(有料オプションサービス)加入の確認ができなかった場合、OPTIONランプが青点灯から紫点灯となります。

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
①POWERランプ (電源) 	黄緑(点灯)	電源が入っているとき(起動完了後)
	黄緑(点滅)	WPSでWi-Fi設定をしているとき
	橙(点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
	(※4)	WPSでWi-Fi設定が完了したとき
	赤(点灯)	WPSでWi-Fi設定に失敗したとき
		起動中
		本製品が破損しているとき
	赤(点滅)	初期化準備状態
赤(速い点滅)	WPSでWi-Fi設定に失敗したとき	
消灯	電源が入っていないとき	
②ACTIVEランプ (接続状態表示) 	黄緑(点灯)	親機とのリンクが確立しているとき
	消灯	親機とのリンクが確立していないとき
③2.4GHzランプ (2.4GHzモード Wi-Fi通信状態表 示) (※6) 	黄緑(点灯)	2.4GHzモードの電波強度が「強」で、通信可能なとき
	黄緑(速い点滅)	2.4GHzモードの電波強度が「強」で、データ送受信しているとき
	橙(点灯)	2.4GHzモードの電波強度が「中」で、通信可能なとき
	橙(速い点滅)	2.4GHzモードの電波強度が「中」で、データ送受信しているとき
	赤(点灯)	2.4GHzモードの電波強度が「弱」で、通信可能なとき
	赤(速い点滅)	2.4GHzモードの電波強度が「弱」で、データ送受信しているとき
	消灯	2.4GHzモードの電波が届いていないとき
Wi-Fi接続設定がされていないとき		

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
④5GHzランプ (5GHzモード Wi-Fi通信状態表示) (※7) 	黄緑(点灯)	5GHzモードの電波強度が「強」で、通信可能なとき
	黄緑(速い点滅)	5GHzモードの電波強度が「強」で、データ送受信しているとき
	橙(点灯)	5GHzモードの電波強度が「中」で、通信可能なとき
	橙(速い点滅)	5GHzモードの電波強度が「中」で、データ送受信しているとき
	赤(点灯)	5GHzモードの電波強度が「弱」で、通信可能なとき
	赤(速い点滅)	5GHzモードの電波強度が「弱」で、データ送受信しているとき
	消灯	5GHzモードの電波が届いていないとき Wi-Fi接続設定がされていないとき
⑤TVランプ (TVモード通信状態表示) 	黄緑(点灯)	ストリーミング視聴に適したモードで親機とリンクしているとき
⑥OPTIONランプ (親機・子機状態表示) 	緑(点灯)	子機として動作しているとき(中継機能を停止しているとき)
	緑(点滅)	DHCPサーバ機能が動作しているとき
	橙(点灯)	中継機モードで動作しているとき

(※4) POWERランプが橙点灯中は、ファームウェア書き換え時または、設定情報を自動的に書き換え時の場合がありますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。

(※5) WPS実行および起動時以外でPOWERランプが赤点灯している場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にお問い合わせください。

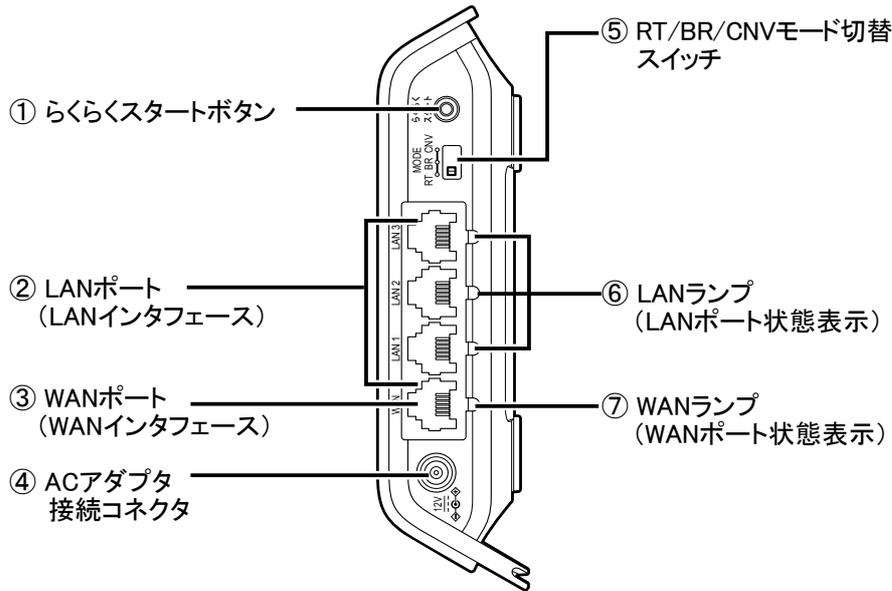
(※6) 親機と5GHz帯で通信している場合、子機側の無線モード設定によって、2.4GHzランプの状態は、次のようになります。(子機側の無線モード設定は、クイック設定Webの「基本設定」-「基本設定」の「親機⇄中継機⇄子機の接続形式設定」で設定します)

- 「2.4GHz:使用する」(お買い上げ時)・・・黄緑点灯／黄緑点滅
- 「2.4GHz:使用しない」・・・消灯

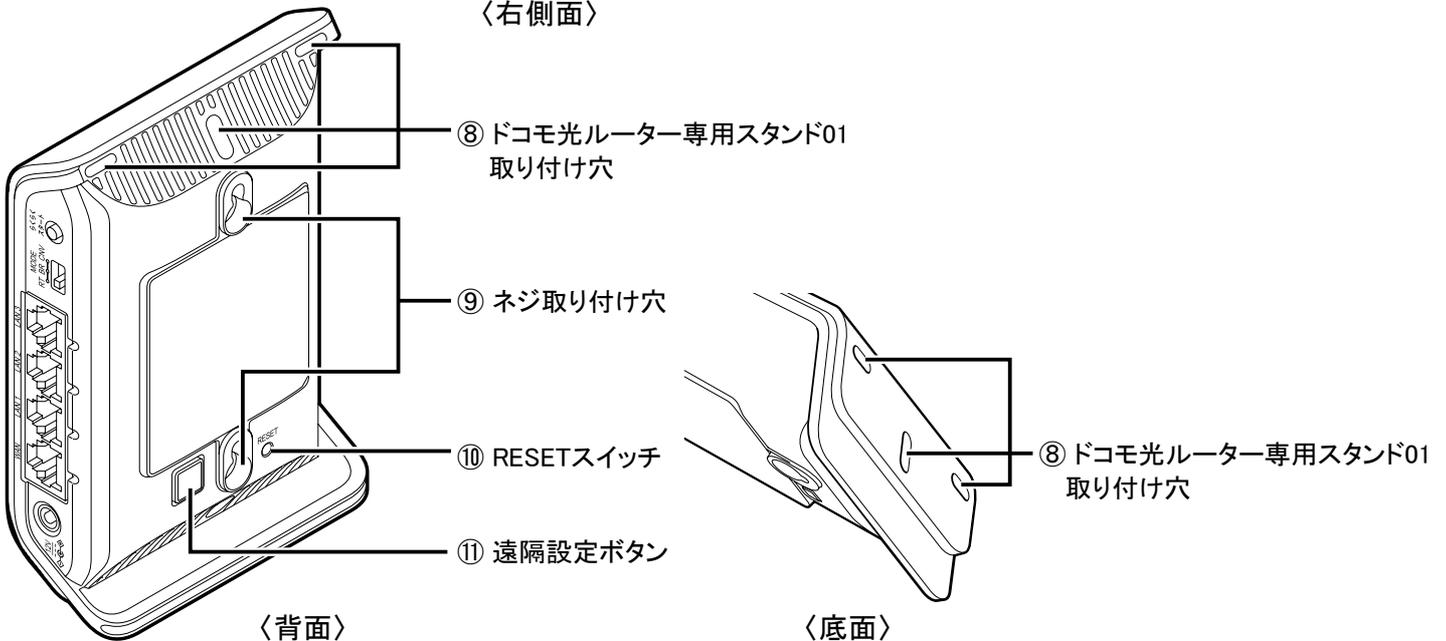
(※7) 親機と2.4GHz帯で通信している場合、子機側の無線モード設定によって、5GHzランプの状態は、次のようになります。(子機側の無線モード設定は、クイック設定Webの「基本設定」-「基本設定」の「親機⇄中継機⇄子機の接続形式設定」で設定します)

- 「5GHz:使用する」(お買い上げ時)・・・黄緑点灯／黄緑点滅
- 「5GHz:使用しない」・・・消灯

4-2.ドコモ光ルーター 01 <右側面／背面／底面図>



<右側面>



<背面>

<底面>

名称	説明
①らくらくスタートボタン	WPSでWi-Fi設定するときに使用します。
	親機としてご使用の場合、らくらく無線スタートでWi-Fi設定するときに使用します。
	ブリッジモードでクイック設定Webを開くために、DHCPサーバ機能を動作させるときに使用します。
	子機／中継機としてご使用の場合、クイック設定Webを開くために、DHCPサーバ機能を動作させるときに使用します。

名称	説明	
②LANポート (LANインタフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。 ※ 本製品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T(1000Mbps)の方式での接続を推奨します。	
③WANポート (WANインタフェース)	ONUもしくは光電話対応ルーターと接続します。 ※ 子機／中継機としてご使用の場合は、LANポートとして使用することができます。	
④ACアダプタ接続コネクタ	ドコモ光ルーター専用ACアダプタ01を接続します。	
⑤RT/BR/CNVモード切替スイッチ	動作モードをルータモード(RT側)、ブリッジモード(BR側)またはWi-Fi子機(CONVERTER)モード／中継機モード(CNV側)へ切り替えるときに使用します。 ※ お買い上げ時はルータモード(RT側)です。	
⑥LANランプ (LANポート状態表示)	黄緑(点灯)	LANポートのリンクが確立しているとき
	黄緑(点滅)	LANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	LANポートのリンクが確立していないとき
⑦WANランプ (WANポート状態表示)	黄緑(点灯)	WANポートのリンクが確立しているとき
	黄緑(点滅)	WANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	WANポートのリンクが確立していないとき
⑧ドコモ光ルーター専用 スタンド01取り付け穴	ドコモ光ルーター専用スタンド01を取り付けます。	
⑨ネジ取り付け穴	本製品を壁掛け設置する際、壁に取り付けたネジを差し込みます。	
⑩RESETスイッチ	初期化するときに使用します。 使用方法は「 初期化する 」を参照してください。	
⑪遠隔設定ボタン	本製品の設定がうまくいかないときなどに、ネットータルサポートセンターのオペレータがお客様に代わって本製品の設定をできるようにするときに使用します。普段のご利用時には使用しないでください。また、本ボタンの操作はネットータルサポートセンターのオペレータの案内に従ってください。 詳細は「 設定がうまくいかないときは？(遠隔設定) 」を参照してください。	

5.設置のしかた

5-1.置き場所を決める

本製品にはACアダプタ、ONU、光電話対応ルーターなどを接続します。

以下の点を参考にして置き場所を決めてください。

- 本製品を親機として使用する場合は、ONUもしくは光電話対応ルーターのそばに置く
- 電源コンセントはあるか？
 - 電源コンセントを確保しましょう。
- 子機から無線で電波の届く距離に置く
 - 子機を設定するときは、親機のそばで設定しましょう。

◆ 補足 ◆

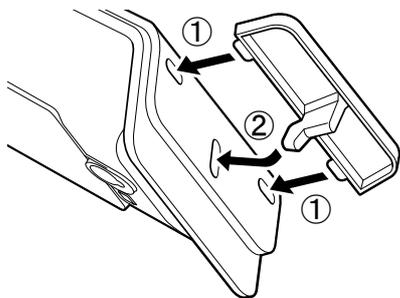
- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により短くなります。
- 親機と子機は1m以上離してお使いください。
- 本製品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。
- 本製品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。

5-2. スタンドの取り付けかた

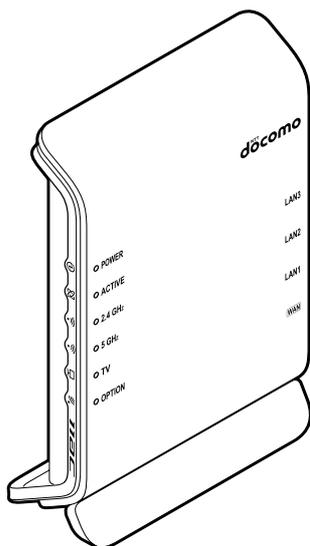
縦置きの場合

1. スタンドを本体底面に取り付けます。

- ① スタンドの左右のツメを、本体底面の左右の穴に差しします。
- ② スタンドを傾け、中央のツメを、本体底面の中央の穴にカチッとなるまで差し込みます。

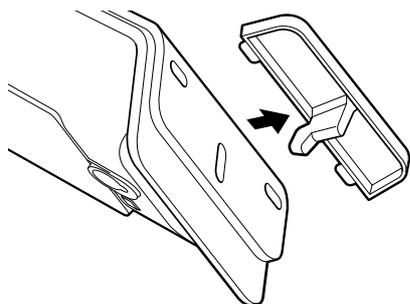


2. 本体を立てます。



◆ 補足 ◆

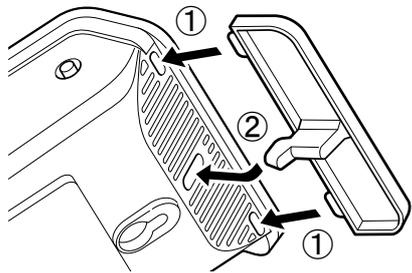
- スタンドを外す場合は、図のように、そのままスタンドを引き抜いてください。



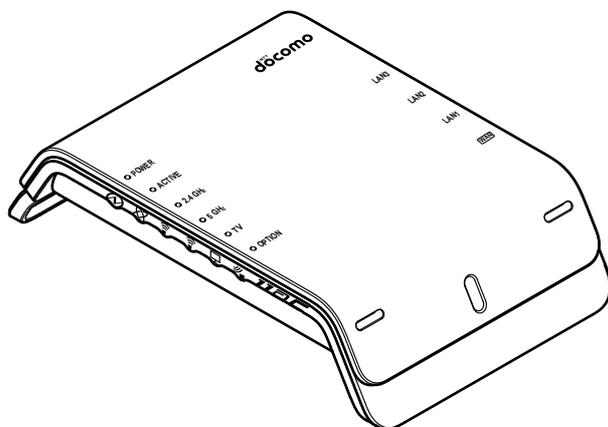
横置きの場合

1. スタンドを本体上部に取り付けます。

- ① スタンドの左右のツメを、本体上部の左右の穴に差します。
- ② スタンドを傾け、中央のツメを、本体上部の中央の穴にカチッとなるまで差し込みます。

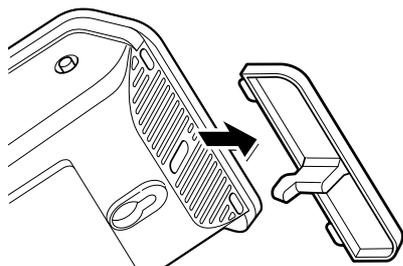


2. 本体を横置きします。



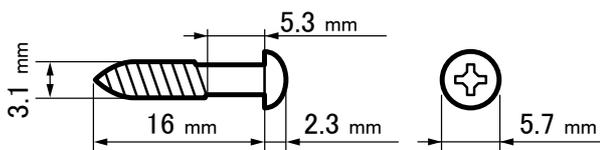
◆ 補足 ◆

- スタンドを外す場合は、図のように、そのままスタンドを引き抜いてください。



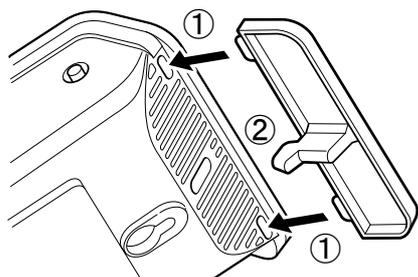
壁掛けの場合

ネジ(2本)はお客様でご用意ください。
ネジのサイズは下記を推奨します。

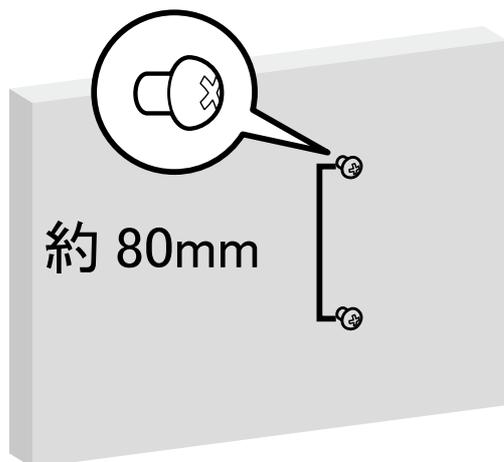


1. スタンドを本体上部に取り付けます。

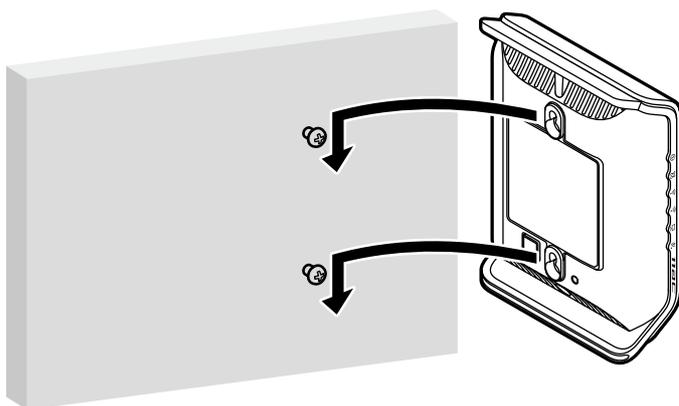
- ① スタンドの左右のツメを、本体上部の左右の穴に差しします。
- ② スタンドを傾け、中央のツメを、本体上部の中央の穴にカチッとなるまで差し込みます。



2. 本体を取り付ける位置を決め、壁に、縦に2箇所ネジを取り付けます。(ネジの間隔: 約80mm)

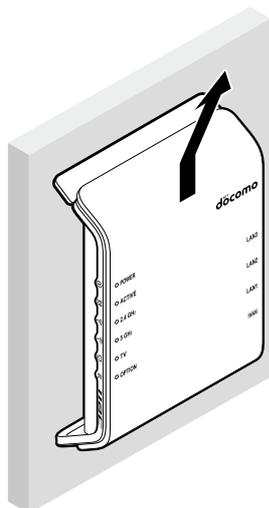


3. ネジに、本体背面のネジ取り付け穴を差し込み、下方向へスライドさせて固定します。取り付けるときは、本体の両側を持ってください。



◆ 補足 ◆

- 壁から取り外す場合は、図のように、本体を上側へ引き上げて、取り外してください。取り外すときは、本体の両側を持ってください。



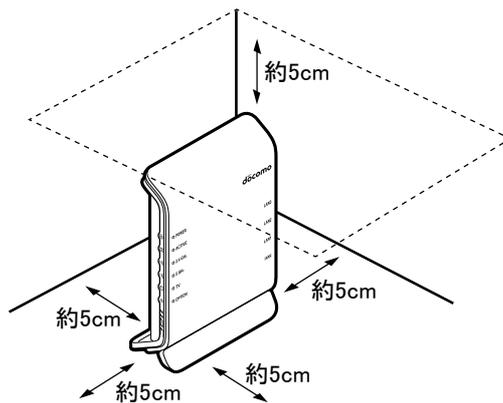
- 本製品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色(色あせ)する場合があります。

5-3.接続して電源を入れる

前後左右約5cm、上約5cm以内に他の機器や壁などが
ない場所に設置してください。

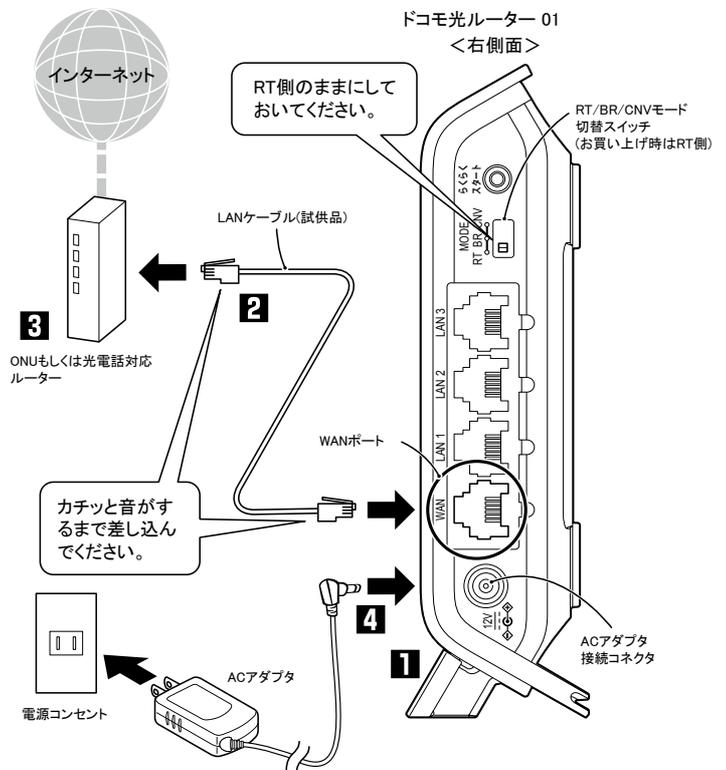
※ 壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。

なお、本製品を子機／中継機としてご使用になる場合
も同様に設置してください。

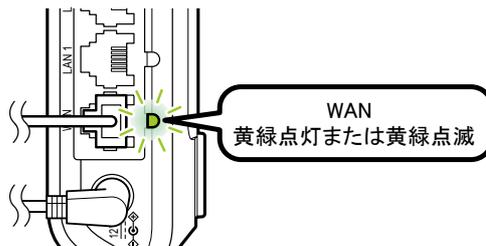
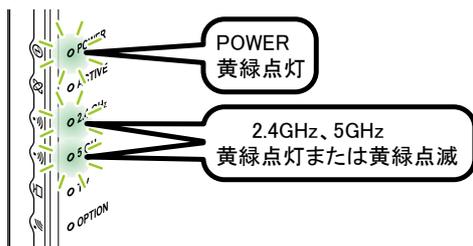


あらかじめパソコンやONU、光電話対応ルーターの電源を切っておいてください。

1. 本製品にスタンドを取り付けます。
取り付け方法は「[スタンドの取り付けかた](#)」を参照してください。
2. 本製品のWANポートとONUもしくは光電話
対応ルーターのLANポートを、LANケーブル
(試供品)で接続します。
3. ONUもしくは光電話対応ルーターの電源を
入れます。
4. 本製品の電源を入れ、約60秒待ちます。
図のようにACアダプタを接続すると、本製
品の電源が入ります。いったん正面のすべ
てのランプが黄緑および緑点灯します。正
常動作するまで約60秒お待ちください。



5. 本製品のPOWERランプが黄緑点灯、2.4GHz、5GHz、WANランプが黄緑点灯または黄緑点滅します。



◆ 補足 ◆

- WANランプが消灯したまま黄緑点灯も黄緑点滅もしない場合は、LANケーブルの接続状態やONUもしくは光電話対応ルーターの電源を確認してください。

6.本製品でできること（親機として使う）

6-1.子機から本製品にWi-Fi接続しよう

スマートフォンやタブレット、パソコン、ゲーム機、プリンタなどのさまざまな子機から本製品にWi-Fi接続することができます。

さまざまな子機からWi-Fi接続する

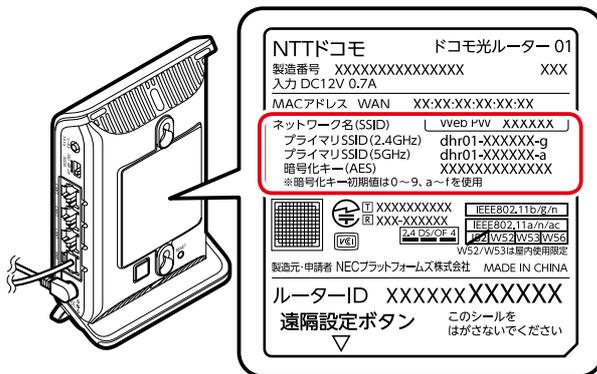
ご利用の子機から本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ご利用の子機を下記から選択してください。

- [Windows 10から本製品にWi-Fi接続する](#)
- [Windows 8.1から本製品にWi-Fi接続する](#)
- [Windows 7から本製品にWi-Fi接続する](#)
- [macOSおよびOS X \(Mac\)から本製品にWi-Fi接続する](#)
- [スマートフォン／タブレット \(Android端末\)から本製品にWi-Fi接続する](#)
- [スマートフォン／タブレット \(iOS端末\)から本製品にWi-Fi接続する](#)
- [ゲーム機から本製品にWi-Fi接続する](#)
- [プリンタから本製品にWi-Fi接続する](#)

◆ 補足 ◆

- ご利用の子機が上記以外の場合は、子機の取扱説明書などを参照して、Wi-Fi接続してください。
なお、お買い上げ時での本製品のネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キーは、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ネットワーク名 (SSID) は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機 (ニンテンドーDSなど) や訪問者 (ゲスト) などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

< 確認方法 >

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定 (5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

- 子機は10台以下でのご使用をお勧めします。
- 暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。
- お買い上げ時の本製品の暗号化キーは、半角英数字13桁 (0~9, a~fを使用) に設定されています。

Windows 10から本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ここでは、Windows 10のパソコンから本製品へWi-Fi接続する手順について説明します。

次の方法から選択してください。

● WPS機能を利用してWi-Fi接続する

本製品のらくらくスタートボタンを使用してWPS機能を起動させてWi-Fi接続します。暗号化キーの設定が不要です。

※ パソコン側もWPS機能に対応している必要があります。

PIN方式による設定は、「[WPS機能 \(PIN\) を利用してWi-Fi接続する](#)」を参照してください。

● らくらく無線スタートで接続する

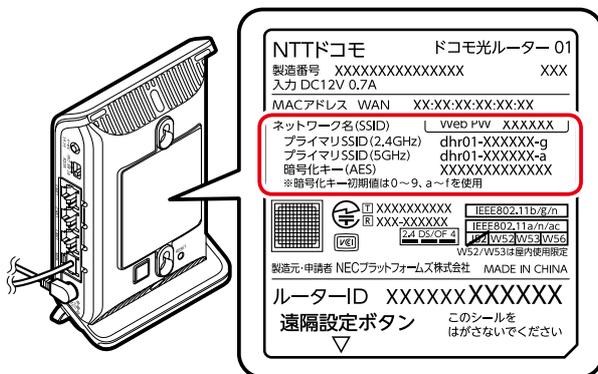
パソコンがらくらく無線スタートに対応の場合、本製品のらくらくスタートボタンを押すだけで、Wi-Fiやセキュリティ (暗号化) を簡単に設定する方法です。

● 手動で接続する

本製品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを手入力で設定する方法です。

▶ 設定を行う前に

- 本製品のネットワーク名 (SSID) を確認してください。
 - ー お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) は、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ー ネットワーク名 (SSID) は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- ー セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機 (ニンテンドーDSなど) や訪問者 (ゲスト) などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定 (5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

- WPS機能でWi-Fi接続するには、本製品の「MACアドレスフィルタリング機能」を「使用しない」に設定する必要があります。設定を確認するには有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。
- 本製品と子機の距離を1～3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器(コードレス電話やテレビ、電子レンジなど)から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

▶ 設定手順

WPS機能を利用してWi-Fi接続する

1. パソコンの無線(ワイヤレス)機能を有効にします。
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
2. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



3. ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名(SSID)を選択します。

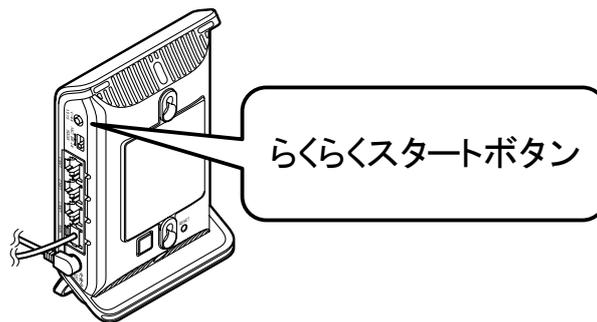


4. [接続]をクリックします。



5. 「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」と表示されたら、本製品のらくらくスタートボタンを長押し(約10秒)し、POWERランプが黄緑点滅したら離します。

※「ネットワーク セキュリティキー」は入力不要です。



6. しばらくして、本製品のPOWERランプが約10秒間橙点灯した後、黄緑点灯に戻ります。

◆ 補足 ◆

- 「このネットワーク上の他のPC やデバイスが、このPC を検出できるようにしますか？」と表示されたときは、[はい]をクリックしてください。

▶ うまく動作しない場合は

- 本製品のPOWERランプが約10秒間赤点灯または赤点滅した場合は設定に失敗しています。
→ [「設定を行う前に」](#)をご確認ください。
→ [「Windows 10のワイヤレスネットワーク接続での暗号化設定」](#)で設定してください。

WPS機能(PIN)を利用してWi-Fi接続する

WPS機能のPIN方式を利用してWi-Fi接続することができます。

子機のWi-Fi設定内容を親機側に設定する場合、本製品はエンローリー(APエンローリー)として動作します。

APエンローリーをご理解いただいているかたがご利用ください。

◆ 補足 ◆

- 子機側もWPS機能に対応している必要があります。子機の取扱説明書などをご確認ください。

▶ 設定を行う前に

- ご利用になる子機のドライバや設定ツールが必要な場合は、インストールを済ませておいてください。

▶ 設定手順

下記の2通りの設定方法から選択してください。

● 親機のWi-Fi設定内容を子機側に設定する

親機(本製品)のクイック設定Webにて子機のPINコードを入力して設定します。

◆ 注意 ◆

- 子機のPINコードが必要です。あらかじめ子機の取扱説明書などで確認しておいてください。

● 子機のWi-Fi設定内容を親機側に設定する

子機側のWPS設定画面にて、親機(本製品)のPINコードを入力して設定します。

◆ 注意 ◆

- こちらの方法で設定すると、親機(本製品)のWi-Fi設定内容が変更されるため、設定済みの他の子機とのWi-Fi接続はすべて切断されます。切断された子機は、他の方法を使ってWi-Fi接続し直す必要があります。

親機のWi-Fi設定内容を子機側に設定する

- 親機(本製品)のクイック設定Webを起動します。

※ 子機を接続したパソコンで親機(本製品)のクイック設定Webを起動したい場合は、いったんLANケーブルでパソコンと本製品を接続してから、起動します。

- [詳細モードに切替]をクリックします。



3. 「Wi-Fi設定」-「WPS設定」を選択します。

4. 「WPS機能」で「使用する」(お買い上げ時)にチェックします。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)に関する設定を行います。WPSを使用することで、Wi-Fi端末と自動で接続できます。

WPS機能 使用する 使用しない

外部Registrar機能 使用する 使用しない

WPSの状態 Configured UnConfigured

設定

Wi-FiアクセスポイントのPINコード	XXXXXXXXXX 再生成 初期値に戻す ロック解除
WPS(プッシュボタン方式)	WPS(プッシュボタン方式)消滅
Wi-Fi端末のPINコード	WPS(PIN方式)開始

現在の暗号化キー情報:

通信機能	暗号化モード	暗号方式	暗号化キー
2.4GHz	WPA/WPA2-PSK	AES	XXXXXXXXXXXXXXXX
5GHz	WPA/WPA2-PSK	AES	XXXXXXXXXXXXXXXX

5. 「Wi-Fi端末のPINコード」に子機のPINコードを入力します。

※ 子機のPINコードは、子機の取扱説明書などを参照してください。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)に関する設定を行います。WPSを使用することで、Wi-Fi端末と自動で接続できます。

WPS機能 使用する 使用しない

外部Registrar機能 使用する 使用しない

WPSの状態 Configured UnConfigured

設定

Wi-FiアクセスポイントのPINコード	XXXXXXXXXX 再生成 初期値に戻す ロック解除
WPS(プッシュボタン方式)	WPS(プッシュボタン方式)消滅
Wi-Fi端末のPINコード	XXXXXXXXXX WPS(PIN方式)開始

現在の暗号化キー情報:

通信機能	暗号化モード	暗号方式	暗号化キー
2.4GHz	WPA/WPA2-PSK	AES	XXXXXXXXXXXXXXXX
5GHz	WPA/WPA2-PSK	AES	XXXXXXXXXXXXXXXX

6. [WPS(PIN方式)開始]をクリックします。

※ 親機(本製品)のPOWERランプが黄緑点滅します。



7. 子機側でWPS機能を起動します。

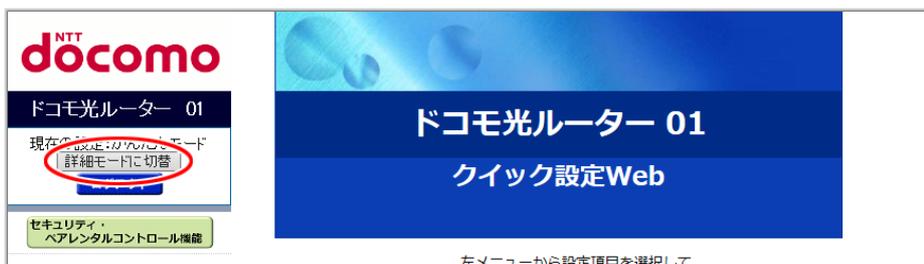
※ 起動方法については、子機の取扱説明書などを参照してください。

※ Wi-Fi設定が完了すると、親機(本製品)のPOWERランプが橙点灯(約10秒間)します。

子機のWi-Fi設定内容を親機側に設定する

1. 親機(本製品)のクイック設定Webを起動します。

2. [詳細モードに切替]をクリックします。



3. 「Wi-Fi設定」－「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」を選択して、プライマリSSIDの「暗号化モード」を「暗号化無効」に設定して、[設定]－[OK]－[後で再起動する]をクリックします。

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi (2.4GHz)の詳細設定を行います。

デュアルチャネル機能 使用する(自動切替)

使用チャネル

プロテクション機能 使用する 使用しない

送信出力

TVモード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="text" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="drr01-XXXXXX-g"/>
ネットワーク分離機能	<input type="text" value="使用しない"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="text" value="使用しない"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="text" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="text" value="暗号化無効"/>
暗号化キー	<input type="text"/>

(画面はWi-Fi「2.4GHz」の例)

4. 「Wi-Fi設定」－「WPS設定」を選択します。
5. 「WPS機能」で「使用する」(お買い上げ時)にチェックします。

トップページ > Wi-Fi設定 > WPS設定

WPS設定

WPS(Wi-Fi Protected Setup)に関する設定を行います。WPSを使用することで、Wi-Fi端末と自動で接続できます。

WPS機能 使用する 使用しない

外部Registrar機能 使用する 使用しない

WPSの状態 Configured UnConfigured

設定

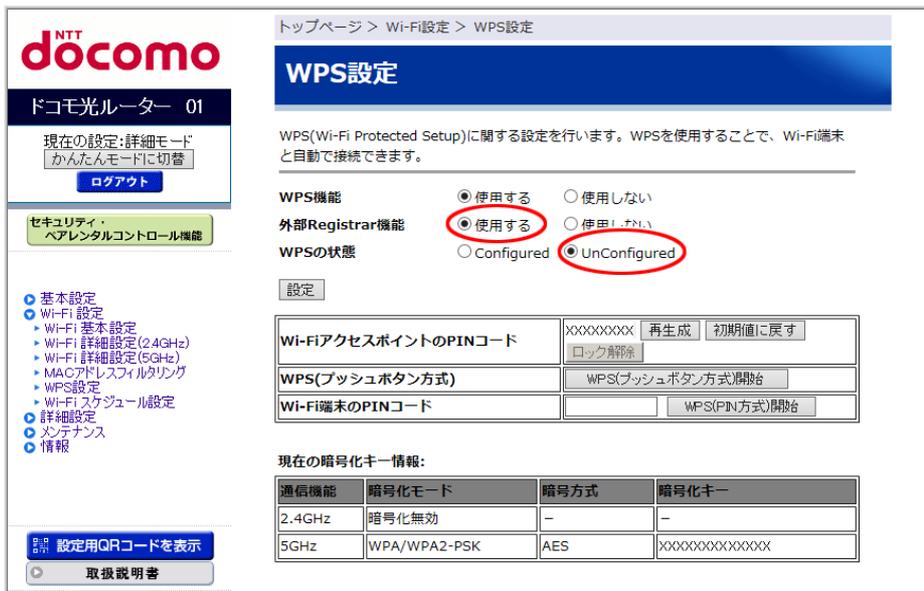
Wi-FiアクセスポイントのPINコード	<input type="text" value="XXXXXXXX"/> <input type="button" value="再生成"/> <input type="button" value="初期値に戻す"/>
WPS(プッシュボタン方式)	<input type="button" value="WPS(プッシュボタン方式)開始"/>
Wi-Fi端末のPINコード	<input type="text"/> <input type="button" value="WPS(PIN方式)開始"/>

現在の暗号化キー情報:

通信機能	暗号化モード	暗号方式	暗号化キー
2.4GHz	暗号化無効	-	-
5GHz	WPA/WPA2-PSK	AES	XXXXXXXXXXXXXX

(画面はWi-Fi「2.4GHz」の例)

6. 「外部Registrar機能」は「使用する」、「WPSの状態」は「UnConfigured」にチェックします。



(画面はWi-Fi「2.4GHz」の例)

7. 「Wi-FiアクセスポイントのPINコード」に表示された、親機(本製品)のPINコードを確認します。

※ [再生成]をクリックすると本製品のPINコードを再生成し、[初期値に戻す]をクリックするとお買い上げ時の状態に戻します。

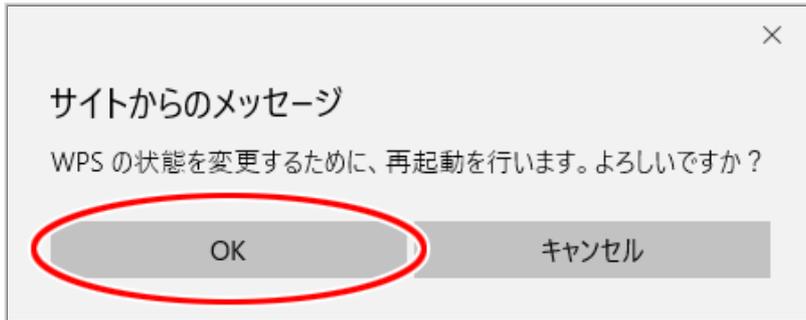


(画面はWi-Fi「2.4GHz」の例)

8. [設定]をクリックします。

9. [OK]をクリックします。

※ 本製品が再起動します。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

10. 子機側に、手順7で確認した親機(本製品)のPINコードを入力し、WPS機能を起動します。

※ Wi-Fi設定が開始されると、本製品のPOWERランプが黄緑点滅し、Wi-Fi設定が完了すると、橙点灯(約10秒間)します。

◆ 補足 ◆

- PINコードの入力画面の表示方法およびWPSの起動方法については、子機の取扱説明書などを参照してください。
- Windows 10/8.1の無線LAN内蔵パソコンをご利用の場合は、次の手順でWPS機能を起動してください。
 - ① 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センター]をクリックします。
 - ② [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックし、[新しいネットワークのセットアップ]をクリックして、[次へ]をクリックします。
 - ③ [構成するワイヤレスルーターまたはアクセスポイントを選んでください]で本製品を選択し、[次へ]をクリックします。
 - ④ 親機(本製品)のPINコードを入力します。
- Windows 7の無線LAN内蔵パソコンをご利用の場合は、通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックし、接続するネットワーク名(SSID)をクリックして「自動的に接続する」にチェックし、[接続]をクリックした後、親機(本製品)のPINコードなどの情報を入力して、WPS機能を起動してください。

◆ 注意 ◆

- 子機側でPINコードの入力を10回間違えると、ロック状態になり、Wi-Fi接続できません。ロック状態を解除するには、クイック設定Webの「Wi-Fi設定」-「WPS設定」で「Wi-FiアクセスポイントのPINコード」の[ロック解除]をクリックするか、本製品を再起動してください。再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 参考 ◆

- Wi-Fi接続が完了した後は、クイック設定Webの「Wi-Fi設定」-「WPS設定」で「外部Registrar機能」の「使用しない」にチェックする(お買い上げ時に戻す)ことをお勧めします。

▶ うまく動作しない場合は

- 本製品で「MACアドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、子機のMACアドレスが登録されていないと、WPS機能での設定に失敗します。その場合は、本製品に子機のMACアドレスを登録してから、上記の設定をしてください。

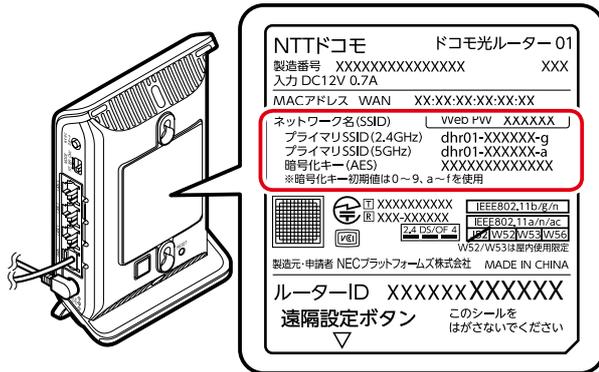
Windows 10のワイヤレスネットワーク接続での暗号化設定

- [暗号化設定を使用してネットワークに接続する\(手動で設定する場合\)](#)
- [接続先を手動で設定する](#)
- [通信状態を確認する](#)

▶ 設定を行う前に

本製品のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認してください。

- お買い上げ時のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーは、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ネットワーク名(SSID)は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)や訪問者(ゲスト)などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

▶ 設定手順

◆ 補足 ◆

- パソコンの設定状況により、画面の表示や手順が異なる場合がありますので、お使いのパソコンの画面表示にしたがって設定してください。
- 以下の画面は、OSのバージョンにより変更になる場合があります。

暗号化設定を使用してネットワークに接続する(手動で設定する場合)

Windows 10のワイヤレスネットワーク接続を使って、暗号化設定します。無線LAN内蔵パソコンの無線(ワイヤレス)機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

なお、暗号化の設定を行う場合は、本製品を先に設定します。

1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



2. 本製品のネットワーク名(SSID)をクリックします。

※ 本製品のネットワーク名(SSID)が表示されない場合は、[接続先を手動で設定する](#)を参照してください。



3. [接続]をクリックします。



4. 本製品の暗号化キーを入力して、[次へ]をクリックします。

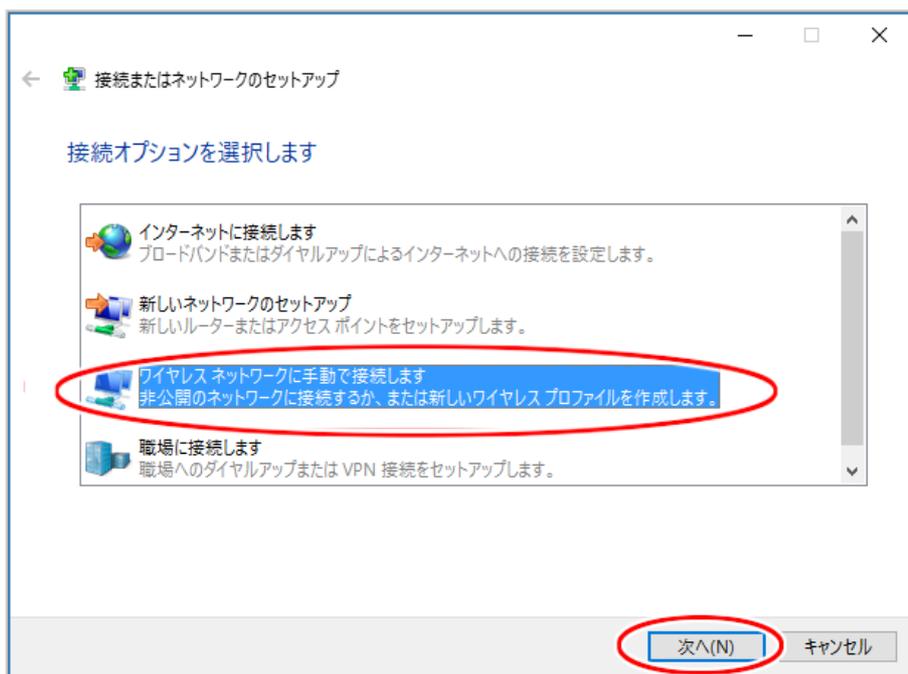


接続先を手動で設定する

1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。



2. [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選択し、[次へ]をクリックします。



3. 本製品に設定されている暗号化を設定します。

ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E): dhr01-XXXXXX-X

セキュリティの種類(S): WPA2-パーソナル

暗号化の種類(R): AES

セキュリティキー(C): XXXXXXXXXXXXXXXX 文字を非表示にする(H)

この接続を自動的に開始します(T)

ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピュータのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

次へ(N) キャンセル

(1)[ネットワーク名]に本製品のネットワーク名(SSID)を入力します。

(2)[セキュリティの種類][暗号化の種類]で本製品の暗号化モードを選択します。

(3)[セキュリティキー]に本製品の暗号化キーを入力します。

暗号化キーには、8～63桁の英数記号、または64桁の16進数で入力します。(半角で入力)

※ 暗号化キーに使用できる文字は以下のとおりです。

- ・ 8～63桁の場合: 英数記号(0～9、a～z、A～Z、下表の記号)

!	%)	-	;	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※ 「\」(バックスラッシュ)はパソコンによっては、「¥」と表示されます。

- ・ 64桁の場合: 16進数(0～9、a～f、A～F)

(4)本製品が「ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)」を使用している場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックします。

(5)[次へ]をクリックします。

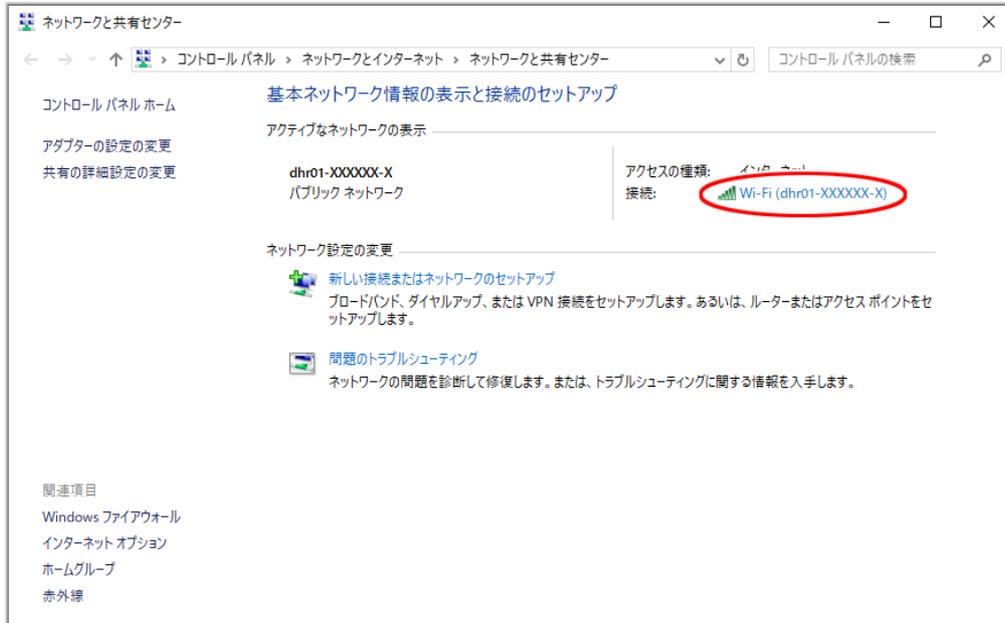
4. 「正常にdhr01-XXXXXX-Xを追加しました」の画面が表示されたら[閉じる]をクリックします。

通信状態を確認する

1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く]をクリックします。



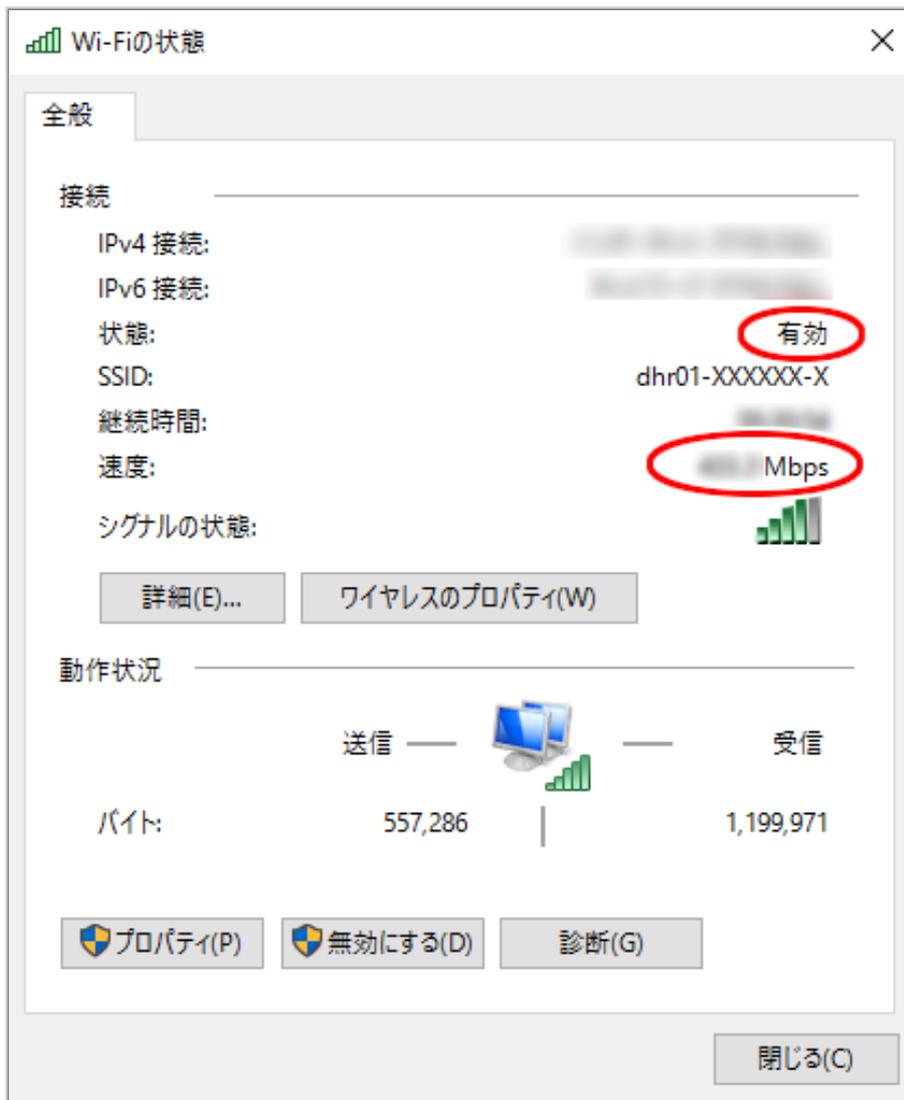
2. [Wi-Fi]をクリックします。



3. Wi-Fi設定が正しく行われていることを確認します。

- ・状態が「有効」になっていること
- ・速度が表示されていること

※ 表示される速度は、ご利用の環境により異なります。



4. [閉じる]をクリックします。

Windows 8.1から本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ここでは、Windows 8.1のパソコンから本製品へWi-Fi接続する手順について説明します。

次の方法から選択してください。

● WPS機能を利用してWi-Fi接続する

本製品のらくらくスタートボタンを使用してWPS機能を起動させてWi-Fi接続します。暗号化キーの設定が不要です。

※ パソコン側もWPS機能に対応している必要があります。

PIN方式による設定は、「[WPS機能 \(PIN\) を利用してWi-Fi接続する](#)」を参照してください。

● らくらく無線スタートで接続する

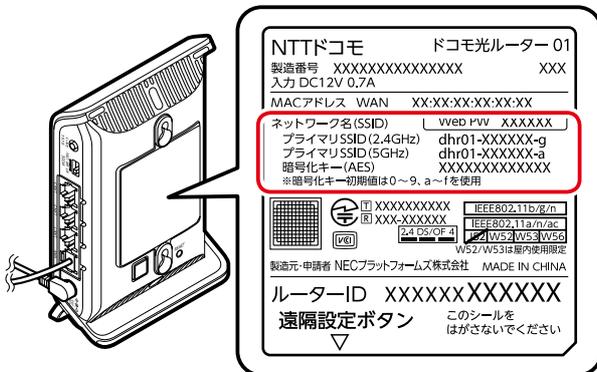
パソコンがらくらく無線スタートに対応の場合、本製品のらくらくスタートボタンを押すだけで、Wi-Fiやセキュリティ(暗号化)を簡単に設定する方法です。

● 手動で接続する

本製品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを手入力で設定する方法です。

▶ 設定を行う前に

- 本製品のネットワーク名 (SSID) を確認してください。
 - ー お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) は、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ー ネットワーク名 (SSID) は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- ー セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機 (ニンテンドーDSなど) や訪問者 (ゲスト) などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定 (5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

- WPS機能でWi-Fi接続するには、本製品の「MACアドレスフィルタリング機能」を「使用しない」に設定する必要があります。設定を確認するには有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。
- 本製品と子機の距離を1～3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器(コードレス電話やテレビ、電子レンジなど)から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

▶ 設定手順

WPS機能を利用してWi-Fi接続する

1. パソコンの無線(ワイヤレス)機能を有効にします。
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
2. デスクトップ画面を表示します。
3. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



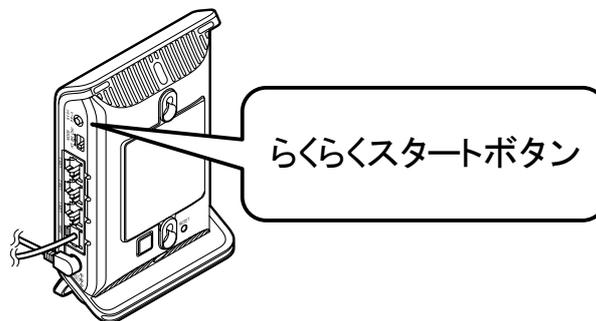
4. ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名(SSID)を選択します。



5. [接続]をクリックします。



6. 「ルーターのボタンを押しても接続できません」と表示されたら、本製品のらくらくスタートボタンを長押し（約10秒）し、POWERランプが黄緑点滅したら離します。
※「ネットワーク セキュリティキー」は入力不要です。



◆ 補足 ◆

- 下の画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



7. しばらくして、本製品のPOWERランプが約10秒間橙点灯した後、黄緑点灯に戻ります。

▶ うまく動作しない場合は

- 本製品のPOWERランプが約10秒間赤点灯または赤点滅した場合は設定に失敗しています。
 - [「設定を行う前に」](#)をご確認ください。
 - [「Windows 8.1のワイヤレスネットワーク接続での暗号化設定」](#)で設定してください。

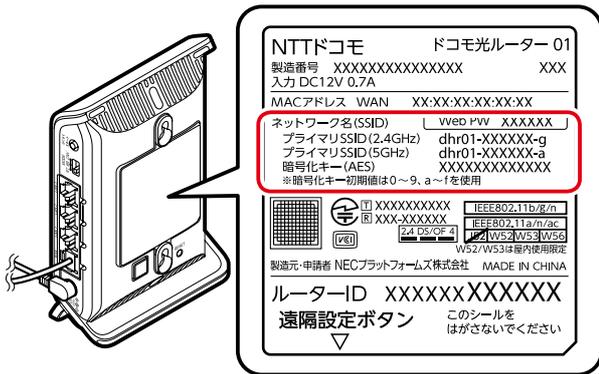
Windows 8.1のワイヤレスネットワーク接続での暗号化設定

- [暗号化設定を使用してネットワークに接続する\(手動で設定する場合\)](#)
- [接続先を手動で設定する](#)
- [通信状態を確認する](#)

▶ 設定を行う前に

本製品のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認してください。

- お買い上げ時のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーは、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ネットワーク名(SSID)は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)や訪問者(ゲスト)などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

▶ 設定手順

◆ 補足 ◆

- パソコンの設定状況により、画面の表示や手順が異なる場合がありますので、お使いのパソコンの画面表示にしたがって設定してください。

暗号化設定を使用してネットワークに接続する(手動で設定する場合)

Windows 8.1のワイヤレスネットワーク接続を使って、暗号化設定します。無線LAN内蔵パソコンの無線(ワイヤレス)機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

なお、暗号化の設定を行う場合は、本製品を先に設定します。

1. 「スタート」で「デスクトップ」を選択します。

2. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



3. 本製品のネットワーク名(SSID)をクリックします。

※ 本製品のネットワーク名(SSID)が表示されない場合は、[接続先を手動で設定する](#)を参照してください。

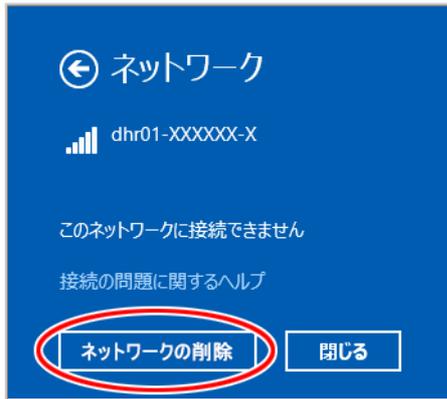


4. [接続]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 下の画面が表示された場合は、[ネットワークの削除]をクリックし、手順2から接続し直してください。



5. 本製品の暗号化キーを入力して、[次へ]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 下の画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



接続先を手動で設定する

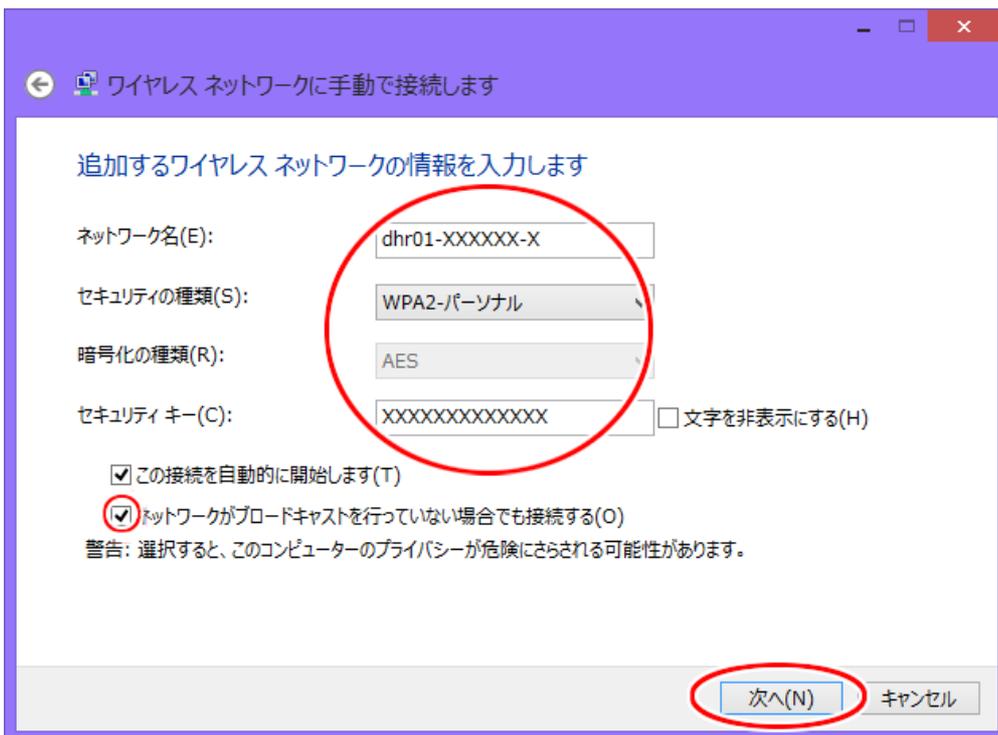
1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。



2. [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選択し、[次へ]をクリックします。



3. 本製品に設定されている暗号化を設定します。



- (1)[ネットワーク名]に本製品のネットワーク名(SSID)を入力します。
- (2)[セキュリティの種類][暗号化の種類]で本製品の暗号化モードを選択します。
- (3)[セキュリティキー]に本製品の暗号化キーを入力します。
暗号化キーには、8～63桁の英数記号、または64桁の16進数で入力します。(半角で入力)
※ 暗号化キーに使用できる文字は以下のとおりです。

- ・ 8～63桁の場合: 英数記号(0～9、a～z、A～Z、下表の記号)

!	%)	-	;	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンによっては、「¥」と表示されます。

- ・ 64桁の場合: 16進数(0～9、a～f、A～F)

- (4)本製品が「ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)」を使用している場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックします。
- (5)[次へ]をクリックします。

4. 「正常にdhr01-XXXXXX-Xを追加しました」の画面が表示されたら[閉じる]をクリックします。

通信状態を確認する

1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く]をクリックします。



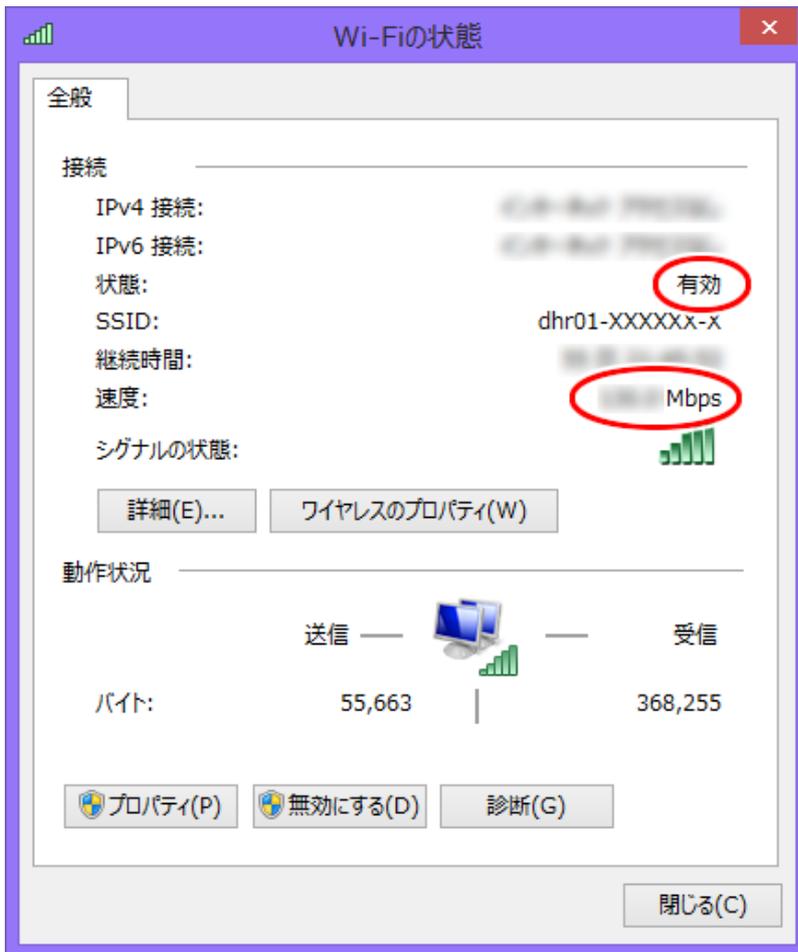
2. [Wi-Fi]をクリックします。



3. Wi-Fi設定が正しく行われていることを確認します。

- ・状態が「有効」になっていること
- ・速度が表示されていること

※ 表示される速度は、ご利用の環境により異なります。



4. [閉じる]をクリックします。

Windows 7から本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ここでは、Windows 7のパソコンから本製品へWi-Fi接続する手順について説明します。

次の方法から選択してください。

● WPS機能を利用してWi-Fi接続する

本製品のらくらくスタートボタンを使用してWPS機能を起動させてWi-Fi接続します。暗号化キーの設定が不要です。

※ パソコン側もWPS機能に対応している必要があります。

PIN方式による設定は、「[WPS機能 \(PIN\) を利用してWi-Fi接続する](#)」を参照してください。

● らくらく無線スタートで接続する

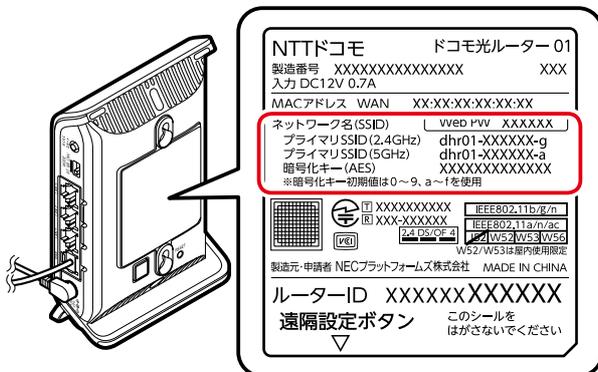
パソコンがらくらく無線スタートに対応の場合、本製品のらくらくスタートボタンを押すだけで、Wi-Fiやセキュリティ (暗号化) を簡単に設定する方法です。

● 手動で接続する

本製品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを手入力で設定する方法です。

▶ 設定を行う前に

- 本製品のネットワーク名 (SSID) を確認してください。
 - ー お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) は、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ー ネットワーク名 (SSID) は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- ー セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機 (ニンテンドーDSなど) や訪問者 (ゲスト) などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定 (5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

- WPS機能でWi-Fi接続するには、本製品の「MACアドレスフィルタリング機能」を「使用しない」に設定する必要があります。設定を確認するには有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。
- 本製品と子機の距離を1～3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器(コードレス電話やテレビ、電子レンジなど)から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

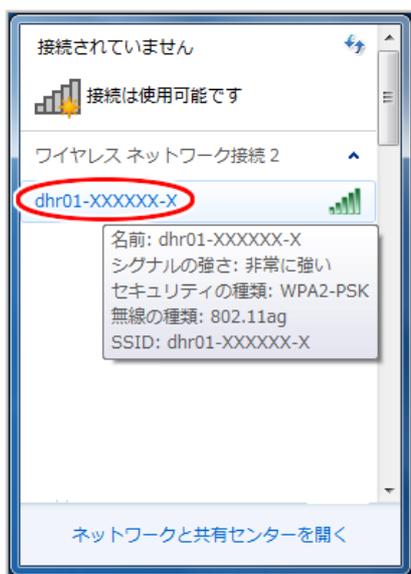
▶ 設定手順

WPS機能を利用してWi-Fi接続する

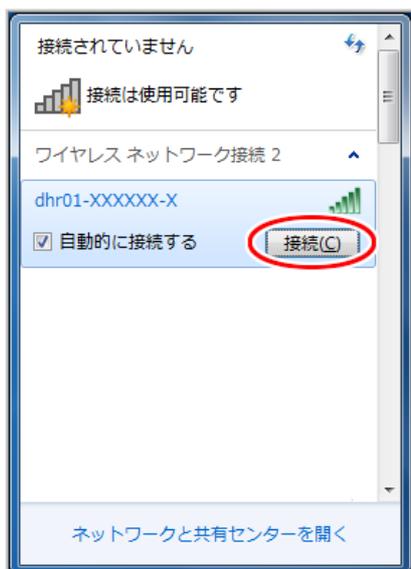
1. パソコンの無線(ワイヤレス)機能を有効にします。
設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
2. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



3. ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名(SSID)を選択します。

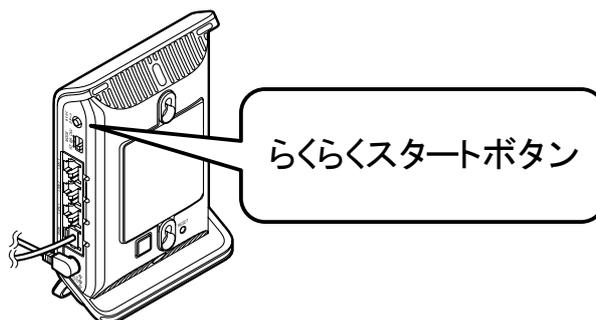
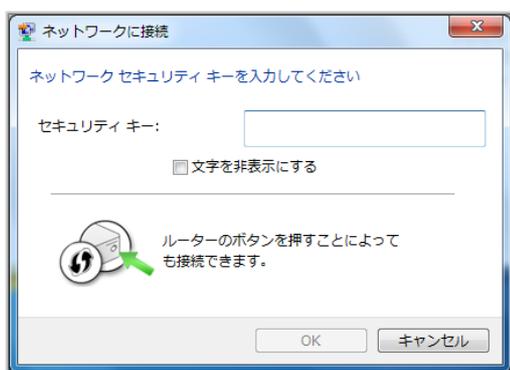


4. [接続]をクリックします。



5. 「ルーターのボタンを押すことによっても接続できます。」と表示されたら、本製品のらくらくスタートボタンを長押し(約10秒)し、POWERランプが黄緑点滅したら離します。

※「セキュリティ キー」は入力不要です。



6. しばらくして、本製品のPOWERランプが約10秒間橙点灯した後、黄緑点灯に戻ります。

▶ うまく動作しない場合は

- 本製品のPOWERランプが約10秒間赤点灯または赤点滅した場合は設定に失敗しています。
→ [「設定を行う前に」](#)をご確認ください。
- [「Windows 7のワイヤレスネットワーク接続での暗号化設定」](#)で設定してください。

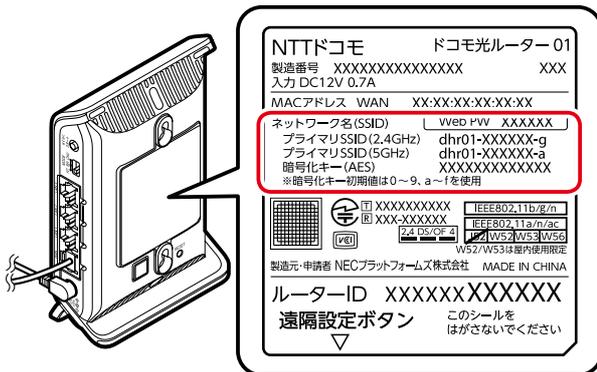
Windows 7のワイヤレスネットワーク接続での暗号化設定

- [暗号化設定してネットワークに接続する\(手動で設定する場合\)](#)
- [接続先を手動で設定する](#)
- [通信状態を確認する](#)

▶ 設定を行う前に

本製品のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認してください。

- お買い上げ時のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーは、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ネットワーク名 (SSID) は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)や訪問者(ゲスト)などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

▶ 設定手順

◆ 補足 ◆

- パソコンの設定状況により、画面の表示や手順が異なる場合がありますので、お使いのパソコンの画面表示にしたがって設定してください。

暗号化設定してネットワークに接続する(手動で設定する場合)

Windows 7のワイヤレスネットワーク接続を使って、暗号化設定をします。無線LAN内蔵パソコンの無線(ワイヤレス)機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

なお、暗号化の設定を行う場合は、本製品を先に設定します。

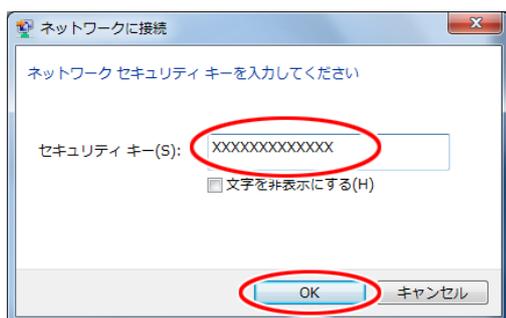
1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



2. ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名(SSID)を選択し、[接続]をクリックします。
※ 接続する本製品のネットワーク名(SSID)が表示されない場合は、[接続先を手動で設定する](#)を参照してください。



3. 本製品の暗号化キーを入力し、[OK]をクリックします。



本製品とのWi-Fi接続が完了すると、通知領域(タスクトレイ)の「ワイヤレスネットワーク接続」に「接続」と表示されます。



※ 接続に失敗した場合は、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

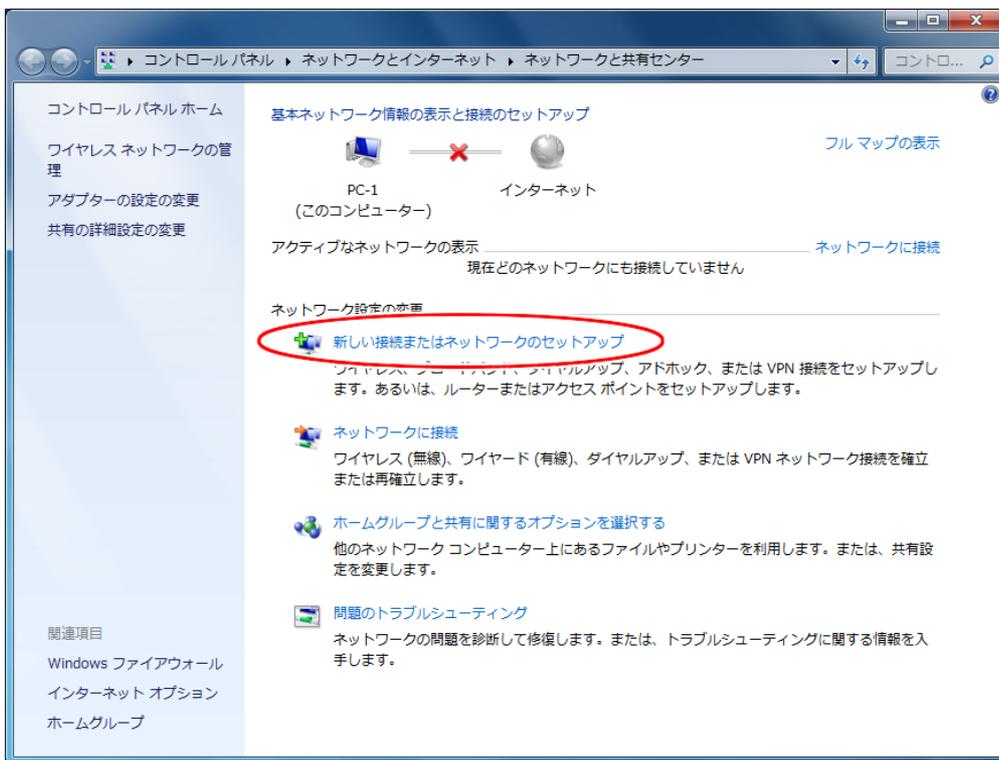
- (1)通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。
 - (2)[ワイヤレスネットワークの管理]をクリックします。
 - (3)接続するネットワーク名(SSID)を選択して、[削除]をクリックします。
 - (4)[ワイヤレスネットワークの管理]の画面を閉じます。
- 上記の手順が完了したら、手順1から接続し直してください。

接続先を手動で設定する

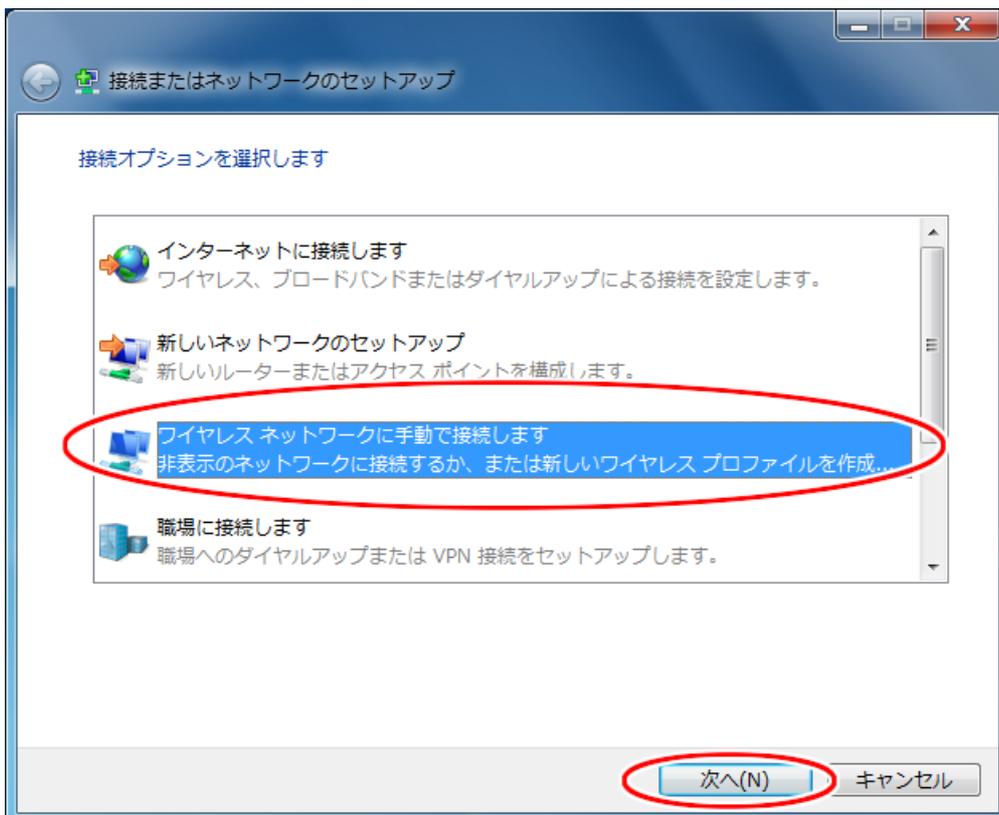
1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。



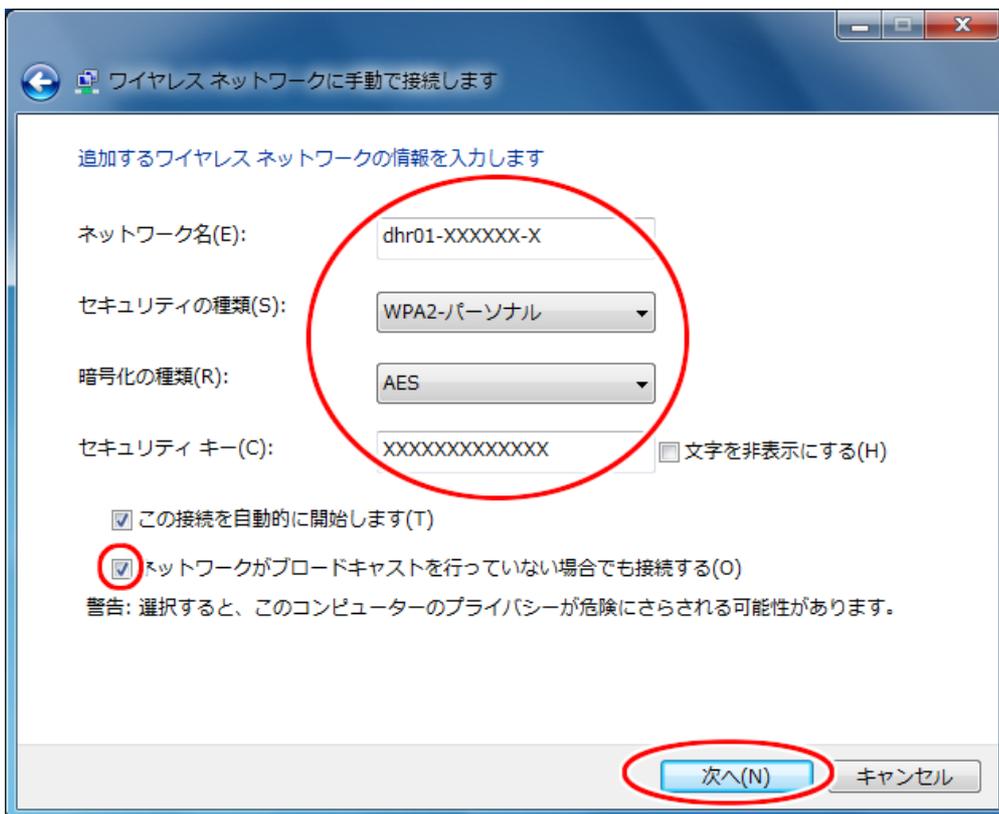
2. 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。



3. 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、[次へ]をクリックします。



4. 本製品に設定されている暗号化を設定します。



(1)[ネットワーク名]に本製品のネットワーク名(SSID)を入力します。

(2)[セキュリティの種類][暗号化の種類]で本製品の暗号化モードを選択します。

(3)[セキュリティキー]に本製品の暗号化キーを入力します。

暗号化キーには、8～63桁の英数記号、または64桁の16進数で入力します。(半角で入力)

※ 暗号化キーに使用できる文字は以下のとおりです。

- ・ 8～63桁の場合: 英数記号(0～9、a～z、A～Z、下表の記号)

!	%)	-	;	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンによっては、「¥」と表示されます。

- ・ 64桁の場合: 16進数(0～9、a～f、A～F)

(4)本製品が「ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)」を使用している場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックします。

(5)[次へ]をクリックします。

5. 「正常にdhr01-XXXXXX-Xを追加しました」の画面が表示されたら[閉じる]をクリックします。

通信状態を確認する

1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



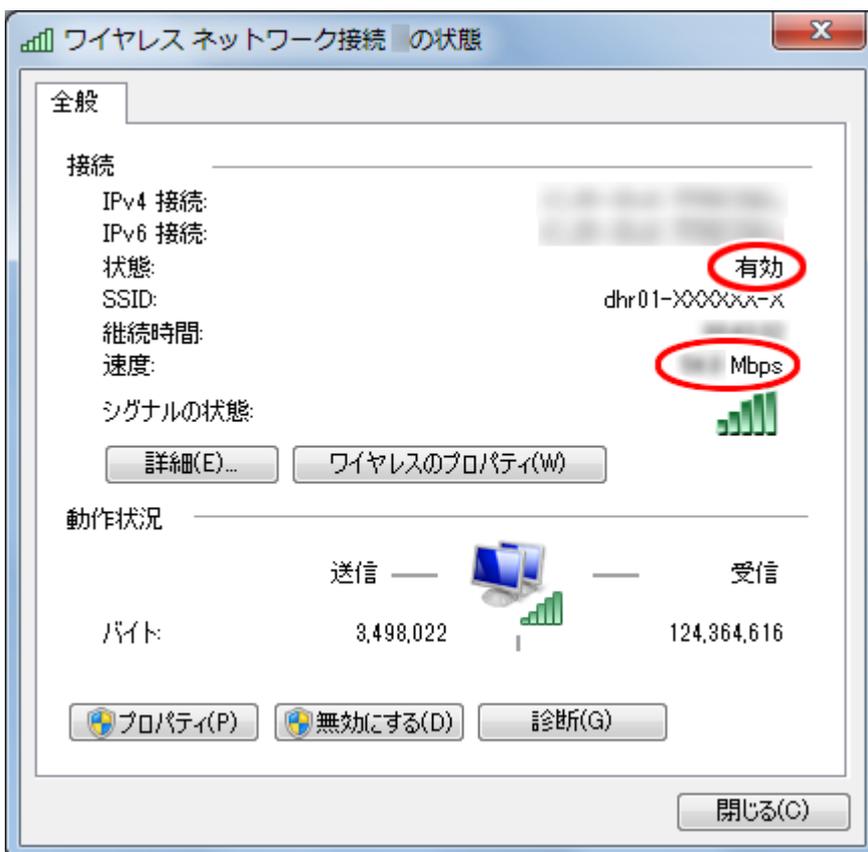
2. 接続しているネットワーク名(SSID)を右クリックし、[状態]をクリックします。



3. Wi-Fi設定が正しく行われていることを確認します。

- ・状態は「有効」になっていること
- ・速度が表示されていること

※ 表示される速度は、ご利用の環境により異なります。



4. [閉じる]をクリックします。

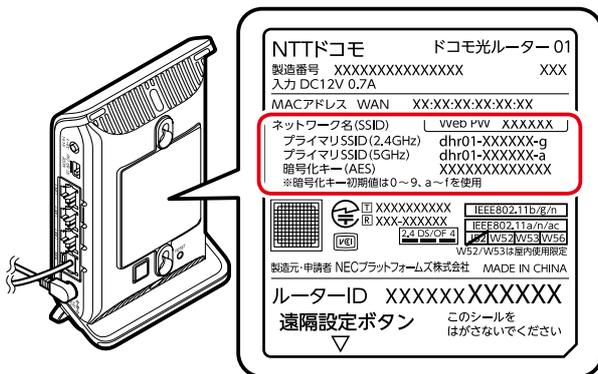
macOSおよびOS X(Mac)から本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名(SSID)や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ここでは、macOSおよびOS X(Mac)のパソコンから、本製品のネットワーク名(SSID)を検索して接続する手順について説明します。

▶ 設定を行う前に

- 本製品のネットワーク名(SSID)を確認してください。
 - ー お買い上げ時のネットワーク名(SSID)は、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ー ネットワーク名(SSID)は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- ー セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)や訪問者(ゲスト)などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

- 本製品と子機の距離を1~3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器(コードレス電話やテレビ、電子レンジなど)から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

▶ 設定手順

本製品のネットワーク名(SSID)を検索して接続する

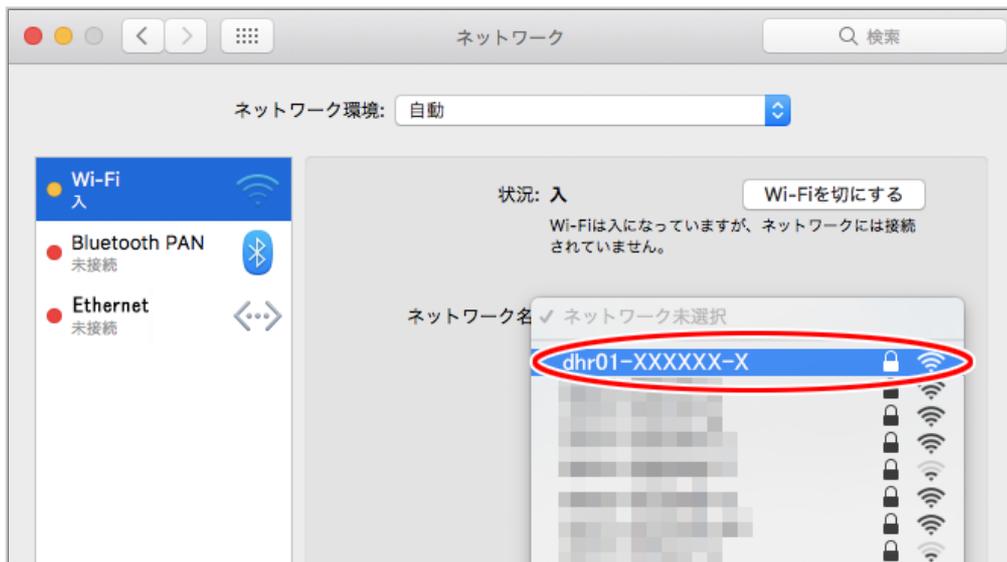
本製品のネットワーク名(SSID)を検索し、暗号化キーを手入力して設定します。

※ 対応OSは、[「製品仕様」](#)を参照してください。

1. アップルメニューの「システム環境設定」- [ネットワーク]アイコンをクリックします。

2. サービスリストから「Wi-Fi」を選択します。

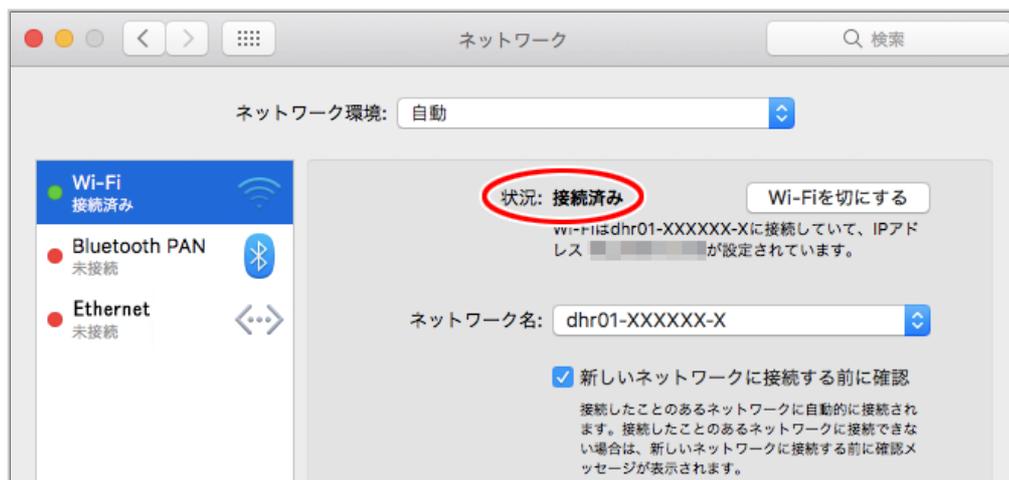
3. 「ネットワーク名」のプルダウンメニューで本製品のネットワーク名(SSID)を選択します。



4. 「パスワード」に本製品の暗号化キーを入力して、[接続]をクリックします。
ここで、「このネットワークを記憶」にチェックが入っていることも合わせて確認します。



5. 「状況」に「接続済み」と表示されます。



スマートフォン／タブレット(Android端末)から本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名(SSID)や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ここでは、Android端末から、本製品へWi-Fi接続する手順について説明します。

次の方法から選択してください。

● [WPS機能を利用してWi-Fi接続する](#)

本製品のらくらくスタートボタンを使用してWPS機能を起動させてWi-Fi接続します。暗号化キーの設定が不要です。

● [らくらくQRスタートで接続する](#)

「AtermらくらくQRスタート」のアプリを使用して設定用のQRコードを読み取るだけで、本製品へWi-Fi接続することができます。

● [らくらく「かざして」スタートで接続する](#)

らくらく「かざして」スタート用NFCタグにスマートフォンやタブレット端末をかざすだけで、本製品へWi-Fi接続することができます。

● [らくらく無線スタートで接続する](#)

● [手動で接続する](#)

本製品のネットワーク名(SSID)と暗号化キーを手入力で設定する方法です。

◆ 補 足 ◆

- 説明で使用している画面はAndroid 6.0の例です。

▶ 設定を行う前に

- 本製品と子機の距離を1～3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器(コードレス電話やテレビ、電子レンジなど)から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

▶ 設定手順

WPS機能を利用してWi-Fi接続する

1. Android端末のアプリ一覧画面で「設定」をタップします。
2. 「Wi-Fi」をタップします。

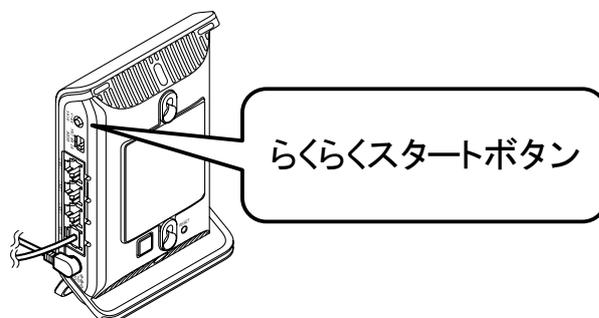
3. 「Wi-Fi」が「ON」になっていることを確認して、「メニュー」-「詳細設定」をタップします。



4. Wi-Fi詳細設定画面から、「WPSプッシュボタン」をタップします。



5. ボタン押下の案内画面が表示されたら、本製品のらくらくスタートボタンを長押し(約10秒)し、POWERランプが黄緑点滅したら離します。

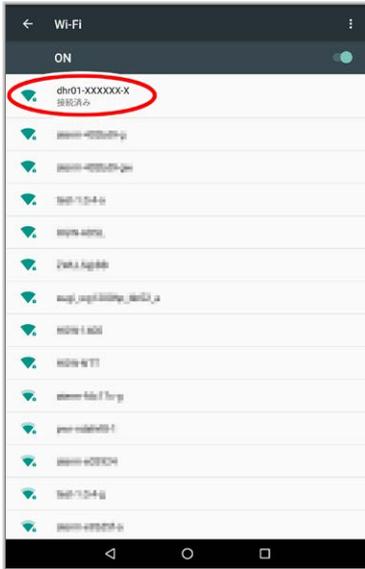


※ 本製品のPOWERランプが約10秒間赤点灯または赤点滅した場合は設定に失敗しています。手動(「ネットワーク名(SSID)」、「暗号化キー」入力)で設定してください。

6. 「Wi-Fiネットワーク「dhr01-xxxxxx-x」に接続しました」画面が表示されたら「OK」をタップします。



7. Wi-Fi機器一覧で、「接続済み」と表示されることを確認します。



らくらくQRスタートで接続する

◆ 補足 ◆

- AtermらくらくQRスタートは、インターネット接続機能(LTE通信や3G通信など)、カメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、AtermらくらくQRスタートのWebサイト(下記URL)でご確認ください。(2017年1月現在)
※ 下記Webサイトは、Android端末でご利用ください。

<http://qr.aterm.jp>



- AtermらくらくQRスタートは、Android 6.0/5.1に対応しています。(2017年1月現在)

◆ 注意 ◆

- AtermらくらくQRスタートのアプリは無料です。ただしインターネット接続(LTE通信や3G通信など)の packet 通信料はお客様ご負担となります。

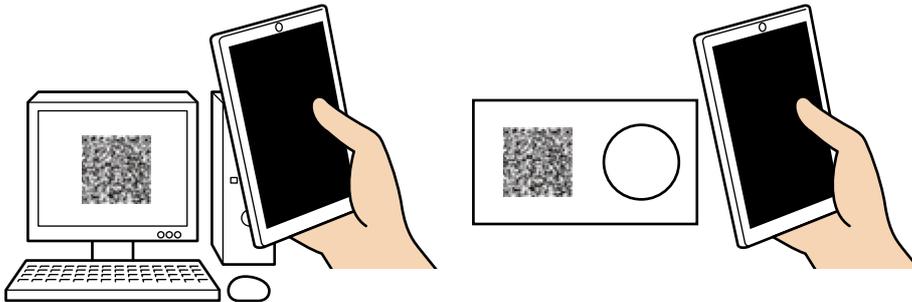
1. 「AtermらくらくQRスタート for Android」のアプリを検索して、インストールします。
2. ホーム画面などから、「AtermらくらくQRスタート」のアイコンをタップします。
※ 起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。



3. カメラビューで、設定用QRコードを読み取ります。

※ カメラビューの読み取り範囲内にQRコードを表示させてください。自動的にQRコードを読み取ります。設定用QRコードは、下記のどちらかを読み取ってください。

- 本製品に添付のWi-Fi設定シートにある「らくらくQRスタート用QRコード」
→本製品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーをお買い上げ時のままご利用の場合のQRコードです。
- パソコンなどの画面で表示した設定用QRコード
→QRコード表示機能で表示したQRコードです。
表示方法は「[設定用QRコードを作成する](#)」を参照してください。

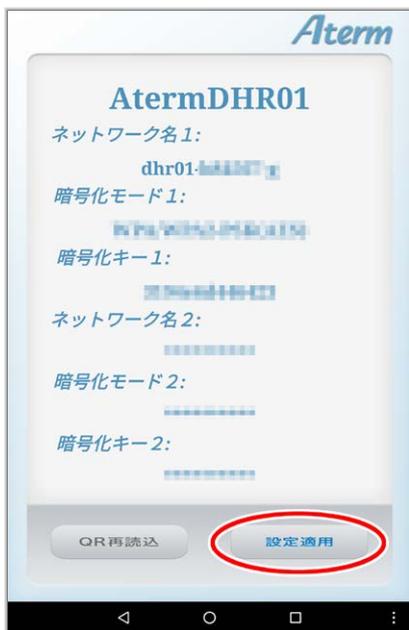


◆ 参考 ◆

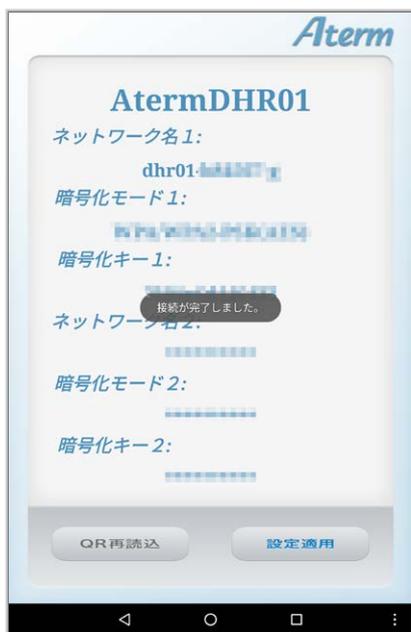
QRコードが読み取りにくい場合は、次の事項をお試してください。

- QRコードに対して垂直になるようカメラの位置を調整する。
- 読み取り時にQRコードに天井灯などが映りこまないよう調整する。
- 明るい場所で読み取りを行う(直射日光などの明るすぎる場所は避ける)。

4. [設定適用]をタップします。



5. 接続が完了します。



◆ 補足 ◆

- 下の画面が表示された場合は、インターネット接続のためのPPPoE回線の設定を行うことができません。

[STEP2 インターネット接続設定]をタップし、画面にしたがって設定してください。

※ 回線設定を行わない場合は[終了]をタップしてください。

※ パスワードを求められた場合は、管理者パスワードを入力してください。

本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。



らくらく「かざして」スタートで接続する

◆ 補足 ◆

- Atermらくらく「かざして」スタートは、本製品のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーが初期値の場合にWi-Fi接続の設定ができます。
- Atermらくらく「かざして」スタートは、インターネット接続機能 (LTE通信や3G通信など)、NFC機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、Atermらくらく「かざして」スタートのWebサイト (下記URL) でご確認ください。(2017年1月現在)
※ 下記Webサイトは、Android端末でご利用ください。

<http://nfc.setup.aterm.jp>



- Atermらくらく「かざして」スタートは、Android 6.0/5.1に対応しています。(2017年1月現在)

◆ 注意 ◆

- Atermらくらく「かざして」スタートのアプリは無料です。ただしインターネット接続 (LTE通信や3G通信など) のパケット通信料はお客様ご負担となります。

1. 「Atermらくらく「かざして」スタート」のアプリを検索して、インストールします。

2. スマートフォン／タブレット端末のNFC機能を有効にします。

※ NFC機能を有効にする方法は、スマートフォン／タブレット端末の取扱説明書などでご確認ください。

以下は手順の一例です。機種・バージョンにより異なります。

- ① [設定] をタップします。
- ② 「無線とネットワーク」にある「その他の設定」をタップします。
- ③ 「NFC/おサイフケータイ設定」をタップします。
- ④ 「Reader/Writer,P2P」にチェックします。

3. ホーム画面から、「Atermらくらく「かざして」スタート」のアイコンをタップして、アプリを起動します。



4. 本製品に添付のWi-Fi設定シートのNマークに、スマートフォン／タブレット端末にあるNFCリーダー部分をかざします。

NFCリーダー部分の面とWi-Fi設定シートが平行になるように、ゆっくり近づけてかざしてください。

※ NFCリーダー部分については、スマートフォン／タブレット端末の取扱説明書などを参照してください。

※ 読み取れない場合には、以下をお試しください。

- かざしたまま数秒待つ。
- スマートフォン／タブレット端末を前後左右にずらしたりNマークに近づけたりする。
- スマートフォン／タブレット端末をケースやカバーから外す。
- Wi-Fi設定シートは金属の上に置かない。



◆ 補足 ◆

- WPS (NFC) 方式に準拠したアプリがすでにインストールされているスマートフォン／タブレット端末をご利用の場合は、NマークにかざすだけでWi-Fi設定が完了する場合があります。

5. Wi-Fi設定内容が表示されたら、[Wi-Fi設定実行]をタップします。



[接続が完了しました]と表示されれば、本製品へのWi-Fi接続設定は完了です。

◆ 補足 ◆

- 下の画面が表示された場合は、インターネット接続のためのPPPoE回線の設定を行うことができます。
[STEP2 インターネット接続設定]をタップし、画面にしたがって設定してください。
※ 回線設定を行わない場合は[終了]をタップしてください。
※ パスワードを求められた場合は、管理者パスワードを入力してください。
本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。

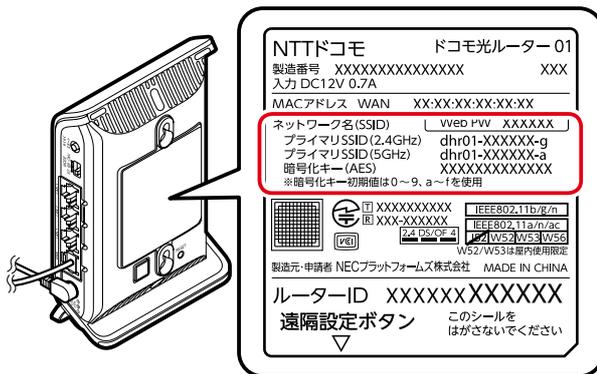


手動で接続する

設定を行う前に

本製品のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認してください。

- お買い上げ時のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーは、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ネットワーク名 (SSID) は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)や訪問者(ゲスト)などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

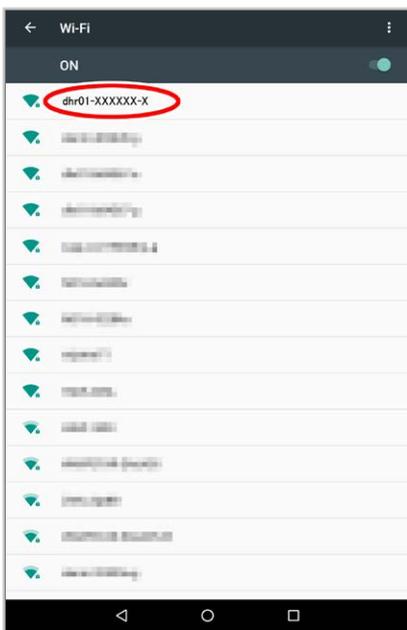
[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

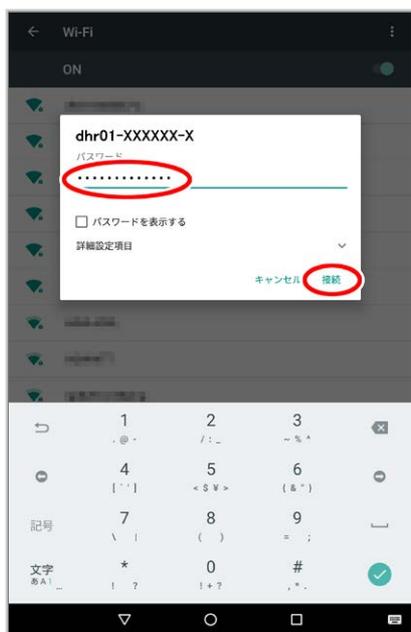
1. Android端末を起動し、[設定]をタップします。
2. [Wi-Fi]をタップしてから[Wi-Fi]をオンにします。



3. 本製品のネットワーク名(SSID)をタップします。



4. 本製品の暗号化キー(半角小文字)を入力し、[接続]をタップします。



◆ 補足 ◆

- 暗号化キーには、8～63桁の英数記号、または64桁の16進数で入力します。(半角で入力)
※ 暗号化キーに使用できる文字は以下のとおりです。

- 8～63桁の場合: 英数記号(0～9、a～z、A～Z、下表の記号)

!	%)	-	;	?]	{
”	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※ 「\」(バックスラッシュ)はパソコンによっては、「¥」と表示されます。

- 64桁の場合: 16進数(0～9、a～f、A～F)

5. ステータスバーに下記のアイコンが表示されたらWi-Fi接続は完了です。



設定用QRコードを作成する

本製品では、クイック設定Webの画面から、らくらくQRスタートの設定用QRコードを表示することができます。また、本製品のネットワーク名(SSID)、暗号化キーをお買い上げ時から変更した場合も、新たに作成して表示することができます。

▶ 設定を行う前に

本製品を經由してインターネットに接続された端末(パソコンなど)を用意してください。その端末でクイック設定Webを起動し、新たな設定値のQRコードを作成します。

▶ 設定手順

QRコードの表示方法

1. QRコードを表示したい端末(パソコンなど)で、[クイック設定Web](#)を起動します。
2. [設定用QRコードを表示]をクリックします。
設定用QRコードを作成するWebサイトにリンクします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
[詳細モードに切替]
[ログアウト]

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

- 基本設定(かんたんモード)
- Wi-Fi 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態

ドコモ光ルーター 01
クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	[REDACTED]
	IPv6	[REDACTED]
自動判定結果	[REDACTED]	
現在の動作状態	[REDACTED]	
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	
[最新状態に更新]		

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

3. 画面にしたがって、設定用QRコードを作成・表示します。

スマートフォン／タブレット(iOS端末)から本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名(SSID)や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ここでは、iOS端末から、本製品へWi-Fi接続する手順について説明します。
次の方法から選択してください。

● [らくらくQRスタートで接続する](#)

「AtermらくらくQRスタート」のアプリを使用して、設定用のQRコードを読み取るだけで、本製品へWi-Fi接続することができます。

● [らくらく「かざして」スタートで接続する](#)

らくらく「かざして」スタート用NFCタグにスマートフォンやタブレット端末をかざすだけで、本製品へWi-Fi接続することができます。

● [手動で接続する](#)

本製品のネットワーク名(SSID)と暗号化キーを手入力で設定する方法です。

◆ 補足 ◆

- 説明で使用している画面はiOS 10.3の例です。

▶ 設定を行う前に

- 本製品と子機の距離を1～3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器(コードレス電話やテレビ、電子レンジなど)から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

▶ 設定手順

らくらくQRスタートで接続する

◆ 補足 ◆

- AtermらくらくQRスタートは、インターネット接続機能(LTE通信や3G通信など)、カメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、AtermらくらくQRスタートのWebサイト(下記URL)でご確認ください。(2017年1月現在)
※ 下記Webサイトは、iOS端末でご利用ください。

<http://qr.aterm.jp>



- AtermらくらくQRスタートは、iOS 11/10/9.3に対応しています。(2017年1月現在)

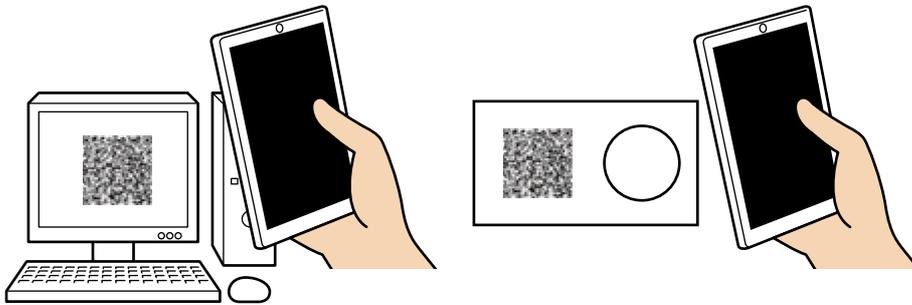
◆ 注意 ◆

- AtermらくらくQRスタートのアプリは無料です。ただしインターネット接続(LTE通信や3G通信など)の packet 通信料はお客様ご負担となります。

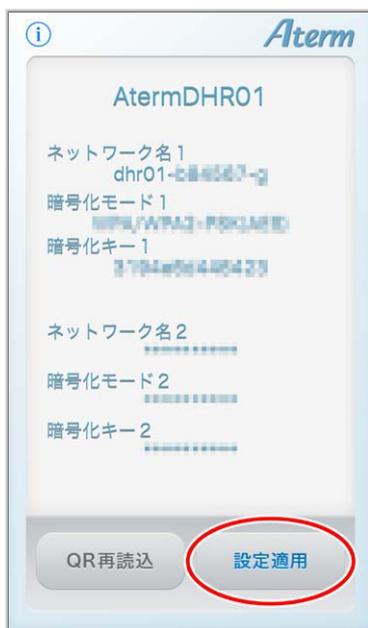
1. 「AtermらくらくQRスタート」のアプリを検索して、インストールします。
2. ホーム画面から「設定」をタップし、「機内モード」をオフに、「Wi-Fi」をオンにします。
3. ホーム画面から、「AtermらくらくQRスタート」のアイコンをタップして、「OK」をタップします。
※ 起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。



4. カメラビューで、設定用QRコードを読み取ります。
※ カメラビューの読み取り範囲内にQRコードを表示させてください。自動的にQRコードを読み取ります。設定用QRコードは、下記のどちらかを読み取ってください。
 - 本製品に添付のWi-Fi設定シートにある「らくらくQRスタート用QRコード」
→本製品のネットワーク名(SSID)と暗号化キーをお買い上げ時のままご利用の場合のQRコードです。
 - パソコンなどの画面で表示した設定用QRコード
→QRコード表示機能で表示したQRコードです。
表示方法は「[設定用QRコードを作成する](#)」を参照してください。



5. [設定適用]をタップします。



6. [OK]をタップします。



7. [インストール]をタップします。



8. [インストール]をタップします。

9. [インストール]をタップします。

10. [完了]をタップします。

11. [OK]をタップします。

◆ 補足 ◆

- 下の画面が表示された場合は、インターネット接続のためのPPPoE回線の設定を行うことができます。

[STEP2 インターネット接続設定]をタップし、画面にしたがって設定してください。

※ 回線設定を行わない場合は、ホームボタンを押して終了してください。

iOS端末によってはホームボタンがありません。ホームボタンに代わる操作は、当該iOS端末の取扱説明書をご確認ください。

※ パスワードを求められた場合は、管理者パスワードを入力してください。

本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。



らくらく「かざして」スタートで接続する

◆ 補足 ◆

- Atermらくらく「かざして」スタートは、本製品のネットワーク名(SSID)および暗号化キーが初期値の場合にWi-Fi接続の設定ができます。
 - Atermらくらく「かざして」スタートは、インターネット接続機能(LTE通信や3G通信など)、NFC機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、Atermらくらく「かざして」スタートのWebサイト(下記URL)でご確認ください。(2017年1月現在)
- ※ 下記Webサイトは、iOS端末でご利用ください。

<http://nfc.setup.aterm.jp>



- Atermらくらく「かざして」スタートは、iOS 11/10/9.3に対応しています。(2017年1月現在)

◆ 注意 ◆

- Atermらくらく「かざして」スタートのアプリは無料です。ただしインターネット接続(LTE通信や3G通信など)の packets 通信料はお客様ご負担となります。

1. 「Atermらくらく「かざして」スタート」のアプリを検索して、インストールします。

2. ホーム画面から「設定」をタップし、「機内モード」をオフに、「Wi-Fi」をオンにします。

3. ホーム画面から、「Atermらくらく「かざして」スタート」のアイコンをタップして、アプリを起動します。



4. [読み取り開始]をタップします。



5. 本製品に添付のWi-Fi設定シートのNマークに、スマートフォン／タブレット端末にあるNFCリーダー部分をかざします。

NFCリーダー部分の面とWi-Fi設定シートが平行になるように、ゆっくり近づけてかざしてください。

※ NFCリーダー部分については、スマートフォン／タブレット端末の取扱説明書などを参照してください。

※ 読み取れない場合には、以下をお試しください。

- かざしたまま数秒待つ。
- スマートフォン／タブレット端末を前後左右にずらしたりNマークに近づけたりする。
- スマートフォン／タブレット端末をケースやカバーから外す。
- Wi-Fi設定シートは金属の上に置かない。



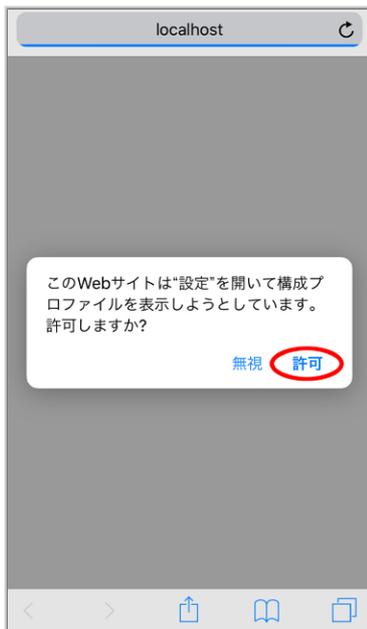
6. Wi-Fi設定内容が表示されたら、[Wi-Fi設定実行]をタップします。



7. [OK]をタップします。



8. [許可]をタップします。



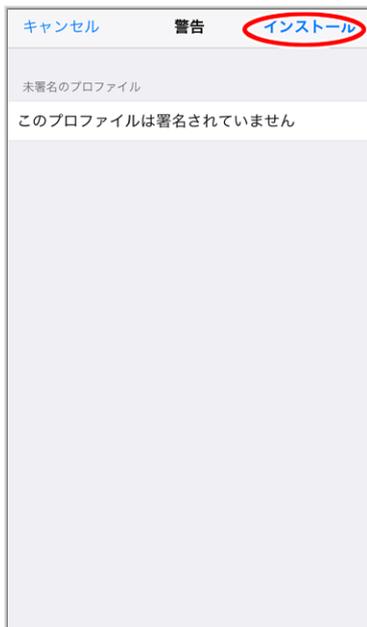
9. [インストール]をタップします。



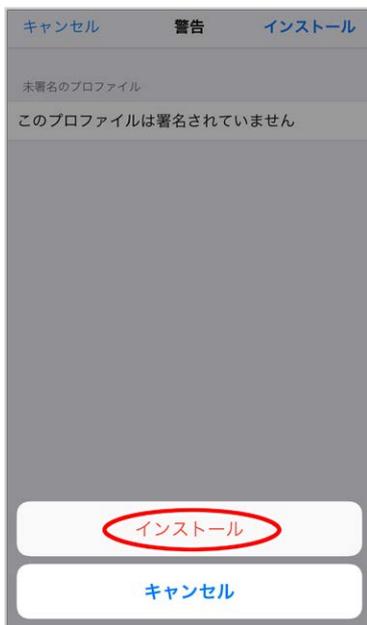
◆ 補足 ◆

- パスコードを入力する画面が表示された場合は、パスコードを入力してください。

10. [インストール]をタップします。



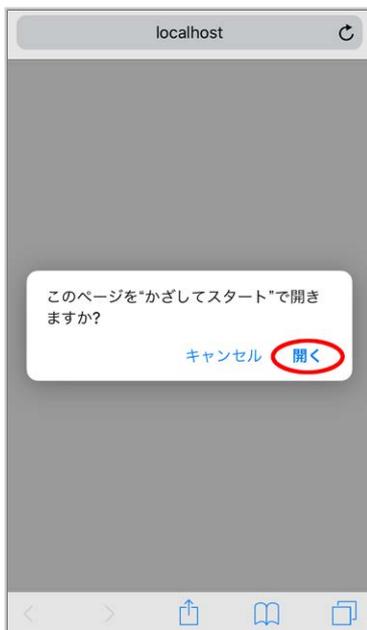
11. [インストール]をタップします。



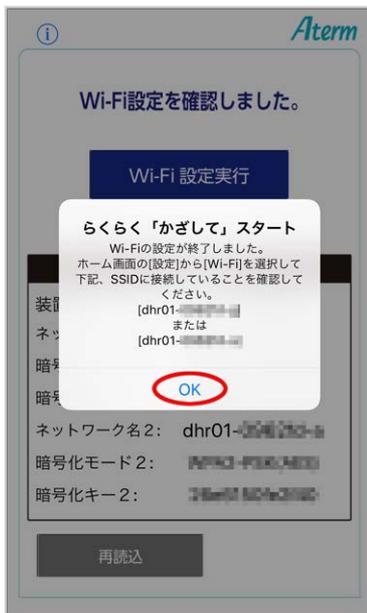
12. [完了]をタップします。



13. [開く]をタップします。



14. [OK]をタップします。



以上で、本製品へのWi-Fi接続設定は完了です。

◆ 補足 ◆

- 下の画面が表示された場合は、インターネット接続のためのPPPoE回線の設定を行うことができます。
[STEP2 インターネット接続設定]をタップし、画面にしたがって設定してください。
※ 回線設定を行わない場合は、ホームボタンを押して終了してください。
iOS端末によってはホームボタンがありません。ホームボタンに代わる操作は、当該iOS端末の取扱説明書をご確認ください。
※ パスワードを求められた場合は、管理者パスワードを入力してください。
本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード (Web PW) が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。

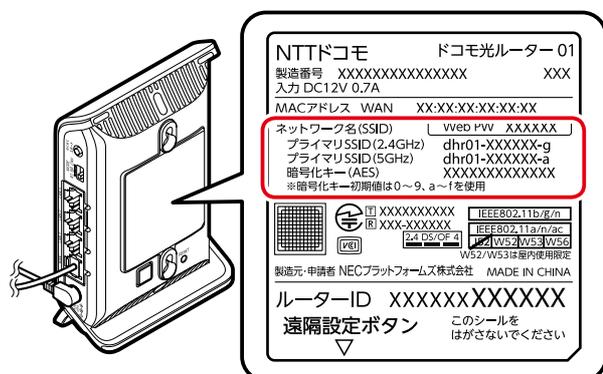


手動で接続する

設定を行う前に

本製品のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認してください。

- お買い上げ時のネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーは、本製品に貼付のラベルに記載されています。



- ネットワーク名 (SSID) は、通常は、本製品に貼付のラベルに記載されたプライマリSSIDをご利用ください。
- セカンダリSSIDはIEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)や訪問者(ゲスト)などが接続するSSIDです。セカンダリSSIDを確認する場合は、有線接続したパソコンや、すでにWi-Fi接続した端末からクイック設定Webで確認してください。

<確認方法>

[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」にあるセカンダリSSIDの設定項目

ただし、セカンダリSSIDはお買い上げ時にはWi-Fi機能が無効に設定されています。接続するためには、上記確認方法の画面で「Wi-Fi機能」を「使用する」に設定する必要があります。

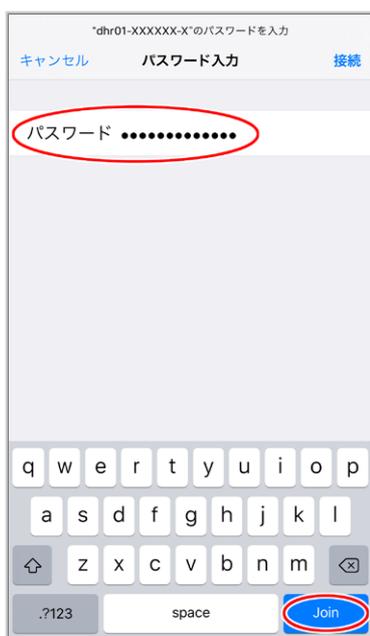
1. ホーム画面で「設定」をタップします。

2. [Wi-Fi]をタップします。

3. 「Wi-Fi」を「オン」にして、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップします。



4. 「パスワード」に本製品の暗号化キー (半角小文字) を入力して、「接続」または「Join」をタップします。



◆ 補足 ◆

- 暗号化キーには、8～63桁の英数記号、または64桁の16進数で入力します。(半角で入力)
※ 暗号化キーに使用できる文字は以下のとおりです。

- 8～63桁の場合: 英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下表の記号)

!	%)	-	;	?]	{
”	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	`	~

※ 「\」(バックスラッシュ) はパソコンによっては、「¥」と表示されます。

- 64桁の場合: 16進数 (0～9、a～f、A～F)

5. ステータスバーに下記のアイコンが表示されたらWi-Fi接続は完了です。



ゲーム機から本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キーなどを、ご利用の子機に設定します。

ここでは、ゲーム機から、本製品へWi-Fi接続する手順について説明します。

● PlayStation® Vitaの場合

● ニンテンドー3DSの場合

◆ 注意 ◆

ニンテンドーDS、DS Lite、DSi、DSi LL、PSP®「プレイステーション・ポータブル」およびPSP®「プレイステーション・ポータブル」goをご利用の場合

- らくらく無線スタートを行うためには、事前に本製品のWEPを有効に設定する必要があります。ただしWEPは第三者からの傍受や盗聴の危険性が高い暗号化方式です。その点を認識していただいたうえで本製品のWEPを有効に設定し、らくらく無線スタートを行ってください。
なお本製品のWEPを有効に設定するには、[クイック設定Web](#)の「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」でセカンダリSSIDのWi-Fi機能を「使用する」にした後、暗号化モードを「WEP」に設定してください。
- ニンテンドーDSi、DSi LLの[上級者設定] (接続先4~6)、PSP®「プレイステーション・ポータブル」およびPSP®「プレイステーション・ポータブル」goからWPSまたは手動にて、WEP以外でWi-Fi設定する場合には、WEPを有効にする必要はありません。

▶ 設定を行う前に

- 本製品と子機の距離を1~3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器 (コードレス電話やテレビ、電子レンジなど) から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

▶ 設定手順

PlayStation® Vitaの場合

1. メインメニューの「設定」-「ネットワーク」を選択します。



2. 「Wi-Fi設定」を選択します。



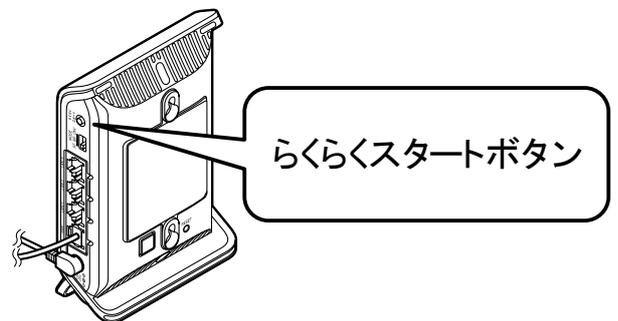
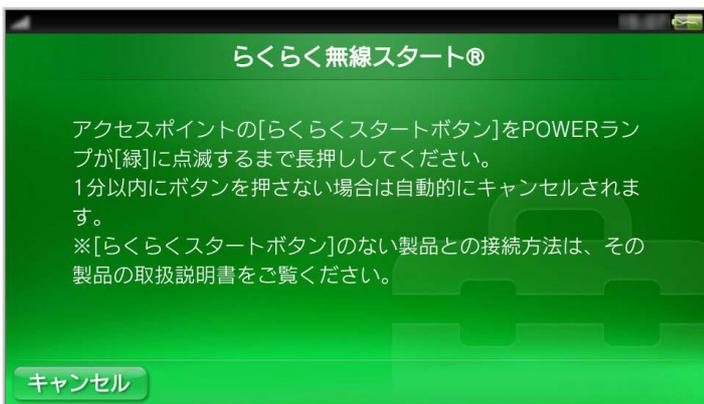
3. 画面を下にスライドさせて「らくらく無線スタート」を選択します。



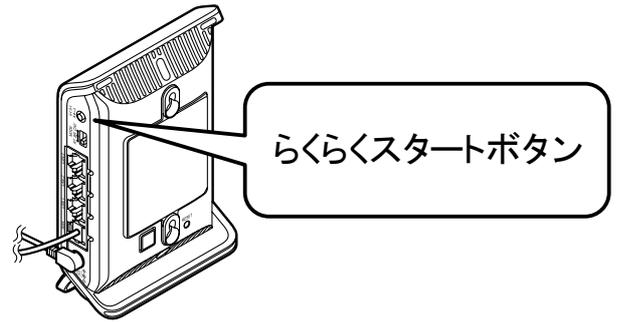
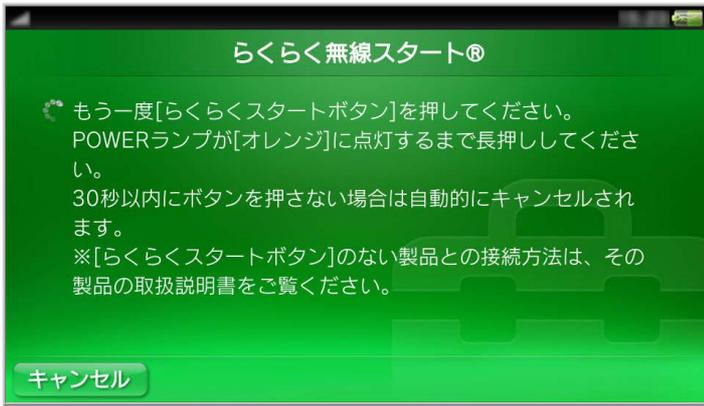
◆ 補足 ◆

選択できない場合は[Wi-Fi]にチェックを入れた後「らくらく無線スタート」を選択してください。

4. 下の画面が表示されたら、1分以内に本製品のらくらくスタートボタンを長押し(約10秒)して、POWERランプが黄緑点滅したら離します。



5. 本製品のPOWERランプが橙点滅に変わったら、30秒以内にらくらくスタートボタンを長押しし、POWERランプが橙点灯になったら離します。



6. 本製品からWi-Fi設定情報が転送され、Wi-Fi接続が完了します。



ニンテンドー3DSの場合

◆ 補足 ◆

- 本製品のインターネット接続設定を完了させてから、以下の手順でWi-Fi接続してください。本製品のインターネット接続設定は、[「インターネットに接続する」](#)を参照してください。
- 事前に、ニンテンドー3DSの無線(ワイヤレス)機能が「ON」になっていることをご確認ください。

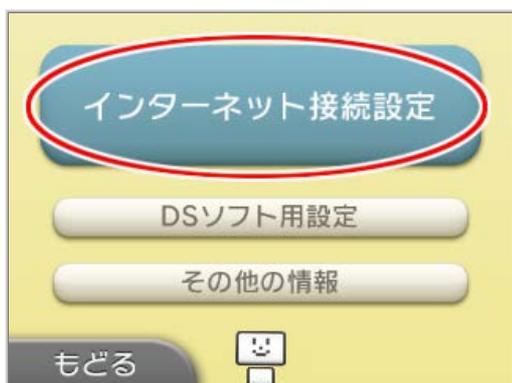
1. HOMEメニューから「本体設定」を選択し、「はじめる」をタッチします。



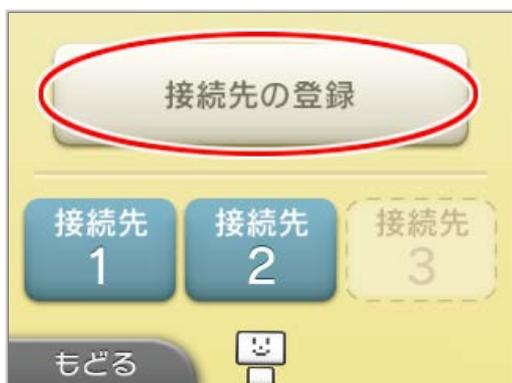
2. 「インターネット設定」をタッチします。



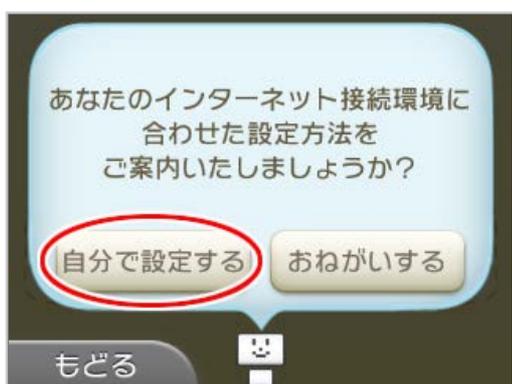
3. 「インターネット接続設定」をタッチします。



4. 「接続先の登録」をタッチします。



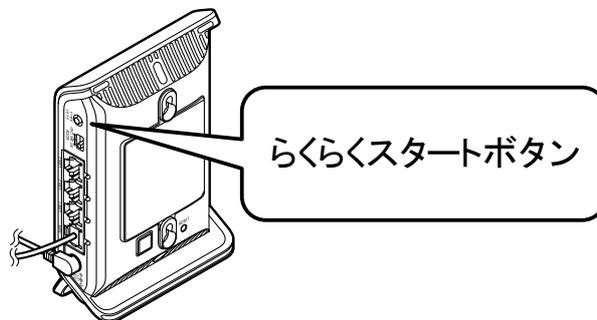
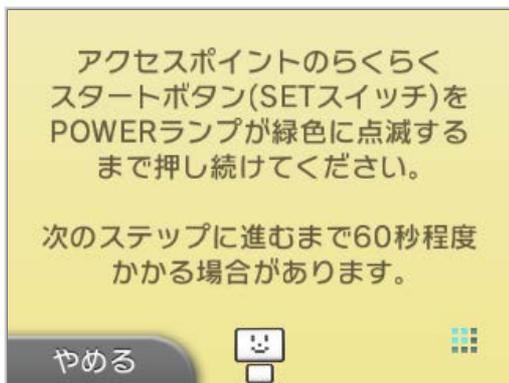
5. 「自分で設定する」をタッチします。



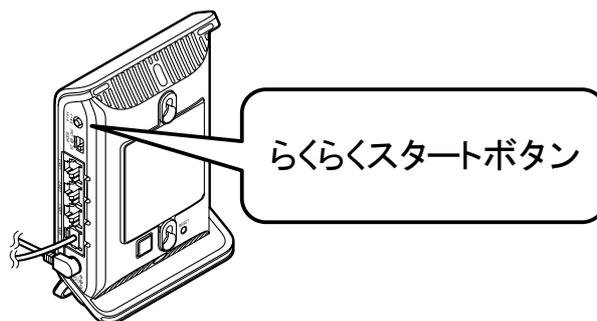
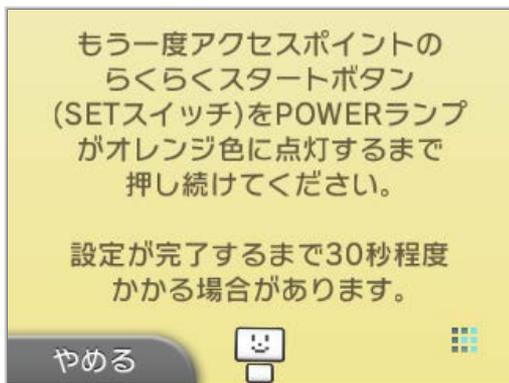
6. 「らくらく無線スタート」をタッチする



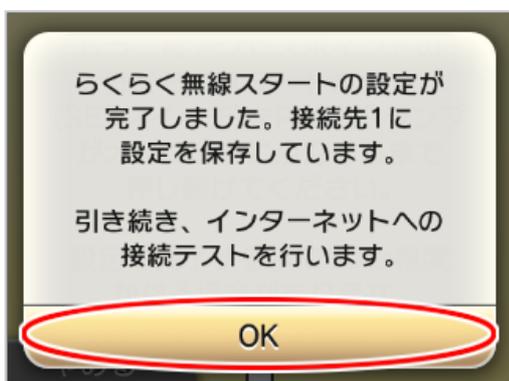
7. 下の画面が表示されたら、1分以内に本製品のらくらくスタートボタンを長押し(約10秒)して、POWERランプが黄緑点滅したら離します。



8. 本製品のPOWERランプが橙点滅に変わったら、30秒以内にらくらくスタートボタンを長押しし、POWERランプが橙点灯になったら離します。



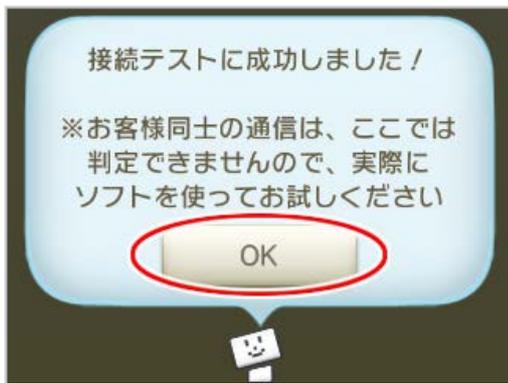
9. 設定が完了したら、接続テストを行うので、[OK]をタッチします。



10. 接続テストが実行されます。



11. 接続テストが成功したら、[OK]をタッチします。



プリンタから本製品にWi-Fi接続する

本製品へWi-Fi接続するには、本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キーなどを、ご利用のプリンタに設定します。

ここでは、Wi-Fi対応のプリンタから、本製品へWi-Fi接続する手順について説明します。

次の方法から選択してください。

- らくらく無線スタートで接続する (下記)

本ページで設定手順を説明します。

らくらく無線スタートに対応したプリンタの場合は、この方法で接続することができます。

- WPSで接続する

WPSに対応したプリンタの場合は、この方法で接続することができます。

- 手動で接続する

本製品のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーをプリンタ側に手入力で設定する方法です。

設定方法は、プリンタの取扱説明書などを参照してください。

設定に必要なネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、クイック設定Webの「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定 (5GHz)」で確認してください。

▶ 設定を行う前に

- 本製品の設定を確認してください。
 - ー 本製品に暗号化の設定がされているか。(「暗号化無効」の場合、らくらく無線スタートでの設定はできません。)
 - ー MACアドレスフィルタリング機能を使用している場合は、MACアドレスの登録数が制限数いっぱいでないか。(MACアドレスフィルタリング機能を使用している場合、らくらく無線スタートでプリンタのMACアドレスを自動的に登録します。制限数いっぱいの場合、らくらく無線スタートでの設定はできません。)
- プリンタのWi-Fi機能を有効にしてください。方法は、プリンタの取扱説明書などを参照してください。
- 本製品と子機の距離を1～3mに近づけてWi-Fi接続してください。距離が離れすぎていると、物や壁、扉などに阻まれて設定できない場合があります。
- 電波に影響を与える機器 (コードレス電話やテレビ、電子レンジなど) から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

▶ 設定手順

◆ 注意 ◆

- らくらく無線スタートでの設定中、本製品では、「クイック設定Web」による設定およびWi-Fi通信はできません。

1. プリンタ側で、らくらく無線スタートを起動します。
起動方法は、プリンタの取扱説明書などを参照してください。

2. 1分以内に本製品のらくらくスタートボタンを長押し(約10秒)して、POWERランプが黄緑点滅になったら離します。



◆ 注意 ◆

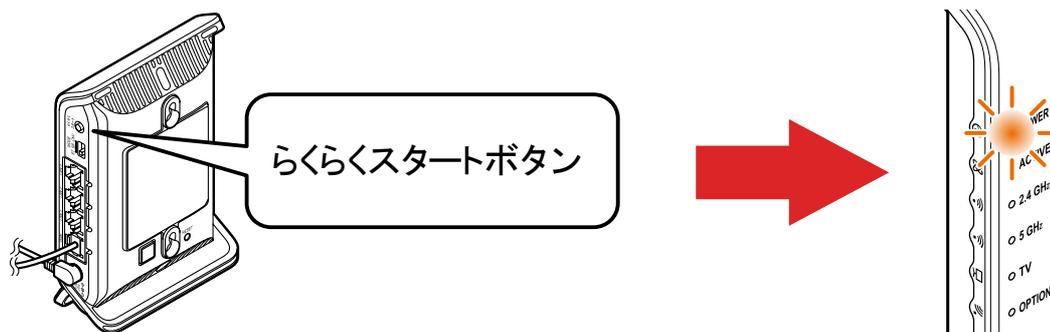
POWERランプが約10秒間赤点灯した場合は、らくらく無線スタートに失敗しています。

下記の原因が考えられます。本製品の[クイック設定Web](#)で確認してください。(どちらかに当てはまる場合は、らくらく無線スタートでの設定はできません)

- 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」で、「暗号化モード」が「暗号化無効」に設定されている。
→「暗号化無効」以外に変更し、暗号化キーなどを設定してください。
- 「Wi-Fi設定」-「MACアドレスフィルタリング」で、MACアドレスの登録数が制限いっぱいである。
→不要なMACアドレスを削除してください。

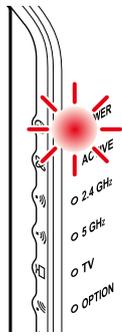
本製品の設定を変更してから、手順1から設定し直してください。

3. 本製品のPOWERランプが橙点滅に変わったら、30秒以内に本製品のらくらくスタートボタンを長押しし、POWERランプが橙点灯になったら離します。



◆ 注意 ◆

- 本製品のPOWERランプが橙点滅に変わってから30秒以内にらくらくスタートボタンを押さなかった場合、Wi-Fi接続は自動的にキャンセルされます。
- 失敗した場合は、POWERランプが約10秒間赤点灯します。手順1から設定をやり直してください。



◆ 補足 ◆

- POWERランプは約10秒間橙点灯した後、黄緑点灯に戻ります。

4. 本製品からWi-Fi設定情報が転送され、Wi-Fi接続が完了します。
プリンタのモニタなどで、結果を確認してください。

異なる暗号化方式の子機を同時に接続する(マルチSSID機能)

本製品には2つのネットワーク「プライマリSSID」「セカンダリSSID」があり、それぞれ異なるセキュリティの設定ができます。これらのSSIDは同時に動作しているため、WPA/WPA2を利用可能な子機と、ニンテンドーDSなどWEPのみが利用可能な子機が共存可能です。

◆ 参考 ◆

- らくらく無線スタート利用時には、子機の無線LAN規格に応じて、どのSSIDに接続するかは自動選択・設定されますので、通常、これらのSSIDの存在を意識していただく必要はありません。

お買い上げ時には、ネットワーク名(SSID)は下記のとおり設定されています。

◆ 補足 ◆

- それぞれのネットワーク名(SSID)の設定内容は、クイック設定Webの「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」、「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」、「詳細モード」の場合は「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」、「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」で確認することができます。
クイック設定Webの使用方法は、[「クイック設定Webの使いかた」](#)を参照してください。

プライマリSSID

お買い上げ時: dhr01-xxxxxx-g (2.4GHz帯の場合)
dhr01-xxxxxx-a (5GHz帯の場合)
→本製品に貼付のラベルに記載されています。

通常は、こちらに接続してください。

- 暗号化方式としてWPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)が利用可能。
お買い上げ時はWPA/WPA2-PSK(AES)
- 子機がWPA-PSK(AES)またはWPA2-PSK(AES)を利用している場合、2.4GHz帯ではIEEE802.11n、5GHz帯ではIEEE802.11acによる高速通信が利用可能。

セカンダリSSID(2.4GHz帯の場合)

お買い上げ時: dhr01-xxxxxx-gw
→クイック設定Webで確認することができます。

IEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)や訪問者(ゲスト)などが接続するSSIDです。

- お買い上げ時には、Wi-Fi機能が無効に設定されています。子機を接続するには、クイック設定WebでWi-Fi機能を有効に設定する必要があります。
- 暗号化方式としてWEP 128bit、WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)が利用可能。

セカンダリSSID(5GHz帯の場合)

お買い上げ時: dhr01-xxxxxx-ax

→クイック設定Webで確認することができます。

- お買い上げ時には、Wi-Fi機能が無効に設定されています。子機を接続するには、クイック設定WebでWi-Fi機能を有効に設定する必要があります。
- 暗号化方式としてWPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)が利用可能。

Wi-Fi通信を安定させたい

本製品のWi-Fi通信が安定しないときは、周囲に複数のアクセスポイントが設置されているなど、他のネットワークからの電波干渉が原因として考えられます。

本製品では、起動時に周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz帯および5GHz帯のそれぞれで電波状態のよいチャンネルを自動選択する「オートチャンネルセレクト機能」がお買い上げ時に設定されていますが、本製品の電源を入れ直しても安定しないときは、[チャンネルを変更する](#)ことで改善する場合があります。

また、他のネットワークでWi-Fi通信が安定しないときは、本製品が他のネットワークへ電波干渉している場合が考えられます。その場合は[送信出力を抑える](#)と、他のネットワークへの電波干渉を回避できる場合があります。

▶ 設定手順

チャンネルを変更する

[クイック設定Web](#)で変更します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
[詳細モードに切替]
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

基本設定(かんたんモード)
Wi-Fi 設定
Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
現在の状態

ドコモ光ルーター 01
クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報	
装置名	DHR01-XXXXXX
動作モード	IPv4

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 「使用チャンネル」を選択します。

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi (2.4GHz)の詳細設定を行います。

デュアルチャンネル機能	使用する(自動切替) ▾
使用チャンネル	自動 ▾
プロテクション機能	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
送信出力	100% ▾
TVモード	使用する ▾
IPv6マルチキャスト	すべて転送する ▾
マルチキャスト伝送速度(Mbps)	1 ▾

※ 画面は「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」の場合の例です。

◆ 補足 ◆

- 他の無線LANからの影響を避けるには、使用中のチャンネルから4チャンネル以上(安定した通信を行うためには5チャンネル以上)あけることをお勧めします。現在使用中のチャンネルは、「現在の状態」を参照してください。
- 5GHz帯のW53/W56チャンネル利用時にレーダー波を検出した場合は、DFS機能により自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

3. [設定]をクリックします。

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

送信出力を抑える

クイック設定Webで設定します。

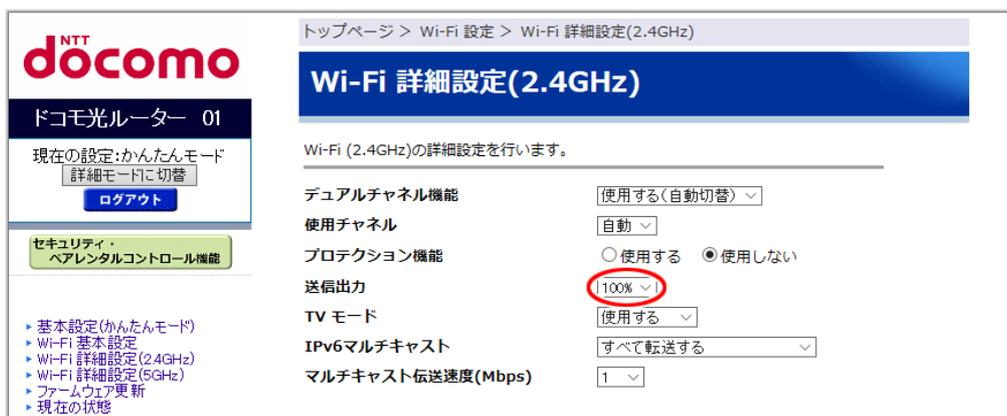
1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。
※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 「送信出力」でWi-Fi通信の送信出力率を選択します。
「100%」、「70%」、「50%」、「35%」、「15%」から選択できます。
率が低いほど送信出力を抑えることができます。

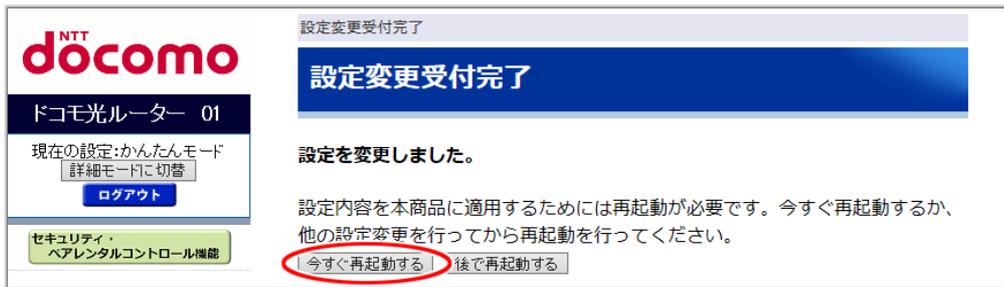


※ 画面は「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」の場合の例です。

3. [設定]をクリックします。

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ うまく動作しない場合は

- 電波に影響を与える機器(コードレス電話やテレビ、電子レンジなど)から離れてWi-Fi接続してください。電波に影響を与える機器は、通信を遮断してしまう場合があります。

Wi-Fiの通信速度を向上させたい

本製品のWi-Fiの通信速度を向上させたい場合は、「デュアルチャネル機能」または「クワッドチャネル機能」、「プロテクション機能」を使用します。

● デュアルチャネル機能

Wi-Fi通信で利用するチャンネルの幅を、20MHzから40MHzに拡大することにより、約2倍の通信速度を実現することができます。

※ 本製品でデュアルチャネル機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz帯のみです。

● クワッドチャネル機能

Wi-Fi通信で利用するチャンネルの幅を、20MHzから80MHzに拡大することにより、約4倍の通信速度を実現することができます。

※ 本製品でクワッドチャネル機能が利用可能な周波数帯は、5GHz帯のみです。

● プロテクション機能

子機との通信にRTS/CTSフロー制御を行う場合に使用します。

※ Wi-Fi接続する子機が少ない場合や、周囲に他の親機が存在しない場合には、「使用しない」に設定してください。それ以外では、「使用する」に設定することにより、Wi-Fi通信速度が向上する場合があります。

※ 本製品でプロテクション機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz帯のみです。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

※ 「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

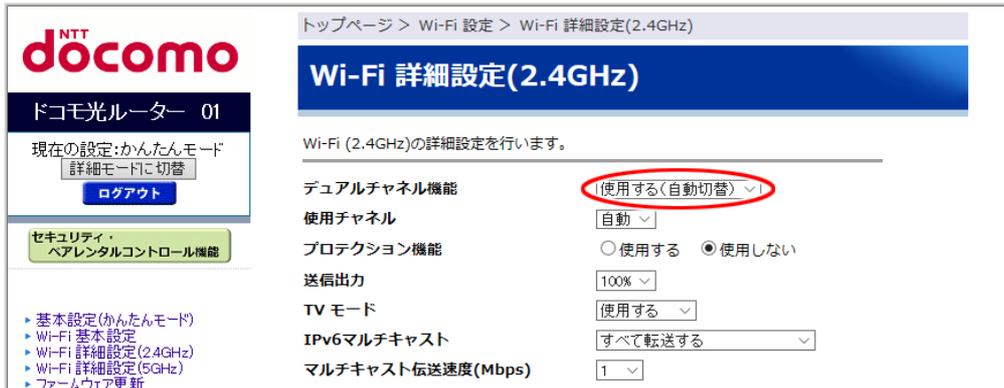
装置情報	
装置名	DHR01-XXXXXX
動作モード	IPv4

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. デュアルチャネル機能を設定する場合は、「デュアルチャネル機能」で「使用する(自動切替)」または「使用する(優先)」を選択します。(「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」画面での設定です)

- 使用する(自動切替)
周囲のWi-Fiの電波状況によって、40MHz/20MHzモードが自動で切り替わります。
- 使用する(優先)
優先してデュアルチャネル接続になります。なお、デュアルチャネルに対応していない子機との通信は20MHzの通信となります。
- 使用しない
デュアルチャネル機能を使用しません。



3. クワッドチャネル機能を設定する場合は、「クワッドチャネル機能」で「使用する」を選択します。(「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」画面での設定です)

- 使用する
周囲のWi-Fiの電波状況によって、80MHz/40MHz/20MHzモードが自動で切り替わります。
- 使用しない
クワッドチャネル機能を使用しません。他の子機が多い場合や他の親機が存在する場合に選択してください。



4. プロテクション機能を設定する場合は、「プロテクション機能」で「使用する」を選択します。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

基本設定(かんたんモード)
Wi-Fi 基本設定
Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
ファームウェア更新

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi (2.4GHz)の詳細設定を行います。

デュアルチャネル機能	使用する(自動切替) ↓
使用チャンネル	自動 ↓
プロテクション機能	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
送信出力	100% ↓
TVモード	使用する ↓
IPv6マルチキャスト	すべて転送する ↓
マルチキャスト伝送速度(Mbps)	1 ↓

※画面は「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」の場合の例です。

5. [設定]をクリックします。

6. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

今すぐ再起動する 後で再起動する

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ うまく動作しない場合は

- 同帯域を使用するWi-Fi機器が多数存在する環境でデュアルチャネル/クワッドチャネル機能を動作させると、Wi-Fi接続ができない場合があります。そのような場合には、使用するチャンネルを変更するか、デュアルチャネル/クワッドチャネル機能を「使用しない」に設定してご利用ください。
- ご利用環境によっては、40MHz/20MHzまたは80MHz/40MHz/20MHzが自動で切り替わるため、クワッドチャネル/デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、20MHzで接続される場合があります。

6-2.本製品を設定しよう

本製品は、クイック設定Webを使って、本製品のさまざまな設定をしたり状態を確認したりできます。

クイック設定Webの使いかた

クイック設定Webとは、Microsoft EdgeやInternet ExplorerなどのWWWブラウザで表示できる本製品の設定画面です。本製品に接続されているパソコンやスマートフォン／タブレット端末などからWWWブラウザを使用してクイック設定Webを起動することで、本製品の設定変更や状態確認を行うことができます。

スマートフォン／タブレット端末で使う場合は、[「クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)」](#)を参照してください。

▶ 設定を行う前に

- 子機からクイック設定Webを起動する場合はあらかじめ本製品と子機との通信を確立してから設定を行ってください。
- お買い上げ時には、[ネットワーク分離機能](#)が機能し、セカンダリSSIDにWi-Fi接続されている子機からクイック設定Webは表示できません。プライマリSSIDにWi-Fi接続して表示してください。
- ブリッジモードでご利用の場合は、LANポートにパソコンを接続する必要があります。(WANポートではご利用になれません。)
- WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。ご利用のWWWブラウザやその設定によっては、説明されている操作を行った際に、WWWブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
- [WWWブラウザの接続設定](#)を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

▶ 使いかた

● 起動のしかた

- ・ [ルータモードでご利用の場合](#)
- ・ [ブリッジモードでご利用の場合\(ACTIVEランプが橙点灯している場合\)](#)

● 終了のしかた

◆ 補足 ◆

- WWWブラウザの[戻る]、[進む]、[更新]ボタンは使用しないでください。本製品への操作が正しく行われな場合があります。
- WWWブラウザの設定により、セキュリティに関するダイアログが表示される場合があります。その場合は、表示内容をご確認のうえ、操作を行ってください。
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWWWブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

起動のしかた

■ ルータモードでご利用の場合

1. パソコンなどを起動します。

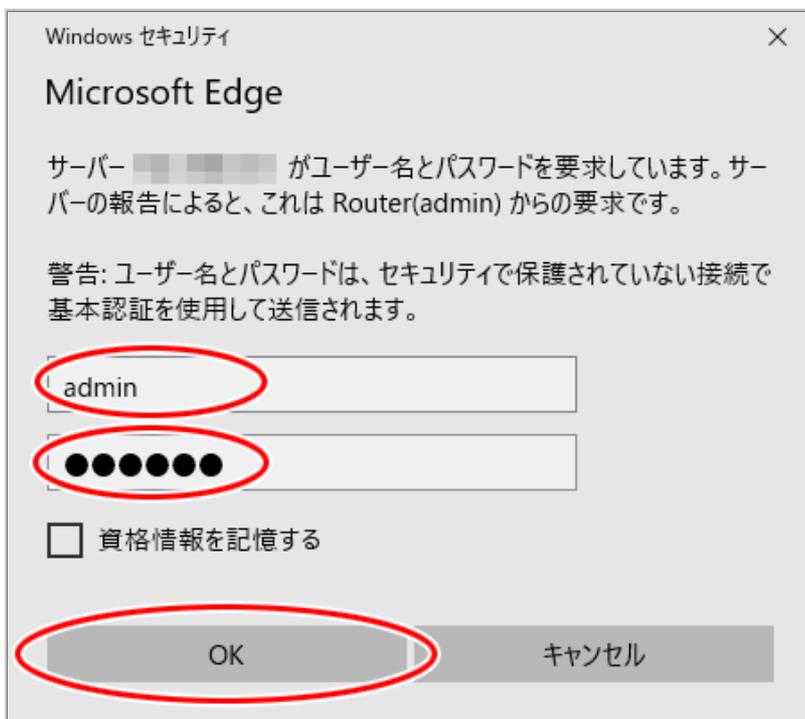
2. WWWブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動します。

http://192.168.10.1/ もしくはhttp://dhr.tool/

◆ 補足 ◆

- 本製品のIPアドレス(お買い上げ時は192.168.10.1)を変更している場合は、変更した値を入力してください。
- Windows 10搭載のパソコンでInternet Explorer を起動する場合は、下記のどちらかの方法で起動してください。
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [すべてのアプリ] - [Windowsアクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [Windows アクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック

3. 「ユーザー名」(上段)に「admin」を、「パスワード」(下段)に管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- ユーザー名「admin」は半角小文字で入力してください。
- 本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 管理者パスワードがわからない場合は、本製品を[初期化](#)し、本製品に貼付のラベルに記載されているパスワード(Web PW)でログインしてください。
初期化方法は、「[初期化する](#)」を参照してください。

◆ 注意 ◆

- WWWブラウザの設定によってはパスワードがWWWブラウザに保存されます。
パスワードを再入力することなくログインが可能になりますが、セキュリティ上、WWWブラウザにはパスワードを保存しないことをお勧めします。

- 認証画面が表示されずに、「ログイン認証に失敗しました。」の画面が表示された場合は、本製品の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。
- 管理者パスワードを10回間違えると、本製品へのアクセスができなくなります。その場合は、本製品の電源を入れ直すと、復旧することができます。復旧後、手順1からやり直してください。

4. クイック設定Webのトップページが開きます。



■ ブリッジモードでご利用の場合 (ACTIVEランプが橙点灯している場合)

1. 本製品の電源をいったん切ります。
2. 本製品のらくらくスタートボタンを押しながら電源を入れ、OPTIONランプが緑点滅したら離します。本製品の強制DHCPサーバが起動します。動作中はOPTIONランプが緑点滅します。

◆ 注意 ◆

- 強制DHCPサーバの動作中は、WAN側通信不可のため、次の機能は実行できません。
 - ・ オンラインバージョンアップ
 - ・ [時刻を合わせる]ボタン
 - ・ [設定用QRコード生成]ボタン
 - ・ [取扱説明書]ボタン

◆ 参考 ◆

- 通常、ブリッジモードでクイック設定Webを起動するためには、本製品に割り当てられているIPアドレスをWWWブラウザのアドレス欄に入力する必要があります。しかし、強制的にDHCPサーバを起動させることで、本製品に割り当てられているIPアドレスの確認をすることなく、クイック設定Webを開くことができます。(強制DHCPサーバ機能)

3. 本製品に有線接続したパソコンなどを起動します。

4. WWWブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動します。

http://192.168.1.210/

◆ 補足 ◆

- Windows 10搭載のパソコンでInternet Explorer を起動する場合は、下記のどちらかの方法で起動してください。
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [すべてのアプリ] - [Windowsアクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [Windows アクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック

5. 「ユーザー名」(上段)に「admin」を、「パスワード」(下段)に管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

Windows セキュリティ

Microsoft Edge

サーバー 192.168.1.210 がユーザー名とパスワードを要求しています。
サーバーの報告によると、これは Router(admin) からの要求です。

警告: ユーザー名とパスワードは、セキュリティで保護されていない接続で基本認証を使用して送信されます。

admin

●●●●●●

資格情報を記憶する

OK キャンセル

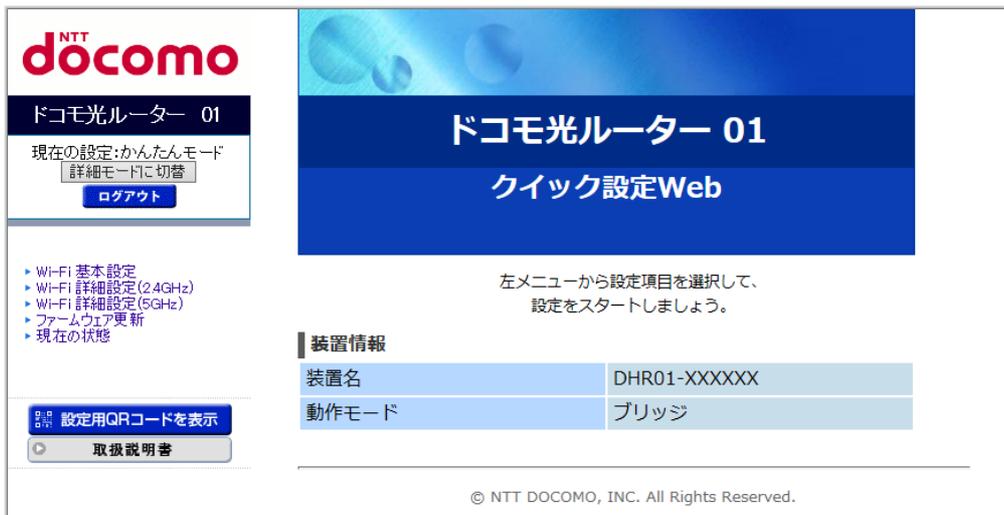
◆ 補足 ◆

- ユーザー名「admin」は半角小文字で入力してください。
- 本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 管理者パスワードがわからない場合は、本製品を[初期化](#)し、本製品に貼付のラベルに記載されているパスワード(Web PW)でログインしてください。
初期化方法は、[「初期化する」](#)を参照してください。

◆ 注意 ◆

- WWWブラウザの設定によってはパスワードがWWWブラウザに保存されます。パスワードを再入力することなくログインが可能になりますが、セキュリティ上、WWWブラウザにはパスワードを保存しないことをお勧めします。
- 認証画面が表示されずに、「ログイン認証に失敗しました。」の画面が表示された場合は、本製品の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。
- 管理者パスワードを10回間違えると、本製品へのアクセスができなくなります。その場合は、本製品の電源を入れ直すと、復旧することができます。復旧後、手順1からやり直してください。

6. クイック設定Webのトップページが開きます。



7. 設定が完了したら、トップページで[詳細モードに切替]をクリックした後、「メンテナンス」-「再起動」で本製品を再起動します。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 参考 ◆

- 再起動を行うことで、DHCPサーバ機能を停止します。

1. クイック設定Webの左側メニュー上部にある[ログアウト]をクリックし、[OK]をクリックしてください。



2. WWWブラウザ画面を閉じてください。

◆ 注意 ◆

- 不正アクセスを防止するため、クイック設定Webを終了する際はログアウトを行い、WWWブラウザ画面は必ず閉じてください。

▶ うまく動作しない場合は

- クイック設定Webが起動しない場合

ーWWWブラウザの設定で、JavaScriptの設定が有効になっていますか。

Microsoft Edgeでは、初期状態でJavaScriptは有効に設定されています。

ーWWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定されていますか。

WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。

WWWブラウザの設定方法は、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

(例)Internet Explorer 11.0の場合

1. 「ツール」-「インターネットオプション」-「全般」-「閲覧の履歴」-「設定」を開きます。
2. 「インターネット一時ファイル」の「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択します。

ーパソコンにIPアドレスが設定されていますか。

確認方法は、[「パソコンなどのIPアドレスを確認する」](#)を参照してください。

パソコンにIPアドレスが設定されていない場合は、下記の確認、設定を行ってください。

→ パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。

パソコンのIPアドレスを自動的に設定させるために、下記のどちらかの方法をお試しください。

- a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れます。起動後、[「パソコンなどのIPアドレスを確認する」](#)を参照して、パソコンのIPアドレスを確認します。
- b. [「パソコンなどのIPアドレスを再取得する」](#)を参照して、パソコンのIPアドレスを取り直します。

→ Wi-Fiをご利用の場合は、[「さまざまな子機からWi-Fi接続する」](#)を参照してWi-Fi通信を確立させてください。

- 「自動判定機能 実行中」と表示され、設定できない場合
一回線契約の自動判定機能を実行中です。
本製品の電源を切らず、自動判定が終わるまで数分間お待ちください。

クイック設定Webの使いかた (Atermスマートリモコン)

スマートフォン／タブレット端末から、「Atermスマートリモコン」アプリを使用したクイック設定Webの起動方法を説明します。

クイック設定Webとは、WWWブラウザで表示できる本製品の設定画面です。

▶ 設定を行う前に

- 設定に使用するスマートフォン／タブレット端末は、あらかじめ本製品と同じネットワークにWi-Fi接続してください。
- お買い上げ時には、[ネットワーク分離機能](#)が機能し、セカンダリSSIDにWi-Fi接続されているスマートフォン／タブレット端末からクイック設定Webは表示できません。プライマリSSIDにWi-Fi接続して表示してください。
- WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。ご利用のWWWブラウザやその設定によっては、説明されている操作を行った際に、WWWブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

▶ 使いかた

● [起動のしかた](#)

● [終了のしかた](#)

◆ 補足 ◆

- WWWブラウザの[戻る]、[進む]、[更新]ボタンは使用しないでください。本製品への操作が正しく行われなない場合があります。
- WWWブラウザの設定により、セキュリティに関するダイアログが表示される場合があります。その場合は、表示内容をご確認のうえ、操作を行ってください。
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWWWブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

起動のしかた

※ 下記の手順は、「Atermスマートリモコン」バージョン2.0.0の場合の例です。

1. 「Atermスマートリモコン」アプリを検索して、ダウンロードおよびインストールします。

※ 本製品に対応しているアプリは、バージョン1.0.2以降となります。

※ すでに「Atermスマートリモコン」がインストールされている場合は、手順2に進んでください。

2. スマートフォン／タブレット端末のホーム画面から、「Atermスマートリモコン」のアイコンをタップします。



3. 下の画面が表示されます。

※ 利用許諾契約書が表示された場合は、よく読んで[同意]をタップしてください。



4. 設定したい機器をタップします。



※ 設定したい機器を機種名 (DHR01-XXXXXX) で確認してタップしてください。

※ 設定したい機器が表示されない場合は、機器の電源をいったん切って入れ直し、Wi-Fi接続した後、「

🔄」をタップします。

5. 「クイック設定Web」をタップします。

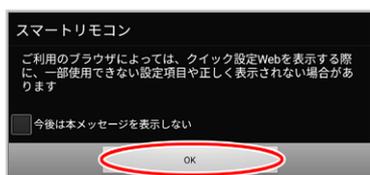


6. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をタップします。



※ エラー画面が表示されたら、画面のメッセージにしたがってください。

7. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をタップします。



8. WWWブラウザが複数ある場合は、下の画面が表示されることがありますので、使用するWWWブラウザをタップし、[常時]または[1回のみ]をタップします。



◆ 参考 ◆

- 標準ブラウザがある場合は、標準ブラウザを選択することをお勧めします。
- 縦画面に表示された文字が小さくて読み取りにくい場合は、横画面にしてご利用ください。

9. 「ユーザー名」に「admin」を、「パスワード」に管理者パスワードを入力し、「ログイン」をタップします。



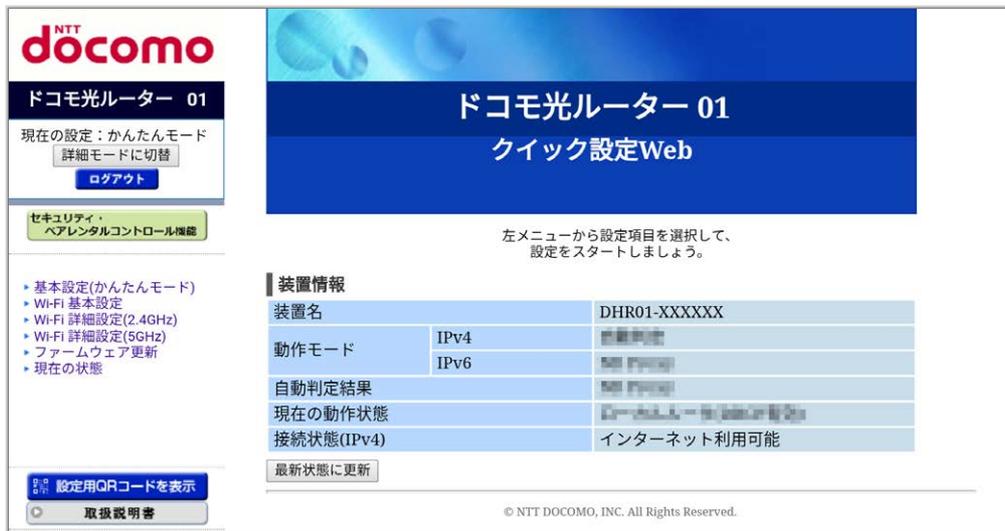
◆ 補足 ◆

- ユーザー名「admin」は半角小文字で入力してください。
- 本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 管理者パスワードがわからない場合は、本製品を[初期化](#)し、本製品に貼付のラベルに記載されているパスワード(Web PW)でログインしてください。
初期化方法は、[「初期化する」](#)を参照してください。

◆ 注意 ◆

- WWWブラウザの設定によってはパスワードがWWWブラウザに保存されます。
パスワードを再入力することなくログインが可能になりますが、セキュリティ上、WWWブラウザにはパスワードを保存しないことをお勧めします。
- 認証画面が表示されずに、「ログイン認証に失敗しました。」の画面が表示された場合は、本製品の電源を入れ直し、手順2からやり直してください。
- 管理者パスワードを10回間違えると、本製品へのアクセスができなくなります。
その場合は、本製品の電源を入れ直すと、復旧することができます。復旧後、手順2からやり直してください。

10. WWWブラウザで本製品の「クイック設定Web」のトップページが表示されます。



終了のしかた

1. クイック設定Webの左側メニュー上部にある[ログアウト]をタップし、[OK]をタップしてください。



2. WWWブラウザ画面を閉じてください。

◆ 注意 ◆

- 不正アクセスを防止するため、クイック設定Webを終了する際はログアウトを行い、WWWブラウザ画面は必ず閉じてください。

▶ うまく動作しない場合は

- クイック設定Webが起動しない場合
 - WWWブラウザの設定で、JavaScriptの設定が有効になっていますか。
 - WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定されていますか。
WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。
WWWブラウザの設定方法は、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

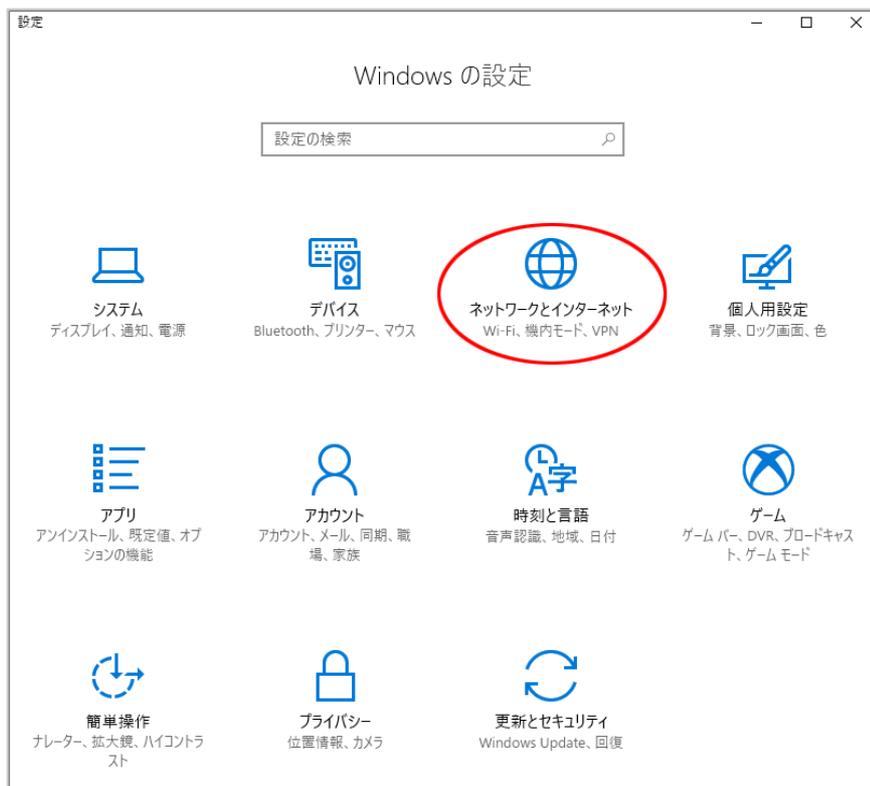
(例) Google Chrome の場合

「メニュー」-「設定」-「プライバシー」-「閲覧履歴データを消去する」を開き削除します。

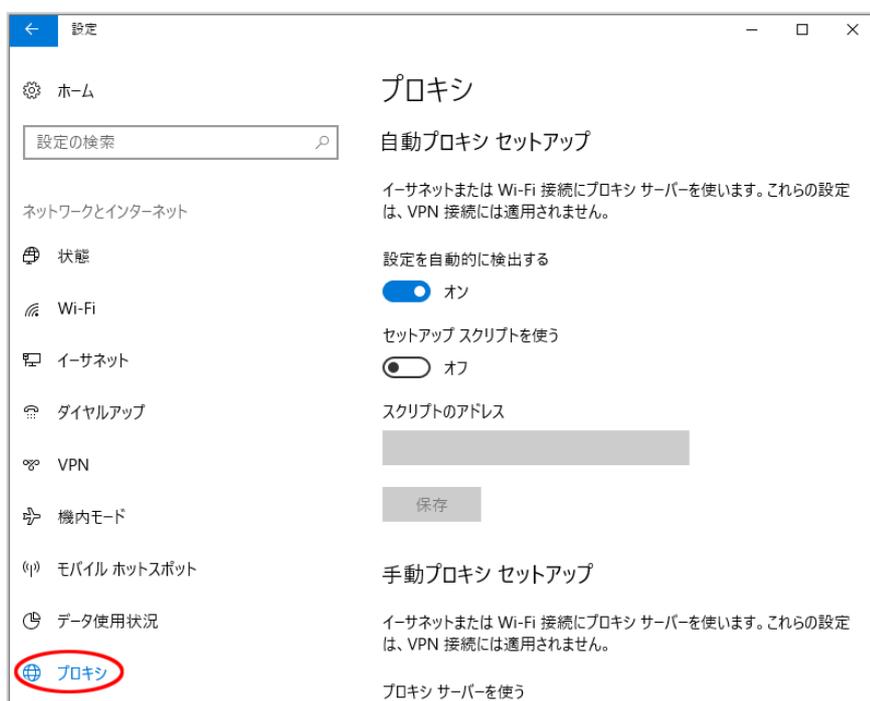
WWWブラウザの接続設定

WWWブラウザの接続設定を「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は、Windows 10 をご利用の場合の手順です。

1. Windows のロゴボタンをクリックし、[設定]をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット]をクリックします。



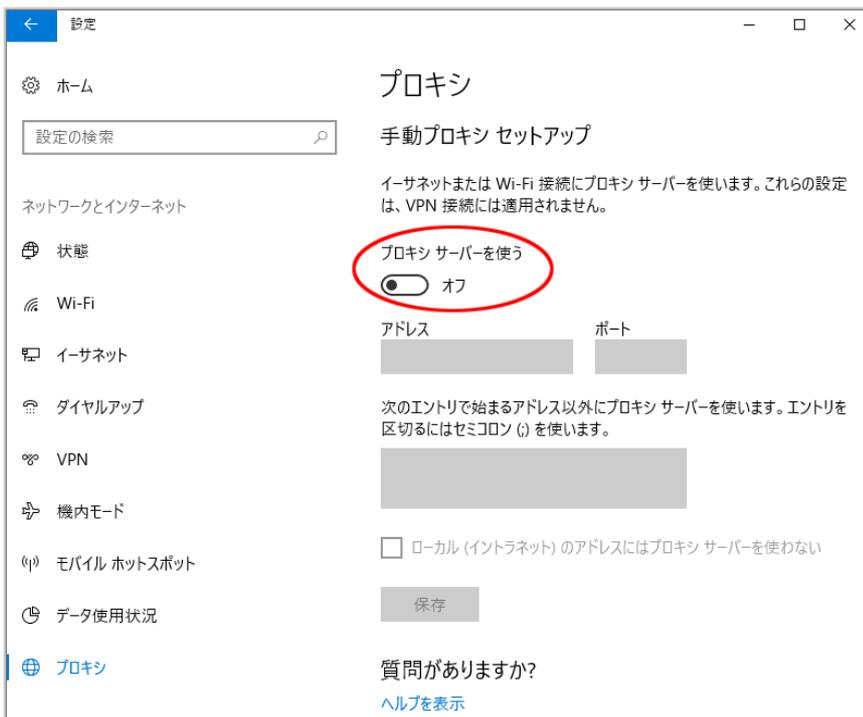
3. [プロキシ]をクリックします。



4. 「自動プロキシ セットアップ」で「設定を自動的に検出する」と「セットアップ スクリプトを使う」を「オフ」にします。



5. 「手動プロキシ セットアップ」で「プロキシサーバーを使う」を「オフ」にします。



6. 画面を閉じます。

パソコンなどのIPアドレスを確認する

パソコンやスマートフォン／タブレット端末のIPアドレスを確認する手順です。

■ Windowsの場合

1. コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

<Windows 10/8.1 の場合>

「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「Windows PowerShell」または「コマンドプロンプト」をクリックします。

<Windows 7 の場合>

[スタート] (Windows のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。

2. 「ipconfig」と入力して[Enter]キーを押します。
3. 表示されたIPv4アドレスを確認します。

■ macOSおよびOS X(Mac) の場合

以下はmacOS v10.12 の場合の例です。

1. アップルメニューの[システム環境設定]を開き、[ネットワーク]アイコンを選択します。
2. [Ethernet]を選択します。
※ 本製品にWi-Fi 接続している場合は[Wi-Fi]を選択して[詳細]をクリックし、[TCP/IP]タブをクリックします。
3. 表示されたIPアドレス(またはIPv4 アドレス)を確認します。

■ iOS の場合

以下はiOS 10.3 の場合の例です。

1. 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップします。
2. 設定メニューの「Wi-Fi」をタップします。
3. 「ネットワークを選択...」から、チェックされている接続中のネットワーク名(SSID)をタップします。
4. 表示されたIPアドレスを確認します。

■ Android の場合

以下はAndroid 6.0 の場合の例です。

1. 「設定」をタップします。
2. 「無線とネットワーク」にある「Wi-Fi」をタップします。
3. 「メニュー」にある「設定」をタップします。
4. 表示されたIPアドレスを確認します。

パソコンなどのIPアドレスを再取得する

パソコンやスマートフォン／タブレット端末のIPアドレスを再取得する手順です。

■ Windowsの場合

1. コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

<Windows 10/8.1 の場合>

「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「Windows PowerShell(管理者)」または「コマンドプロンプト(管理者)」をクリックします。

<Windows 7 の場合>

[スタート](Windows のロゴボタン)－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

2. [ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

3. 「ipconfig /release」と入力して[Enter]キーを押し、IPアドレスを解放します。

4. 「ipconfig /renew」と入力して[Enter]キーを押し、IPアドレスを取り直します。

5. IPv4アドレスが「192.168.10.XXX」になることを確認します。(XXXは1を除く任意の数字)

※ らくらくネットスタートLiteで親機のLAN 側IPアドレスを変更した場合は、変更したアドレス体系(例: 「192.168.11.XXX」)。

■ macOSおよびOS X(Mac) の場合

以下はmacOS v10.12 の場合の例です。

1. アップルメニューの[システム環境設定]を開き、[ネットワーク]アイコンを選択します。

2. [Ethernet]を選択します。

※ 本製品にWi-Fi接続している場合は[Wi-Fi]を選択します。

3. [詳細]をクリックします。

4. [TCP/IP]タブをクリックします。

5. [DHCPリースを更新]をクリックします。

6. IPv4アドレスが「192.168.10.XXX」になることを確認します。(XXXは1を除く任意の数字)

※ らくらくネットスタートLiteで親機のLAN 側IPアドレスを変更した場合は、変更したアドレス体系(例: 「192.168.11.XXX」)。

■ iOS の場合

以下はiOS 10.3 の場合の例です。

1. 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップします。

2. 設定メニューの「Wi-Fi」をタップします。

3. 接続中のネットワーク名(SSID)をタップします。

4. 「DHCPリースを更新」をタップします。

5. 「DHCPリースを更新」をタップします。

■ Android の場合

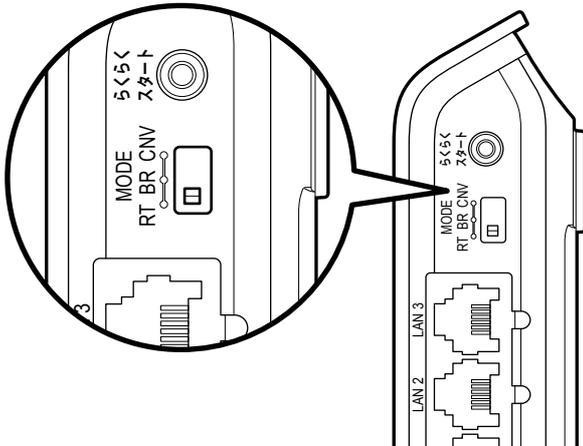
以下はAndroid 6.0 の場合の例です。

1. 「設定」をタップします。
2. 「無線とネットワーク」にある「Wi-Fi」をタップします。
3. Wi-FiをいったんOFFにして、再度ONにします。

※ 左上にある[ON]をタップすると[OFF]に、[OFF]をタップすると[ON]になります。

RT/BR/CNVモード切替スイッチの使いかた

本製品の右側面にあるRT/BR/CNVモード切替スイッチでは、動作モードを変更することができます。



● RT側(初期位置)

本製品をルータとして使用する場合は、スイッチをRT側にして使用します。
お買い上げ時の状態でこの位置に設定されています。

● BR側

本製品のルータ機能を停止してブリッジモードでご利用になる場合に、使用します。
設定方法は[「RT/BR/CNVモード切替スイッチでのブリッジモードの設定方法」](#)を参照してください。

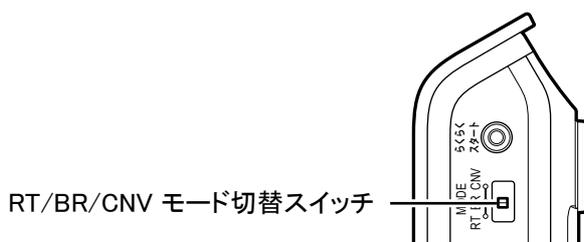
● CNV側

本製品を子機または中継機として使用する場合に、CNV側で使用します。
設定方法は[「子機\(CONVERTER\)モード／中継機モードの設定方法」](#)を参照してください。

▶ 設定手順

RT/BR/CNVモード切替スイッチでのブリッジモードの設定方法

1. 本製品の電源を切ります。
※ 本製品のACアダプタを電源コンセントから抜いて、電源を切ります。
2. RT/BR/CNV モード切替スイッチをBR側に切り替えます。



3. 本製品の電源を入れます。
※ 本製品のACアダプタを電源コンセントに差し込んで、電源を入れます。
※ 本製品の電源を入れると、いったん正面のすべてのランプが黄緑および緑点灯します。
※ POWERランプが黄緑点灯し、ACTIVEランプが橙点灯すると、設定が完了します。

◆ 注意 ◆

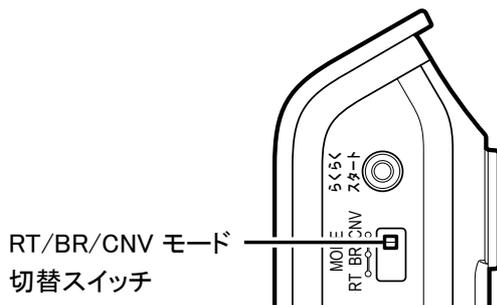
- ブリッジモードで、らくらく無線スタートを行う場合は、必ず、ONUもしくは光電話対応ルーターなどDHCPサーバ機能を持った機器を本製品に接続した状態で行ってください。
- ブリッジモードで、クイック設定Webを開く場合は、「<http://dhr.tool/>」から開くことはできません。
→ブリッジモードでのクイック設定Webの起動方法は、「[クイック設定Webの使いかた](#)」の「[ブリッジモードでご利用の場合\(ACTIVEランプが橙点灯している場合\)](#)」または「[クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)](#)」を参照してください。

◆ 補足 ◆

- この方法で設定した後に、ルータモードに変更する(ルータ機能を使用する)場合は、本製品の電源を切ってRT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側に切り替えた後、電源を入れてください。

子機(CONVERTER)モード／中継機モードの設定方法

1. 本製品の電源を切ります。
※ 本製品のACアダプタを電源コンセントから抜いて、電源を切ります。
2. RT/BR/CNVモード切替スイッチをCNV側に切り替えます。



3. 本製品の電源を入れます。
※ 本製品のACアダプタを電源コンセントに差し込んで、電源を入れます。
※ 本製品の電源を入れると、いったん正面のすべてのランプが黄緑および緑点灯します。
4. OPTIONランプが橙点灯します。
※ 中継機能が停止している場合は、OPTIONランプが緑点灯します。

◆ 補足 ◆

- 本製品を子機または中継機として使用するには、更に親機とのWi-Fi接続などの設定が必要です。設定方法は、「[本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する](#)」を参照してください。
- 子機(CONVERTER)モード／中継機モードに設定した後に親機に戻す(変更する)場合は、本製品の電源を切ってRT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側に切り替えた後、電源を入れてください。本製品が親機に設定されます。

6-3.本製品をネットワークに接続しよう

本製品をインターネットに接続する方法を記載しています。

遠隔設定ボタンにより、ルーター設定をオペレータがサポートすることもできます。

インターネットに接続する

インターネットに接続するために、ブロードバンド回線の設定と本製品の[動作モード](#)の設定を行います。

▶ 設定を行う前に

- あらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。
- 本製品の設置を完了し、電源を入れてください。
詳細は、「[設置のしかた](#)」の「[接続して電源を入れる](#)」を参照してください。

▶ 設定方法

設定方法には、次の3通りがあります。

● [回線を自動判定して設定する\(推奨\)](#)

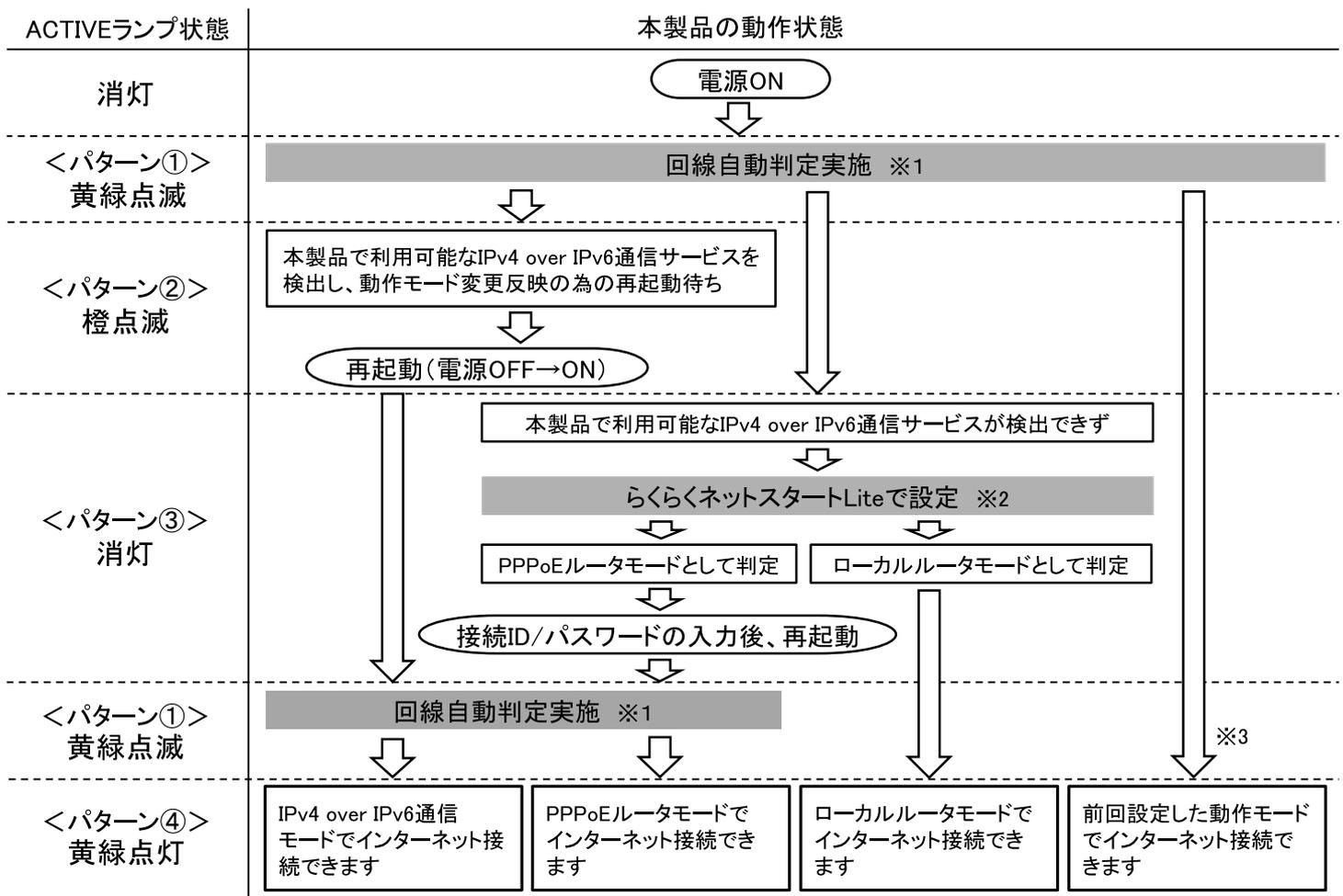
本製品は、ご利用可能な通信サービスを自動的に検出することにより、インターネットへの接続が簡単に設定できます。

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスを検出した場合、自動判定機能により該当のIPv4 over IPv6通信モードへの設定をACTIVEランプの状態でお知らせします。

また、本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスが検出できなかった場合、らくらくネットスタートLiteがご利用環境に合わせたインターネット接続の設定をサポートします。

自動判定機能は、初期状態で有効になっていますので、初めて本製品の電源を入れたときに自動的に起動します。

本製品の動作モード判定の流れとACTIVEランプの表示



※1 数分間かかります

※2 詳細な利用方法は「らくらくネットスタートLiteで設定する」参照

※3 動作モードが既に設定されていた場合

ACTIVEランプの状態を確認してください。

<パターン①>黄緑点滅している場合

接続回線の状態を確認しています。しばらくそのままお待ちください。

<パターン②>橙点滅している場合

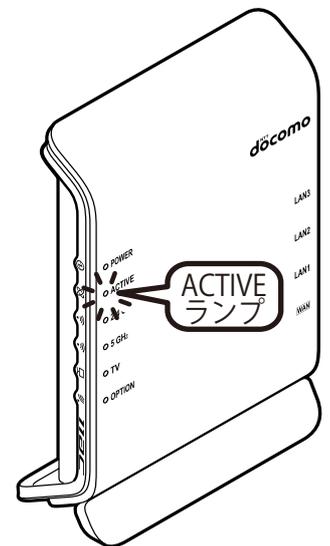
IPv4 over IPv6通信サービスがご利用になれます。本製品の電源をいったん切って入れ直す、または再起動した後に、ACTIVEランプが黄緑点灯となりましたら、インターネット接続が完了します。

<パターン③>消灯している場合

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスが検出できませんでした。ローカルルータモードまたはPPPoEルータモードでの接続となります。本製品と接続している端末のWWWブラウザを開いてください。らくらくネットスタートLiteでインターネット接続の設定をご案内します。らくらくネットスタートLiteでの設定方法は、[「らくらくネットスタートLiteで設定する」](#)を参照してください。

<パターン④>黄緑点灯している場合

インターネットに接続し、ご利用いただけます。



◆ 補足 ◆

- らくらくネットスタートLiteは、本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスが検出できなかった場合に起動し、ご利用環境に合わせたインターネット接続の設定をサポートします。
インターネットに接続できない場合は、原因と思われる内容に合わせた対策方法をWWWブラウザの画面で案内します。画面の案内にしたがってインターネット接続の設定を行ってください。
- <パターン②>で電源の入れ直し、または再起動しても、回線の状態や機器の接続状態によっては、再度ACTIVEランプが橙点滅する場合があります。
その場合は、再度本製品の電源をいったん切って入れ直す、または再起動してください。

● クイック設定Webで設定する

本製品の設定画面(WWWブラウザ画面)「クイック設定Web」で設定する方法です。

本製品に接続しているパソコンなどから設定を行います。

ご利用になる動作モードによって、下記から設定方法を参照してください。

[<PPPoEルータモードでインターネットに接続する>](#)

[<ローカルルータモードでインターネットに接続する>](#)

[<「transix」モードでインターネットに接続する>](#)

[<「v6プラス」モードでインターネットに接続する>](#)

[<「OCNバーチャルコネク」モードでインターネットに接続する>](#)

[<「IPv6オプション\(BIGLOBE\)」モードでインターネットに接続する>](#)

● RT/BR/CNVモード切替スイッチでブリッジモードに設定する

本製品のRT/BR/CNVモード切替スイッチをBR側に切り替えることで、強制的にブリッジモード(ルータ機能を停止)に設定します。

本製品のWAN側に接続しているONUもしくは光電話対応ルーターがインターネットに接続していれば、本製品でインターネットが使用できます。

▶ うまく動作しない場合は

- インターネットに接続できない
→ONUもしくは光電話対応ルーターの設定が完了しているか確認してください。
→光電話対応ルーターに接続する場合は、光電話対応ルーターにて、PPPoEブリッジ機能が有効になるよう設定してください。

回線を自動判定して設定する

本製品は、ご利用可能な通信サービスを自動的に検出することにより、インターネットへの接続が簡単に設定できます。

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスを検出した場合、自動判定機能により該当のIPv4 over IPv6通信モードへの設定をACTIVEランプの状態でお知らせします。

また、本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスが検出できなかった場合、らくらくネットスタートLiteがご利用環境に合わせたインターネット接続の設定をサポートします。

◆ 補足 ◆

- 自動判定機能は、初期状態で有効になっていますので、初めて本製品の電源を入れたときに自動的に起動します。
- 自動判定機能は定期的に動作するため、ACTIVEランプで状態をお知らせします。
- 自動判定機能により利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスを検出した場合でも、本製品の動作モードが自動的に変更されることはありません。自動判定結果の動作モードに変更するには、電源をいったん切って入れ直す、または再起動する必要があります。
- IPv4 over IPv6通信とPPPoE通信の両方がご利用可能な場合は、IPv4 over IPv6通信モードを優先します。

▶ 設定を行う前に

本製品が下記の状態であることを確認してください。

- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっている。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。

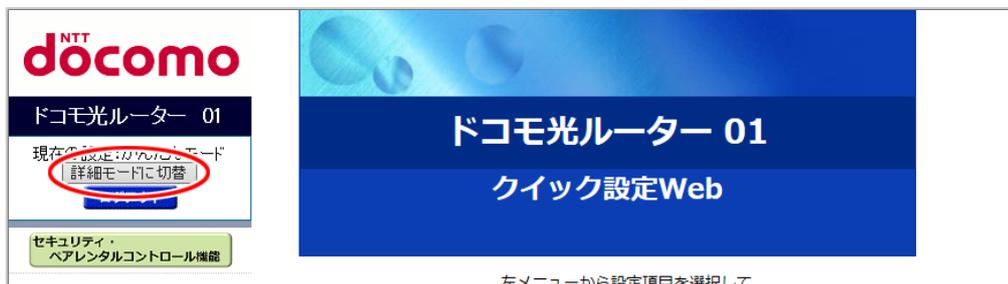
▶ 設定手順

自動判定機能を設定する

IPv4動作モードを初期状態(自動判定)でお使いの場合は、本設定は必要ありません。[「自動判定結果によって動作モードを変更する」](#)に進んでください。

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

3. 「IPv4動作モード」で「自動判定」を選択して、[設定]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード 自動判定

自動判定結果
※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

自動判定結果によって動作モードを変更する

本製品のACTIVEランプを確認します。

<ACTIVEランプが黄緑点滅している場合>

接続回線の状態を確認しています。しばらくそのままお待ちください。

<ACTIVEランプが橙点滅している場合>

IPv4 over IPv6通信サービスがご利用になれます。本製品の電源をいったん切って入れ直す、または再起動して動作モードを変更します。

下記のどちらかを行ってください。

● 電源をいったん切って入れ直す

1. 本製品からACアダプタのプラグを取り外して、約10秒待ってから差し込みます。
約180秒お待ちください。
2. ACTIVEランプが黄緑点灯になったら、インターネット接続完了です。

● [クイック設定Web](#)のトップページで再起動する

1. [再起動]をクリックします。

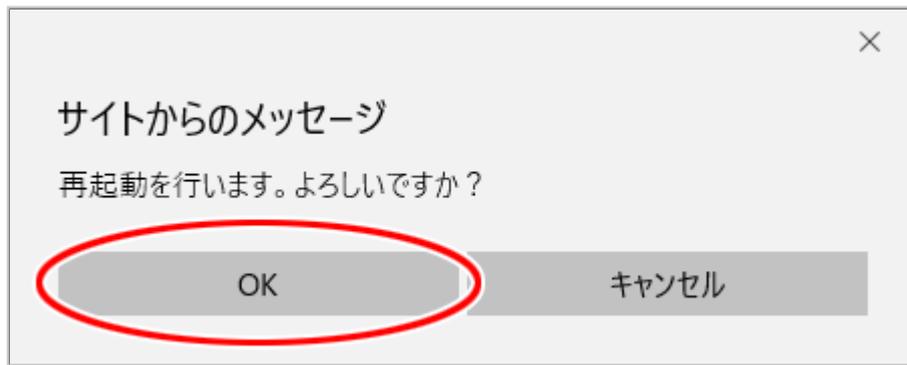
The screenshot shows the 'ドコモ光ルーター 01 クイック設定Web' (Docomo Light Router 01 Quick Setup Web) interface. On the left, there is a navigation menu with options like '基本設定(かんたんモード)', 'Wi-Fi 基本設定', and '現在の状態'. The main content area displays '装置情報' (Device Information) with a table:

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	自動判定
	IPv6	ND Proxy
自動判定結果	[Redacted]	
現在の動作状態	[Redacted]	
接続状態(IPv4)	インターネット未接続	

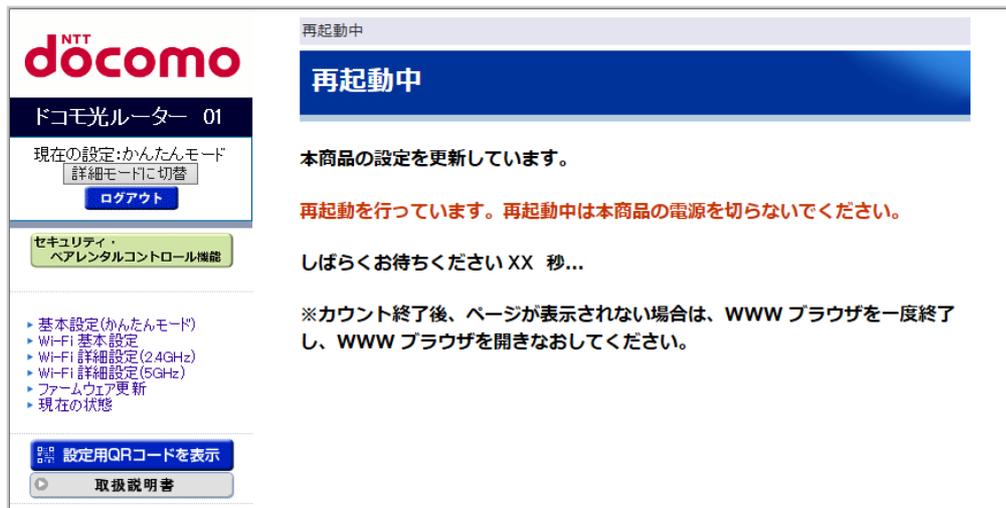
Below the table, there is a '最新状態に更新' (Update to latest status) button and a red warning message: 'IPv4 over IPv6 (「transix」または「v6プラス」または「OCN/バーチャルコネクト」または「IPv6オプション(BIGLOBE))にてインターネット接続できることを検知いたしました。検知した動作モードへ変更する場合は、[再起動]ボタンを押下して再起動してください。' The '[再起動]' button is circled in red.

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

2. [OK]をクリックします。



3. 「再起動中」の画面が表示され、完了するとクイック設定Webのトップページが表示されます。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

<ACTIVEランプが消灯している場合>

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスが検出できませんでした。

ローカルルーターモードまたはPPPoEルーターモードでの接続となります。

初めて本製品の電源を入れたときは、らくらくネットスタートLiteでインターネット接続の設定をご案内します。

らくらくネットスタートLiteでの設定方法は、[「らくらくネットスタートLiteで設定する」](#)を参照してください。

<ACTIVEランプが黄緑点灯している場合>

インターネットに接続し、ご利用いただけます。動作モードを変更する必要はありません。

◆ 補足 ◆

- クイック設定Webのトップ画面の「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能(本商品でIPv4 over IPv6通信不可)」と表示されることがあります。
インターネットの利用に支障はありませんが、本製品で一時的にIPv4 over IPv6通信ができない状態、もしくは別の装置(光電話対応ルーターや他のIPv4 over IPv6通信対応ルーター)でIPv4 over IPv6通信を行っている状態になっている場合があります。
時間をおいてもこの表示が継続する場合は、ご契約のプロバイダのIPv4 over IPv6通信のサービス状態についてプロバイダにご確認ください。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

- インターネットに接続できない。
→ [「故障かな?と思ったら」の「b WANランプが黄緑点灯しない」](#)を参照してください。
→ [「故障かな?と思ったら」の「f クイック設定Webのトップ画面の「接続状態\(IPv4\)」が「インターネット利用可能」と表示されていない」](#)を参照してください。
- パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、インターネットのホームページにアクセスする際には、有効に戻してください。

らくらくネットスタートLiteで設定する

らくらくネットスタートLiteは、本製品の電源を初めて入れたとき、自動判定機能で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスが検出できなかった場合に起動し、ご利用環境に合わせたインターネット接続の設定をサポートします。

インターネットに接続できない場合は、原因と思われる内容に合わせた対策方法をWWWブラウザの画面で案内します。

◆ 補足 ◆

- インターネットに接続しないで本製品をご利用の場合は、本機能を停止することもできます。設定方法は、下記の[「らくらくネットスタートLiteの停止方法」](#)を参照してください。
- 一度インターネットへの接続が確認できると、自動的に本機能を停止します。

▶ 設定を行う前に

- あらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。
- 本製品のWANポートのケーブルは、差したままにしておいてください。
- ONUもしくは光電話対応ルーターの電源をいったん切って、入れ直してください。（ONUもしくは光電話対応ルーターによっては配線を変えた後、電源を20分～24時間切っておかないと正常に動作しない場合があります）
- 本製品の設置を完了し、電源を入れてください。
詳細は、[「接続して電源を入れる」](#)を参照してください。
- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっていることを確認してください。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。
- 本製品にパソコンなどを接続してください。
 - － 本製品に有線で接続する場合は、本製品のLANポートにパソコンなどを接続してください。
 - － 本製品にWi-Fi接続する場合は、[「さまざまな子機からWi-Fi接続する」](#)を参照してください。

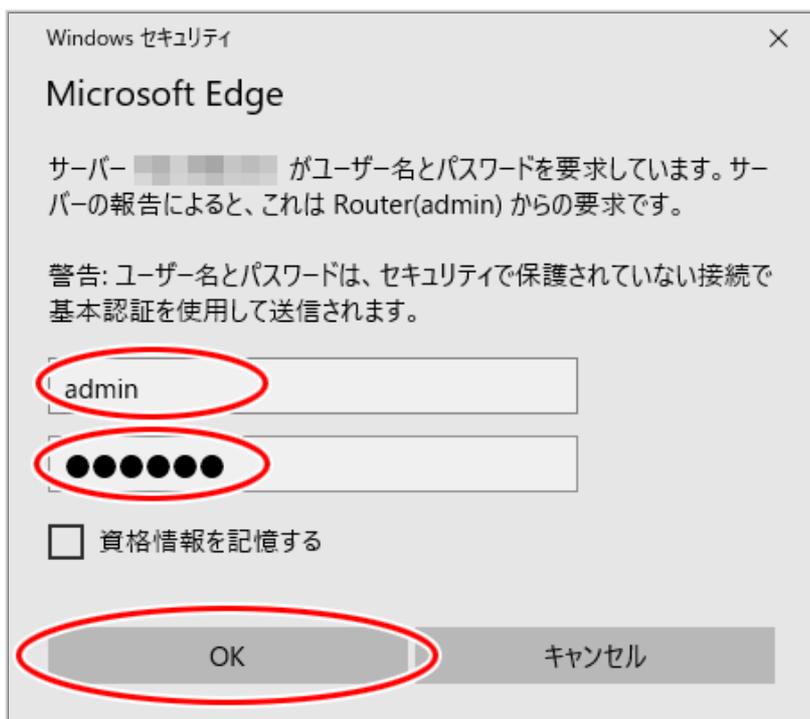
▶ 設定手順

らくらくネットスタートLiteで設定する

1. 本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページ(任意)にアクセスします。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

2. 「ユーザー名」(上段)に「admin」を、「パスワード」(下段)に管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- ユーザー名「admin」は半角小文字で入力してください。
- 本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 管理者パスワードがわからない場合は、本製品を[初期化](#)し、本製品に貼付のラベルに記載されているパスワード(Web PW)でログインしてください。
初期化方法は、「[初期化する](#)」を参照してください。

◆ 注意 ◆

- WWWブラウザの設定によってはパスワードがWWWブラウザに保存されます。
パスワードを再入力することなくログインが可能になりますが、セキュリティ上、WWWブラウザにはパスワードを保存しないことをお勧めします。
 - 認証画面が表示されずに、「ログイン認証に失敗しました。」の画面が表示された場合は、本製品の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。
 - 管理者パスワードを10回間違えると、本製品へのアクセスができなくなります。
その場合は、本製品の電源を入れ直すと、復旧することができます。復旧後、手順1からやり直してください。
3. PPPoEの設定画面(ユーザー名やパスワードの設定画面)が表示された場合は、「[PPPoEルータモードでインターネットに接続する](#)」の「[らくらくネットスタートLiteで設定する](#)」手順4以降を参照して設定します。

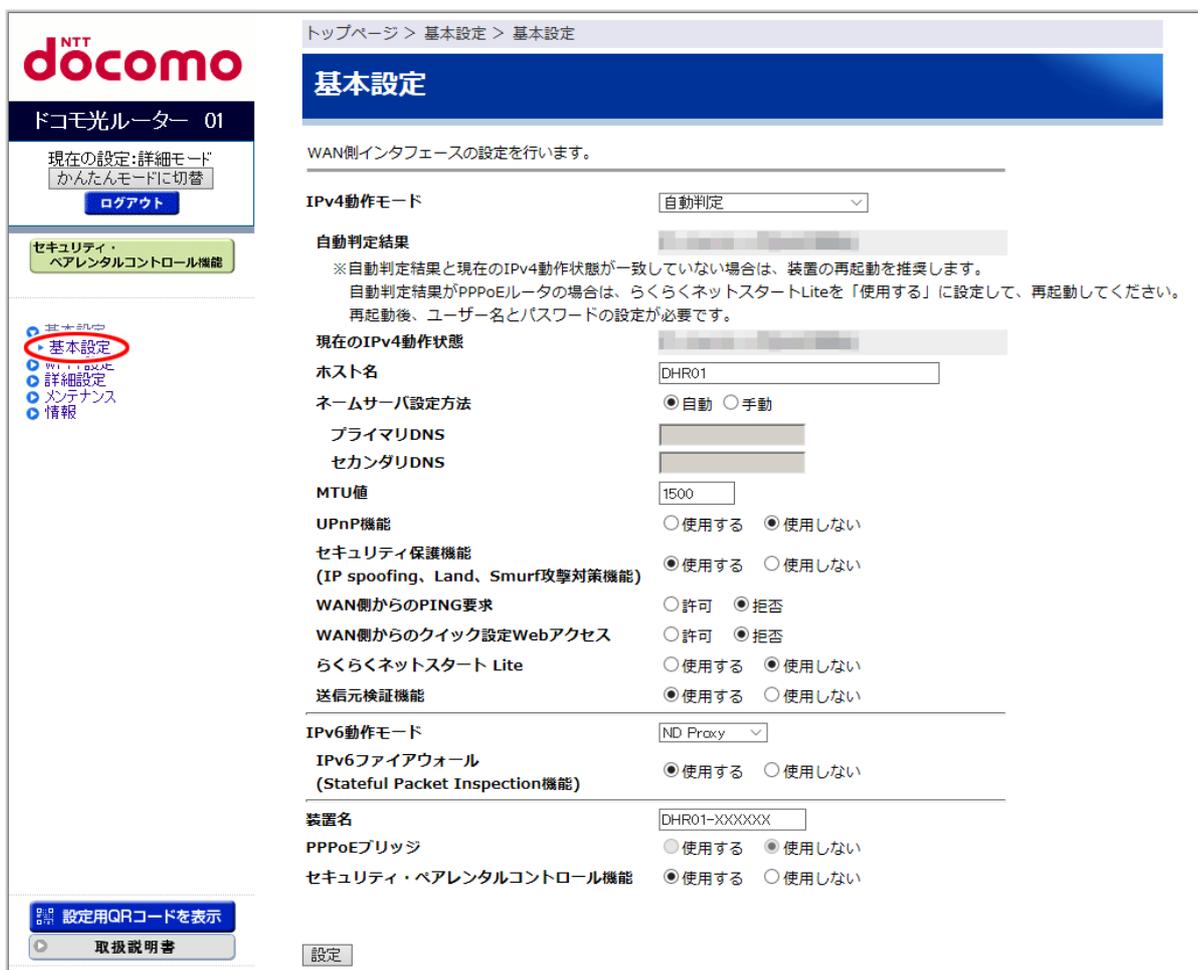
らくらくネットスタートLiteの停止方法

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。



3. 「らくらくネットスタートLite」で「使用しない」を選択して、「設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本製品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

インターネットに接続できない場合は、下記を参照してください。

- 本製品のACTIVEランプが黄緑点灯している状態で、インターネットに接続できない。
→ 本製品と子機のWi-Fi接続が切れている場合があります。その場合は、再度、子機から本製品にWi-Fi接続してください。
- 本製品のWANランプが黄緑点灯していない。
→ [「故障かな?と思ったら」の「b WANランプが黄緑点灯しない」](#)を参照してください。
- 本製品および本製品が接続している上位のONUもしくは光電話対応ルーターの電源を切り(※)、その後、再度ONUもしくは光電話対応ルーターの電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。
(※) 接続事業者によっては、ONUもしくは光電話対応ルーターの電源を20～30分もしくは24時間切っておく必要がある場合があります。

PPPoEルータモードでインターネットに接続する

PPPoEルータモードでインターネットに接続するためには、次の方法があります。

● らくらくネットスタートLiteで設定する

IPv4 over IPv6通信サービスをご契約されていない場合、お買い上げ時の状態ではじめて本製品を設定する方法です。

本製品の電源をはじめて入れたときにインターネットの接続状態を確認し、ご利用環境に合わせたインターネット接続の設定をサポートします。

インターネットに接続できない場合は、原因と思われる内容に合わせた対策方法をWWWブラウザの画面で案内します。

◆ 注意 ◆

- IPv4 over IPv6通信サービスをご契約されている場合は、「● クイック設定Webで設定する」(下記)で設定してください。自動判定機能による判定結果が優先され、らくらくネットスタートLiteは起動しません。

● クイック設定Webで設定する

本製品に接続したパソコンなどから、WWWブラウザの設定画面で設定します。

らくらくネットスタートLiteを使用しない場合や、他の動作モードからPPPoEルータモードに変更する場合の設定方法です。

◆ 注意 ◆

- 本設定方法で設定すると、利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスの自動検出(自動判定機能)は実行されません。

▶ 設定を行う前に

本製品が下記の状態であることを確認してください。

- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっている。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。

▶ 設定手順

● [らくらくネットスタートLiteで設定する](#)

● [クイック設定Webで設定する](#)

らくらくネットスタートLiteで設定する

IPv4 over IPv6通信サービスをご契約されていない場合、お買い上げ時に、はじめて本製品を設定する方法です。

1. 本製品にパソコンなどを接続します。

※本製品に有線で接続する場合は、本製品のLANポートにパソコンなどを接続してください。

※本製品にWi-Fi接続する場合は、[「さまざまな子機からWi-Fi接続する」](#)を参照してください。

2. WWWブラウザを起動し、インターネットのホームページ(任意)にアクセスします。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

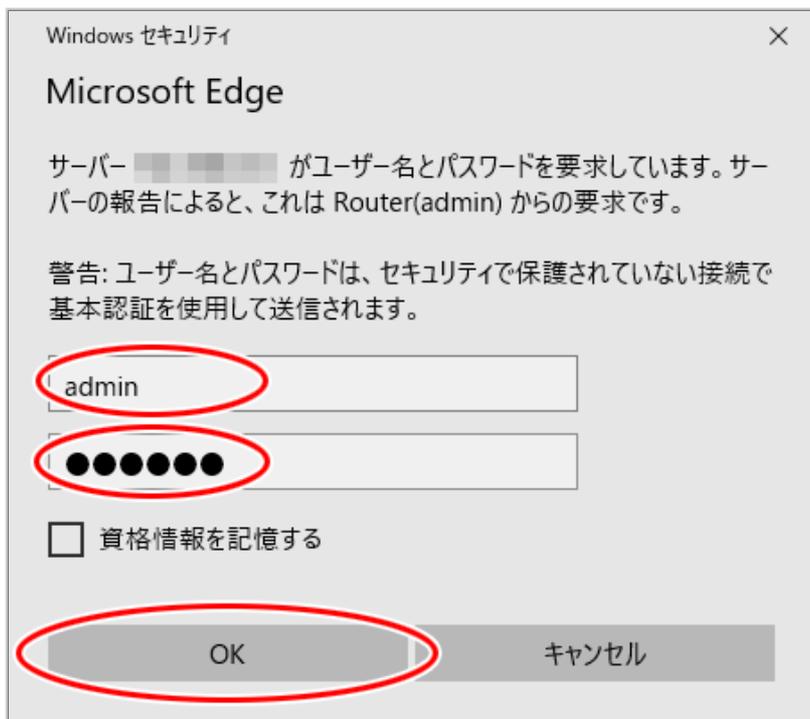
◆ 補足 ◆

- Windows 10搭載のパソコンでInternet Explorer を起動する方法は、下記のどちらかの方法で起動してください。

－[スタート](Windowsのロゴボタン)－[すべてのアプリ]－[Windowsアクセサリ]－[Internet Explorer]をクリック

－[スタート](Windowsのロゴボタン)－[Windows アクセサリ]－[Internet Explorer]をクリック

3. 「ユーザー名」(上段)に「admin」を、「パスワード」(下段)に管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- ユーザー名「admin」は半角小文字で入力してください。
- 本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 管理者パスワードがわからない場合は、本製品を[初期化](#)し、本製品に貼付のラベルに記載されているパスワード(Web PW)でログインしてください。初期化方法は、[「初期化する」](#)を参照してください。

◆ 注意 ◆

- WWWブラウザの設定によってはパスワードがWWWブラウザに保存されます。
パスワードを再入力することなくログインが可能になりますが、セキュリティ上、WWWブラウザにはパスワードを保存しないことをお勧めします。
- 認証画面が表示されずに、「ログイン認証に失敗しました。」の画面が表示された場合は、本製品の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。
- 管理者パスワードを10回間違えると、本製品へのアクセスができなくなります。
その場合は、本製品の電源を入れ直すと、復旧することができます。復旧後、手順1からやり直してください。

4. らくらくネットスタートLiteにより、PPPoEの設定が必要な場合は自動的に次の画面が表示されます。
ご契約のプロバイダ(または接続事業者)から提供された情報(契約時に入手した接続情報)にしたがって、使用するユーザー名とそれに対応したパスワードを入力します。

※ 文字列を間違えないよう入力してください。

※ ユーザー名は、@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力してください。

クイック設定Web

基本設定(かんたんモード)

インターネットに接続できませんでした。
本商品に[PPPoEルータ]の設定をする必要があります。インターネットサービスプロバイダもしくは、接続事業者から提供された接続情報のユーザー名とパスワードを入力してください。

動作モード

インターネットサービスプロバイダもしくは、接続事業者から提供されたユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード

※NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ光全宅!」、「フレッツ 光ライト」、「フレッツ・ADSL」、「Bフレッツ」などをご利用の場合は、ユーザー名(ログインID)の後ろに「@<プロバイダ名>」の指定が必要です。<プロバイダ名>の部分は、各プロバイダにより異なりますのでご注意ください。
(例) abcdefgh@hikari.docomo.ne.jp

次へ

設定が完了したら、必ずWWWブラウザ(本画面)を閉じてください。

※ 設定したにもかかわらず本画面が表示された場合は以下を確認してください。

- 設定内容に誤りがないか。
- 他の機器(ブロードバンドモデム、回線終端装置)が正しく設定されているか。

5. [次へ]をクリックします。

6. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。



◆ 注意 ◆

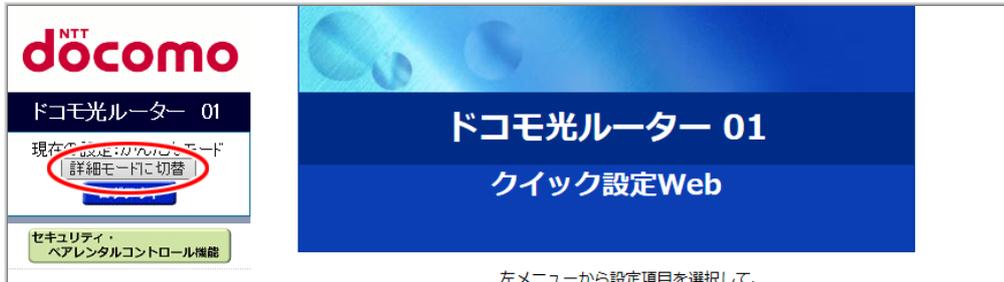
- ACTIVEランプが黄緑点滅している場合は、手順4での「ユーザー名」「パスワード」の文字列が間違っていることが考えられます。[「クイック設定Webで設定する」](#)にて、修正してください。
- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

クイック設定Webで設定する

らくらくネットスタートLiteを使用しない場合や、他の動作モードからPPPoEルータモードに変更する場合の設定方法です。

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

3. 「IPv4動作モード」で「PPPoEルータ」を選択します。



4. ご契約のプロバイダ(または接続事業者)から提供された情報(契約時に入手した接続情報)にしたがって、使用するユーザー名とそれに対応したパスワードを入力します。

※ 文字列を間違えないよう入力してください。

※ ユーザー名は、@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力してください。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

ユーザー名

パスワード

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

PPPキーブアライブ機能 使用する 使用しない

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing, Land, Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

5. [設定]をクリックします。

6. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じるなどの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

- ACTIVEランプが黄緑点滅している場合は、手順4での「ユーザー名」「パスワード」の文字列が間違っていることが考えられます。設定をやり直してください。
- パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、インターネットのホームページにアクセスする際には、有効に戻してください。

ローカルルータモードでインターネットに接続する

ローカルルータモードでインターネットに接続するためには、次の設定方法があります。

● [らくらくネットスタートLite](#)で設定する

IPv4 over IPv6通信サービスをご契約されていない場合、お買い上げ時の状態ではじめて本製品を設定する方法です。

本製品の電源をはじめて入れたときにインターネットの接続状態を確認し、ご利用環境に合わせたインターネット接続の設定をサポートします。

インターネットに接続できない場合は、原因と思われる内容に合わせた対策方法をWWWブラウザの画面で案内します。

◆ 注意 ◆

- IPv4 over IPv6通信サービスをご契約されている場合は、「● クイック設定Webで設定する」(下記)で設定してください。自動判定機能による判定結果が優先され、らくらくネットスタートLiteは起動しません。

● クイック設定Webで設定する

本製品に接続したパソコンなどから、WWWブラウザの設定画面で設定します。

らくらくネットスタートLiteを使用しない場合や、他の動作モードからローカルルータモードに変更する場合の設定方法です。IPアドレスなどの設定を行うことができます。

◆ 注意 ◆

- 本設定方法で設定すると、利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスの自動検出(自動判定機能)は実行されません。

このページでは、クイック設定Webで設定する場合について説明します。

▶ 設定を行う前に

本製品が下記の状態であることを確認してください。

- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっている。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。

▶ 設定手順

クイック設定Webで設定する

らくらくネットスタートLiteを使用しない場合や、他の動作モードからローカルルータモードに変更する場合の設定方法です。

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

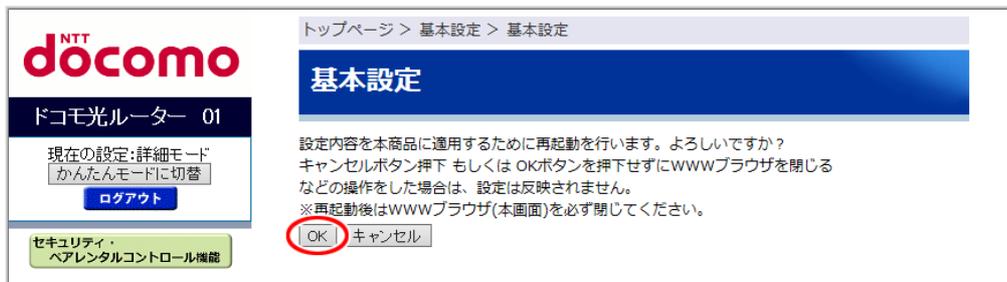
3. 「IPv4動作モード」で「ローカルルータ(DHCP有効)」を選択して、[設定]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- IPアドレスなどを設定したい場合は、「IPv4動作モード」で「ローカルルータ(DHCP無効)」を選択し、「IPアドレス」「ネットマスク」「ゲートウェイ」「プライマリDNS」を入力して、[設定]をクリックします。

4. [OK]をクリックします。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

- パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、インターネットのホームページにアクセスする際には、有効に戻してください。

「transix」モードでインターネットに接続する

「transix」モードは、インターネットマルチフィード株式会社仕様のDS-LiteプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。

「transix」モードでインターネットに接続するためには、次の方法があります。

● 自動判定機能で設定する

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスを検出した場合、自動判定機能により該当のIPv4 over IPv6通信モードへの設定をACTIVEランプの状態でお知らせします。

「IPv4動作モード」が「自動判定」の場合、PPPoEルータモードなど他の動作モードで既にインターネットをご利用になっている場合でも定期的に自動判定が行われ、IPv4 over IPv6通信サービスが利用可能になるとACTIVEランプの状態でお知らせします。

自動判定機能を使用するには、クイック設定Webで「IPv4動作モード」を「自動判定」に設定します。本製品は、初期状態でこの設定になっています。

● クイック設定Webで設定する

本製品に接続したパソコンなどから、WWWブラウザの設定画面で「IPv4動作モード」を「transix」に設定します。

自動判定機能を使用しないで、「transix」サービス固定でインターネットを利用する場合の設定方法です。

▶ 設定を行う前に

本製品が下記の状態であることを確認してください。

- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっている。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。

▶ 設定手順

● [自動判定機能で設定する](#)

● [クイック設定Webで設定する](#)

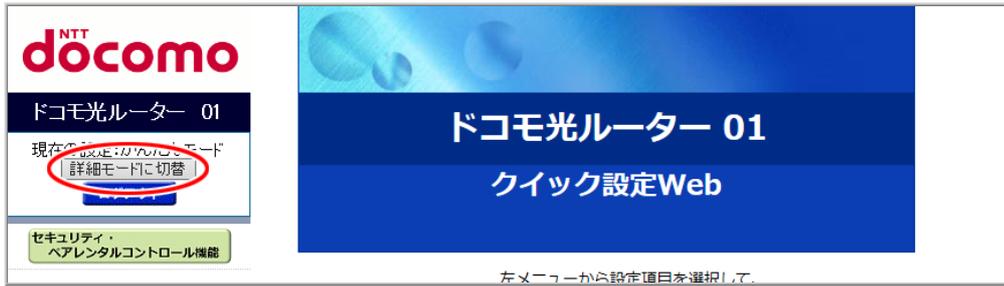
自動判定機能で設定する

[「回線を自動判定して設定する」](#)を参照してください。

クイック設定Webで設定する

クイック設定Webで設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

3. 「IPv4動作モード」で「transix」を選択します。



4. 下記項目を設定します。

- AFTRの取得方法

AFTRの取得方法を設定します。「自動取得」「手動設定」から選択します。

通常は「自動取得」(初期値)のままご利用ください。「手動設定」は、プロバイダからの指示があった場合のみ選択してください。

- 手動時のAFTRの設定方法

「AFTRの取得方法」が「手動設定」の場合に設定できます。

AFTRの指定方法を設定します。「FQDN指定」「IPv6アドレス指定」から選択します。

- AFTRのFQDN

「AFTRの取得方法」が「手動設定」で「手動時のAFTRの設定方法」が「FQDN指定」の場合に設定できます。

入力できる文字は、半角英数字(a~z、A~Z、0~9)、半角のハイフン「-」、半角のドット「.」で253桁以内です。

- AFTRのIPv6アドレス

「AFTRの取得方法」が「手動設定」で「手動時のAFTRの設定方法」が「IPv6アドレス指定」の場合に設定できます。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード: transix

AFTRの取得方法: 自動取得

手動時のAFTRの設定方法: FQDN指定

AFTRのFQDN: []

AFTRのIPv6アドレス: []

UPnP機能: 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能): 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求: 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス: 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite: 使用する 使用しない

送信元検証機能: 使用する 使用しない

IPv6動作モード: ND Proxy

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能): 使用する 使用しない

装置名: DHR01-XXXXXXXX

PPPoEブリッジ: 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能: 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

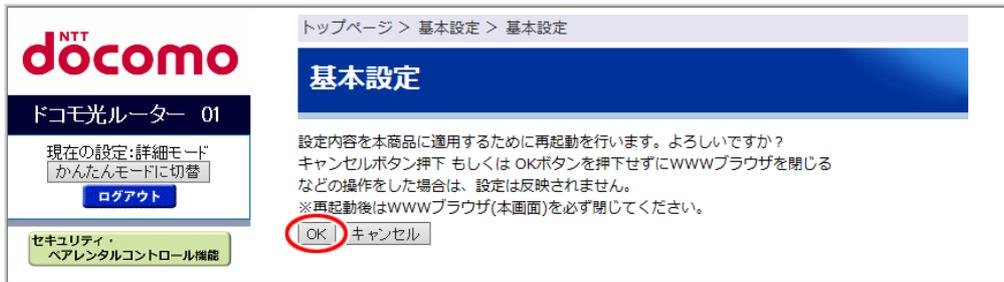
設定

◆ 注意 ◆

- 「AFTRのFQDN」、「AFTRのIPv6アドレス」にプロバイダからの指示以外の値を入力すると、IPv4通信にてインターネットに接続できなくなる場合があります。

5. [設定]をクリックします。

6. [OK]をクリックします。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- クイック設定Webのトップ画面の「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能(本商品でIPv4 over IPv6通信不可)」と表示されることがあります。
インターネットの利用に支障はありませんが、本製品で一時的にIPv4 over IPv6通信ができない状態、もしくは別の装置(光電話対応ルーターや他のIPv4 over IPv6通信対応ルーター)でIPv4 over IPv6通信を行っている状態になっている場合があります。
時間をおいてもこの表示が継続する場合は、ご契約のプロバイダのIPv4 over IPv6通信のサービス状態についてプロバイダにご確認ください。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

- パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、インターネットのホームページにアクセスする際には、有効に戻してください。

「v6プラス」モードでインターネットに接続する

「v6プラス」モードは、日本ネットワークイネイブラー株式会社仕様のMAP-EプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。

「v6プラス」モードでインターネットに接続するためには、次の方法があります。

● 自動判定機能で設定する

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスを検出した場合、自動判定機能により該当のIPv4 over IPv6通信モードへの設定をACTIVEランプの状態でお知らせします。

「IPv4動作モード」が「自動判定」の場合、PPPoEルータモードなど他の動作モードで既にインターネットをご利用になっている場合でも定期的に自動判定が行われ、IPv4 over IPv6通信サービスが利用可能になるとACTIVEランプの状態でお知らせします。

自動判定機能を使用するには、クイック設定Webで「IPv4動作モード」を「自動判定」に設定します。本製品は、初期状態でこの設定になっています。

● クイック設定Webで設定する

本製品に接続したパソコンなどから、WWWブラウザの設定画面で「IPv4動作モード」を「v6プラス」に設定します。

自動判定機能を使用しないで、「v6プラス」サービス固定でインターネットを利用する場合の設定方法です。

▶ 設定を行う前に

本製品が下記の状態であることを確認してください。

- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっている。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。

▶ 設定手順

● [自動判定機能で設定する](#)

● [クイック設定Webで設定する](#)

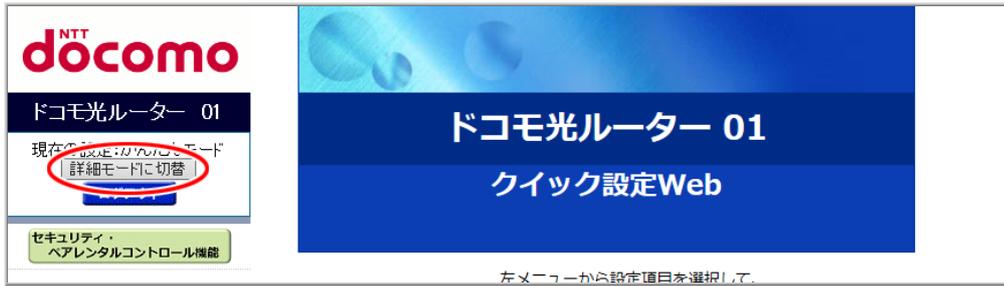
自動判定機能で設定する

[「回線を自動判定して設定する」](#)を参照してください。

クイック設定Webで設定する

クイック設定Webで設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。

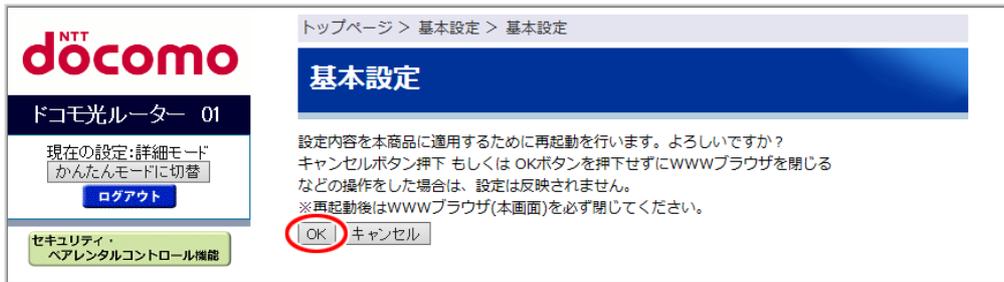


2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

3. 「IPv4動作モード」で「v6プラス」を選択して、[設定]をクリックします。



4. [OK]をクリックします。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- クイック設定Webのトップ画面の「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能(本商品でIPv4 over IPv6通信不可)」と表示されることがあります。
インターネットの利用に支障はありませんが、本製品で一時的にIPv4 over IPv6通信ができない状態、もしくは別の装置(光電話対応ルーターや他のIPv4 over IPv6通信対応ルーター)でIPv4 over IPv6通信を行っている状態になっている場合があります。
時間をおいてもこの表示が継続する場合は、ご契約のプロバイダのIPv4 over IPv6通信のサービス状態についてプロバイダにご確認ください。
- クイック設定Webのトップ画面の中央下部に、IPv4動作モードの切り替えを推奨する案内が表示された場合は、案内にしたがってIPv4動作モードを変更してください。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

- パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、インターネットのホームページにアクセスする際には、有効に戻してください。

「OCNバーチャルコネクト」モードでインターネットに接続する

「OCNバーチャルコネクト」モードは、NTTコミュニケーションズ株式会社仕様のMAP-EプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。

「OCNバーチャルコネクト」モードでインターネットに接続するためには、次の方法があります。

● 自動判定機能で設定する

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスを検出した場合、自動判定機能により該当のIPv4 over IPv6通信モードへの設定をACTIVEランプの状態でお知らせします。

「IPv4動作モード」が「自動判定」の場合、PPPoEルータモードなど他の動作モードで既にインターネットをご利用になっている場合でも定期的に自動判定が行われ、IPv4 over IPv6通信サービスが利用可能になるとACTIVEランプの状態でお知らせします。

自動判定機能を使用するには、クイック設定Webで「IPv4動作モード」を「自動判定」に設定します。本製品は、初期状態でこの設定になっています。

● クイック設定Webで設定する

本製品に接続したパソコンなどから、WWWブラウザの設定画面で「IPv4動作モード」を「OCNバーチャルコネクト」に設定します。

自動判定機能を使用しないで、「OCNバーチャルコネクト」サービス固定でインターネットを利用する場合の設定方法です。

▶ 設定を行う前に

本製品が下記の状態であることを確認してください。

- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっている。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。

▶ 設定手順

● [自動判定機能で設定する](#)

● [クイック設定Webで設定する](#)

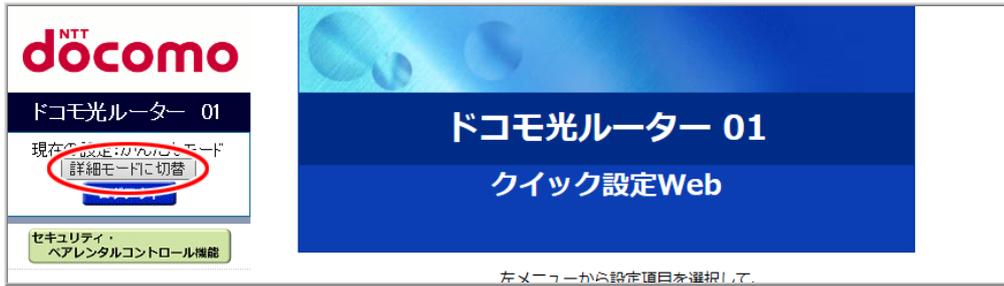
自動判定機能で設定する

[「回線を自動判定して設定する」](#)を参照してください。

クイック設定Webで設定する

クイック設定Webで設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。

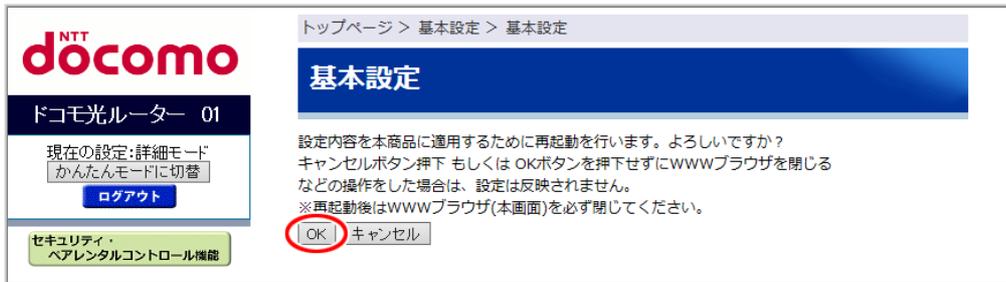


2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

3. 「IPv4動作モード」で「OCNバーチャルコネク」を選択して、[設定]をクリックします。



4. [OK]をクリックします。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- クイック設定Webのトップ画面の「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能(本商品でIPv4 over IPv6通信不可)」と表示されることがあります。
インターネットの利用に支障はありませんが、本製品で一時的にIPv4 over IPv6通信ができない状態、もしくは別の装置(光電話対応ルーターや他のIPv4 over IPv6通信対応ルーター)でIPv4 over IPv6通信を行っている状態になっている場合があります。
時間をおいてもこの表示が継続する場合は、ご契約のプロバイダのIPv4 over IPv6通信のサービス状態についてプロバイダにご確認ください。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

- パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、インターネットのホームページにアクセスする際には、有効に戻してください。

「IPv6オプション(BIGLOBE)」モードでインターネットに接続する

「IPv6オプション(BIGLOBE)」モードは、ビッグロブ株式会社仕様のMAP-EプロトコルでIPv4 over IPv6通信を行います。

「IPv6オプション(BIGLOBE)」モードでインターネットに接続するためには、次の方法があります。

● 自動判定機能で設定する

本製品で利用可能なIPv4 over IPv6通信サービスを検出した場合、自動判定機能により該当のIPv4 over IPv6通信モードへの設定をACTIVEランプの状態でお知らせします。

「IPv4動作モード」が「自動判定」の場合、PPPoEルータモードなど他の動作モードで既にインターネットをご利用になっている場合でも定期的に自動判定が行われ、IPv4 over IPv6通信サービスが利用可能になるとACTIVEランプの状態でお知らせします。

自動判定機能を使用するには、クイック設定Webで「IPv4動作モード」を「自動判定」に設定します。本製品は、初期状態でこの設定になっています。

● クイック設定Webで設定する

本製品に接続したパソコンなどから、WWWブラウザの設定画面で「IPv4動作モード」を「IPv6オプション(BIGLOBE)」に設定します。

自動判定機能を使用しないで、「IPv6オプション(BIGLOBE)」サービス固定でインターネットを利用する場合の設定方法です。

▶ 設定を行う前に

本製品が下記の状態であることを確認してください。

- RT/BR/CNVモード切替スイッチがRT側になっている。
→ RT側になっていない場合は、本製品の電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、電源を入れ直してください。

▶ 設定手順

● [自動判定機能で設定する](#)

● [クイック設定Webで設定する](#)

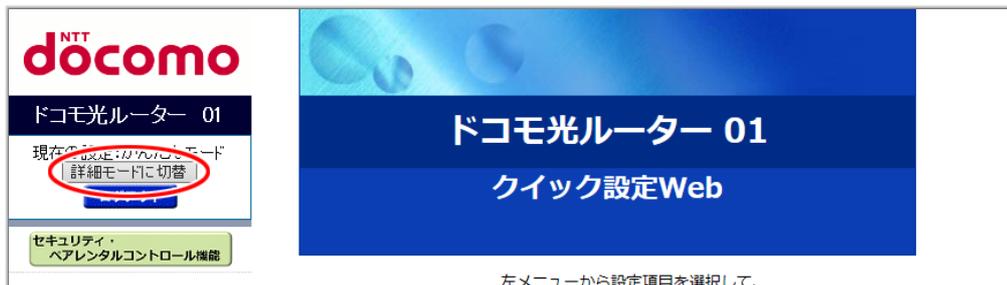
自動判定機能で設定する

[「回線を自動判定して設定する」](#)を参照してください。

クイック設定Webで設定する

クイック設定Webで設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。

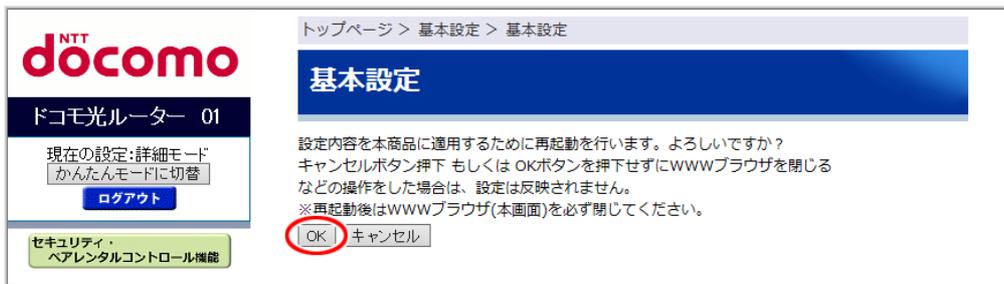


2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

3. 「IPv4動作モード」で「IPv6オプション(BIGLOBE)」を選択して、[設定]をクリックします。



4. [OK]をクリックします。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- クイック設定Webのトップ画面の「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能(本商品でIPv4 over IPv6通信不可)」と表示されることがあります。
インターネットの利用に支障はありませんが、本製品で一時的にIPv4 over IPv6通信ができない状態、もしくは別の装置(光電話対応ルーターや他のIPv4 over IPv6通信対応ルーター)でIPv4 over IPv6通信を行っている状態になっている場合があります。
時間をおいてもこの表示が継続する場合は、ご契約のプロバイダのIPv4 over IPv6通信のサービス状態についてプロバイダにご確認ください。
- クイック設定Webのトップ画面の中央下部に、IPv4動作モードの切り替えを推奨する案内が表示された場合は、案内にしたがってIPv4動作モードを変更してください。

▶ 使いかた

上記の設定が完了したら、本製品に接続したパソコンなどでWWWブラウザを起動し、インターネットのホームページにアクセスしてみましょう。

(例) ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▶ うまく動作しない場合は

- パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、インターネットのホームページにアクセスする際には、有効に戻してください。

設定がうまくいかないときは？（遠隔設定）

ネットトータルサポートセンターに電話をし、オペレータの指示に沿って本製品の遠隔設定ボタンを押すと、オペレータがお客様の代わりに、ルーターの設定をすることができますようになります。インターネット接続、家庭内のネットワーク機器とのWi-Fi設定などをオペレータがサポートします。

◆ 補足 ◆

- 本機能は、ルータモードでご使用になれます。

▶ ご利用の前に

- 本機能をご利用いただくためには、ネットトータルサポートのご契約が必要です。
- 本機能は、「[接続して電源を入れる](#)」にしたがいONUもしくは光電話対応ルーターと、本製品を接続した状態で、ご利用可能となります。

▶ 使いかた

本機能の利用シーンの例

●インターネット接続不可の場合

- 本製品購入後、プロバイダ接続設定がわからない。
- 本製品の設定変更後、インターネットに接続できなくなった。

●Wi-Fi接続不可の場合

- 本製品購入後、スマートフォンのWi-Fi接続設定ができない。
- スマートフォンを新たに購入したが、Wi-Fi接続のしかたがわからない。
- 本製品の設定情報を誤って削除してしまい、Wi-Fi接続ができなくなった。

●セキュリティ・ペアレンタルコントロール設定

- 子供が利用しているスマートフォンに対するペアレンタルコントロールの設定方法がわからない。
- セキュリティ機能を変更したいが、変更方法がわからない。

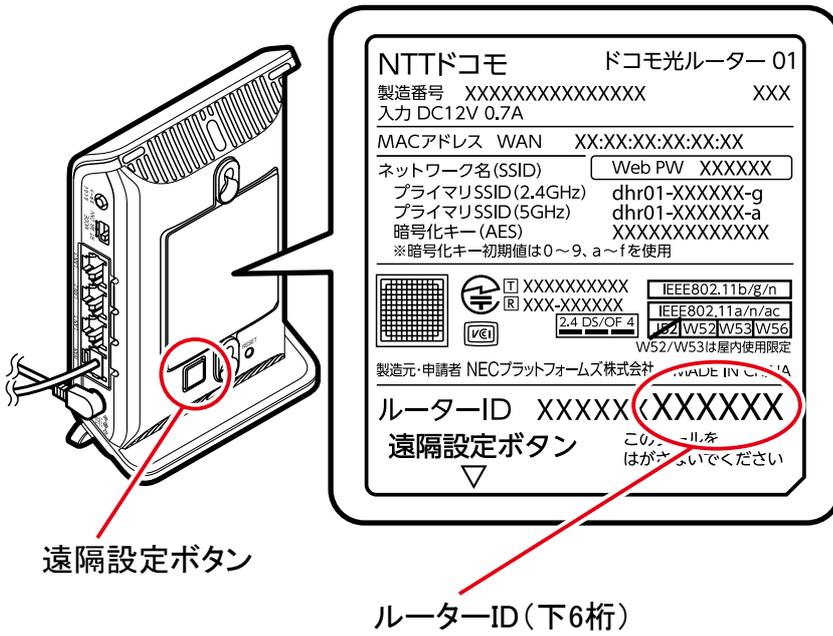
1. 上記利用シーンのような事象が発生。
2. ネットトータルサポートセンターへ連絡します。

ネットトータルサポートセンター : 0120-825-360
受付時間(年中無休)午前9:00～午後8:00
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

3. オペレータの案内にしたがって対応します。

◆ 補足 ◆

- 背面の遠隔設定ボタンを押して、ルーターID(下6桁)をオペレータへ連絡します。



6-4.セキュリティ対策をしよう

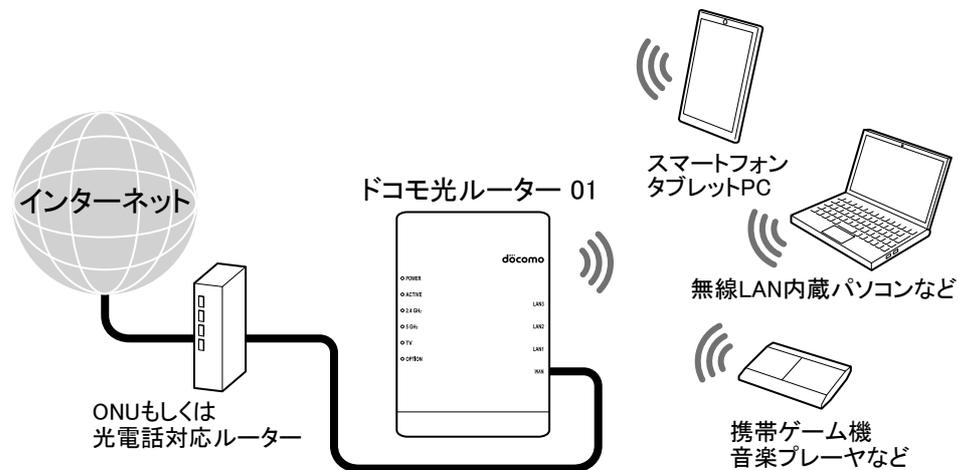
本製品の機能を利用して必要なセキュリティ対策を行ってください。

また、本製品に搭載されたトレンドマイクロ社のTrend Micro Smart Home Networkのセキュリティ・ペアレンタルコントロール機能をご利用になることもできます。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりしたりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンやスマートフォンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることとなります。悪意のある第三者から、パソコン／スマートフォンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線が無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本製品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。

本製品には、WAN側(インターネット)からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能、LAN側(ホームネットワーク(Wi-Fi))内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないためのセキュリティ機能、送信元を詐称したアクセスを防ぐセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの対策を行うことができます。



本製品でできるセキュリティ対策一覧

WAN側(インターネット)	LAN側(ホームネットワーク)	
	Wi-Fi	
<ul style="list-style-type: none"> ・IPパケットフィルタリング ※1 ・アドバンスドNAT(IPマスカレード/NAPT) ※2 ・不正アクセス検出 ※2 <ul style="list-style-type: none"> - セキュリティ保護機能(IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) ※3 - PING要求 ※3 - WAN側からのクイック設定Webアクセス ※4 ・ダイナミックポートコントロール ※2 ・IPv6ファイアウォール(Stateful Packet Inspection機能) ※5 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi通信データの暗号化 ・ネットワーク名(SSID)の設定 ・ESS-IDステルス機能 ・MACアドレスフィルタリング機能 ・ネットワーク分離機能
<ul style="list-style-type: none"> ・送信元検証機能 ※2 ・セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 ※1 		

※1 IPv6でも適用する場合は、IPv6動作モードを「ND Proxy」(初期値)に設定する必要があります。

※2 本機能はIPv4のみ対応しております。

※3 本機能はPPPoEルータモード、ローカルルータモードによるWAN側IPv4通信のみ対応しております。

※4 本機能はIPv4の場合のみWAN側からのクイック設定Webアクセスを許可に変更可能です。

※5 本機能はIPv6のみ対象となります。IPv6動作モードを「ND Proxy」(初期値)に設定する必要があります。

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能

本製品に搭載されたトレンドマイクロ社のTrend Micro Smart Home Networkのセキュリティ・ペアレンタルコントロール機能をご利用になれます。

本機能は、家庭内のネットワークに接続されたデバイスへの不正アクセスをブロックするなどのセキュリティ機能です。また、お子様が有害サイトなどへアクセスすることをブロックします。

<利用条件>

- 本機能は、ルータモードでご使用になれます。
- 本機能の有料機能(光ルーターセキュリティ)をご利用いただくためには、光ルーターセキュリティの契約が必要となります。また、本機能を有効にするには、dアカウントが必要となります。

利用できる機能は、次のとおりです。

基本機能

- 現在のインターネット通信速度
- インターネット通信量の履歴
- セキュリティ自己診断
- 通信量の多いアプリケーション

◆ 注意 ◆

- 本機能で表示する通信速度と通信量は、参考の値です。

セキュリティ機能(有料機能)

概要	機能名	機能の説明
脆弱性の保護	仮想パッチ機能	本ルーター配下のデバイスのOS等の脆弱性をついた新たな攻撃を未然に防ぐ手段として、経験をもとに怪しい通信を検知しその通信を遮断する機能
有害なWebサイトへのアクセスをブロック	Webレピュテーション機能	不正プログラムによる感染、フィッシング詐欺被害を未然に防止するために、不正Webサイトや不正URLへのアクセスを遮断する機能
デバイスの不正アクセスをブロック	DoS・DDoS攻撃のブロック機能	ホームネットワークの端末の正常な動作を阻害する目的で、インターネットから大量のデータを送りつける攻撃をブロックするだけでなく、ユーザー自らが加害者になることを防ぐ機能
	C&Cプロテクション機能	ユーザーがウイルス感染や意図しないURLへのリンクにより、悪意の第三者のC&Cサーバ向けの通信に誘導されることを遮断する機能で、ホームネットワークからインターネット向けの怪しい通信を遮断する機能
	ポートスキャン検知機能	ユーザーが本製品に設定した経路や、配下のデバイスからの通信で本製品に確立された経路を、悪意の第三者が探す(スキャン)行為を遮断する機能

ペアレンタルコントロール機能(有料機能)

機能	機能の説明
利用許可時間制限	時間帯ごとにインターネット利用を許可／制限する機能
Webアクセス制限	お子様に閲覧させたくないアダルト、ギャンブル、出会い系などのWeb サイトへのアクセスを、カテゴリ別に制限する機能
ホワイトリスト・ブラックリスト機能	Webサイトへのアクセスを、ドメイン名指定で許可・制限する機能
アプリアクセス制限	デバイス上で実行されるアプリケーションを、デバイス別／カテゴリ別に利用を制限する機能

◆ 注意 ◆

- クイック設定Webの管理者パスワードをお子様には知られないようにしてください。

◆ 補足 ◆

- 本製品のセキュリティ設定のWebレピュテーション機能、ペアレンタルコントロール設定のWebアクセス制限は、HTTP通信とHTTPS通信で検出できます。
- ホワイトリストは、ブラックリストや有害Webサイトへのアクセスブロック(Webレピュテーション機能)よりも優先されます。
- ホワイトリストとブラックリストに登録できる数は、ホームデバイス1台あたりそれぞれ128以内です。
- 本製品1台にホワイトリストとブラックリストに登録できる合計数は、1024以内です。

◆ 参考 ◆

- 本機能の設定方法がわからない場合は、遠隔設定機能を用いて、オペレータの指示に基づき設定することも可能です。遠隔設定機能については、[「設定がうまくいかないときは？\(遠隔設定\)」](#)を参照してください。
- 本製品(親機)と、中継機(セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能がない)でお使いになる場合でも、次の設定をすることでセキュリティ・ペアレンタルコントロール機能を使うことができます。
 - アクセス制限したいホームデバイスを「ペアレンタルコントロールを設定したデバイス」として設定してください。
 - 中継機を「ペアレンタルコントロールを設定したデバイス」として設定してください。
(中継機に接続したホームデバイスは、(2)で設定した内容に従いアクセス制限される場合があります)

▶ 設定を行う前に

- 本製品に時刻が設定されていることを確認してください。
→ 時刻が設定されているかの確認方法は、[「時刻を合わせる」](#)を参照してください。

◆ 注意 ◆

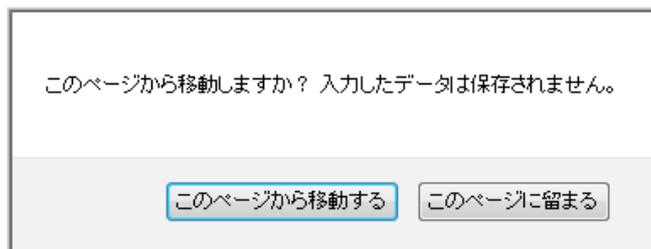
- お買い上げ時では、[ネットワーク分離機能](#)が機能し、セカンダリSSIDに接続した端末からセキュリティ・ペアレンタルコントロール機能の設定はできません。プライマリSSIDにWi-Fi接続するか、ネットワーク分離機能を解除してください。

- お使いのブラウザによっては、表示に時間がかかることがあります。
- ブラウザの閉じる、戻るボタンなどでブラウザのページを移動するとき、設定が未反映であるとポップアップを表示しますので、ページにとどまって手順の最後まで行ってください。

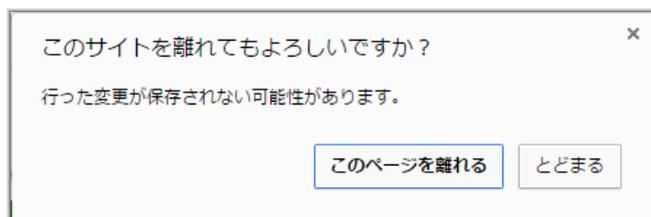
お使いのブラウザによっては、ブラウザの閉じる、戻るボタンなどでブラウザのページを移動するとき、設定が未反映であってもポップアップを表示しない場合がありますのでご注意ください。



<Internet Explorer 11.0の場合 ポップアップ画面の例>



<Firefox の場合 ポップアップ画面の例>



<Google Chrome の場合 ポップアップ画面の例>

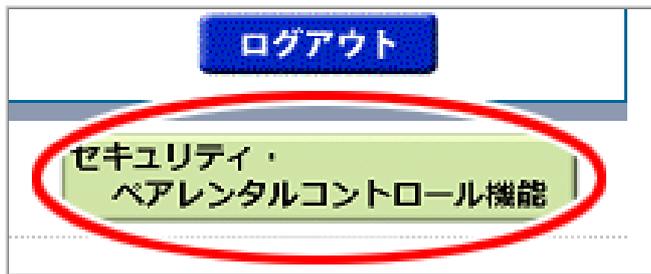
機能内容、機能区分

	機能内容	機能区分
ホームネットワーク全体の利用状況を見る	・「 現在のインターネット通信速度 」を見る	基本機能
	・「 インターネット通信量の履歴 」を見る	基本機能
	・「 Webアクセス制限の分布 」を見る	有料機能
	・「 アプリアクセス制限の分布 」を見る	有料機能
	・「 セキュリティ自己診断 」結果を見る	基本機能
デバイスごとの利用状況を見る	・表示するデバイスの情報を設定する	基本機能
	・デバイスごとの利用状況を見る	—
	<ul style="list-style-type: none"> ・「通信量の多いアプリケーション」を見る 	基本機能
	<ul style="list-style-type: none"> ・「Webアクセス制限の分布」を見る 	基本機能
	<ul style="list-style-type: none"> ・「アプリアクセス制限の分布」を見る 	有料機能
ホームネットワークにセキュリティを設定する	・「 おまかせ設定 」をする	有料機能
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に「脆弱性対策」をする 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に「不正アクセス対策」をする 	
デバイスごとにペアレンタルコントロールを設定する	・「 ペアレンタルコントロール機能 」を利用する	有料機能
	・設定するデバイスを決める	
	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイスに「ペアレンタルコントロール機能」を設定する 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用可能時間設定」をする 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「Webアクセス制限」をする 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホワイトリスト・ブラックリスト」を設定する 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「アプリアクセス制限」をする 	
有料機能を利用する		有料機能

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能を開始する

[クイック設定Web](#)で確認します。

1. クイック設定Webの[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックします。



◆ 補 足 ◆

- 利用許諾画面が表示された場合は、内容をよく読んで「利用許諾を確認しました」にチェックし、[同意する]をクリックします。



基本機能、有料機能契約前の画面を確認する

[クイック設定Web](#)で確認します。

1. クイック設定Webの[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックして、ホームネットワーク画面を表示します。

本製品配下のデバイスの通信状況や診断状況を表示します。光ルーターセキュリティの契約前は、有料機能(光ルーターセキュリティ)の項目はグレーアウトします。

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能

お使いの機器はドコモ光ルーター 01
DHR01-XXXXXX / Sig X.XXX

TREND docomo

光ルーターセキュリティの開始
ログアウト

光ルーターセキュリティ契約：無し **更新**

ホームネットワーク | ホームデバイス | セキュリティ設定 | ペアレンタルコントロール設定

現在のインターネット通信速度 (10秒更新)
XXXX/XX/XX XX.XXX更新

75 Mbps ダウンロード
43 Mbps アップロード

インターネット通信量の履歴
XXXX/XX/XX XX.XXX更新
●ダウンロード ●アップロード

Webアクセス制限の分布 (ブロックされたもの)
「光ルーターセキュリティ」契約お申込み後、上記のボタン「光ルーターセキュリティの開始」より機能の利用開始を行ってください。

アプリアクセス制限の分布 (ブロックされたもの)
同様に「光ルーターセキュリティ」契約が必要です。

セキュリティ自己診断
あなたのルーターは
安全度： **中** です
診断結果を見る

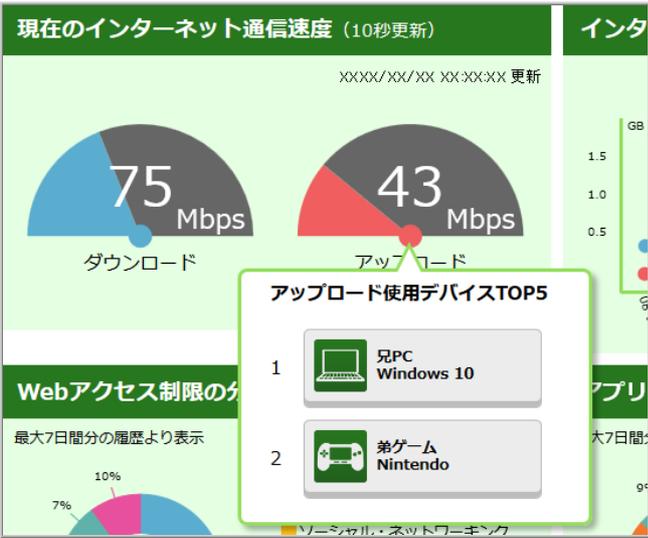
検知したセキュリティイベント
同様に「光ルーターセキュリティ」契約が必要です。

履歴消去

設定方法

ログアウト

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved. docomo

<p>現在のインターネット通信速度</p>	<p>半円グラフをクリックすると、インターネットでダウンロード／アップロードしているデバイスTOP5が表示される。デバイスを選択すると、ホームデバイス(デバイス情報)画面を表示する。</p> 
<p>インターネット通信量の履歴</p>	<p>1日単位のインターネット通信量の積算量を折れ線グラフで表示する。最近1週間分を表示する。ダウンロード／アップロードそれぞれ表示する。おおよそ1時間間隔(xx時00分時点)で更新する。</p>
<p>Webアクセス制限の分布</p>	<p>有料機能ご契約時にご利用になれます。</p>
<p>アプリアクセス制限の分布</p>	<p>有料機能ご契約時にご利用になれます。</p>
<p>セキュリティ自己診断</p>	<p>セキュリティ自己診断結果「高/中/低」を表示する。「高/中/低」は、セキュリティ設定画面で判断する。</p> <p>高: 自己診断のチェック項目がすべて「YES」 中: 自己診断のNo.4以降のチェック項目がすべて「YES」 低: 上記以外</p> <p>基本機能のみをご利用の場合はNo.1-3が「NO」となるため診断結果は「中」となる。</p> <p>[診断結果を見る]をクリックすると、セキュリティ設定画面を表示して、診断結果を表示する。[NO]をクリックすると画面がポップアップする。</p> <div data-bbox="520 1621 1082 1939" style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本画面のセキュリティ設定を有効にする必要があります。</p> <p style="text-align: center;">OK</p> </div> <p><ポップアップ画面の例></p>
<p>検知したセキュリティイベント</p>	<p>有料機能ご契約時にご利用になれます。</p>

2. [ホームデバイス]をクリックして、ホームデバイス画面を表示します。
ホームネットワーク全体の情報を表示します。

The screenshot shows the 'ホームデバイス' (Home Devices) section on the left, listing devices like '兄PC Windows 10', '弟スマホ iPhone', and unregistered devices. The main area displays a chart titled '現在の通信量の多いアプリケーションTOP20' (Top 20 Applications by Current Traffic Volume). The chart shows data for various applications, including Mozilla Firefox, HTTP Protocol over TLS SL, Web File Transfer, General Traffic, Yahoo, Yahoo Authentication via SSL, and NBNS. A dropdown menu is set to 'リアルタイム' (Real-time) and a '更新' (Update) button is visible.

アプリケーション/プロトコル	帯域の使用状況	ダウンロード	アップロード
1 Mozilla Firefox	569 B	646 B	
2 HTTP Protocol over TLS SL	560 B	461 B	
3 Web File Transfer	300 B	315 B	
4 App General Traffic	166 B	384 B	
5 Yahoo	185 B	232 B	
6 Yahoo Authentication via SSL	191 B	214 B	
7 NBNS	0 B	374 B	

通信量の多いアプリケーション

インターネット通信量の多いアプリケーションTOP20を表示する。
通信量表示の更新間隔は、[リアルタイム]をクリックして選択できる。
リアルタイム: おおよそ10秒間の通信量(自動更新有り)
1日間: おおよそ1日間の通信量(自動更新無し)
7日間: おおよそ7日間の通信量(自動更新無し)
[更新]をクリックすると、通信量が更新される。

This close-up shows the dropdown menu for the update interval, with options for 'リアルタイム' (Real-time), '1日間' (1 day), and '7日間' (7 days). The 'リアルタイム' option is currently selected.

デバイスリスト

画面左のデバイスリスト内のリストをクリックすると、「ホームデバイス(デバイス情報)画面」を表示する。

3. [セキュリティ設定]をクリックして、セキュリティ設定画面を表示します。
セキュリティ設定、セキュリティ自己診断結果を表示します。

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能

お使いの機器はドコモ光ルーター 01
DHR01-XXXXXX / Sig X.XXX

TREND | docomo

光ルーターセキュリティの開始
光ルーターセキュリティ契約：無し [更新](#) [ログアウト](#)

[ホームネットワーク](#) [ホームデバイス](#) **セキュリティ設定** [ペアレンタルコントロール設定](#)

セキュリティ設定

「光ルーターセキュリティ」契約お申込み後、上記のボタン「光ルーターセキュリティの開始」より機能の利用開始を行ってください。

●おまかせ設定 無効 有効

●詳細設定

脆弱性対策

デバイスの脆弱性の保護
(仮想パッチ機能)

無効 有効

不正アクセス対策

有害なWebサイトをブロック
(Webレピュテーション機能)

無効 有効

不正アクセス対策

デバイスの不正アクセスをブロック
(C&Cプロテクション機能、DoS・DDoS攻撃のブロック機能、ポートスキャン検知機能)

無効 有効

[設定する](#)

セキュリティ自己診断



あなたのルーターは
安全度：**中**です

[診断結果を見る](#)

[設定方法](#) [ログアウト](#)

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved. **docomo**

セキュリティ設定	有料機能ご契約時にご利用になれます。
セキュリティ自己診断	<p>セキュリティ自己診断結果「高/中/低」を表示する。「高/中/低」は、セキュリティ設定画面で判断する。</p> <p>高: 自己診断のチェック項目がすべて「YES」 中: 自己診断のNo.4以降のチェック項目がすべて「YES」 低: 上記以外</p> <p>基本機能のみをご利用の場合はNo.1-3が「NO」となるため診断結果は「中」となる。</p> <p>[診断結果を見る]をクリックすると、セキュリティ設定画面を表示して、診断結果を表示する。[NO]をクリックすると画面がポップアップする。</p> <div data-bbox="485 595 1046 913" style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本画面のセキュリティ設定を有効にする必要があります。</p> <p style="text-align: center;">OK</p> </div> <p><ポップアップ画面の例></p>

4. [ペアレンタルコントロール設定]をクリックして、ペアレンタルコントロール設定画面を表示します。



ペアレンタルコントロール設定	有料機能ご契約時にご利用になれます。
----------------	--------------------

ホームデバイスのデバイス名を設定する

1. クイック設定Webの[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックします。
2. [ホームデバイス]をクリックします。



3. インターネット利用制限したいホームデバイスをクリックします。



◆ 補足 ◆

- インターネット利用制限したいホームデバイスが<未登録>の場合、インターネット利用制限ルールを設定することができません。ここでクリックしたホームデバイスのデバイス登録を行うことが必要です。

4. ホームデバイスのデバイス登録をします。

4-1. 「デバイス名」に任意の名前を入力します。入力できる文字は、半角、または全角の英数記号で64桁以内です。

4-2. 「OS名」に任意のOS名を入力します。入力できる文字は、半角、または全角の英数記号で64桁以内です。

4-3. [登録する]をクリックします。

◆ 注意 ◆

- 絵文字などのOSや機種に依存する文字を入力した際は、正しく表示されない場合がありますので、ご注意ください。



◆ 補足 ◆

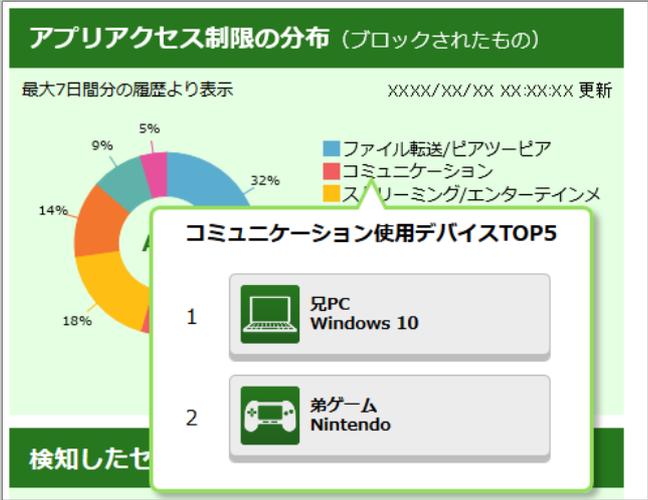
- [未登録に戻す]をクリックすると、登録デバイスを未登録デバイスにできます。デバイス名/OS名がデバイスを本製品に接続したときの値に戻ります。
- デバイスリストには、デバイスを登録した場合は、登録したデバイス名とOS名を表示します。デバイスを登録していない場合は、<未登録>と表示します。
- デバイスリストのアイコン表示色について
 緑アイコン：
 1週間以内にインターネット通信をしたデバイス、
 未登録デバイス
 グレーアイコン：
 インターネット通信から1週間経過したデバイス、
 本製品が再起動してからインターネット通信が確認できるまでのデバイス
- デバイスをリストから削除するには、デバイスアイコン右上の「×」をクリックします。また、未登録デバイスは、本製品の再起動によりリストから削除されます。
- 表示されるアイコンの種類と、未登録デバイスのデバイス名/OS名は、デバイスとの通信で取得した情報をもとに表示します。なお、Androidデバイスのデバイス名/OS名の表示は、ファームウェアバージョンにより異なります。

5. 表示されるポップアップの内容を確認し、[OK]をクリックします。

有料機能契約時の画面を確認する

[クイック設定Web](#)で確認します。

1. [ホームネットワーク]をクリックして、ホームネットワーク画面を表示します。

現在のインターネット通信速度	[基本機能、有料機能契約前の画面を確認する]の表参照。
インターネット通信量の履歴	[基本機能、有料機能契約前の画面を確認する]の表参照。
Webアクセス制限の分布	<p>[ストリーミングメディア/MP3]などのグラフの凡例をクリックすると、該当Webサイトを閲覧しようとしたデバイスTOP5が表示される。おおよそ1時間間隔 (xx時00分時点) で更新する。</p> <p>デバイスを選択すると、ホームデバイス(デバイス情報)画面を表示する。</p>  <p>The screenshot shows a pie chart titled 'Web Access Restriction Distribution (Blocked Items)' with a legend for 'Streaming Media/MP3' (blue) and 'P2P' (red). A callout box titled 'Streaming Media/MP3 Usage Device Top 5' lists: 1. Nintendo (Game Boy) and 2. Windows 10 (PC). The interface includes a date/time display and a 'Refresh' button.</p>
アプリアクセス制限の分布	<p>[コミュニケーション]などのグラフの凡例をクリックすると、該当アプリケーションを利用しようとしたデバイスTOP5が表示される。おおよそ1時間間隔 (xx時00分時点) で更新する。</p> <p>デバイスを選択すると、ホームデバイス(デバイス情報)画面を表示する。</p>  <p>The screenshot shows a pie chart titled 'App Access Restriction Distribution (Blocked Items)' with a legend for 'File Transfer/P2P' (blue), 'Communication' (red), and 'Streaming/Entertainment' (yellow). A callout box titled 'Communication Usage Device Top 5' lists: 1. Windows 10 (PC) and 2. Nintendo (Game Boy). The interface includes a date/time display and a 'Refresh' button.</p>
セキュリティ自己診断	[基本機能、有料機能契約前の画面を確認する]の表参照。
検出したセキュリティイベント	セキュリティ設定の機能により、検出したイベントがあるデバイスを表示する。表示されているデバイスをクリックすると、 ホームデバイス(デバイス情報)画面 を表示する。

2. [ホームデバイス]をクリックして、ホームデバイス画面を表示します。

ホームネットワーク全体の情報が表示されます。

インターネット通信量の多いアプリケーションTOP20を表示します。また、画面左のデバイスリスト内のリストをクリックすると、「ホームデバイス(デバイス情報)画面」が表示されます。

The screenshot displays the Trend Micro Docomo security management interface. At the top, it shows the router model (DHR01-XXXXXX) and the security status (光ルーターセキュリティの開始). The main navigation bar includes 'ホームネットワーク', 'ホームデバイス', 'セキュリティ設定', and 'ペアレンタルコントロール設定'. The 'ホームデバイス' section is active, showing a list of devices: '兄PC Windows 10', '弟スマホ iPhone', and two unregistered devices ('<未登録> Windows' and '<未登録> Wii system'). The '現在の通信量の多いアプリケーションTOP20' section features a bar chart comparing download and upload traffic for various applications. The chart is updated in real-time.

アプリケーション/プロトコル	帯域の使用状況	ダウンロード (B)	アップロード (B)
1 Mozilla Firefox	569 B	646 B	
2 HTTP Protocol over TLS SL	560 B	461 B	
3 Web File Transfer	300 B	315 B	
4 App General Traffic	166 B	384 B	
5 Yahoo	185 B	232 B	
6 Yahoo Authentication via SSL	191 B	214 B	
7 NBNS	0 B	374 B	

3. [セキュリティ設定]をクリックして、セキュリティ設定画面を表示します。
セキュリティ設定、セキュリティ自己診断結果を表示します。

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能

お使いの機器はドコモ光ルーター 01
DHR01-XXXXXX / Sig X.XXX

TREND WIRELESS | docomo

光ルーターセキュリティの開始

光ルーターセキュリティ契約：有り 更新 ログアウト

ホームネットワーク
ホームデバイス
セキュリティ設定
ペアレンタルコントロール設定

セキュリティ設定

● **おまかせ設定** 無効 有効

● **詳細設定**

脆弱性対策

デバイスの脆弱性の保護
(仮想パッチ機能)

無効 有効

不正アクセス対策

有害なWebサイトをブロック
(Webレピュテーション機能)

無効 有効

デバイスの不正アクセスをブロック
(C&Cプロテクション機能、DoS・DDoS攻撃のブロック機能、ポートスキャン検知機能)

無効 有効

設定する

セキュリティ自己診断



あなたのルーターは
安全度： **中** です

診断結果を隠す

チェック項目	結果	チェック項目	結果
1 デバイスの脆弱性の保護がオン	NO	10 Wi-Fi 暗号化の安全度が高い (5G, セカンダリ)	YES
2 有害Webサイトへのアクセスブロックがオン	YES	11 Wi-Fi 暗号化(パスワード)の安全度が高い (5G, セカンダリ)	YES
3 デバイスの不正アクセスをブロックがオン	YES	12 UPnP 機能がオフ	YES
4 Wi-Fi 暗号化の安全度が高い (2.4G, プライマリ)	YES	13 インターネットからのクイック設定Webへのアクセスを許可しない	YES
5 Wi-Fi 暗号化(パスワード)の安全度が高い (2.4G, プライマリ)	YES	14 WANポートからのPINGがオフ	YES
6 Wi-Fi 暗号化の安全度が高い (5G, プライマリ)	YES	15 デフォルトの管理者/パスワードが変更されているか	YES
7 Wi-Fi 暗号化(パスワード)の安全度が高い (2.4G, セカンダリ)	YES	16 管理者パスワードの安全度が高い	YES
8 Wi-Fi 暗号化の安全度が高い (2.4G, セカンダリ)	YES	17 ポートフォワーディングがオフ	YES
9 Wi-Fi 暗号化(パスワード)の安全度が高い (2.4G, セカンダリ)	YES		

設定方法

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

ログアウト

docomo

<p>セキュリティ設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おまかせ設定 有効/無効を選択できる。有効を選択した場合は、詳細設定の各設定項目がすべて有効となる。 ・詳細設定 おまかせ設定が無効時に、各設定項目の有効/無効の切り替えができる。
<p>セキュリティ自己診断</p>	<p>セキュリティ自己診断結果「高/中/低」を表示する。「高/中/低」は、セキュリティ設定画面で判断する。</p> <p>高: 自己診断のチェック項目がすべて「YES」 中: 自己診断のNo.4以降のチェック項目がすべて「YES」 低: 上記以外</p> <p>[診断結果を見る]をクリックすると、セキュリティ設定画面を表示して、診断結果を表示する。[NO]をクリックすると画面がポップアップする。</p> <div data-bbox="483 734 1046 1055" style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本画面のセキュリティ設定を有効にする必要があります。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> </div> <p><ポップアップ画面の例></p>

4. [ペアレンタルコントロール設定]をクリックして、ペアレンタルコントロール設定画面を表示します。

The screenshot shows the 'Parental Control Settings' page. At the top, there's a header with 'セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能' and 'TREND MICRO | docomo'. Below that, there are navigation tabs: 'ホームネットワーク', 'ホームデバイス', 'セキュリティ設定', and 'ペアレンタルコントロール設定'. The main content area has a toggle for 'ペアレンタルコントロール' set to '有効' (On). A red '設定する' (Set) button is below it. There are two sections: '設定済みデバイス (最大16台 登録可)' and '未設定デバイス'. The '設定済みデバイス' section shows a '兄PC Windows 10' with a close button. The '未設定デバイス' section shows '弟スマホ iphone' and '弟ゲーム Nintendo'. At the bottom, there's a 'ログアウト' button and a footer with '© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.' and the 'docomo' logo.

ペアレンタルコントロール設定

- ・ペアレンタルコントロール有効/無効を選択できる。
- ・設定済みデバイス
ペアレンタルコントロールを設定したデバイスを表示する。
「×」をクリックすると、利用制限ルールを削除する。
- ・未設定デバイス
ペアレンタルコントロール未設定のデバイスを表示する。

有料機能(光ルーターセキュリティ)を開始する(dアカウントログイン)

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. クイック設定Webの[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックします。
2. ホームネットワーク画面の「光ルーターセキュリティの開始」をクリックします。



3. [ログインして設定]をクリックします。



4. dアカウント認証画面でログインします。

ログイン

dアカウント

不正ログインの被害を防ぐ
今すぐできるセキュリティ対策はこちら

dアカウントのID

パスワード(半角英数記号8~20桁)

次回ログインからIDの入力を省略

ログイン

[ID/パスワードをお忘れの方](#)

dアカウントを発行する

[dアカウントとは?](#) [ご利用上の注意](#)

ご注意

- 一度ログインを行うと次回以降、ニックネーム、dポイント情報、利用履歴等の情報が自動的に表示されます。第三者が使用する可能性があるパソコン・タブレットをご利用の場合には、ご注意ください。
- お客様がご利用されるサービスに応じて、ログイン状態で表示される情報は異なります。ご利用のサービスで表示される情報をご確認の上ログイン状態を保持するかをご確認ください。

[共用のパソコンやタブレットでの利用について](#)

[プライバシーポリシー](#) [ご利用規約/ご注意事項](#) [ご利用にあたって](#)

5. 本機能の利用を開始します。

◆ 注意 ◆

- 光ルーターセキュリティの契約情報が本製品に反映されるまで、本機能を利用することができません。「光ルーターセキュリティ契約:有り」と表示されていることをご確認ください。dアカウント認証画面でログイン後に本機能の利用を開始し、10分以上たっても反映されていない場合は、再度dアカウントログイン(手順2~)を行ってください。



◆ 補足 ◆

- [更新]をクリックすると、認証サーバへ契約情報を取得しにいきます。

セキュリティ機能を設定する

お買い上げ時の状態から、最初に光ルーターセキュリティを開始した場合は、セキュリティ機能は有効[おまかせ設定]に設定されています※。

1. クイック設定Webの[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックします。
2. [セキュリティ設定]をクリックします。



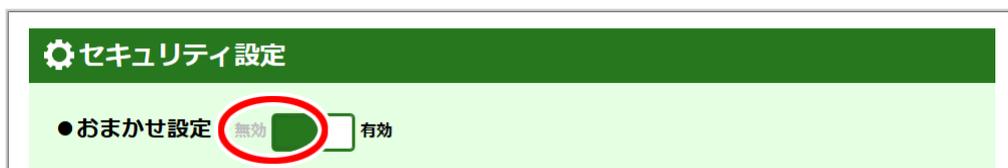
3. セキュリティ機能の変更をします。

※ セキュリティ向上のため、セキュリティ機能の設定を変更せずに、有効のままご使用になることをお勧めします。

- 3-1. 個別に設定したい場合は、「おまかせ設定」を「無効」に設定します。

◆ 補足 ◆

- 「おまかせ設定」を「有効」に設定した場合は、「脆弱性対策」、「不正アクセス対策」が有効になります。



- 3-2. 「詳細設定」-「デバイスの脆弱性の保護(仮想パッチ機能)」を設定します。
- 3-3. 「詳細設定」-「有害なWebサイトへのアクセスブロック(Webレピュテーション機能)」を設定します。
- 3-4. 「詳細設定」-「デバイスの不正アクセスをブロック(C&Cプロテクション機能、DoS・DDoS攻撃のブロック機能、ポートスキャン検知機能)」を設定します。
- 3-5. [設定する]をクリックします。



4. 表示されるポップアップの内容を確認し、[OK]をクリックします。

ペアレンタルコントロールを有効にする

1. クイック設定Webの[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックします。
2. [ペアレンタルコントロール設定]をクリックします。



3. 「ペアレンタルコントロール」を「有効」にします。



4. [設定する]をクリックします。

ホームデバイスのインターネット利用制限ルールを設定する

制限できる内容は以下のとおりです。

- 利用可能時間設定
- Webアクセス制限
- ホワイトリスト・ブラックリスト
- アプリアクセス制限

1. クイック設定Webの[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックします。

2. [ペアレンタルコントロール設定]をクリックします。



3. インターネット利用を制限したいホームデバイスをクリックします。

4. インターネット利用を可能にする時間帯を設定します。ここでは、[土日:7~19時]を一括で設定し、さらに14:00-14:29を可能にする設定を例にします。

4-1. [土日:7~19時]をクリックします。

インターネット利用制限ルール

インターネット利用を許可する時間帯を30分単位で設定します。

一括時間設定

すべて 平日:7~19時 平日:19~7時 **土日:7~19時** 土日:19~7時 クリア

詳細許可設定

00:00-06:00 **06:00-12:00** 12:00-18:00 18:00-24:00

時刻	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
許可時間帯合計	0時間						
06:00	<input type="checkbox"/>						
06:30	<input type="checkbox"/>						
07:00	<input type="checkbox"/>						
07:30	<input type="checkbox"/>						
08:00	<input type="checkbox"/>						
08:30	<input type="checkbox"/>						
09:00	<input type="checkbox"/>						
09:30	<input type="checkbox"/>						
10:00	<input type="checkbox"/>						
10:30	<input type="checkbox"/>						
11:00	<input type="checkbox"/>						
11:30	<input type="checkbox"/>						

4-2. インターネット利用を可能にする時間帯のタブをクリックします。ここでは、[12:00-18:00]をクリックします。

詳細許可設定

00:00-06:00 06:00-12:00 **12:00-18:00** 18:00-24:00

時刻	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
許可時間帯合計	12時間	0時間	0時間	0時間	0時間	0時間	12時間
06:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
06:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
07:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
07:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
08:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
08:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
09:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
09:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
10:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
10:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
11:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
11:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					

4-3. 利用可能または利用制限をする時間帯を選択します。ここでは、月曜～日曜日の14:00-14:29を利用可能にした例です。

※曜日ごとに設定ができます。

詳細許可設定

00:00-06:00 06:00-12:00 **12:00-18:00** 18:00-24:00

時刻	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
許可時間帯合計	12時間	0.5時間	0.5時間	0.5時間	0.5時間	0.5時間	12時間
12:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
14:00	<input checked="" type="checkbox"/>						
14:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
17:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
17:30	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4-4. [設定する]をクリックします。

5. Webアクセス制限を設定します。

※Webアクセス制限を設定しない場合は、手順6に進んでください。

5-1. あらかじめ用意された世代別推奨設定を選択します。[カスタム設定]をクリックして表示される「小学生」/「中学生」/「高校生」から選択してください。

◆ 補 足 ◆

- 用意された世代別設定の項目と設定値は、下記を参照してください。
○はWebアクセス制限する、×はWebアクセス制限しない、を示します。

カテゴリ分類	設定値		
	小学生	中学生	高校生
子供の閲覧に不適切なサイト			
違法と思われる行為	○	○	○
違法と思われる薬物	○	○	○
暴力/差別	○	○	○
武器	○	○	○
アダルト/成人向け	○	○	○
性教育	○	○	○
ギャンブル	○	○	○
酒/タバコ	○	○	○
知らない人と交流できるサイト			
インターネット電話	○	○	○
チャット/メッセージ	○	○	○
ソーシャル・ネットワーキング	○	○	○
ブログ/掲示板/コミュニケーション	○	○	○
Webホスティング	×	×	×
メール	○	×	×
利用に知識、経験、判断力が必要なものや、水着・下着などの描写が含まれるサイト			
下着/水着	○	○	×
低俗	○	○	○
懸賞/サイドビジネス	○	○	×
時間の浪費が心配なサイト			
インターネットラジオ/テレビ	○	×	×
ストリーミングメディア/MP3	○	×	×
上記以外の心配事が含まれるサイト			
着信メロディ/携帯電話向けダウンロードサービス	○	×	×
ピアツーピア	○	×	×
ソフトウェアダウンロード	○	×	×
画像検索	×	×	×

5-2. 個別にWebアクセス制限を設定したい場合は、カテゴリにチェックします。画面は、「アダルト/成人向け」「インターネット電話」をWebアクセス制限した例です。

Webアクセス制限

カスタム設定

子どもの閲覧に不適切なサイト 全選択 全解除

違法と思われる行為 違法と思われる薬物 暴力/差別 武器
 アダルト/成人向け 性教育 ギャンブル 酒/タバコ

知らない人と交流できるサイト 全選択 全解除

インターネット電話 チャット/メッセージャー ソーシャル・ネットワーキング
 ブログ/掲示板/コミュニケーション Webホスティング メール

5-3. [設定する]をクリックします。

6. ホワイトリスト・ブラックリストを設定します

※ホワイトリスト・ブラックリストを設定しない場合は、手順7に進んでください。

6-1. Webサイト名を指定してホワイトリストを設定したい場合は、「Webサイト」にWebサイト名を、「メモ/コメント」に任意の文字を入力して、[追加する]をクリックします。

ホワイトリスト一覧 (最大128件 登録可)

Webサイト名/ドメイン名を登録することで、Webアクセス制限でブロックされるWebサイトへのアクセスを許可します。
 (ホワイトリストに登録したとしても、セキュリティ機能でアクセスが制限される場合があります)
 http://www.example.com/を許可したい場合はhttp://の後に続くWebサイト名(www.example.com)、またはドメイン名 (example.com) を入力してください。
 詳しくは取扱説明書をご参照ください。

Webサイト

メモ/コメント

No.	Webサイト	メモ/コメント
ホワイトリスト登録がありません。		

◆ 補足 ◆

- 「Webサイト」に入力できる文字は、半角英数字(a~z、A~Z、0~9)、半角のハイフン「-」、半角のドット「.」で253桁以内です(ただし、先頭および末尾は英数字のみ)。「メモ/コメント」に入力できる文字は、全角半角英数字、記号および日本語で全角64桁以内です。

<追加するWebサイト名/ドメイン名の入力例>

ブラウザに表示されるURL	「Webサイト」欄入力文字
http://www.example.com/index.html	www.example.com (URLの内「www.example.com」のみを入力します。)

◆ 注意 ◆

- 「Webサイト」に Webサイトのドメイン名を入力すると、入力文字列とWebサイトのドメイン名が後方一致した場合に該当Webサイトへのアクセスを許可します。
「example.co.jp」を入力した場合は、「www.example.co.jp」「www.aaa.example.co.jp」「xxxexample.co.jp」などをアクセス許可にします。

<アクセスできるURL例>

「Webサイト」欄入力文字	ブラウザに表示されるURL	説明
example.co.jp	http://www.example.co.jp	左記URLなど、「example.co.jp」で終わるURLに一致した場合にアクセスを許可します。
	http://www.aaa.example.co.jp	
	http://xxxexample.co.jp	

6-2. ブロック履歴からホワイトリストを設定したい場合は、チェックボックスで選択してホワイトリストを設定します。

※ブロック履歴からホワイトリストを設定しない場合は、手順6-3に進んでください。

◆ 補足 ◆

- ホワイトリストは、ブラックリストや有害Webサイトへのアクセスブロック(Webレピュテーション機能)よりも優先されます。

(1) [ブロック履歴を参照する]をクリックします。

ホワイトリスト一覧 (最大128件 登録可)

Webサイト名/ドメイン名を登録することで、Webアクセス制限でブロックされるWebサイトへのアクセスを許可します。
(ホワイトリストに登録したとしても、セキュリティ機能でアクセスが制限される場合があります)
http://www.example.com/を許可したい場合はhttp://の後に続くWebサイト名(www.example.com)、またはドメイン名(example.com)を入力してください。
詳しくは取扱説明書をご参照ください。

Webサイト Webサイト名を入力

メモ/コメント メモ/コメントを入力(任意)

追加する **ブロック履歴を参照する**

No.	Webサイト	メモ/コメント	編集	削除
1	www.aaa.com	サイトA	編集	削除
2	www.bbb.com	サイトB	編集	削除
3	www.ccc.com	サイトC	編集	削除
4	www.ddd.com	サイトD	編集	削除

◆ 補足 ◆

- [削除]をクリックすると、ホワイトリストから削除します。

(2) ホワイトリストに追加するWebサイトのチェックボックスにチェックし(複数可)、[追加する]をクリックします。

ホワイトリスト登録

ホワイトリストに追加するWebサイトを選択してください。

Webサイト	カテゴリ	
<input type="checkbox"/> www.ddd.com	着信メロディ/携帯電話向けダウンロードサービス	<input type="button" value="このサイトを見る"/>
<input type="checkbox"/> www.eee.com	着信メロディ/携帯電話向けダウンロードサービス	<input type="button" value="このサイトを見る"/>
<input type="checkbox"/> www.fff.com	ソフトウェアダウンロード	<input type="button" value="このサイトを見る"/>
<input type="checkbox"/> www.ggg.com	ソフトウェアダウンロード	<input type="button" value="このサイトを見る"/>
<input checked="" type="checkbox"/> www.hhh.com	ストリーミングメディア/MP3	<input type="button" value="このサイトを見る"/>
<input type="checkbox"/> www.iii.com	ストリーミングメディア/MP3	<input type="button" value="このサイトを見る"/>
<input type="checkbox"/> www.jjj.com	ブログ/掲示板/コミュニケーション	<input type="button" value="このサイトを見る"/>

◆ 補足 ◆

- [キャンセル]をクリックすると、編集内容を破棄します。
- ブロック履歴は、該当デバイスのブロック履歴から過去100件分参照し、同一のドメイン名は集約して表示します。

6-3. ホワイトリスト一覧を編集したい場合は、[編集]ボタンをクリックしてホワイトリストを設定します。

(1) [編集]をクリックします。

ホワイトリスト一覧 (最大128件 登録可)

Webサイト名/ドメイン名を登録することで、Webアクセス制限でブロックされるWebサイトへのアクセスを許可します。
(ホワイトリストに登録したとしても、セキュリティ機能でアクセスが制限される場合があります)
http://www.example.com/を許可したい場合はhttp://の後に続くWebサイト名(www.example.com)、またはドメイン名 (example.com) を入力してください。
詳しくは取扱説明書をご参照ください。

Webサイト

メモ/コメント

No.	Webサイト	メモ/コメント		
1	www.aaa.com	サイトA	<input checked="" type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
2	www.bbb.com	サイトB	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
3	www.ccc.com	サイトC	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
4	www.ddd.com	サイトD	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

(2) 「Webサイト」と「メモ/コメント」を編集して、[追加する]をクリックします。

ホワイトリスト一覧 (最大128件 登録可)

Webサイト名/ドメイン名を登録することで、Webアクセス制限でブロックされるWebサイトへのアクセスを許可します。
(ホワイトリストに登録したとしても、セキュリティ機能でアクセスが制限される場合があります)
 http://www.example.com/を許可したい場合はhttp://の後に続くWebサイト名(www.example.com)、またはドメイン名 (example.com) を入力してください。
 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

Webサイト:

メモ/コメント:

No.1を編集しています

No.	Webサイト	メモ/コメント	編集	削除
1	www.aaa.com	サイトA	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
2	www.bbb.com	サイトB	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
3	www.ccc.com	サイトC	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
4	www.ddd.com	サイトD	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

6-4. Webサイト名を指定してブラックリストを設定したい場合は、「Webサイト」にWebサイト名を、「メモ/コメント」に任意の文字を入力して、[追加する]をクリックします。
 ※ブラックリストを設定しない場合は、6-6に進んでください。

ブラックリスト一覧 (最大128件 登録可)

Webアクセス制限に加えて、入力したWebサイトへのアクセスを拒否する機能です。
http://www.example.com/を拒否したい場合はhttp://の後に続くWebサイト名(www.example.com)、またはドメイン名 (example.com) を入力してください。
 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

Webサイト:

メモ/コメント:

No.	Webサイト	メモ/コメント
ブラックリスト登録がありません。		

◆ 補 足 ◆

- 「Webサイト」に入力できる文字は、半角英数字(a～z、A～Z、0～9)、半角のハイフン「-」、半角のドット「.」で253桁以内です(ただし、先頭および末尾は英数字のみ)。「メモ/コメント」に入力できる文字は、全角半角英数字、記号および日本語で全角64桁以内です。

<追加するWebサイト名/ドメイン名の入力例>

ブラウザに表示されるURL	「Webサイト」欄入力文字
http://www.example.com/index.html	www.example.com (URLの内「www.example.com」のみを入力します。)

◆ 注意 ◆

- 「Webサイト」に Webサイトのドメイン名を入力すると、入力文字列とWebサイトのドメイン名が後方一致した場合に該当Webサイトへのアクセスをブロックします。
「example.co.jp」を入力した場合は、「www.example.co.jp」「www.aaa.example.co.jp」「xxxexample.co.jp」などへのアクセスをブロックします。

<アクセスできないURL例>

「Webサイト」欄入力文字	ブラウザに表示されるURL	説明
example.co.jp	http://www.example.co.jp	左記URLなど、「example.co.jp」で終わるURLに一致した場合にアクセスをブロックします。
	http://www.aaa.example.co.jp	
	http://xxxexample.co.jp	

6-5. ブラックリスト一覧を編集したい場合は、[編集]ボタンをクリックしてブラックリストを設定します。

(1) [編集]をクリックします。

ブラックリスト一覧 (最大128件 登録可)

Webアクセス制限に加えて、入力したWebサイトへのアクセスを拒否する機能です。
http://www.example.com/を拒否したい場合はhttp://の後に続くWebサイト名(www.example.com)、またはドメイン名 (example.com) を入力してください。
詳しくは取扱説明書をご参照ください。

Webサイト Webサイト名/ドメイン名を入力

メモ/コメント メモ/コメントを入力(任意)

追加する 編集をキャンセルする

No.	Webサイト	メモ/コメント	編集	削除
1	www.eee.com	サイトE	編集	削除
2	www.fff.com	サイトF	編集	削除
3	www.ggg.com	サイトG	編集	削除
4	www.hhh.com	サイトH	編集	削除

◆ 補足 ◆

- [削除]をクリックすると、ブラックリストから削除します。

(2) 「Web サイト」と「メモ/コメント」を編集して、[追加する]をクリックします。

ブラックリスト一覧 (最大128件 登録可)

Webアクセス制限に加えて、入力したWebサイトへのアクセスを拒否する機能です。
 http://www.example.com/を拒否したい場合はhttp://の後に続くWebサイト名(www.example.com)、またはドメイン名 (example.com) を入力してください。
 詳しくは取扱説明書をご参照ください。

Webサイト

メモ/コメント

No.1を編集しています

No.	Webサイト	メモ/コメント	編集	削除
1	www.eee.com	サイトE	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
2	www.fff.com	サイトF	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
3	www.ggg.com	サイトG	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
4	www.hhh.com	サイトH	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

◆ 補足 ◆

- [編集をキャンセル]をクリックすると、編集内容を破棄します。

6-6. [設定する]をクリックします。

7. アプリアクセス制限を設定します。

7-1. あらかじめ用意された世代別推奨設定を選択します。[カスタム設定]をクリックして表示される「小学生」/「中学生」/「高校生」から選択してください。

◆ 補足 ◆

- 用意された世代別設定の項目と設定値は、下記を参照してください。
 ○はWebアクセス制限する、×はWebアクセス制限しない、を示します。

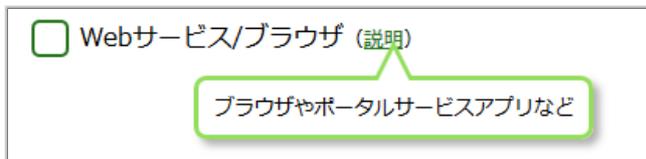
カテゴリ分類	設定値		
	小学生	中学生	高校生
データベース/ビジネス	○	×	×
ストリーミング/エンターテインメント	○	×	×
コミュニケーション	○	○	○
プロキシ/トンネリング	○	○	○
ファイル転送/ピアツーピア	○	○	○
Webサービス/ブラウザ	×	×	×
リモートコントロール/ネットワーク管理	×	×	×

7-2. 個別にアプリアクセス制限を設定したい場合は、カテゴリにチェックします。画面は、「コミュニケーション」をアプリアクセス制限した例です。



◆ 補足 ◆

- [説明]をクリックすると、画面に説明が表示されます。



カテゴリ	「説明」クリック時の表示文言
データベース/ ビジネス	データベース管理システム、CRM(顧客管理)、SFA(営業支援)等の ビジネスツール
ストリーミング/ エンターテインメント	映像や音楽ファイルの転送・再生を行うアプリやゲームアプリなど
コミュニケーション	メール、インスタントメッセージ、SNS等のコミュニケーション用アプリ
プロキシ/トンネリング	プロキシツールやVPN等のトンネリングプロトコルを用いたツール
ファイル転送/ ピアツーピア	ファイル共有アプリやファイルを送受信するツールなど
Webサービス/ブラウザ	ブラウザやポータルサービスアプリなど
リモートコントロール/ ネットワーク管理	リモートコントロール、SNMP等のプロトコルを用いたツールやDNS等の ネットワーク管理ツール

- [設定をリセット]をクリックすると、世代別推奨設定を[カスタム設定]に戻して選択したカテゴリの
チェックをすべて外します。

7-3. [設定する]をクリックします。

Webアクセスがブロックされたことを確認する

1. セキュリティ機能、ペアレンタルコントロール機能を設定した場合、Webアクセスがブロックされたとき、次の画面が表示されます。有害なWebサイトにアクセスを試みても画面が表示されない場合は、設定を確認してください。



◆ 注意 ◆

- HTTPS通信の場合は、「このページは表示できません」などの画面が表示されます。表示内容はお使いのブラウザにより異なります。この場合、ホワイトリスト申請を行うことはできません。

ブロックされたWebサイトをホワイトリスト申請する

1. デバイスのユーザー(例えば、お子様)は、Webアクセスがブロックされたときの画面で、[ホワイトリスト申請]をクリックします。

◆ 注意 ◆

- 有害Webサイトへのアクセスブロック(Webレピュテーション機能)によりWebアクセスがブロックされた場合は、[ホワイトリスト申請]を表示しません。



2. デバイスのユーザー(例えば、お子様)は、ルーターの管理者に次を伝えてください。

- ブロックされたWebサイトへのアクセスを希望していること
- ホワイトリスト申請をしたので承認してほしいこと
- アクセスを希望しているデバイスがどのデバイスか

3. ルーターの管理者がホワイトリスト追加を承認すると、Webアクセスできるようになります。

ホワイトリスト申請を受けて承認する

ルーターの管理者は、ホワイトリスト申請を受けたWebサイトのアクセスを許可するかどうかを決めます。許可する場合は、次の手順で設定します。

ここでは、[兄PC Windows 10]を許可するデバイスの例にします。

1. クイック設定 Web の[セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能]をクリックします。
2. [ホームデバイス]をクリックします。



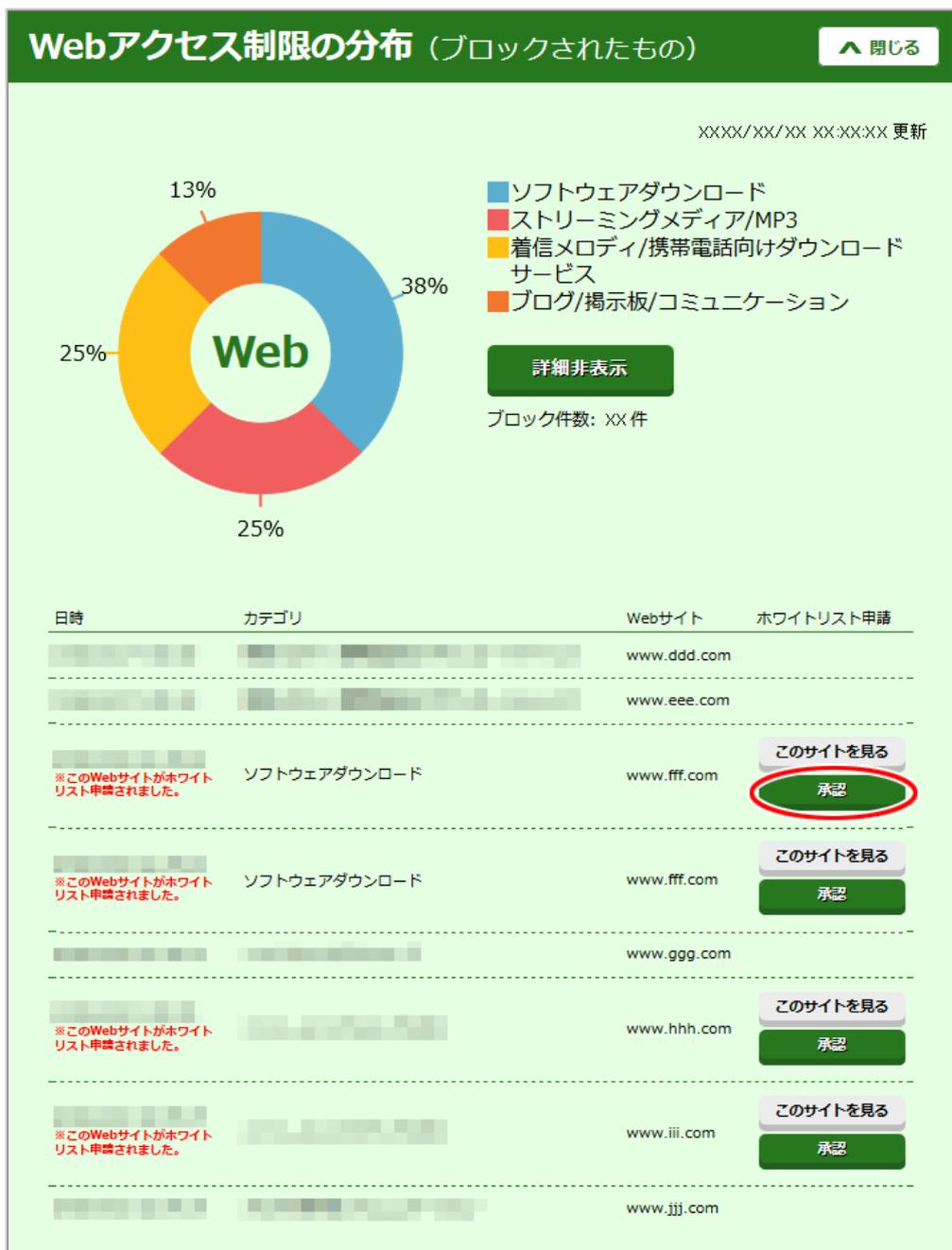
3. 許可するデバイス[兄 PC Windows 10]をクリックします。



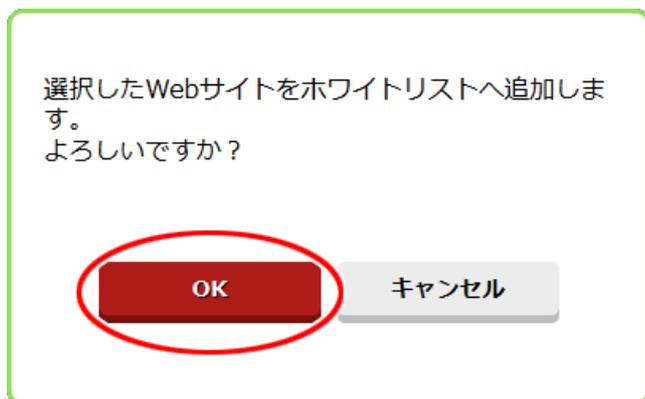
4. [承認]をクリックします。

◆ 注意 ◆

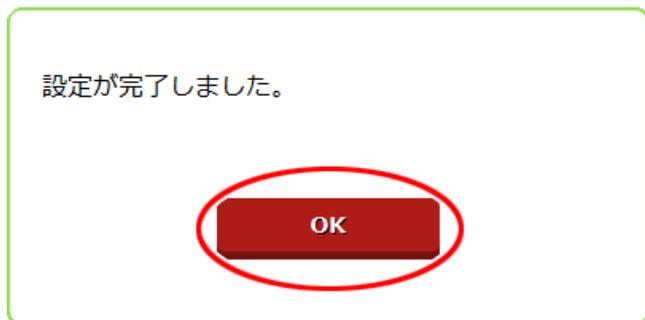
- [承認]ボタンの上[このサイトを見る]で、Web サイトのトップページへ移動して、承認しようとしているWeb サイトを確認できます。ペアレンタルコントロール設定でアクセス制限されていないデバイスをお使いください。



5. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。



6. ホワイトリストへ追加が完了します。下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。



7. ホワイトリストへ追加されたWebサイトすべての承認ボタンが非表示になります。



ホームデバイス(ルーター情報)画面

<ホームデバイス(ルーター情報)画面>現在の通信量の多いアプリケーションTOP20

The screenshot displays the 'Home Device' management interface. The main content area is titled '現在の通信量の多いアプリケーションTOP20' (Top 20 Applications with High Current Traffic Volume). It features a table with columns for 'アプリケーション/プロトコル' (Application/Protocol), '帯域の使用状況' (Bandwidth Usage), and 'ダウンロード' (Download) / 'アップロード' (Upload). The data is as follows:

順位	アプリケーション/プロトコル	ダウンロード (B)	アップロード (B)
1	Mozilla Firefox	569 B	646 B
2	HTTP Protocol over TLS S SL	560 B	461 B
3	Web File Transfer	300 B	315 B
4	General Traffic	166 B	384 B
5	Yahoo	185 B	232 B
6	Yahoo Authentication via SSL	191 B	214 B
7	NBNS	0 B	374 B

The interface also includes a sidebar with device lists (e.g., Windows 10, iPhone) and navigation tabs for Home Network, Home Device, Security Settings, and Parental Control Settings. The page footer contains the NTT DOCOMO logo and copyright information.

インターネット通信量の多いアプリケーショントップ20を表示します。

- ダウンロードとアップロードの合計値が多い順に表示します。
- アイコンについては、[「アイコンについて」](#)を参照してください。

<ホームデバイス(ルーター情報)画面>デバイスリスト

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能

お使いの機器はドコモ光ルーター 01
DHR01-XXXXXX / Sig X.XXX

光ルーターセキュリティの開始
光ルーターセキュリティ契約：有り 更新

ログアウト

ホームネットワーク | ホームデバイス | セキュリティ設定 | ペアレンタルコントロール設定

ルーター
ドコモ光ルーター 01
DHR01-XXXXXX

デバイスリスト

兄PC
Windows 10

弟スマホ
iPhone

<未登録>
Windows

<未登録>
Wii system

現在の通信量の多いアプリケーションTOP20

リアルタイム 更新

XXXX/XX/XX XX:XX:XX 更新

アプリケーション/プロトコル 帯域の使用状況 ●ダウンロード ●アップロード

順位	アプリケーション/プロトコル	ダウンロード (B)	アップロード (B)
1	Mozilla Firefox	569 B	646 B
2	HTTP Protocol over TLS S SL	560 B	461 B
3	Web File Transfer	300 B	315 B
4	App General Traffic	166 B	384 B
5	Yahoo	185 B	232 B
6	Yahoo Authentication via SSL	191 B	214 B
7	NBNS	0 B	374 B

設定方法

ログアウト

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved. NTT docomo

- ①本製品の情報を表示します。
- ②デバイスのリストを表示します。

◆ 補足 ◆

- デバイスを登録した場合は、登録したデバイス名とOS名を表示します。デバイスを登録していない場合は、<未登録>と表示します。
- デバイスリストのアイコン表示色について
緑アイコン：
1週間以内にインターネット通信をしたデバイス、
未登録デバイス
グレーアイコン：
インターネット通信から1週間経過したデバイス、
本製品が再起動してからインターネット通信が確認できるまでのデバイス
- デバイスをリストから削除するには、デバイスアイコン右上の「×」をクリックします。また、未登録デバイスは、本製品の再起動によりリストから削除されます。
- 表示されるアイコンの種類と、未登録デバイスのデバイス名/OS名は、デバイスとの通信で取得した情報をもとに表示します。なお、Androidデバイスのデバイス名/OS名の表示は、ファームウェアバージョンにより異なります。

① デバイス名とOS名の入力欄

② 未登録に戻すボタン

③ デバイス情報の表示欄

IPv4アドレス	MACアドレス
192.168.XXX.XXX	XXXXXXXXXXXX
IPv6アドレス	
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX	
アップロードデータ量 (10秒更新)	ダウンロードデータ量 (10秒更新)
0bps	0bps

① 選択したデバイスの情報を表示／登録します。

- デバイス名
- OS名

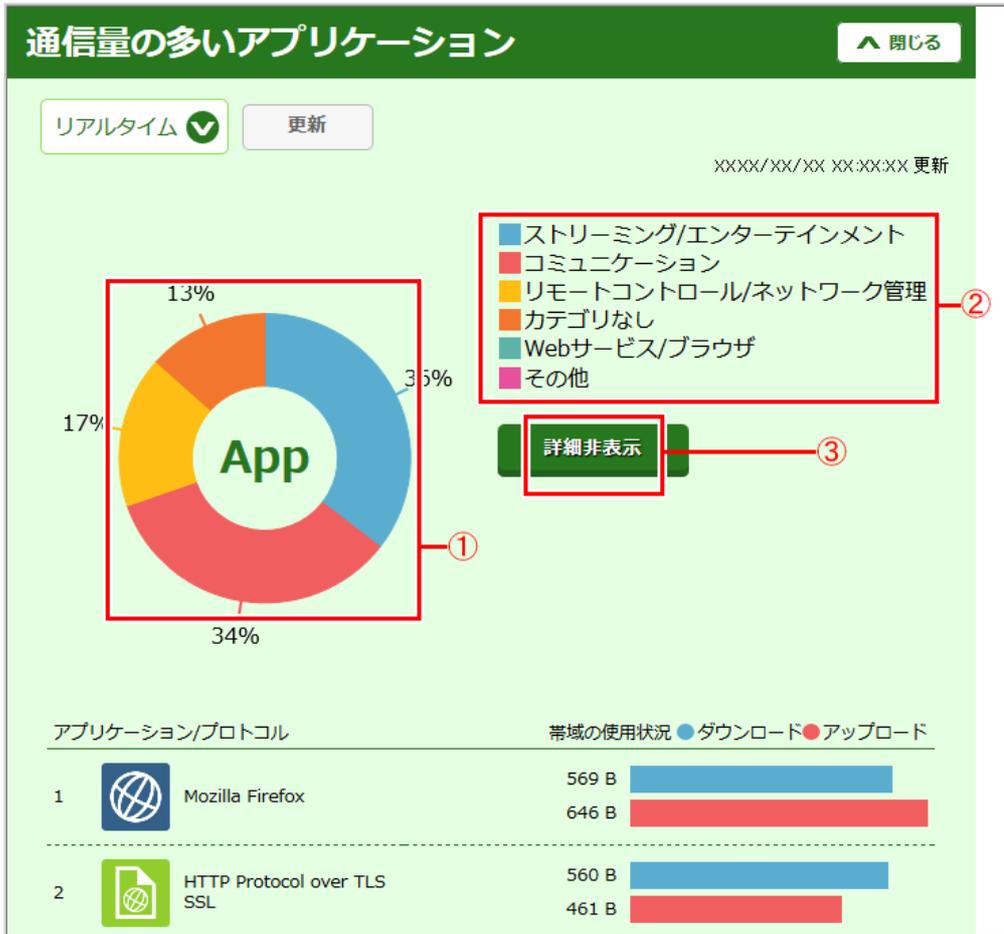
② [未登録に戻す]をクリックすると、登録デバイスを未登録デバイスにできます。デバイス名/OS名がデバイスを本製品に接続したときの値に戻ります。

③ 選択したデバイスの情報を表示します。

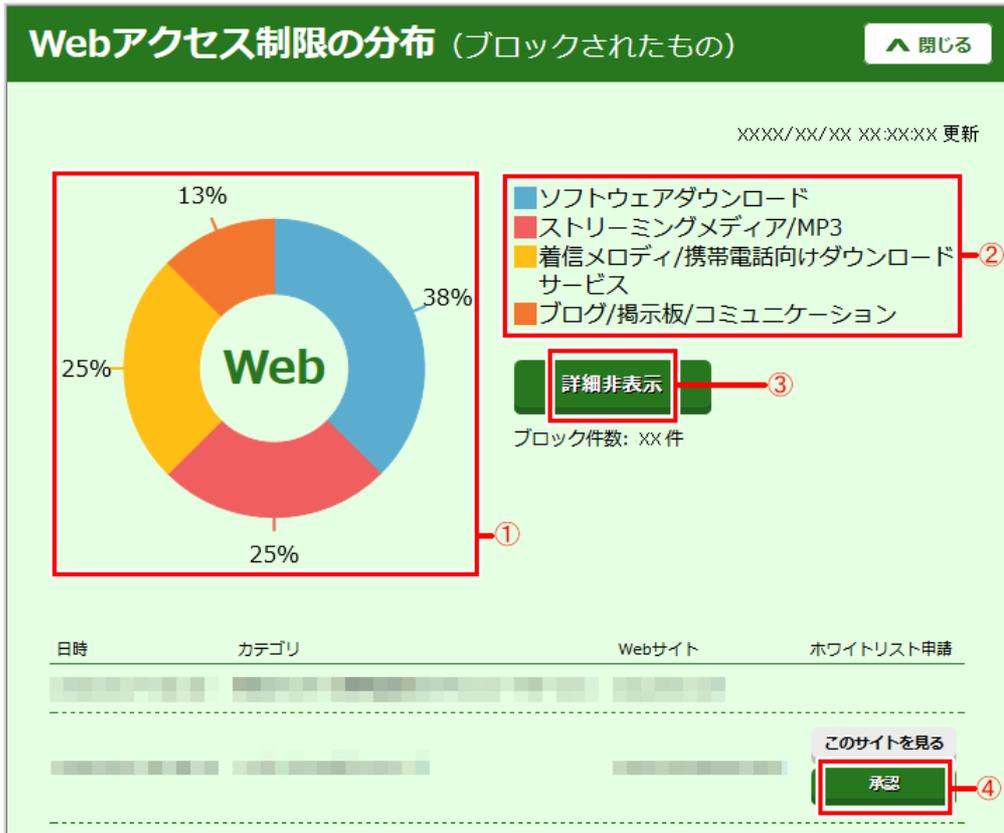
- IPv4アドレス
- MACアドレス
- IPv6アドレス
- アップロードデータ量
- ダウンロードデータ量

◆ 補足 ◆

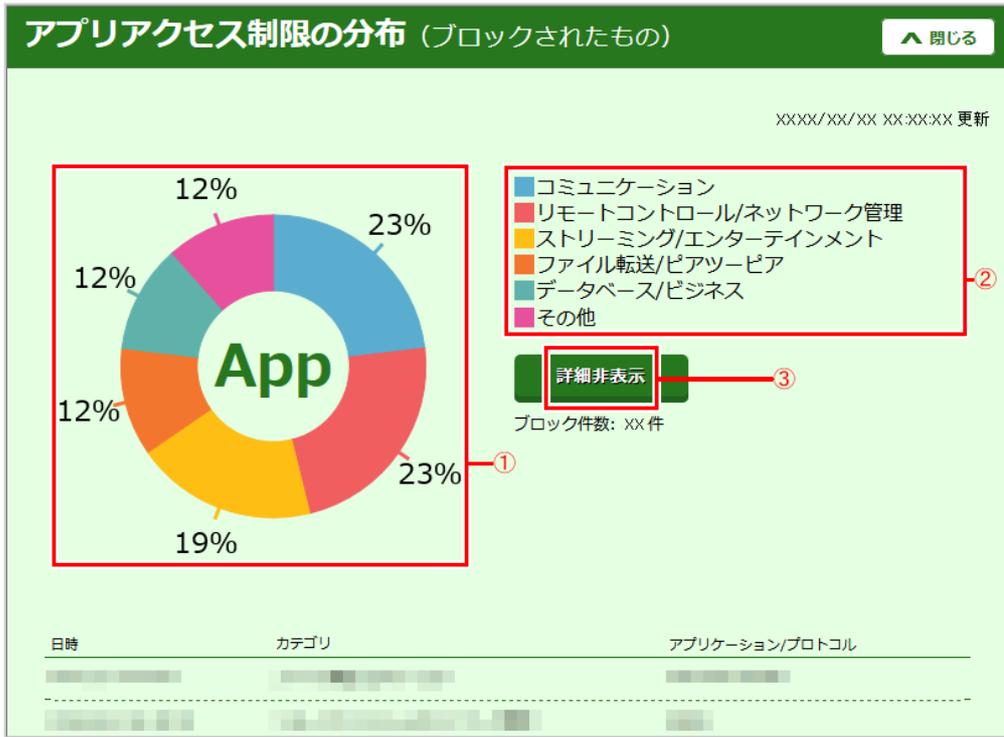
- 未登録デバイスのデバイス名/OS名は、デバイスとの通信で取得した情報をもとに表示します。なお、Androidデバイスのデバイス名/OS名の表示は、ファームウェアバージョンにより異なります。



- ① 選択したデバイスのインターネット通信量の多いアプリケーションをグラフ／一覧表示します。一定間隔で自動更新します。
- ② グラフの凡例です。
- ③ 詳細情報を表示／非表示します。



- ①「ペアレンタルコントロール設定」-「インターネット利用制限ルール」で設定した「Webアクセス制限」によってブロックされたWebサイトを円グラフ／一覧表示します。一定間隔で自動更新します。
- ②グラフの凡例です。
- ③詳細情報を表示／非表示します。
- ④「[ホワイトリスト申請を受けて承認する](#)」を参照してください。



- ①「ペアレンタルコントロール設定」-「インターネット利用制限ルール」で設定した「アプリアクセス制限」によってブロックされたアプリケーションを円グラフ／一覧表示します。一定間隔で自動更新します。
- ②グラフの凡例です。
- ③詳細情報を表示／非表示します。

検知したセキュリティイベント

XXXX/XX/XX XX:XX:XX 更新

↑ 閉じる

有害なWebサイトへのアクセス (1件)

↑ 詳細非表示

以下のWebサイトはカテゴリに示した要因で、有害なWebサイトとして検出しました。
結果欄に「許可」が表示されている場合は、セキュリティ設定を有効にすることをお勧めします。
カテゴリ名をクリックするとカテゴリの説明を表示します。

日時	カテゴリ	Webサイト	結果

脆弱性攻撃の検出 (1件)

↑ 詳細非表示

以下の脆弱性攻撃を検出、防御しました。
攻撃の詳細についてはこちらから攻撃種別を検索し、内容を確認することができます。(トレンドマイクロ社のセキュリティ情報サイトへ移動します。)

日時	攻撃種別	送信元IPアドレス	送信先IPアドレス

不正アクセスの検出 (2件)

↑ 詳細非表示

以下の不正アクセスを検出しました。
結果欄に「許可」が表示されている場合はセキュリティ設定を有効にすることをお勧めします。
詳細についてはこちらから検索し、内容を確認することができます。(トレンドマイクロ社のセキュリティ情報サイトへ移動します。)

日時	説明	結果

- ①「セキュリティ設定」で設定した「有害Webサイトへのアクセスブロック(Webレピュテーション機能)」により検出したアクセスを表示します。
- ②「セキュリティ設定」で設定した「デバイスの脆弱性の保護(仮想パッチ機能)」によりブロックした脆弱性を表示します。
※ 過去にブロックした脆弱性攻撃については、攻撃種別欄に「-」が表示される場合があります。
- ③「セキュリティ設定」で設定した「デバイスの不正アクセスをブロック(C&Cプロテクション機能、DoS・DDoS攻撃のブロック機能、ポートスキャン検知機能)」により検出した不正アクセスを表示します。

アイコンについて

本製品のセキュリティ・ペアレンタルコントロール機能の画面で表示されるアイコンについて説明します。

デバイスアイコン



本製品



パソコン(デスクトップ、ノートなど)



ゲーム機



スマートフォン(タブレット、電子書籍リーダーなどを含む)



スマート家電(ネットワークカメラ、HDDレコーダーなど)



テレビ、セットトップボックスなど



ネットワーク機器および周辺機器(ルーター、アクセスポイント、NAS、プリンタなど)



ウェアラブル端末(スマートウォッチなど)



その他

アプリケーションカテゴリアイコン



オンライン上でのチャットを行うためのアプリなど



ピアツーピア方式を用いたファイル共有アプリなど



サーバ、クライアント間でファイルを送受信するツールなど



映像や音楽ファイルの転送・再生を行うアプリなど



電子メール、Webメールなど



音声通話、電話会議などのコミュニケーションアプリ



データベース管理システム



ゲームアプリ



DNS、UPnPなどのネットワーク管理ツール



リモートコントロールツール



プロキシやVPNなどのトンネリングプロトコルを用いたツール



マーケット情報、金融情報を提供するアプリ



検索エンジンやポータルサイト、ECサイトなど



ウイルス対策、ソフトウェアアップデートなど



WWWブラウザによるインスタントメッセージ



CRM(顧客管理)、SFA(営業支援)などのビジネスツール



ネットワークプロトコルを用いたツールなど



成人向けアプリ、サイト



独自プロトコル



ブログ・画像共有などのコミュニケーションアプリ



広告



その他

Wi-Fiネットワーク側のセキュリティを強化する

Wi-Fiネットワーク側のセキュリティ機能には、[Wi-Fi通信データの暗号化](#)、[ネットワーク名 \(SSID\) の設定](#)、[ESS-IDステルス機能](#)、[MACアドレスフィルタリング機能](#)、[ネットワーク分離機能](#)があります。

◆ 補足 ◆

- 本製品は、お買い上げ時には、Wi-Fi通信データの暗号化、ネットワーク名 (SSID) の設定がされていません。

[Wi-Fi 設定内容(お買い上げ時)]

「dhr01-xxxxxx」は下記SSID で共通の値となります。

なお、ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー「yyy…」 「zzz…」 は製品ごとに違う値です。

プライマリSSIDのネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、本製品に貼付のラベルに記載されています。

セカンダリSSIDのネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、クイック設定Webで確認することができます。

ネットワーク名 (SSID)		暗号化キー	暗号化	
プライマリSSID	2.4GHz	dhr01-xxxxxx-g	yyyyyyyyyyyyyy	WPA/WPA2-PSK(AES)
	5GHz	dhr01-xxxxxx-a		WPA/WPA2-PSK(AES)
セカンダリSSID	2.4GHz	dhr01-xxxxxx-gw	zzzzzzzzzzzzzz	WEP(128bit)
	5GHz	dhr01-xxxxxx-ax		WPA/WPA2-PSK(AES)

設定の際は、[「異なる暗号化方式の子機を同時に接続する\(マルチSSID機能\)」](#)をご確認ください。

Wi-Fi通信データを暗号化する

親機(本製品)で使用している暗号化キー(任意の文字列)と同じキーを登録した子機のみWi-Fi通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

• [WEP](#)

WEP(Wired Equivalent Privacy)とは、ユーザーが指定した任意の文字列(暗号化キー)を親機(本製品)と子機(携帯ゲーム機など)に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。

• [WPA-PSK/WPA2-PSK](#)

WPA(Wi-Fi Protected Access)/WPA2(Wi-Fi Protected Access2)は、Wi-Fi Allianceの暗号化プロトコルです。暗号化方式にはTKIPとAESがあります。

TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)は、一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行うため、WEPよりさらに強固なガードを実現します。

AES(Advanced Encryption Standard)は、米国商務省標準技術局(NIST)が選定した次世代の暗号化方式です。TKIPよりさらに強固な暗号化を行うことができます。

他のWi-Fi端末から本製品に接続できないようにする

他のWi-Fi端末(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)から本製品にWi-Fi接続できないようにするには次の方法があります。

- **ネットワーク名(SSID)を設定する**

親機と子機が互いに識別するID、ネットワーク名(SSIDとも呼びます)を設定します。このネットワーク名(SSID)が一致しないとWi-Fi通信ができません。

本製品では2つのネットワーク名(SSID)「プライマリSSID」「セカンダリSSID」が利用可能です。

- **ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)**

一般に、ネットワーク名(SSID)は子機から検索することができるため、本製品に接続していない子機からも本製品のネットワーク名(SSID)が見えてしまいます。本機能を利用し、外部からネットワーク名(SSID)を検索されたときに知らせないことでセキュリティを強化することができます。子機の増設時にネットワーク名(SSID)を検出できない場合も、こちらを参照してください。設定を解除することで検出できる場合があります。

- **MACアドレスフィルタリング機能**

MACアドレスを登録した子機とのみデータ通信できるようにすることで、アクセスを制限することができます。

本製品はWi-Fiセキュリティ設定(暗号化)がされた状態で出荷されていますが、MACアドレスフィルタリング機能を使用することでさらに強化することができます。

- **ネットワーク分離機能**

本製品には2つのネットワーク名(SSID)「プライマリSSID」「セカンダリSSID」がありますが、ネットワーク分離機能を使用することで、異なるSSID(接続先)のネットワークを分離してアクセスを制限することができます。

また、同じSSIDのネットワークに接続された子機間のアクセスを制限する機能をSSID内分離(セパレータ)機能と呼びます。本製品のネットワーク分離機能を「使用する」に設定すると、SSID内分離(セパレータ)機能も有効になります。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
＜お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です＞

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本製品間で情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する(破壊)
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

WEP(Wired Equivalent Privacy)とは、ユーザーが指定した任意の文字列(暗号化キー)を親機(本製品)と子機(携帯ゲーム機など)に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。

親機と子機との間で送受信されるWi-Fi通信データを暗号化して保護し、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

◆ 補足 ◆

- WEPは、セカンダリSSID(2.4GHz帯)でご利用ください。
- 1つのネットワークで使用できる暗号化方式は1つです。

◆ 注意 ◆

- 本製品の暗号化キーを変更すると子機から接続できなくなります。暗号化キーを見ることができませんので、記録しておくことをお勧めします。

▶ 設定を行う前に

- WEPをご利用になるには、対応した子機が必要です。

▶ 設定手順

親機(本製品)と子機それぞれに同じ暗号化の設定をする必要があります。

● [親機\(本製品\)の暗号化を設定する](#)

● [子機の暗号化を設定する](#)

親機(本製品)の暗号化を設定する

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」をクリックします。

※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 下記の項目を入力した後[設定]をクリックします。

- Wi-Fi機能
「使用する」または「使用する(らくらく無線のみ可能)」を選択します。
※暗号化キーなどを変更する場合は、「使用する」に設定してから項目を変更してください。項目の変更後、「使用する(らくらく無線のみ可能)」にすることをお勧めします。
- 暗号化モード
「WEP 128bit」を選択します。
- 指定方法
暗号化キーの指定方法を選択します。
- 暗号化キー
任意の暗号化キーを入力します。
暗号化キーは、子機を設定する際に必要です。メモするなどして忘れないようにしてください。

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi (2.4GHz)の詳細設定を行います。

デュアルチャネル機能

使用チャンネル

プロテクション機能 使用する 使用しない

送信出力

TV モード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/> <input type="button" value="▼"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="dfr01-XXXXXX-g"/>
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用しない"/> <input type="button" value="▼"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用しない"/> <input type="button" value="▼"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/> <input type="button" value="▼"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/> <input type="button" value="▼"/>
暗号化キー	<input type="text" value="yyyyyyyyyyyyy"/>

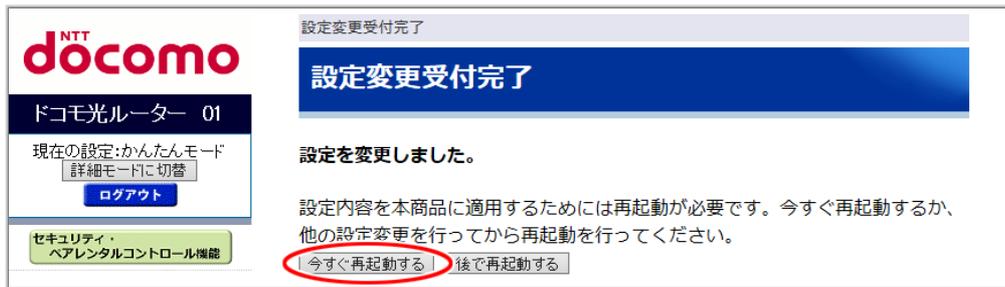
セカンダリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/> <input type="button" value="▼"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="dfr01-XXXXXX-gw"/>
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用する"/> <input type="button" value="▼"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用する"/> <input type="button" value="▼"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/> <input type="button" value="▼"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WEP 128bit"/> <input type="button" value="▼"/>
指定方法	<input type="button" value="英数字(13桁)"/> <input type="button" value="▼"/>
暗号化キー	<input type="text" value="zzzzzzzzzzzzz"/>

設定用QRコードを表示

取扱説明書

3. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

子機の暗号化を設定する

●ゲーム機の場合

◆ 補足 ◆

- 複数の子機を使用する場合、すべての子機に親機と同じ暗号化キーを設定してください。

WPA-PSK/WPA2-PSK

WPA(Wi-Fi Protected Access)/WPA2(Wi-Fi Protected Access2)は、Wi-Fi Allianceの暗号化プロトコルです。暗号化方式にはTKIPとAESがあります。

TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)/AES(Advanced Encryption Standard)は、通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方式です。

暗号の強度は下記のとおりです。

AES > TKIP > WEP
強 ← 「暗号強度」 → 弱

◆ 補足 ◆

- 本製品では2つのネットワーク名(SSID)、プライマリSSID／セカンダリSSIDが利用可能です。それぞれのネットワーク名(SSID)に対して、異なる暗号化設定ができます。
- プライマリSSIDのお買い上げ時の設定は、「WPA/WPA2-PSK」に設定されています。通常はこのままにご利用になれます。

◆ 注意 ◆

- 本製品の暗号化キーを変更すると子機から接続できなくなります。暗号化キーを見ることができませんので、記録しておくことをお勧めします。

▶ 設定を行う前に

- WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP/AES)をご利用になるには、対応した無線LAN子機が必要です。

▶ 設定手順

親機(本製品)と子機それぞれに暗号化の設定をする必要があります。

● [親機\(本製品\)の暗号化を設定する](#)

● [子機の暗号化を設定する](#)

親機(本製品)の暗号化を設定する

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 下記の項目を入力した後[設定]をクリックします。

※画面は、Wi-Fi詳細設定(5GHz)の例です。

- Wi-Fi機能
「使用する」を選択します。
※プライマリSSIDは、「使用する」固定です。
- 暗号化モード
「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」または「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」を選択します。
- 暗号化キー
任意の暗号化キーを入力します。
暗号化キーは、子機を設定する際に必要です。メモするなどして忘れないようにしてください。

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi (5GHz)の詳細設定を行います。

クワッドチャネル機能

使用チャンネル

送信出力

TV モード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	dhr01-XXXXXX-a
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用しない"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用しない"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	yyyyyyyyyyyyy

セカンダリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	dhr01-XXXXXX-ax
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用する"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用しない"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	zzzzzzzzzzzzzz

3. [今すぐ再起動する]をクリックします。
 ※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

子機の暗号化を設定する

[さまざまな子機からWi-Fi接続する]を参照してください。

◆ 補足 ◆

- 複数の子機を使用する場合、すべての子機に親機と同じ暗号化キーを設定してください。

ネットワーク名 (SSID) を設定する

同じネットワーク名 (SSID) の親機と子機のみがデータ通信できるようにする機能です。これにより、他の子機から LAN やインターネットへ接続されることを防止できます。親機・子機の両方に設定します。

本製品は、お買い上げ時に、本製品に貼付のラベルに記載されたネットワーク名 (SSID) が設定されています。本製品のネットワーク名 (SSID) を変更したい場合は、下記を参照して設定してください。

◆ 補足 ◆

本製品には2つのネットワーク「プライマリSSID」「セカンダリSSID」があり、それぞれに異なるセキュリティ設定ができます。(マルチSSID機能)

→詳細は「[異なる暗号化方式の子機を同時に接続する\(マルチSSID機能\)](#)」を参照してください。

▶ 設定手順

親機と子機それぞれに設定をする必要があります。

- [親機\(本製品\)側を設定する](#)
- [子機側を設定する](#)

親機(本製品)側を設定する

親機(本製品)側のネットワーク名 (SSID) を設定します。

[クイック設定Web](#) で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定 (5GHz)」をクリックします。
※ 「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定 (5GHz)」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある「詳細モードに切替」をクリックすることで表示されます。

2. 下記の項目を入力した後[設定]をクリックします。

※画面は、Wi-Fi詳細設定(5GHz)の例です。

- Wi-Fi機能
「使用する」を選択します。
※プライマリSSIDは、「使用する」固定です。
- ネットワーク名(SSID)
任意の値を入力します。入力できる文字は、半角の0~9、a~z、A~Z、-(ハイフン)、_(アンダースコア)です。32桁以内で設定します。
- その他の項目を必要に応じて設定します。

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi (5GHz)の詳細設定を行います。

クワッドチャネル機能

使用チャンネル

送信出力

TV モード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="text" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="dhr01-XXXXXX-a"/>
ネットワーク分離機能	<input type="text" value="使用しない"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="text" value="使用しない"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="text" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="text" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	<input type="text" value="yyyyyyyyyyyyy"/>

セカンダリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="text" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="dhr01-XXXXXX-ax"/>
ネットワーク分離機能	<input type="text" value="使用する"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="text" value="使用しない"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="text" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="text" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	<input type="text" value="zzzzzzzzzzzzz"/>

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

3. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

子機側を設定する

親機に設定したネットワーク名 (SSID) に、子機からWi-Fi接続します。

[「さまざまな子機からWi-Fi接続する」](#)を参照してください。

ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)

外部からネットワーク名(SSID)を検索されたときに、知らせないことでセキュリティを強化します。子機の増設時にネットワーク名(SSID)を検出できない場合も、こちらを参照してください。設定を解除することで検出できる場合があります。

▶ 設定を行う前に

- ESS-IDステルス機能を有効にすると、ネットワーク名(SSID)が表示されないため、子機の増設時の設定が難しくなる場合があります。子機の増設時は、いったん設定を解除すると増設しやすくなります。
※ Wi-Fi接続できている子機には、ネットワーク名(SSID)が表示されます。
- 設定を有効にするとネットワーク名(SSID)を検索する手順では接続できなくなります。ネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを手入力してください。
- 設定を有効にするとWPS機能での子機の増設に失敗します。WPS機能を使って子機を増設する場合は、いったん設定を無効にしてください。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。
※ 「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

◆ 補足 ◆

- 「2.4GHz」と「5GHz」があります。どちらとも設定する場合は、手順4で[後で再起動する]をクリックし、もう一方の項目を選択し同様に設定を行ってください。

2. 「ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)」の「使用する」を選択し、[設定]をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替

ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

- 基本設定(かんたんモード)
- Wi-Fi 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi (2.4GHz)の詳細設定を行います。

デュアルチャネル機能

使用チャンネル

プロテクション機能 使用する 使用しない

送信出力

TV モード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="dhr01-XXXXXX-g"/>
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用しない"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用する"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	<input type="text" value="yyyyyyyyyyyyy"/>

セカンダリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="dhr01-XXXXXX-gw"/>
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用する"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用する"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WEP 128bit"/>
指定方法	<input type="button" value="英数字(13桁)"/>
暗号化キー	<input type="text" value="zzzzzzzzzzzzz"/>

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

3. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。

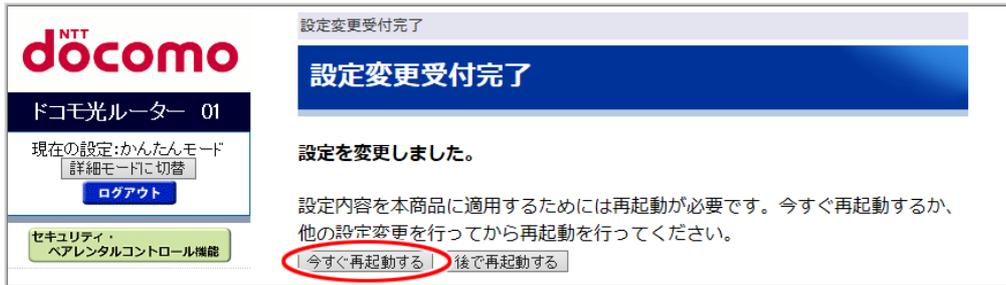
サイトからのメッセージ

ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)、またはMACアドレスフィルタリング機能を有効にした場合は、WPSは無効となります。

OK キャンセル

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ うまく動作しない場合は

- 以下の環境でご利用の場合は、各設定を行ってください。設定されていないとパソコンを再起動後にWi-Fi接続ができなくなる場合があります。

<Windows 10 の場合>

1. 「スタート」ボタンを右クリックします。
2. 「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」をクリックします。
3. 「アダプタの設定の変更」をクリックします。
4. 「dhr01-XXXXXX」と表示されたワイヤレスネットワーク接続(Wi-Fi)のアイコンをダブルクリックします。
5. 状態表示の画面が開くので「ワイヤレスのプロパティ」をクリックします。
6. 「接続」タブを開き「ネットワークが名前(SSID)をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックします。
7. [OK]をクリックし、他に表示されている画面を閉じます。

<Windows 8.1 の場合>

1. チャームバーを表示し、「設定」をクリックします。
2. ワイヤレスLANのアイコンをクリックします。
3. 接続済みのネットワーク名(SSID)上で右クリックし、「接続プロパティを表示する」をクリックします。
4. 「接続」タブを開き「ネットワークが名前(SSID)をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックします。
5. 「OK」をクリックし、他に表示されている画面を閉じます。

<Windows 7 の場合>

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」をクリックします。
 2. 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックし、「dhr01-XXXXXX」を右クリックし、「プロパティ」を開きます。
 3. 「接続」タブを開き「ネットワークが名前(SSID)をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックします。
 4. 「OK」をクリックし、他に表示されている画面を閉じます。
- 子機によってはESS-IDステルス機能が使えない場合があります。無線の通信に支障が出たときは、設定を解除してご利用ください。
 - 子機の増設時に、設定を無効にしてもネットワーク名(SSID)が表示されない場合は、増設する子機のWi-Fi機能がOFFになっている可能性があります。設定をONに切り替えて試してください。

MACアドレスフィルタリング機能

本製品は、お買い上げ時に無線LANのセキュリティ設定(暗号化)がされていますが、MACアドレスフィルタリング機能を設定することでさらに無線LANのセキュリティを強化することができます。通常、無線LANのネットワークは電波の届く範囲であればどこからでも接続できるため、正規の利用者以外は利用できないようにする必要があります。本機能は、特定のMACアドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した子機以外は接続できなくなります。

▶ 設定を行う前に

- MACアドレスフィルタリング設定後に子機を増設する場合は、「らくらく無線スタート」をご利用ください。それ以外の方法でWi-Fi設定する場合は、すでに利用している端末などから増設する子機のMACアドレスをあらかじめ登録するか、いったんMACアドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。
- 子機のMACアドレスを本製品に登録しますので、あらかじめMACアドレスを確認(メモするなど)してください。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。
2. 「Wi-Fi設定」-「MACアドレスフィルタリング」をクリックします。
3. 「MACアドレス」と「コメント」(任意)を入力して[設定]をクリックします。

トップページ > Wi-Fi設定 > MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリング

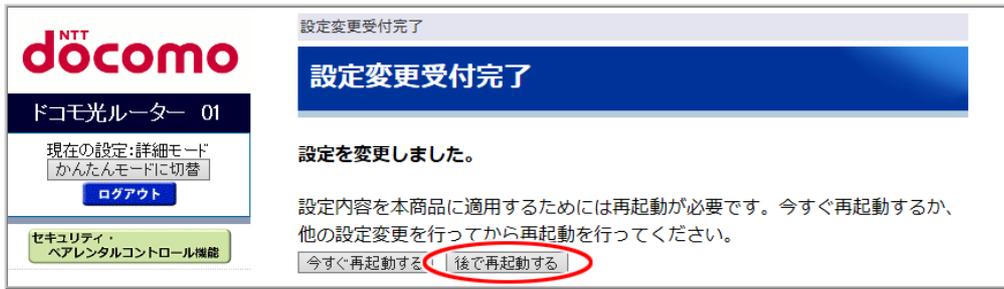
接続を許可するMACアドレスを指定します。指定したMACアドレスを持つWi-Fi端末のみが本商品に接続可能となります。Wi-Fi設定画面で、MACアドレスフィルタリングを有効にすることで、本機能が有効となります。最大20個まで登録できます。

MACアドレス コメント

MACアドレスエントリ

MACアドレス	コメント	選択
---------	------	----

4. 「設定変更受付完了」の画面が表示されたら[後で再起動する]をクリックします。



5. 元の画面に戻り「MACアドレスエントリ」に登録した内容が表示されます。



◆ 補足 ◆

- 設定値を間違えて登録した場合は、削除してから設定をやり直してください。修正はできません。
- MACアドレスを追加登録する場合は、手順3から設定してください。

6. 「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

7. 「MACアドレスフィルタリング機能」で「使用する」を選択します。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替

ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

- 基本設定
- Wi-Fi 設定
 - Wi-Fi 基本設定
 - Wi-Fi 詳細設定 (2.4GHz)
 - Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)
 - MACアドレスフィルタリング
 - WPS設定
 - Wi-Fi スケジュール設定
- 詳細設定
- メンテナンス
- 情報

Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)

Wi-Fi (2.4GHz)の詳細設定を行います。

デュアルチャネル機能

使用チャネル

プロテクション機能 使用する 使用しない

送信出力

TV モード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/> <input type="button" value="v"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="dfr01-XXXXXX-g"/>
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用しない"/> <input type="button" value="v"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用しない"/> <input type="button" value="v"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input checked="" type="button" value="使用する"/> <input type="button" value="v"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/> <input type="button" value="v"/>
暗号化キー	<input type="text" value="xxxxxxxxxxx"/>

◆ 補足 ◆

- 設定したいSSID(「プライマリSSID」、「セカンダリSSID」)に、それぞれ設定します。

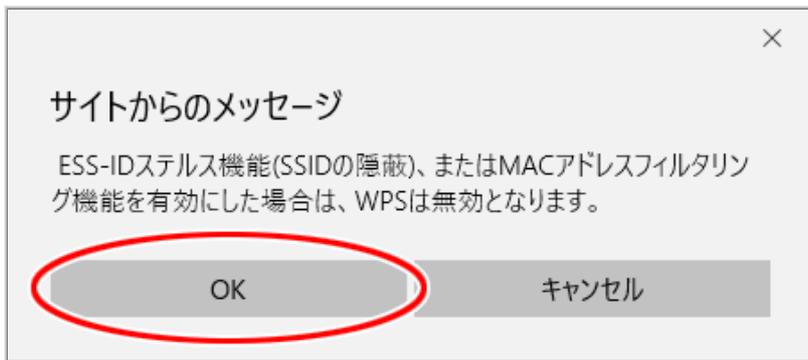
8. [設定]をクリックします。

9. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。

サイトからのメッセージ

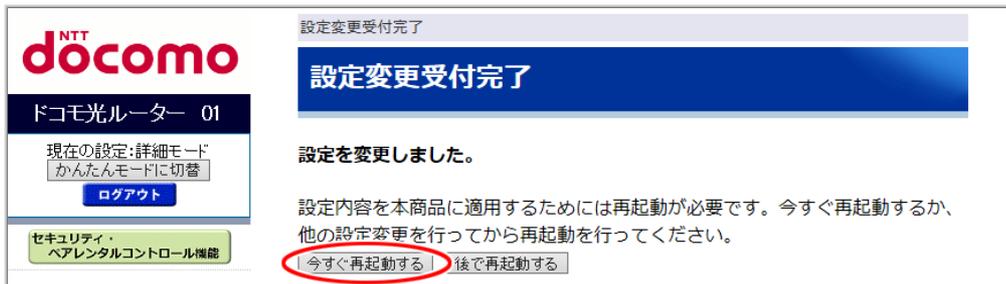
MACアドレスフィルタリング機能を有効にすると、本商品に指定したMACアドレスを持つWi-Fi端末のみが接続可能となります。MACアドレスエントリの指定については[詳細モード]の[Wi-Fi設定]-[MACアドレスフィルタリング]から設定可能です。現在お使いの端末がWi-Fi端末の場合は、自動でMACアドレスエントリに指定いたします。よろしいですか？

10. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。



11. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 補足 ◆

- 「2.4GHz」と「5GHz」があります。どちらとも設定する場合は[後で再起動する]をクリックした後、手順6からもう一方の項目を選択し同様に設定を行ってください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ うまく動作しない場合は

- イーサネットタイプの子機をご利用の場合は、LANポートに接続しているネットワーク機器のMACアドレスも登録してみてください。

ネットワーク分離機能

本製品には2つのネットワーク「プライマリSSID」「セカンダリSSID」がありますが、「ネットワーク分離機能」を使用することで、異なるSSID(接続先)のネットワークを分離してアクセスを制限することができます。

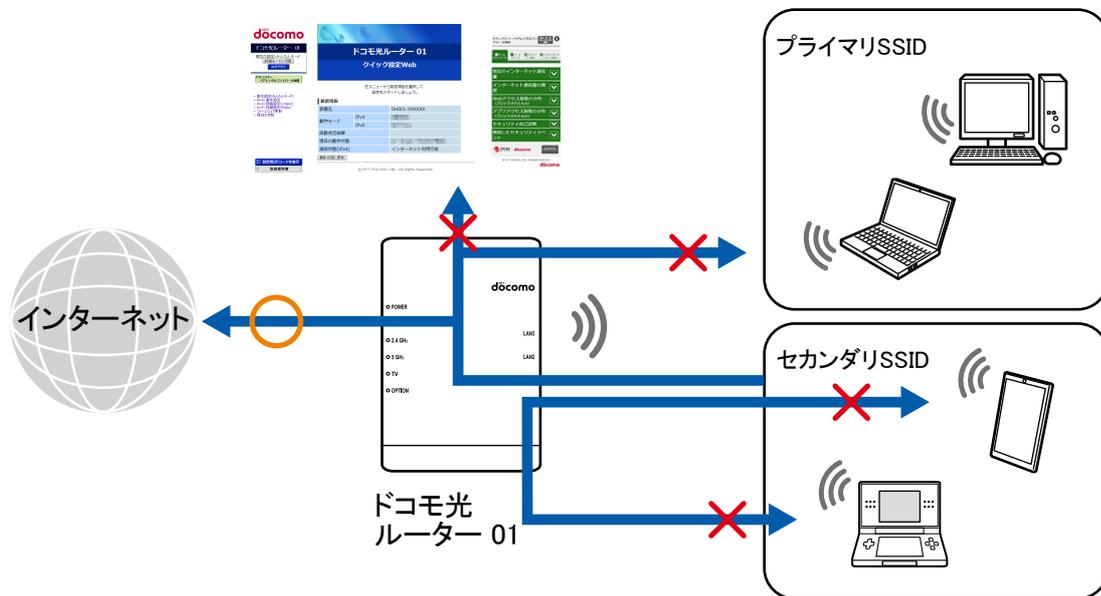
また、同じSSIDのネットワークに接続された子機間のアクセスを制限する機能をSSID内分離(セパレータ)機能と呼びます。本製品のネットワーク分離機能を「使用する」に設定すると、SSID内分離(セパレータ)機能も有効になります。

お買い上げ時にセカンダリSSID(2.4GHz帯)は「使用しない」に設定されていますが「使用する」に設定した場合、セカンダリSSIDに接続した子機からは、プライマリSSIDのネットワークやセカンダリSSID内の他の子機へのアクセスが制限され、インターネットへの接続のみが可能になります。

◆ 注意 ◆

- お買い上げ時には、ネットワーク分離機能が機能し、セカンダリSSIDに接続した端末からセキュリティ・ペアレンタルコントロール機能の設定はできません。プライマリSSIDにWi-Fi接続するか、ネットワーク分離機能を解除してください。
- ネットワーク分離機能を「使用する」に設定したSSID側の子機では、セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能によってWebアクセスがブロックされても案内画面は表示されません。(設定済みのセキュリティ機能、ペアレンタルコントロール機能は有効です。)

<セカンダリSSIDを「使用する」に設定した場合の例>



ネットワーク分離機能を「使用する」に設定したSSID側の子機(上記イラストではセカンダリSSID)からは、次へのアクセスができませんようになります。

- クイック設定Web
- 「Atermスマートリモコン」アプリ
- もう一方のネットワークに接続された子機
- 同じネットワークに接続された子機

※ インターネットへの接続のみが可能です。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

※ 「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. ネットワーク分離機能を設定したいSSIDの「ネットワーク分離機能」で「使用する」を選択し、[設定]をクリックします。

※ お買い上げ時には、「セカンダリSSID」は「使用しない」に設定されています。

※ 画面は、Wi-Fi詳細設定(5GHz)の例です。

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi (5GHz)の詳細設定を行います。

クワッドチャネル機能

使用チャンネル

送信出力

TV モード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用する"/>
ネットワーク名(SSID)	dfr01-XXXXXX-a
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用する"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用しない"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	yyyyyyyyyyyyy

セカンダリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用しない"/>
ネットワーク名(SSID)	dfr01-XXXXXX-ax
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用する"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="使用しない"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	zzzzzzzzzzzzz

設定用QRコードを表示

取扱説明書

3. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。

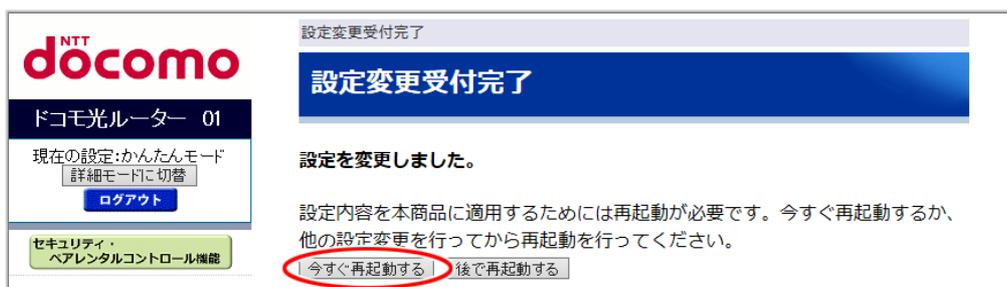
サイトからのメッセージ

5.2/5.3GHz 帯域のワイヤレスネットワークは電波法により屋内使用に限定されています。選択された設定で動作させる場合は、屋外で使用しないようにしてください。

よろしいですか？

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

WAN側のセキュリティを強化する

WAN側(ブロードバンド側)からの不正なアクセスを防ぐには、次の機能があります。

- [IPパケットフィルタリング](#)

インターネットとの通信を制限する機能です。パケットの送受信を制限することができるため、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

- [アドバンスドNAT\(IPマスカレード/NAPT\)](#)

1つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換する機能です。

本製品は、1つのグローバルIPアドレスで、プライベートIPアドレスを持つ複数のパソコンなどが同時にインターネット接続することができます。本機能は、WAN側からLAN側のパソコンのいずれかを指定してアクセスを開始することはできません。本機能によりLANをインターネットから隔離することができるのでセキュリティが向上します。WAN側からのアクセスを行いたい場合や特定のアプリケーション(ポート番号)をLAN側の特定アドレスに割り当てる場合は、ポートマッピング(アドバンスドNATオプション)が有効です。

- [不正アクセス検出機能\(セキュリティフィルタ\)](#)

- **セキュリティ保護機能**

外部からの不正と思われるアクセスを監視し、不正パケットを廃棄します。

検出できる不正アクセスの種類は、下記のとおりです。

- ・LAND攻撃
- ・Smurf攻撃
- ・IP Spoofing攻撃

- **PING要求**

他のユーザーから送信されたPING要求を許可または拒否することができます。

- **WAN側からのクイック設定Webアクセス**

WAN側からのクイック設定Webへのアクセスを許可するかどうかを選択します。

WAN側からのクイック設定Webアクセスを「許可」に変更すると、第三者からの不正アクセスの危険性が高まります。WAN側からの不正アクセスを防止するために、通常は「拒否」に設定することを推奨します。

本機能を「許可」にする場合は、「管理者パスワード」でパスワードを変更し、セキュリティを高めてお使いください。

- [ダイナミックポートコントロール](#)

LAN側の子機(パソコンなど)がアクセスすると、それに応じてWAN側のポートが開き、通信を開始します。データの受け取りが終わるか、または内部のタイマで設定してある一定の時間を超えると、自動的にWAN側のポートが閉じます。このような動的開閉制御をダイナミックポートコントロールと呼びます。本機能により外部へのアクセスが行われていないときは、ポートがすべてフィルタリングされていますので、外部からの不正なアクセスを防ぐことができます。

なお、本製品での設定は必要ありません。

- [IPv6ファイアウォール\(Stateful Packet Inspection機能\)](#)

本機能を有効にすると、IPv6を使用したインターネットからの通信を拒否します。無効にすると、IPv6を使用したインターネットからの通信を許容します。IPv6動作モードが「ND Proxy」の場合に有効な機能です。

IPパケットフィルタリング

あらかじめ設定した条件にしたがって、パケットの通過を制限する機能です。アプリケーションやネットワークに応じて不必要なIPパケットの送受信を拒否することができます。不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いLANが構築できます。

パケットフィルタリングには、次の方法があります。それぞれ最大40個まで登録できます。

● [パケットフィルタ設定\(IP\)](#)

LAN側ホストのIPアドレスを指定して、パケットフィルタの設定をします。

● [パケットフィルタ設定\(Port\)](#)

ポート番号を指定して、パケットフィルタの設定をします。

◆ 注意 ◆

- IPv6のパケットフィルタ設定は、IPv6動作モードが「ND Proxy」の場合にのみご利用になれます。また、パケットフィルタ設定後にIPv6動作モードを「ND Proxy」以外に設定した場合、パケットフィルタエントリーに登録されたIPv6のフィルタは動作いたしませんので、ご注意ください。
IPv6動作モードは、クイック設定Webのトップページで確認できます。
IPv6動作モード「ND Proxy」の設定方法は[「ND Proxy」](#)を参照してください。

◆ 補足 ◆

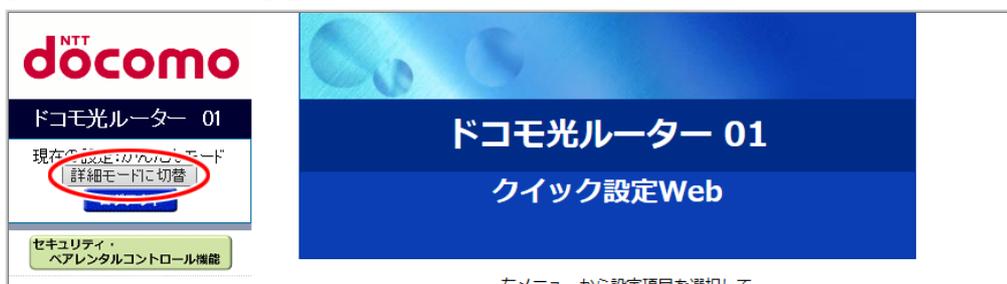
- IPパケットフィルタの最低限必要なセキュリティ設定についてはお買い上げ時に設定されています。特に必要がなければそのままご利用いただいて問題ありません。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

パケットフィルタ(IP)

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「詳細設定」-「パケットフィルタ設定(IP)」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

基本設定
Wi-Fi設定
詳細設定
LAN側設定
DHCP固定割当設定
パケットフィルタ設定(IP)
ポートマッピング設定
メンテナンス
情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

ドコモ光ルーター 01

クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	
	IPv6	
自動判定結果		
現在の動作状態		
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	
最新状態に更新		

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

3. フィルタの対象にするIPアドレス、プロトコルを設定した後[設定]をクリックすると、「パケットフィルタエントリー」に登録されます。

コメントは任意で設定できます。入力できる文字は、全角および半角カナは10桁以内、半角英数記号は20桁以内です。

<IPv4パケットをフィルタリングする場合>

「IPv4」を選択した後、「IPv4アドレス」、「プロトコル」、「コメント」(任意)を設定します。

トップページ > 詳細設定 > パケットフィルタ設定(IP)

パケットフィルタ設定(IP)

LAN側ホストのIPアドレスを指定して、インターネットへ通過するパケットを制限する機能です。不要なパケットの送信を制限することができますので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。最大40個まで登録できます。
IPv6のパケットフィルタ設定は、IPv6 動作モードが「ND Proxy」の場合にのみご利用できます。また、パケットフィルタ設定後にIPv6 動作モードを「ND Proxy」以外に設定した場合、パケットフィルタエントリーに登録されたIPv6のフィルタは動作いたしませんので、ご注意ください。

IPv4 IPv6

IPv4アドレス: XXXXXXXXXXXX

IPv6アドレス

プロトコル: TCP/UDP
TCP
UDP

コメント

設定

<IPv6パケットをフィルタリングする場合>

「IPv6」を選択した後、「IPv6アドレス」、「プロトコル」、「コメント」(任意)を設定します。

◆ 補足 ◆

- IPv6の packets filter setting では、入力したIPv6アドレスがそのまま設定画面に表示されず、標準仕様にもとづき、省略表示や大文字から小文字への変換が行われますが、パケットフィルタの動作には影響ありません。

■ パケットフィルタエントリの削除方法

パケットフィルタエントリに表示されたリストの中から、削除したいエントリの「選択」にチェックして、[削除]をクリックすることで削除できます。設定をすべて削除する場合は、[すべて削除]をクリックします。

IPアドレス	プロトコル	コメント	選択
192.168.100.100	TCP+UDP		<input checked="" type="checkbox"/>

パケットフィルタ(Port)

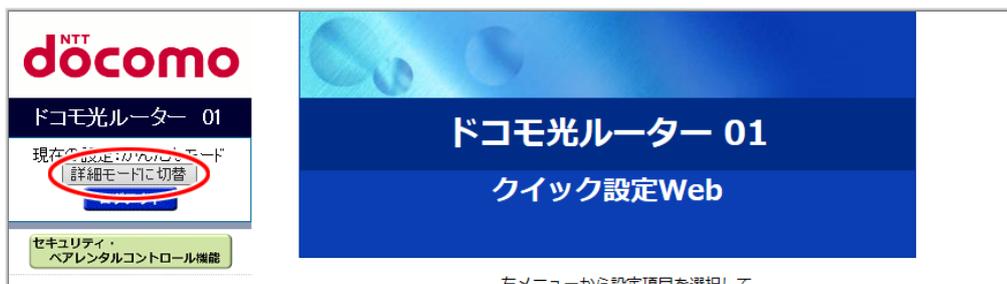
◆ 注意 ◆

- システム用に予約されている設定があります。変更/削除は可能ですが、本製品が正しく動作しなくなる可能性がありますのでご注意ください。

※ システム用に予約済みの設定内容

- NetBIOSなどによる意図しないWAN側へ情報漏洩防止
- 既知の攻撃対策

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「詳細設定」-「パケットフィルタ設定(Port)」をクリックします。



3. フィルタの対象にするIPv4/IPv6種別、ポート範囲、プロトコルを設定した後[設定]をクリックすると、「パケットフィルタエントリ」に登録されます。

「ポート範囲」に入力できる文字は半角英数字で1～65535です。

コメントは任意で設定できます。入力できる文字は、全角および半角カナは10桁以内、半角英数記号は20桁以内です。

トップページ > 詳細設定 > パケットフィルタ設定(Port)

パケットフィルタ設定(Port)

ポート番号を指定して、パケットの通過を制限する機能です。不要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。最大40個まで登録できます。

IPv6のパケットフィルタ設定は、IPv6 動作モードが「ND Proxy」の場合にのみご利用できます。また、パケットフィルタ設定後にIPv6 動作モードを「ND Proxy」以外に設定した場合、パケットフィルタエントリに登録されたIPv6のフィルタは動作いたしませんので、ご注意ください。

IPv4 IPv6

ポート範囲 -

プロトコル

コメント

■ パケットフィルタエントリの削除方法

パケットフィルタエントリに表示されたリストの中から、削除したいエントリの「選択」にチェックして、[削除]をクリックすることで削除できます。設定をすべて削除する場合は、[すべて削除]をクリックします。

NTT docomo

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替

ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

- 基本設定
- Wi-Fi 設定
- 詳細設定
 - LAN側設定
 - DHCP固定割当設定
 - パケットフィルタ設定(Port)
 - パケットフィルタ設定(IP)
 - ポートマッピング設定
- メンテナンス
- 情報

トップページ > 詳細設定 > パケットフィルタ設定(Port)

パケットフィルタ設定(Port)

ポート番号を指定して、パケットの通過を制限する機能です。不要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。最大40個まで登録できます。

IPv6のパケットフィルタ設定は、IPv6 動作モードが「ND Proxy」の場合にのみご利用できます。また、パケットフィルタ設定後にIPv6 動作モードを「ND Proxy」以外に設定した場合、パケットフィルタエントリに登録されたIPv6のフィルタは動作いたしませんので、ご注意ください。

IPv4 IPv6

ポート範囲 -

プロトコル ▼

コメント

設定

パケットフィルタエントリ

ポート範囲	プロトコル	種別	コメント	選択
137-139	TCP+UDP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
445	TCP+UDP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
2049	TCP+UDP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
1243	TCP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
12345	TCP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
27374	TCP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
31785	TCP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
31789	UDP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
31791	UDP	IPv4	システム用	<input type="checkbox"/>
137-139	TCP+UDP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
445	TCP+UDP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
2049	TCP+UDP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
1243	TCP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
12345	TCP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
27374	TCP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
31785	TCP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
31789	UDP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
31791	UDP	IPv6	システム用	<input type="checkbox"/>
100	TCP+UDP	IPv4		<input checked="" type="checkbox"/>

設定用QRコードを表示

取扱説明書

削除 すべて削除

不正アクセス検出機能(セキュリティフィルタ)

- セキュリティ保護機能

外部からの不正と思われるアクセスを監視し、不正パケットを廃棄します。検出できる不正アクセスの種類は、下記のとおりです。

- LAND攻撃
- Smurf攻撃
- IP Spoofing攻撃

※「LAND攻撃」を防ぐフィルタは、「セキュリティ保護機能」で「使用する」を選択していなくても有効になります。

- PING要求

他のユーザーから送信されたPING要求を許可または拒否することができます。

下記を参照してください。

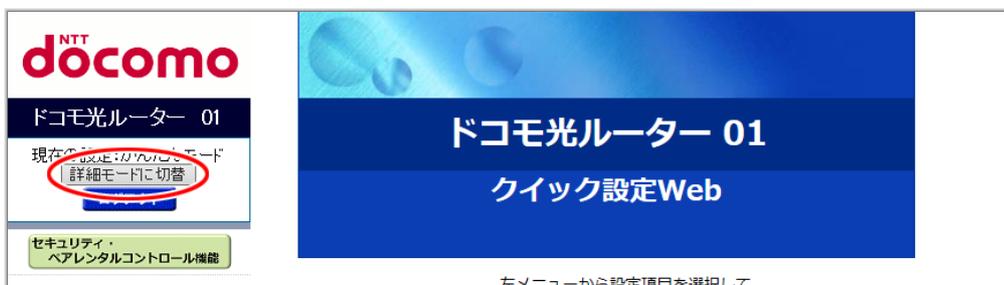
◆ 補 足 ◆

- セキュリティ保護機能は、PPPoEルータモードまたはローカルルータモードでご使用になれます。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
[ログアウト](#)

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能

基本設定 (circled in red)
Wi-Fi設定
詳細設定
メンテナンス
情報

設定用QRコードを表示
[取扱説明書](#)

3. 「セキュリティ保護機能」は「使用する」、「WAN側からのPING要求」は「拒否」を選択し「設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

◆ 補足 ◆

- 「セキュリティ保護機能」は、「現在のIPv4動作状態」が「ローカルルータ(DHCP無効)」、「ローカルルータ(DHCP有効)」、または「PPPoEルータ」の場合のみ設定できます。

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

IPv6ファイアウォール(Stateful Packet Inspection機能)

本機能を有効にすると、IPv6を使用したインターネットからの通信を拒否します。無効にすると、IPv6を使用したインターネットからの通信を許容します。IPv6動作モードが「ND Proxy」の場合に有効な機能です。

◆ 注意 ◆

- 本機能を「使用しない」に設定した場合、IPv6を使用したインターネットからの通信を許容するため、LAN側のセキュリティレベルが低下しますのでご注意ください。

▶ 設定を行う前に

- 本製品は、初期状態で本機能が使用できる設定になっています。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

3. 「IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能)」で「使用する」を選択して、[設定]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing, Land, Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

◆ 補足 ◆

- 本項目は、「IPv6動作モード」が「ND Proxy」の場合のみ設定できます。

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

送信元を詐称した通信を遮断する

送信元検証機能により、LAN側、WAN側からのアクセスを監視し、送信元のアドレスが不正なパケットを廃棄します。

◆ 補足 ◆

- 本製品は、お買い上げ時および初期化後の状態で、本機能が使用できる設定になっています。
- 本機能の設定は、すべての動作モードで共通です。動作モードを変更しても、本機能の設定は引き継がれます。

▶ 設定を行う前に

- 本製品がお買い上げ時または初期化したままの状態ならば、「送信元検証機能」は「使用する」に設定されています。本機能を使用する場合は、設定の必要はありません。
- 「送信元検証機能」を「使用しない」に設定すると、本製品のセキュリティが低下します。「使用する」でのご使用をお勧めします。

▶ 設定手順

「IPv4動作モード」が「自動判定」の場合を例に説明していますが、他の動作モードでも、同様の手順で設定することができます。

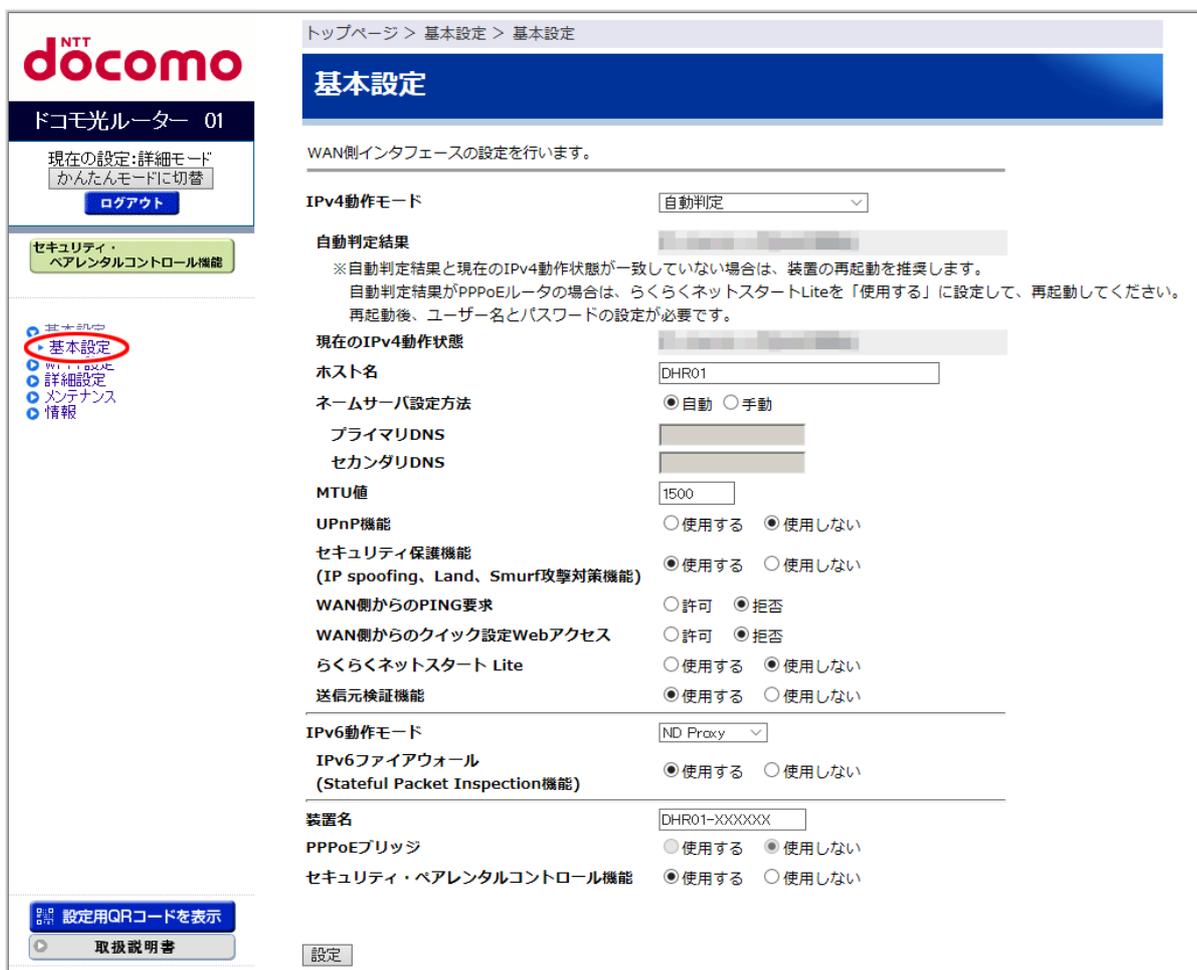
送信元検証機能の設定を変更する

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。



3. 「送信元検証機能」を設定して、「設定」をクリックします。

NTT docomo
ドコモ光ルーター 01
現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

基本設定
基本設定
Wi-Fi 設定
詳細設定
メンテナンス
情報

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果
※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能
(IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール
(Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示
取扱説明書

設定

4. [OK]をクリックします。

NTT docomo
ドコモ光ルーター 01
現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本製品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

6-5. 便利な機能を使う

本製品には、子機と簡単に接続できるさまざまな方法があります。

らくらく「かざして」スタート機能を使う

アプリを使用して、添付の「Wi-Fi設定シート」にあるらくらく「かざして」スタート用NFCタグにスマートフォンやタブレット端末をかざすだけで、親機（本製品）の接続設定が簡単にできます。

らくらく「かざして」スタート用NFCタグは、お買い上げ時のネットワーク名（SSID）や暗号化キーの情報を暗号化しており、操作が簡単なだけでなく、セキュリティにも配慮しています。



◆ 補足 ◆

- Atermらくらく「かざして」スタートは、インターネット接続機能（LTE通信や3G通信など）、NFC機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、Atermらくらく「かざして」スタートのWebサイト（下記URL）でご確認ください。（2017年1月現在）
※ 下記Webサイトは、Android端末でご利用ください。

<http://nfc.setup.aterm.jp>



◆ 注意 ◆

- Atermらくらく「かざして」スタートのアプリは無料です。ただしインターネット接続（LTE通信や3G通信など）のポケット通信料はお客様ご負担となります。

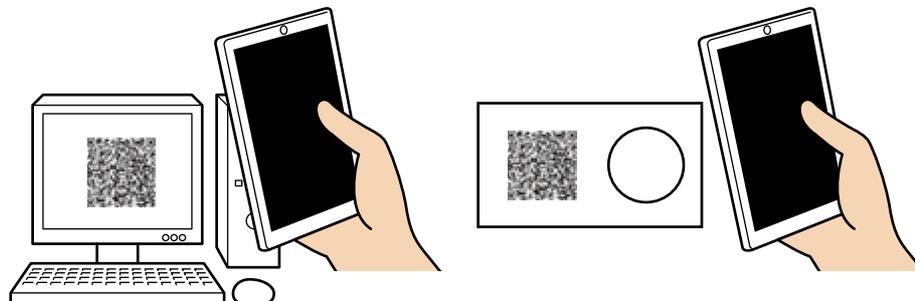
▶ 設定手順

らくらく「かざして」スタートでのWi-Fi接続方法は、[「スマートフォン／タブレット（Android端末）から本製品にWi-Fi接続する」](#)の[「らくらく「かざして」スタートで接続する」](#)を参照してください。

らくらくQRスタートを使う

QRコードを専用のアプリで読み取るだけで、スマートフォンやタブレットと親機(本製品)の接続設定が簡単にできます。

設定用QRコードは、ネットワーク名(SSID)や暗号化キーの情報を暗号化しており、操作が簡単なだけでなく、セキュリティにも配慮しています。



お買い上げ時の設定用QRコードは、本製品に添付のWi-Fi設定シートに記載されています。

Wi-Fi設定シートをなくしたときや、ネットワーク名(SSID)や暗号化キーを変更した場合は、新たに設定用QRコードを作成してください。新しいQRコードは本製品のクイック設定Webで自動作成できます。

◆ 注意 ◆

- 本QRコードアプリは無料です。ただし、インターネット接続(LTE通信や3G通信など)のポケット通信料はお客様ご負担となります。

◆ 参考 ◆

ご利用の子機のカメラでQRコードが読み取りにくい場合は、次の事項をお試しください。

- ・QRコードに対して垂直になるようカメラの位置を調整する。
- ・読み取り時にQRコードに天井灯などが映りこまないよう調整する。
- ・明るい場所で読み取りを行う(直射日光などの明るすぎる場所は避ける)。

▶ 設定手順

QRコードを使って本製品とWi-Fi接続する

● [スマートフォン／タブレット\(Android端末\)の場合](#)

● [スマートフォン／タブレット\(iOS端末\)の場合](#)

らくらく無線スタートで接続する

らくらくスタートボタンを押すだけで、Wi-Fiやセキュリティ(暗号化)を簡単に設定することができます。

● らくらく無線スタート

- 設定方法については、次のとおりです。
 - ーゲーム機の場合は「[ゲーム機から本製品にWi-Fi接続する](#)」を参照してください。
 - ープリンタの場合は「[プリンタから本製品にWi-Fi接続する](#)」を参照してください。
 - ー子機の場合は、子機の取扱説明書などを参照してください。
- 子機は、らくらく無線スタートに対応している必要があります。

◆ 補足 ◆

- 親機(本製品)に暗号化が設定されていない場合は、らくらく無線スタートでの設定はできません。
- 親機(本製品)が「MACアドレスフィルタリング機能」を有効にしている場合、設定する子機が登録されていないときは、らくらく無線スタートでのWi-Fi設定登録時に、MACアドレスフィルタリングにも新たに登録されます。ただし、MACアドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートは失敗になります。
- 親機(本製品)が「ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)」を「使用する」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。
- 本製品の動作モードがブリッジモードの場合は、必ず、ONUもしくは光電話対応ルーターなどDHCPサーバ機能を持った機器を本製品に接続してください。

● [らくらく無線スタートEX](#)

- 設定方法については、下記の設定手順を参照してください。
- らくらく無線スタートEXで設定できる子機の例(2017年1月現在)
 - ー無線LAN内蔵パソコン(Windows、OS X(Mac))をご利用の場合
 - ※ 対応OSは、[サポートデスク](#)「目的別で探す」-「ソフトウェア」-「らくらく無線スタートEX」を参照してください。(2017年1月現在)
 - ーWindowsのパソコンでWL900U、WL450NU-AG、WL300NU-GS、WL54GC、WL54GUをご利用の場合
 - ー他社製の子機をご利用の場合
 - ーAndroid端末をご利用の場合
 - ※ 対応OSは、Android 4.4までとなります。

◆ 補足 ◆

- らくらく無線スタートEXを実行している間は、クイック設定Webからの設定は行えません。らくらく無線スタートEXを完了した後、再度「クイック設定Web」から設定を行ってください。
- 本製品で「MACアドレスフィルタリング機能」を有効にしている場合、設定する子機が登録されていないときは、らくらく無線スタートEXでのWi-Fi設定登録時に、MACアドレスフィルタリングにも新たに登録されます。ただし、MACアドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートEXは失敗になります。
- 本製品の動作モードがブリッジモードの場合は、必ず、ONUもしくは光電話対応ルーターなどDHCPサーバ機能を持った機器を本製品に接続してください。

▶ 設定を行う前に

- Windowsをご利用の場合、無線LAN内蔵パソコンまたは子機でWindowsのワイヤレスネットワークで設定および制御されている場合にご使用になれます。
- Windowsでサテライトマネージャをご利用の場合は、サテライトマネージャを終了してから設定してください。

▶ 設定手順

Windowsパソコンを例に説明します。

◆ 補足 ◆

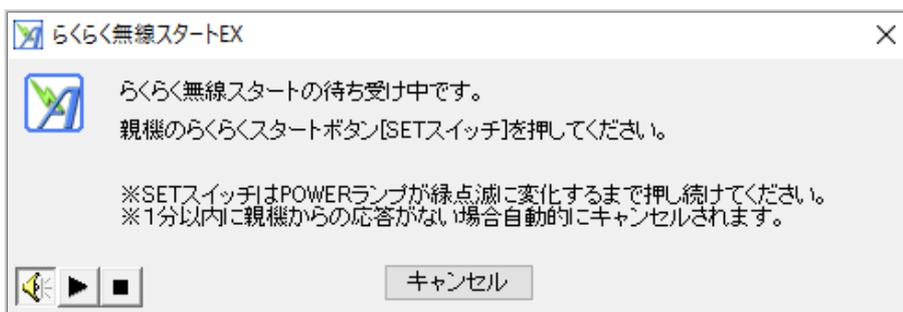
- OS X (Mac) をご利用の場合は、[サポートデスク](#) - 「目的別で探す」 - 「ソフトウェア」 - 「らくらく無線スタートEX」の「Mac用ダウンロードページへ」へ進み、らくらく無線スタートEXをダウンロードしてください。設定手順は、同ページに案内されています。(2017年1月現在)
- Android端末をご利用の場合は、「らくらく無線スタートEX for Android」のアプリを検索し、ダウンロードしてご利用ください。

らくらく無線スタートEXをインストールする

[サポートデスク](#) - 「目的別で探す」 - 「ソフトウェア」 - 「らくらく無線スタートEX」の「Windows用ダウンロードページへ」へ進み、らくらく無線スタートEXをダウンロードして「らくらく無線スタートEX」のインストーラを起動します。以降、画面の指示にしたがって、インストールしてください。(2017年1月現在)

らくらく無線スタートEXで設定する

1. [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [すべてのアプリ] (または[すべてのプログラム]) - [らくらく無線スタートEX] をクリックします。
※ Windows 8.1 の場合は、[スタート]画面で[らくらく無線スタートEX] をクリックします。
※ [ユーザーアカウント制御]の画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックしてください。
2. 下の画面が表示されることを確認します。
※ 1分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。



3. 本製品のらくらくスタートボタンを長押しし(約10秒)、POWERランプが黄緑点滅になったら離します。



◆ 注意 ◆

POWERランプが約10秒間赤点灯した場合は、らくらく無線スタートに失敗しています。

下記の原因が考えられます。本製品の[クイック設定Web](#)で確認してください。(どちらかに当てはまる場合は、らくらく無線スタートEXでの設定はできません)

- 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」で、「暗号化モード」が「暗号化無効」に設定されている。
※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」で確認します。
→「暗号化無効」以外に変更し、暗号化キーなどを設定してください。
- 「詳細モード」の「Wi-Fi設定」-「MACアドレスフィルタリング」で、「MACアドレスエントリ」の登録数が制限いっぱいである。
→不要なMACアドレスを削除してください。

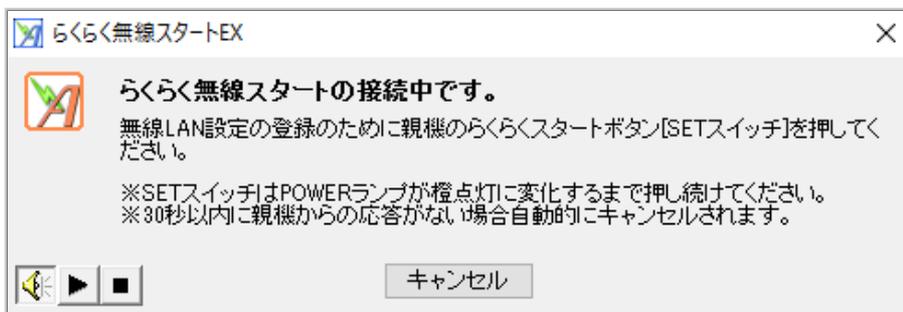
本製品の設定を変更した後、手順1から設定し直してください。

4. 無線LAN内蔵パソコンと本製品の状態が、下記になっていることが確認できたら、手順5へ進みます。

※ 30秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

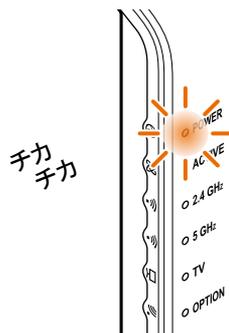
<無線LAN内蔵パソコン>

下の画面が表示されることを確認します。



<本製品>

本製品のPOWERランプが橙点滅することを確認します。



◆ 注意 ◆

- どちらか片方しか上記の状態になっていない場合は、他の親機または子機と設定しようとしている可能性があります。パソコンで[キャンセル]をクリックし、本製品の電源を入れ直して、手順1から設定をやり直してください。

5. もう一度、本製品のらくらくスタートボタンを長押しし、POWERランプが橙点灯になったら離します。

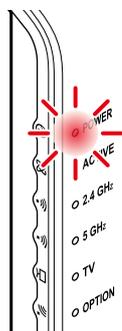


◆ 補足 ◆

- POWERランプは約10秒間橙点灯した後、黄緑点灯に戻ります。

◆ 注意 ◆

- 失敗した場合は、POWERランプが約10秒間赤点灯します。手順1から設定をやり直してください。



6. 下の画面が表示された場合は、ご利用になるチャンネル帯を選択して、[次へ]をクリックします。

らくらく無線スタートEX

お使いになる環境に応じて、無線チャンネル帯を選択してください。

5GHz帯(W/W2/W53/W56)(推奨) ※W52/W53は屋内使用限定

2.4GHz帯

次へ

Wi-Fiのスケジュール設定で消費電力を抑える

Wi-Fiを使用しないときは、本製品のWi-Fi機能を停止することで消費電力を抑えることができます。あらかじめWi-Fi機能を停止する時間帯を指定して、設定します。

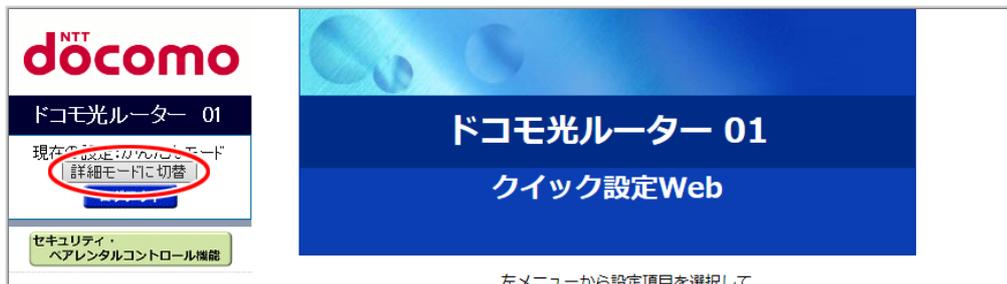
◆ 補足 ◆

- 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」画面で「Wi-Fi機能」が「使用しない」に設定されている場合は、本機能の設定内容にかかわらず、Wi-Fi通信は停止状態となります。
- 以下の場合は、本設定が有効になるまで最長1時間かかります。
 - 本製品の電源の入れ直し。
 - 本製品の再起動。
 - 本設定後に[今すぐ再起動する]のボタンを押した後。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「Wi-Fi設定」→「Wi-Fiスケジュール設定」をクリックします。



3. Wi-Fiを停止する曜日・時間帯を選択・入力して、「適用」にチェックします。

トップページ > Wi-Fi設定 > Wi-Fi スケジュール設定

Wi-Fi スケジュール設定

Wi-Fi機能の停止時間帯をスケジュール設定します。Wi-Fiを使用しないときはWi-Fi機能を停止することで消費電力を抑えることができます。

適用	曜日	開始/終了時間帯
<input checked="" type="checkbox"/>	平日	02 (時)00 (分) - 07 (時)00 (分)
<input type="checkbox"/>	日	00 (時)00 (分) - 00 (時)00 (分)
<input type="checkbox"/>	日	00 (時)00 (分) - 00 (時)00 (分)

設定

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

TVモードを使う

TVモードとは、本製品にWi-Fi接続したパソコン(ひかりTV対応機種)やテレビで、安定したストリーミング映像を視聴することができる機能です。

▶ 設定を行う前に

- Wi-Fi子機(CONVERTER)モードに設定した本製品(イーサネットコンバータ)に接続したテレビなどをご利用になる場合は、本ページでの設定は必要ありません。

[「TVモードを使う\(子機/中継機の設定\)」](#)を参照してください。

▶ 設定手順

● 本製品の設定

● 子機の接続例

本製品の設定

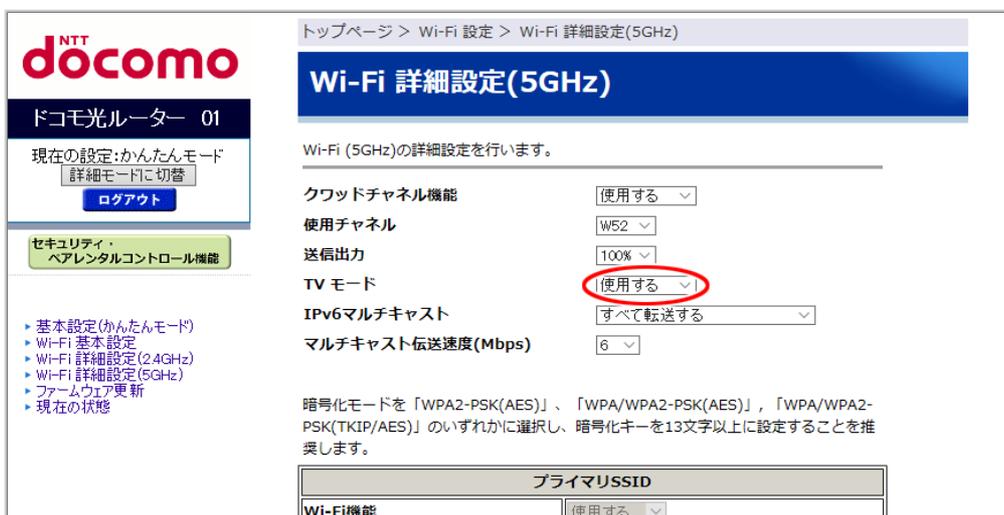
[クイック設定Web](#)で設定します。

- 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。
※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」→「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

子機と接続する周波数帯の設定画面を選択してください。

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。
- 「TVモード」で「使用する」または「自動」を選択します。



(画面は、「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」の例です。)

次の設定項目が選択できます。

- 使用する
常にTVモードを有効にします。
- 使用しない
TVモードを無効にします。
- 自動
TVモードの自動設定に対応した子機が接続されたときだけ有効になります。

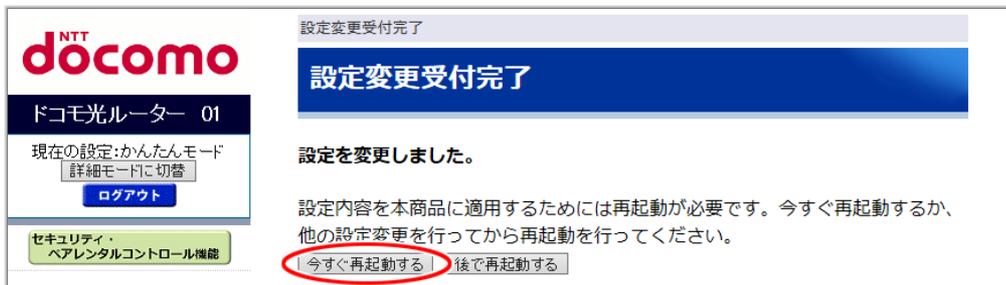
◆ 補足 ◆

- この項目は、プライマリSSID／セカンダリSSIDで共通の設定です。

3. [設定]をクリックします。

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

子機の接続例

■ ひかりTV対応のパソコンで視聴する場合

本製品とWi-Fi接続していない場合は、[「さまざまな子機からWi-Fi接続する」](#)で、ご利用のOSの接続方法を参照してください。

■ イーサネットコンバータを接続したテレビで視聴する場合

1. テレビとイーサネットコンバータをLANケーブルで接続し、イーサネットコンバータの電源を入れます。
2. 本製品とイーサネットコンバータをWi-Fi接続します。
(接続方法はイーサネットコンバータの取扱説明書などを参照してください。)

Wi-Fi子機(CONVERTER)モードに設定した本製品をイーサネットコンバータとしてご使用になる場合は、Wi-Fi接続方法は、[「本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する」](#)で説明しています。

▶ うまく動作しない場合は

- 子機が本機能に対応しているか、ご確認ください。
子機の仕様や設定方法は、子機取扱説明書を参照してください。

LANポート間の通信を効率よく行う(LAN側ジャンボフレーム透過機能)

LANポートに接続される機器間での伝送速度が1000Mbpsの場合、データの送受信単位(フレーム)のサイズを大きくすることで、LANポート間の対向通信を効率よく行うことができます。

▶ 設定を行う前に

- 対向通信するすべての機器がジャンボフレームに対応している必要があります。
- Wi-Fi接続やWAN側のポート(インターネット)との転送ではご利用になれません。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。

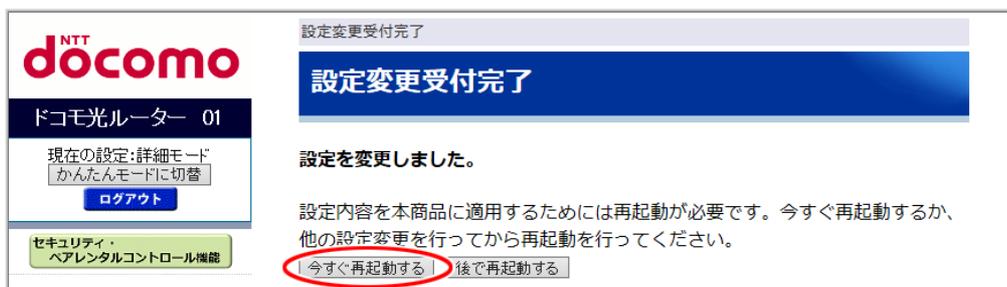


2. 「詳細設定」-「LAN側設定」をクリックします。

3. 「LAN側ジャンボフレーム透過機能」で「使用する」を選択して、「設定」をクリックします。



4. [今すぐ再起動する]をクリックします。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

6-6.高度な機能を使う

本製品には、さまざまな高度な機能があります。

ルータ機能

本製品を親機としてご使用になる場合のルータ機能について説明します。

ルータ機能は、ルータモードでご使用になれます。ブリッジモードでは、ルータ機能は停止します。

以下は、本製品で行うことのできるルータ機能です。

- [ND Proxy](#)

IPv6のパケットを、ルータを介して通信する機能です。IPv6プロトコルの利用が必要なサービスを、ご利用いただけます。

IPv6ブリッジ機能と同時に使用することはできません。

- [IPv6ブリッジ機能](#)

IPv6のパケットを、ルータを介さずに通過させて通信する機能です。IPv6プロトコルの利用が必要なサービスを、ご利用いただけます。

ND Proxyと同時に使用することはできません。

- [PPPoEブリッジ](#)

PPPoEプロトコルを持つ端末から、直接インターネットへの接続が可能になります。

- [アドバンスドNAT \(IPマスカレード/NAPT\)](#)

1つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換する機能です。

本製品は、1つのグローバルIPアドレスで、プライベートIPアドレスを持つ複数のパソコンなどが同時にインターネット接続することができます。本機能は、WAN側からLAN側のパソコンのいずれかを指定してアクセスを開始することはできません。本機能によりLANをインターネットから隔離することができるのでセキュリティが向上します。WAN側からのアクセスを行いたい場合や特定のアプリケーション(ポート番号)をLAN側の特定アドレスに割り当てる場合は、ポートマッピング(アドバンスドNATオプション)が有効です。

- [ポートマッピング\(アドバンスドNATオプション\)](#)

IPアドレスのみをあらかじめ登録した設定テーブルにしたがって固定的に変換することにより、プライベートとグローバルのネットワークをつなぎます。

- [ダイナミックポートコントロール\(SPI\)](#)

LAN上のパソコンからのリクエストパケットに応じて、通信開始時にWAN側ポートを開き、セッション終了時または内部タイマ満了をもって自動的にWAN側ポートを閉じる機能です。

- [DNSフォワーディング\(DNSプロキシ\)](#)

LAN上の各パソコンからDNSの問い合わせパケットを受け取ると、インターネット上の本来のDNSサーバにフォワーディングして問い合わせ、IPアドレスを各パソコンに回答します。

- [IPパケットフィルタリング](#)

アプリケーションやネットワークに応じて不必要なIPパケットの送受信を拒否することができます。

◆ 参考 ◆

- 通信事業者によっては、ルータ機能を持つ装置の接続を制限している場合があります。
- 子機は、10台以下でのご使用を推奨します。
- 子機を同じパソコンで複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（LANポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。
- 本製品のWANポートにONUもしくは光電話対応ルーターを接続します。

ND Proxyとは、IPv6(Internet Protocol Version 6)のパケットを、ルータを介して通信する機能です。IPv6プロトコルの利用が必要なサービスを、ご利用いただけます。

本製品のIPv6動作モードの一つです。

◆ 補足 ◆

- IPv6動作モードを「ND Proxy」に設定すると、下記の機能を使用することができます。
 - セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能でのIPv6通信
 - IPv6ファイアウォール(Stateful Packet Inspection機能)
 - IPv6パケットのフィルタリング
- 現在のIPv4動作状態がIPv4 over IPv6通信モードの場合、IPv6動作モードは「ND Proxy」固定です。

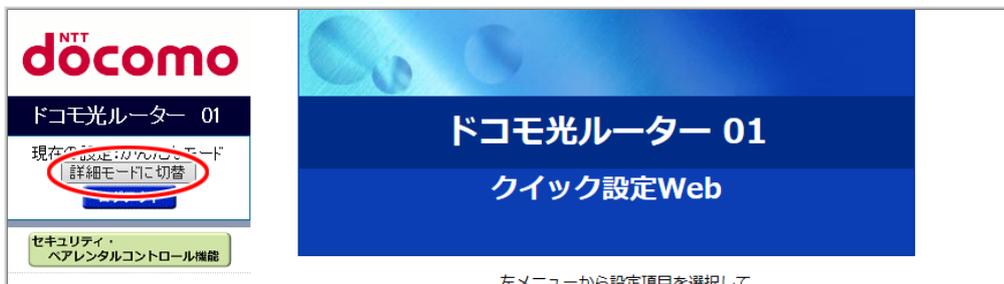
▶ 設定を行う前に

- 本製品は、初期状態でIPv6動作モードが「ND Proxy」に設定されています。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
[ログアウト](#)

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能

基本設定 (circled in red)
Wi-Fi設定
詳細設定
メンテナンス
情報

設定用QRコードを表示
[取扱説明書](#)

3. 「IPv6動作モード」で「ND Proxy」を選択して、[設定]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

IPv6ブリッジ機能

IPv6ブリッジ機能とは、IPv6(Internet Protocol Version 6)のパケットを、ルータを介さずに通過させて通信する機能です。IPv6プロトコルの利用が必要なサービスをご利用いただけます。

◆ 補足 ◆

- 本機能は、PPPoEルータモードまたはローカルルータモードでご使用になれます。

▶ 設定を行う前に

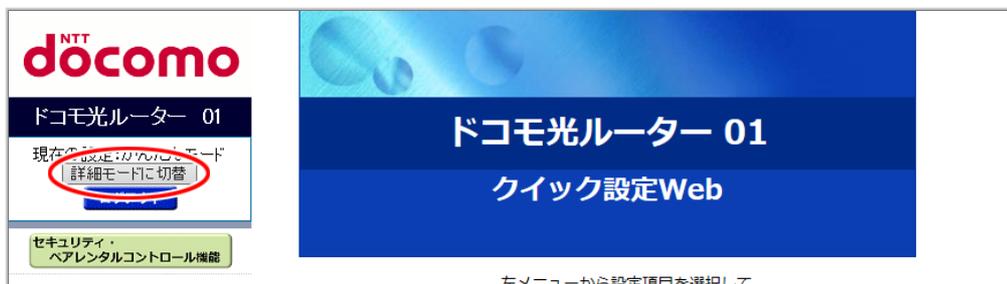
- IPv6を使ったサービスを利用するには、パソコンの設定や専用のソフトウェアなどが必要な場合があります。詳細は、プロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「IPv6ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

▶ 設定手順

IPv6ブリッジ機能を設定する

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

3. 「IPv6動作モード」で「IPv6ブリッジ」を選択して、「設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

◆ 補足 ◆

- 本項目は、「現在のIPv4動作状態」が「ローカルルータ(DHCP無効)」、「ローカルルータ(DHCP有効)」、または「PPPoEルータ」の場合のみ設定できます。

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

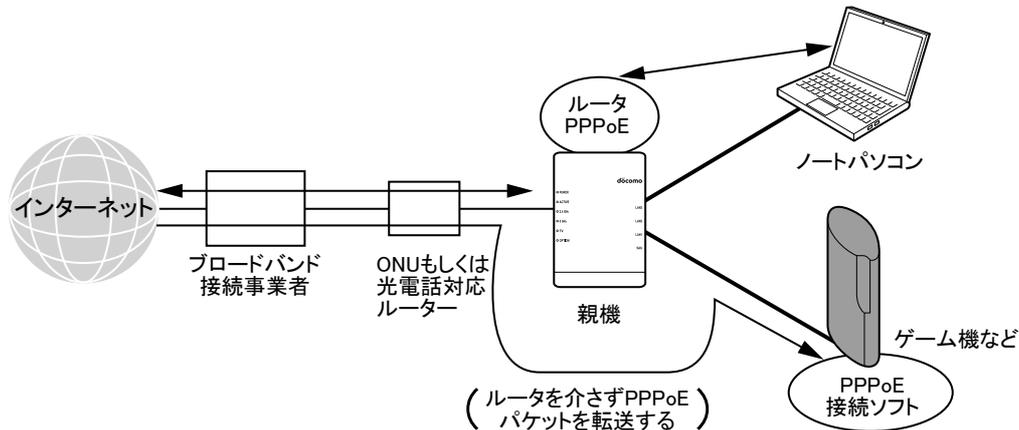
◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

PPPoEブリッジ機能

パソコンやゲーム機などでPPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルの利用が必要な場合やグローバルIPアドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoEブリッジ機能を使用して、接続できます。本機能を使用した場合、LAN側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大16台までです。

PPPoEブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なりますので、ご利用の接続事業者にご確認ください。



◆ 補足 ◆

- 本機能は、PPPoEルータモードでご使用になれます。
- ACTIVEランプは、本製品がPPPoE接続をしているPPPセッションの状態を表示します。ただし、他のPPPoEプロトコル内蔵パソコンがPPPoEブリッジで接続している場合には、そのパソコンによるPPPoEブリッジのPPPセッションの状態は、ACTIVEランプに反映されません。

◆ 注意 ◆

- PPPoEブリッジ機能では、外部からのアクセスが可能になりますので、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で変更します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



3. 「PPPoEブリッジ」で「使用する」を選択して、[設定]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ユーザー名

パスワード

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

PPPキーブアラライブ機能 使用する 使用しない

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

◆ 補足 ◆

- 本項目は、「現在のIPv4動作状態」が「PPPoEルータ」の場合のみ設定できます。

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

DNSフォワーディング (DNSプロキシ)

DNSフォワーディング機能とは、本製品に接続されている各パソコンなどからDNSの問い合わせパケットを受け取ると、インターネット上のDNSサーバにフォワーディングして問い合わせ、問い合わせたIPアドレスを各パソコンに回答する機能です。

本製品に接続されたパソコンなどからは、本製品がDNSサーバとして動作しているように見えます。本機能により、IPアドレスを意識しなくてもURLやメールアドレスの指定だけでホームページを閲覧したりメールを送信することができます。

PPPoEルータ機能

本製品は、PPPoEルータ機能によって、インターネットを利用するために必要なプロバイダ(または接続事業者)への接続ができます。本機能は、PPPoEルータモードで使用します。

PPPoEとは、PPP over ETHERNET の略で、FTTHなどの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術です。利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行います。

本製品は、設定されたユーザー名とパスワードでプロバイダへの認証と接続を行い、認証されるとプロバイダからIPアドレスが割り当てられます。LAN側のパソコンなどは、本製品を介することでインターネットを利用することができます。

▶ 設定手順

PPPoEルータモードでインターネットに接続する設定手順は「[PPPoEルータモードでインターネットに接続する](#)」を参照してください。

DHCPサーバ機能 (DHCPv4サーバ)

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバ機能により、LAN上のパソコンなどが起動すると、その都度、IPアドレスなどのネットワーク利用に必要な設定情報を、各パソコンなどに自動的に割り当てます。これにより、各クライアントでネットワークの詳細な設定を行わなくても、LANやインターネットに接続することができます。

◆ 参考 ◆

- 本製品は、お買い上げ時および初期化後の状態で本機能が使用できる設定になっています。通常、本機能を使用する場合は、お買い上げ時のままでお使いください。間違えると接続できなくなります。

▶ 設定を行う前に

- ACTIVE ランプが黄緑点灯している(ルータモードに設定されている)ことをご確認ください。そうでない場合は、[「動作モードを変更する」](#)を参照し、本製品をルータモードに設定してください。

▶ 設定手順

● [DHCPサーバ機能の設定をする](#)

◆ 注意 ◆

- 通常、本機能を使用する場合は、お買い上げ時のままでお使いください。設定を間違えると子機との通信ができなくなります。

◆ 参考 ◆

- 本製品は、お買い上げ時および初期化後の状態で本機能が使用できる設定になっています。

- 特定の子機に常に同じIPアドレスを割り当てるようにする(DHCP固定割当設定)

[「DHCP固定割当を設定する」](#)を参照してください。

DHCPサーバ機能の設定をする

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [「詳細モードに切替」](#)をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「詳細設定」-「LAN側設定」をクリックします。

3. 設定値を選択・入力した後、[設定]をクリックします。

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

基本設定
Wi-Fi 設定
詳細設定
LAN側設定
DHCP固定割当設定
パケットフィルタ設定(Port)
パケットフィルタ設定(IP)
ポートマッピング設定
メンテナンス
情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

トップページ > 詳細設定 > LAN側設定

LAN側設定

LAN側インタフェースの設定を行います。

IPアドレス: 192.168.10.1
ネットマスク: 255.255.0.0
DHCPサーバ機能: 使用する 使用しない
DHCP割当範囲: 192.168.10.100 - 192.168.10.200
リースタイム(分): 1440 (60 - 4320 分)
ドメイン名:
LAN 側ジャンプフレーム透過機能: 使用する 使用しない
LAN 側Pause 機能: 使用する 使用しない
省電力型イーサネット(EEE)機能: 使用する 使用しない

設定

- DHCPサーバ機能（お買い上げ時:使用する）
本製品のDHCPサーバ機能を使用するかどうかを選択します。
 - 使用する
本製品のDHCPサーバ機能が有効になります。
 - 使用しない
本製品のDHCPサーバ機能が無効になります。
LAN側に別のDHCPサーバがある場合や、DHCPを使用せずに運用する場合に選択します。
- DHCP割当範囲（お買い上げ時:192.168.10.100-192.168.10.200）
本製品の子機に配布するIPアドレスの範囲を入力します。
- リースタイム(分)（お買い上げ時:1440）
本製品の子機に配布したIPアドレスの有効時間(分)を入力します。
- ドメイン名
本製品の子機に通知するドメイン名を入力します。
スペースを含まない半角英数字、-(ハイフン)、.(ピリオド)で30文字以内で設定できます。
必要がない場合は、空欄にしてください。

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

3. 「設定を行う前に」で調べたMACアドレスと、割り当てたいIPアドレスを入力し、「設定」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定: 詳細モード
かんたんモードに切替

ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

基本設定
Wi-Fi 設定
詳細設定
LAN側設定
DHCP固定割当設定
パケットフィルタ設定(Port)
パケットフィルタ設定(IP)
ポートマッピング設定
メンテナンス
情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

トップページ > 詳細設定 > DHCP固定割当設定

DHCP固定割当設定

DHCPサーバから特定のMACアドレスの端末に対して、固定のIPアドレスを割り当てることができます。最大20個まで登録できます。

IPアドレス: 192.168.10.100
MACアドレス: XXXXXXXXXXXXXXX
コメント:

設定

DHCP固定割当エン트리

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
--------	---------	------	----

削除 すべて削除

◆ 補足 ◆

- 本製品のIPアドレスをお買い上げ時から変更している場合は、ご利用の環境に合わせて変更してください。

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

今すぐ再起動する 後で再起動する

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- 設定内容を確認する場合は、再起動後に手順1～2を行い、表示された画面の「DHCP固定割当エントリ」で確認してください。
- 設定値を間違えて設定した場合、「修正」はできません。「削除」して設定をやり直してください。
- IPアドレスの確認方法は、「[パソコンなどのIPアドレスを確認する](#)」を参照してください。

▶ うまく動作しない場合は

- 設定したIPアドレスがDHCPサーバの割り当て範囲内(お買い上げ時: 192.168.10.100～192.168.10.200)になっていない可能性があります。

UPnP機能

UPnP(ユニバーサル・プラグアンドプレイ)機能を利用すると、NATによるIPアドレスやポート番号の変換を気にすることなく、UPnP機能対応アプリケーションを複数のパソコンから同時にご利用いただけます。

本機能をご利用になるには、本製品とパソコン側の設定が必要です。

◆ 補足 ◆

- 本機能は、PPPoEルータモードまたはローカルルータモードでご使用になれます。

▶ 設定を行う前に

- ファイアウォールのアプリケーションが動作中のパソコンでは、UPnP機能が動作しません。UPnP機能をご利用になる場合は、ファイアウォールのアプリケーションを停止させてください。
- UPnP機能は、Windows のパソコンでご利用になれます。
- 最大10台の端末でUPnP機能が利用可能です。ただし、安定してお使いいただくには、UPnPを使用するパソコンは5台以下を推奨します。

▶ 設定手順

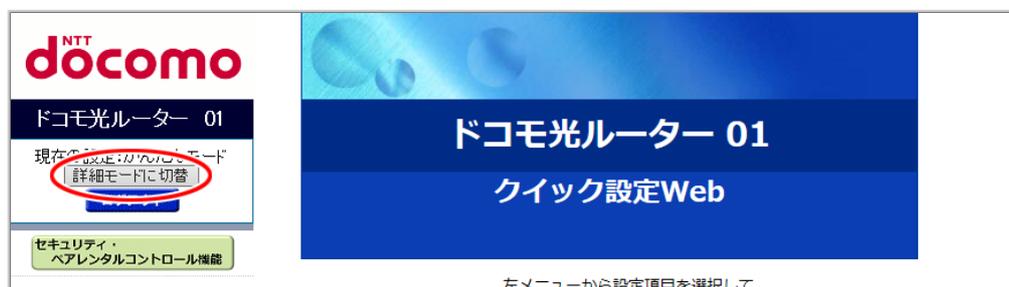
本製品の設定をする

本製品のUPnP機能を有効にします。

※ お買い上げ時の状態では、UPnP機能は「使用しない」に設定されています。

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

3. 「UPnP機能」で「使用する」を選択して、[設定]をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

基本設定
基本設定
Wi-Fi設定
詳細設定
メンテナンス
情報

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果
※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能
(IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール
(Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

4. [OK]をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか?
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

パソコンの設定をする

■ Windows 10/8.1 の場合

- 「Windows」キーを押し、表示された一覧から「Windowsシステムツール」→「コントロールパネル」をクリックします。

※ ご利用のパソコンのOSがWindows 8.1の場合は、「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット」をクリックします。
※ 表示方法は「カテゴリ」表示にしてください。



3. 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



4. 「共有の詳細設定の変更」をクリックします。



5. 「ネットワーク探索を有効にする」にチェックして[変更の保存]をクリックします。
※ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。



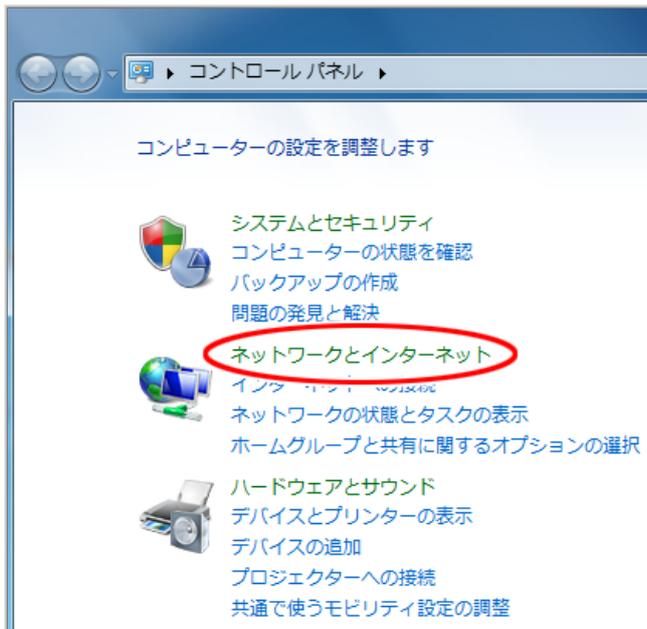
6. 本製品のUPnP が正常に動作すると、「ネットワーク」に「docomo hikari router」アイコンが表示されます。



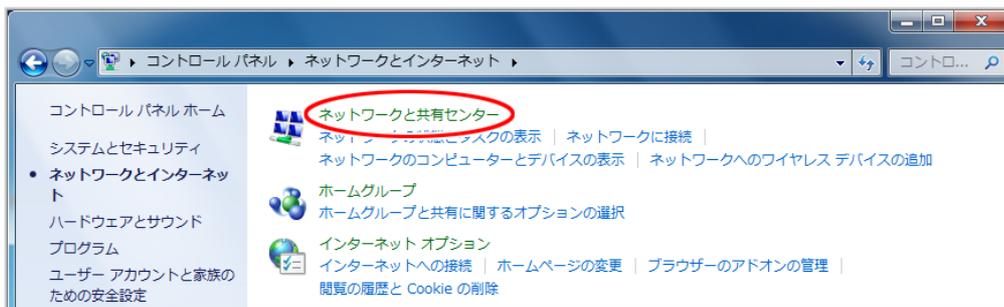
■ Windows 7 の場合

1. 「スタート」(Windows のロゴボタン) – 「コントロールパネル」を選択します。

2. 「ネットワークとインターネット」をクリックします。
※ 表示方法は「カテゴリ」表示にしてください。



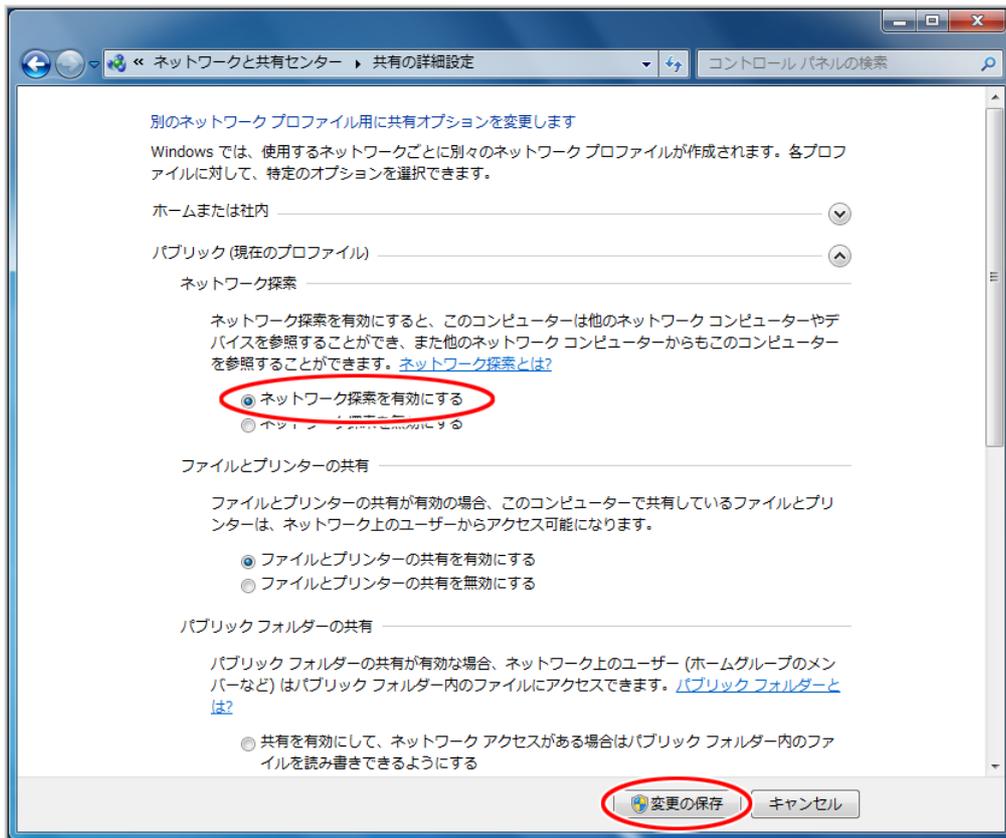
3. 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



4. 「共有の詳細設定の変更」をクリックします。



5. 「ネットワーク探索を有効にする」にチェックして[変更の保存]をクリックします。
※ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。



6. 本製品のUPnP が正常に動作すると、「ネットワーク」に「docomo hikari router」アイコンが表示されます。



▶ 使いかた

ソフトウェアの操作方法などは、ソフトウェアの取扱説明書などを参照してください。

▶ うまく動作しない場合は

パソコンの「ネットワーク」にアイコンが表示されない(本製品を検出できない)場合

- ケーブルの抜き差し、パソコンのIPアドレスの更新、本製品の設定後の再起動、バージョンアップ、電源をいったん切って入れ直した後などは、本製品を検出する際に時間がかかる場合があります。しばらく待ってみても本製品が検出されない場合は、パソコンを再起動してください。

- 他のUPnP対応ルータに、UPnP接続したことがあるパソコンを本製品に接続しても、検出されないことがあります。この場合はパソコンを再起動してください。

ポートマッピング機能

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。本機能によりグローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。必要に応じてNATエントリ設定をすることで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスドNAT機能(IPマスカレード/NAPT)がはたらいでネットワークゲームができなくなる場合があります。これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、ネットワークゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

その他、本製品のルータ機能を使っている環境にWebカメラなどを設置して、外部からアクセスすることが可能です。

◆ 補足 ◆

- 本機能は、PPPoEルータモード、ローカルルータモード、「v6プラス」モード、「OCNバーチャルコネク」モードまたは「IPv6オプション(BIGLOBE)」モードでご使用になれます。

◆ 注意 ◆

- 動作モードをPPPoEルータモードおよびローカルルータモードから「v6プラス」モード、「OCNバーチャルコネク」モード、「IPv6オプション(BIGLOBE)」モード、またはその逆に変更した場合、変更前に登録したNATエントリ設定は無効になります。ただし、設定内容は保持されますので、動作モードを戻すと有効になります。
- 1つのポート番号に結び付けられる装置は1台のみです。複数台を同じポート番号に結び付けることはできません。

▶ 設定を行う前に

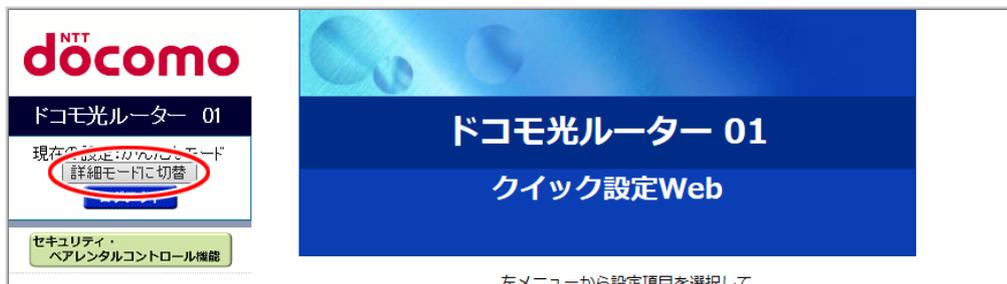
- ポートマッピングを設定する子機は、DHCPサーバ機能によりIPアドレスが自動的に割り当てられないように、IPアドレスを固定しておいてください。固定する場合は、DHCPの割り当て範囲外でIPアドレスを指定することを推奨します。
- パソコンのIPアドレスを固定して使用している状態で、本製品のクイック設定Webにアクセスするには、WWWブラウザのアドレス欄に本製品のIPアドレス(お買い上げ時は192.168.10.1)を入力してください。

▶ 設定手順

クイック設定Webで変更します。

※ 画面は、本製品のIPアドレスが「192.168.10.XX」の例です。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「詳細設定」-「ポートマッピング設定」をクリックします。



3. 設定値を選択・入力した後、[設定]をクリックします。
動作モードによって、画面と設定項目が異なります。

＜PPPoEルータモードまたはローカルルータモードの場合＞

- IPアドレス
ポートマッピングを適用するLAN側ホストのIPアドレスを入力します。
- プロトコル
ポートマッピングの対象とするプロトコルを選択します。
- ポート範囲
ポートマッピングの対象とするポート番号を入力します。
- コメント
コメントは任意で設定できます。入力できる文字は、全角および半角カナは10桁以内、半角英数記号は20桁以内です。

NTT docomo
ドコモ光ルーター 01
現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ
ペアレンタルコントロール機能

基本設定
Wi-Fi 設定
詳細設定
LAN側設定
DHCP固定割当設定
パケットフィルタ設定(Part)
パケットフィルタ設定(IP)
ポートマッピング設定
メンテナンス
情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

トップページ > 詳細設定 > ポートマッピング設定

ポートマッピング設定

特定の条件を満たすWAN側からの通信を、LAN側の特定端末に取り次ぐことができます。LAN側へのサーバ設置などの際に利用できます。最大20個まで登録できます。

IPアドレス 192.168.10.XX
プロトコル TCP
ポート範囲 XXXX
コメント

設定

NATエントリ

IPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択
192.168.10.XX	TCP	XXXX		

削除 すべて削除

◆ 注意 ◆

- 既に登録したポート範囲に含まれるポート番号を、追加で設定することはできません。
「NATエントリ」から削除するか、異なるポート範囲をご利用ください。

<「v6プラス」モード、「OCNバーチャルコネク」モードまたは「IPv6オプション(BIGLOBE)」モードの場合>

- IPアドレス
ポートマッピングを適用するLAN側ホストのIPアドレスを入力します。
- プロトコル
ポートマッピングの対象とするプロトコルを選択します。
- 変換対象ポート番号
宛先ポート番号へWAN側からの通信を取り次ぐために、本製品が受け付けるポート番号を入力します。
「利用可能ポート」に表示されているポート番号が設定できます。
- 宛先ポート番号
ポートマッピングの対象とするLAN側ホストのポート番号を入力します。
- コメント
コメントは任意で設定できます。入力できる文字は、全角および半角カナは10桁以内、半角英数記号は20桁以内です。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

基本設定
Wi-Fi 設定
詳細設定
LAN側設定
DHCP固定割当設定
パケットフィルタ設定(Port)
パケットフィルタ設定(IP)
ポートマッピング設定
メンテナンス
情報

トップページ > 詳細設定 > ポートマッピング設定

ポートマッピング設定

特定の条件を満たすWAN側からの通信を、LAN側の特定端末に取り次ぐことができます。LAN側へのサーバ設置などの際に利用できます。最大20個まで登録できます。IPv4動作状態が「v6プラス」または「OCN/バーチャルコネク」または「IPv6オプション(BIGLOBE)」の場合、利用可能ポートに表示されるポートを変換対象ポートとして指定することで、変換対象ポート宛ての通信を、宛先ポート番号で指定したポートへ取り次ぎます。

装置情報

IPv4動作状態	
IPv4接続状態	インターネット利用可能

利用可能ポート 情報取得時間(XXXX/XX/XX XX:XX)

利用可能ポート	情報取得時間(XXXX/XX/XX XX:XX)

IPアドレス

プロトコル

変換対象ポート番号

宛先ポート番号

コメント

NATエントリ

IPアドレス	プロトコル	変換対象ポート	宛先ポート	コメント	選択

設定用QRコードを表示
取扱説明書

◆ 注意 ◆

- 既に登録した変換対象ポート番号とプロトコルの組み合わせを、追加で設定することはできません。
また、既に登録した宛先ポート番号を、追加で設定することはできません。IPアドレスが違う場合でも同じ宛先ポート番号を追加で設定することはできません。
「NATエントリ」から削除するか、異なるポート番号をご利用ください。

4. 「NATエン트리」に設定内容が追加されます。

※ 画面は、PPPoEルータモードおよびローカルルータモードの例です。

トップページ > 詳細設定 > ポートマッピング設定

ポートマッピング設定

特定の条件を満たすWAN側からの通信を、LAN側の特定端末に取り次ぐことができます。LAN側へのサーバ設置などの際に利用できます。最大20個まで登録できます。

IPアドレス

プロトコル

ポート範囲 -

コメント

NATエン트리

IPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択
192.168.10.XX	TCP	XXXX		<input type="checkbox"/>

◆ 補足 ◆

- 設定値を間違えて登録した場合は、削除して設定をやり直してください。修正はできません。

5. 下の画面が表示された場合は、[今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

6. 「DHCP固定割当設定」を行わない場合は、ポートを開放するパソコンなどにIPアドレスなどを手動設定（DHCPを使わない設定）します。

▶ うまく動作しない場合は

- プライベートIPアドレスを割り当てる接続事業者の場合は、動作しない場合があります。接続事業者にお問い合わせください。

VPNパススルー機能

仮想プライベートネットワーク(VPN : Virtual Private Network)機能とは、ネットワーク上にVPNを構築することによって、リモート側にある機器とプライベート側にある機器との間で、セキュリティで保護されたデータ通信を可能とするものです。本製品は、IPsec(IP Security)またはPPTP(Point to Point Tunneling Protocol)によるVPN通信に対して、パススルー機能を搭載することにより、これらのVPN通信を通過させることができます。

IPsecまたはPPTPによるVPN接続を使用することにより、インターネットを経由してLAN側のIPsec機器／PPTPクライアントからWAN側のIPsec機器／PPTPサーバにアクセスすることができます。また、WAN側のIPsec機器／PPTPクライアントからLAN側のIPsec機器／PPTPサーバにアクセスするように設定することも可能です。

例えば、自宅のIPsec機器からインターネット経由で会社のネットワークにアクセスしたり(「設定手順」の「設定例1」)、自宅のPPTPサーバに外部のパソコンからアクセスしたり(「設定手順」の「設定例2」)することができます。

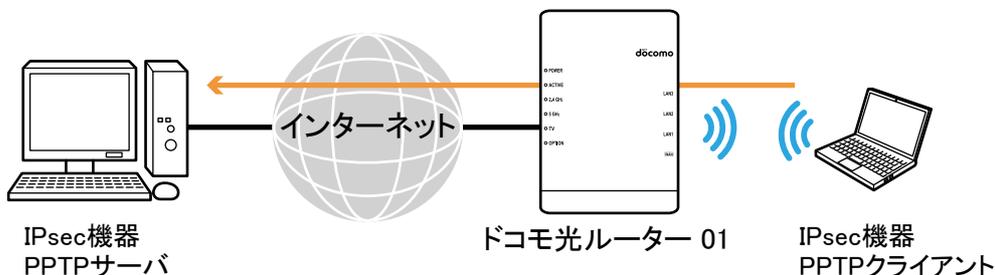
◆ 補足 ◆

- 通信は1セッションのみ可能です。
- 本製品のLANにIPsec機器／PPTPサーバを構築する場合は、ポートマッピング機能を併用する必要があります。
その場合、ポートマッピング設定を複数登録することはできません。
- 本機能は、PPPoEルータモードまたはローカルルータモードでご使用になれます。

▶ 設定手順

ここでは、ネットワーク上でのIPsec/PPTPパススルーの利用例を紹介します。

設定例1: 本製品に接続した端末から外部のIPsec機器／PPTPサーバにアクセスする



本製品の設定は不要です。

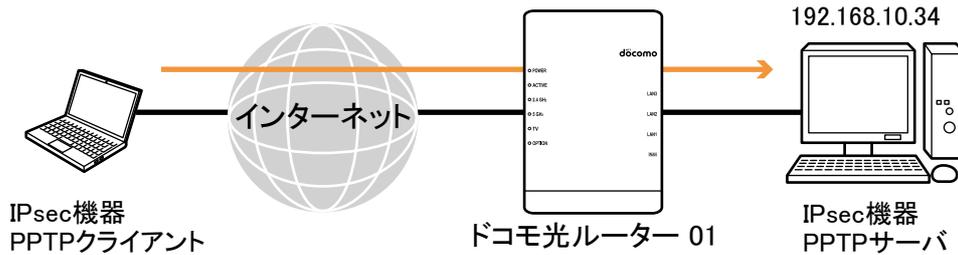
IPsec機器／PPTPクライアントにVPNの設定を行ってください。

※ 詳細は、それぞれのパソコンメーカーにお問い合わせください。

● [Windows 10/8.1の場合](#)

● [Windows 7の場合](#)

設定例2: 本製品に接続した端末をIPsec機器／PPTPサーバに設定する



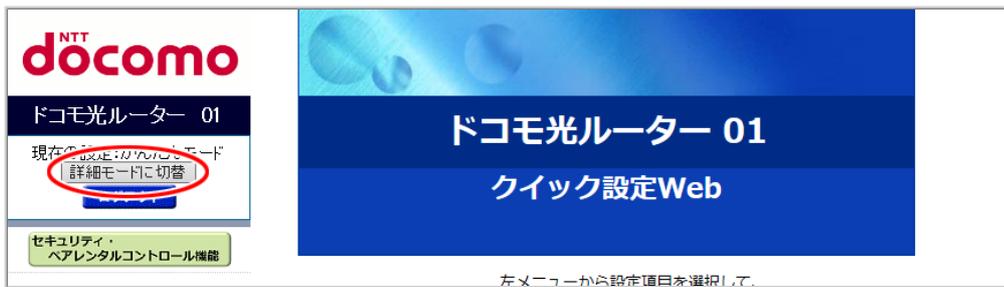
本製品に接続したIPsec機器／PPTPサーバに外部のIPsec機器／PPTPクライアントからアクセスする場合は、本製品にポートマッピングの設定が必要です。

設定するポート番号は使用するプロトコルにより異なります。

下記は、PPTPを使用する場合の設定例です。

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「詳細設定」-「ポートマッピング設定」で設定します。



3. 下記の項目を入力した後[設定]をクリックします。

- IPアドレス
PPTPサーバのIPアドレスを入力します。
※ 画面は、PPTPサーバのIPアドレスが「192.168.10.34」の場合の例です。
- プロトコル
「TCP」を選択します。
- ポート番号
「1723」を入力します。

ドコモ光ルーター 01
現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

● 基本設定
● Wi-Fi 設定
● 詳細設定
● LAN側設定
● DHCP固定割当設定
● パケットフィル設定(Port)
● パケットフィル設定(IP)
● ポートマッピング設定
● メンテナンス
● 情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

トップページ > 詳細設定 > ポートマッピング設定

ポートマッピング設定

特定の条件を満たすWAN側からの通信を、LAN側の特定端末に取り次ぐことができます。LAN側へのサーバ(設置など)の際に利用できます。最大20個まで登録できます。

IPアドレス 192.168.10.34
プロトコル TCP
ポート範囲 1723
コメント

設定

NATエントリ

IPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択
192.168.10.34	TCP	1723		<input type="checkbox"/>

削除 すべて削除

◆ 補足 ◆

- 設定するプロトコルとポート番号は、通信方法により異なります。

－ PPTPによる通信をする場合

PPTP	TCPポート番号:1723
------	---------------

－ IPsecによる通信をする場合

IKE	UDPポート番号:500,4500
-----	-------------------

4. 「NATエントリ」に追加されたことを確認します。

ドコモ光ルーター 01
現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

● 基本設定
● Wi-Fi 設定
● 詳細設定
● LAN側設定
● DHCP固定割当設定
● パケットフィル設定(Port)
● パケットフィル設定(IP)
● ポートマッピング設定
● メンテナンス
● 情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

トップページ > 詳細設定 > ポートマッピング設定

ポートマッピング設定

特定の条件を満たすWAN側からの通信を、LAN側の特定端末に取り次ぐことができます。LAN側へのサーバ(設置など)の際に利用できます。最大20個まで登録できます。

IPアドレス
プロトコル TCP/UDP
ポート範囲
コメント

設定

NATエントリ

IPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択
192.168.10.34	TCP	1723		<input type="checkbox"/>

削除 すべて削除

▶ うまく動作しない場合は

- 本製品に接続できるIPsec機器／PPTPサーバは1台のみです。
- PPTP機能またはIPsec機能のサポート状況、設定方法は、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

◆ 補足 ◆

- macOSおよびOS X(Mac)の場合は、PPTP通信ソフトウェアがサードパーティより提供されています。

パソコンの設定手順を説明します。

※ パソコンに関することは、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

▶ 設定手順

PPTPサーバに接続する

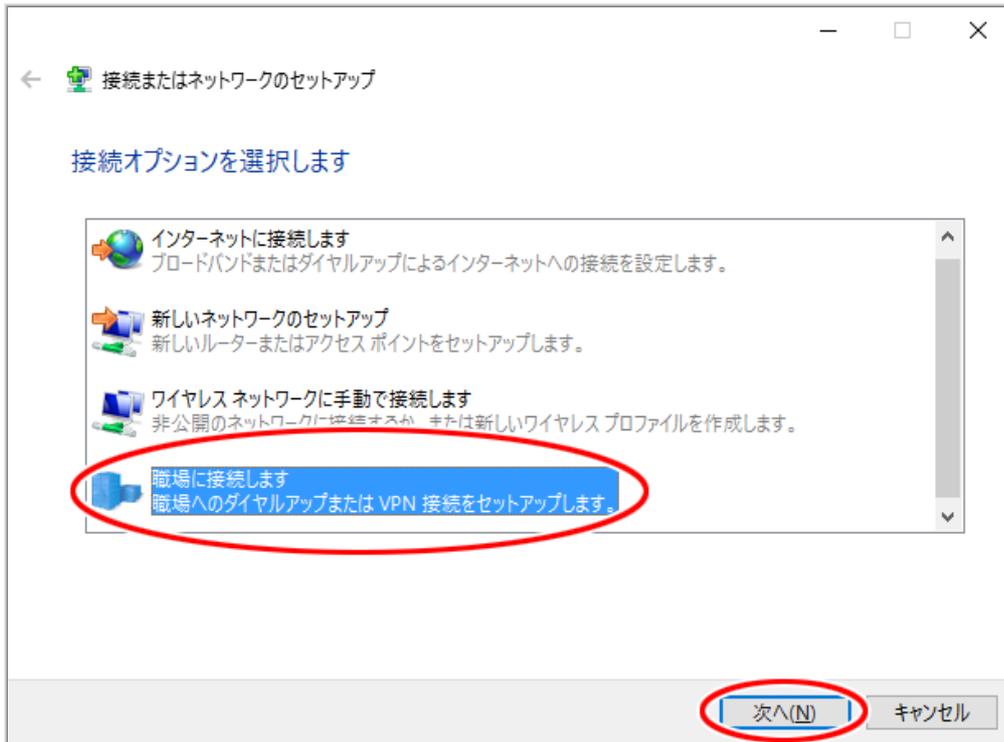
1. 「Windows」キーを押し、表示された一覧から「Windowsシステムツール」-「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」をクリックします。

※ ご利用のパソコンのOSがWindows 8.1の場合は、「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」をクリックします。

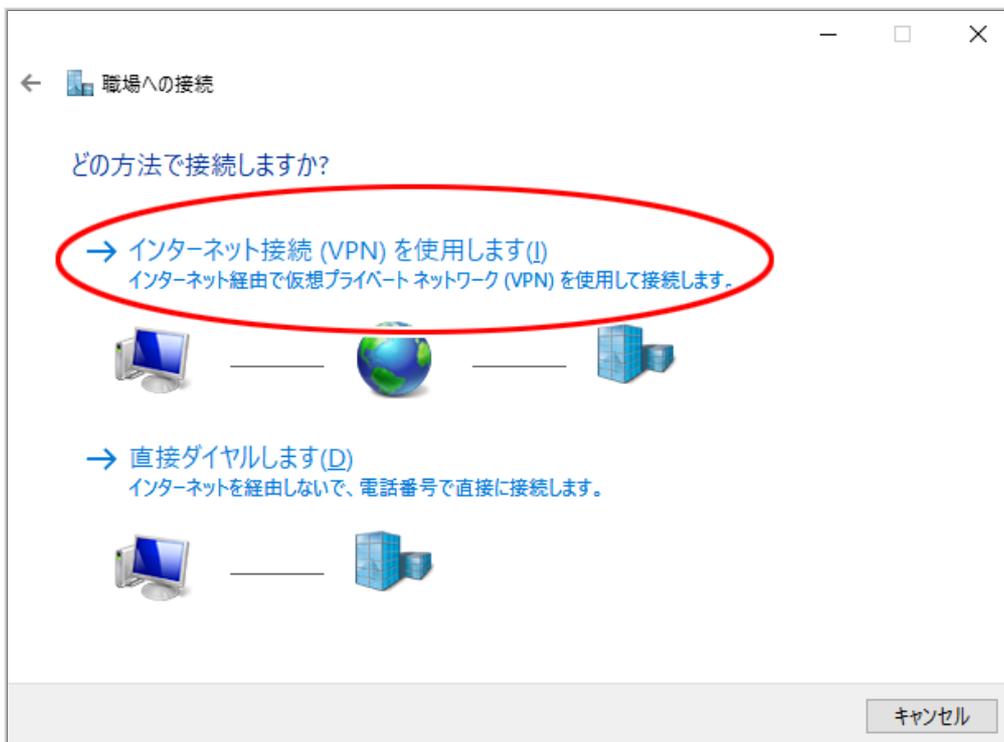
2. 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。



3. 接続オプションとして、「職場に接続します」を選択し、[次へ]をクリックします。
「既存の接続先を使用しますか？」が表示された場合は「いいえ、新しい接続を作成します」を選択します。



4. 「インターネット接続 (VPN) を使用します」を選択します。



5. 接続に使用するインターネットアドレスを入力します。
必要に応じて、接続先の名前の入力と各項目をチェックし、[作成]をクリックします。

職場への接続

接続に使用するインターネット アドレスを入力してください

このアドレスは、ネットワーク管理者より受け取ることができます。

インターネット アドレス(I): XXX.XXX.XXX.XXX

接続先の名前(E): X X X 会社

スマートカードを使用する(S)

資格情報を記憶する(R)

他の人がこの接続を使うことを許可する(A)
このオプションによって、このコンピューターにアクセスがあるすべての人がこの接続を使えるようになります。

作成(O) キャンセル

◆ 注意 ◆

- PPTPサーバへの接続に失敗した場合に[キャンセル]をクリックすると、VPN接続のプロファイルは削除されます。

接続方法

■ Windows 10 の場合

1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックし、表示される接続先の名前をクリックします。



2. [接続]をクリックします。



3. PPTPサーバに設定しているユーザー名(上段)とパスワード(下段)を入力し、[OK]をクリックします。



■ Windows 8.1 の場合

1. 通知領域(タスクトレイ)に表示されているネットワークアイコンをクリックし、表示される接続先の名前をクリックします。



2. [接続]をクリックします。



3. PPTPサーバに設定しているユーザー名(上段)とパスワード(下段)を入力し、[OK]をクリックします。



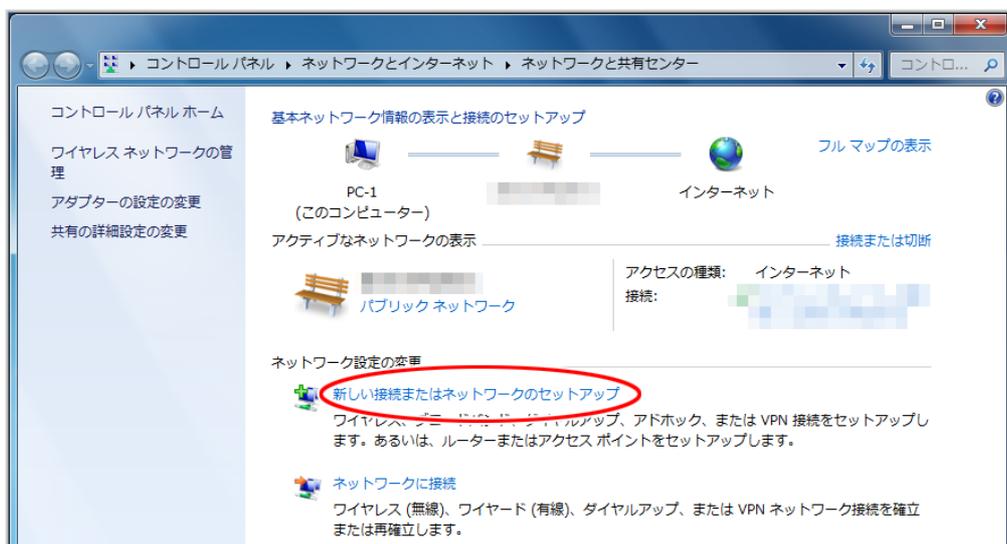
パソコンの設定手順を説明します。

※ 手順は例です。また、パソコンに関することは、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

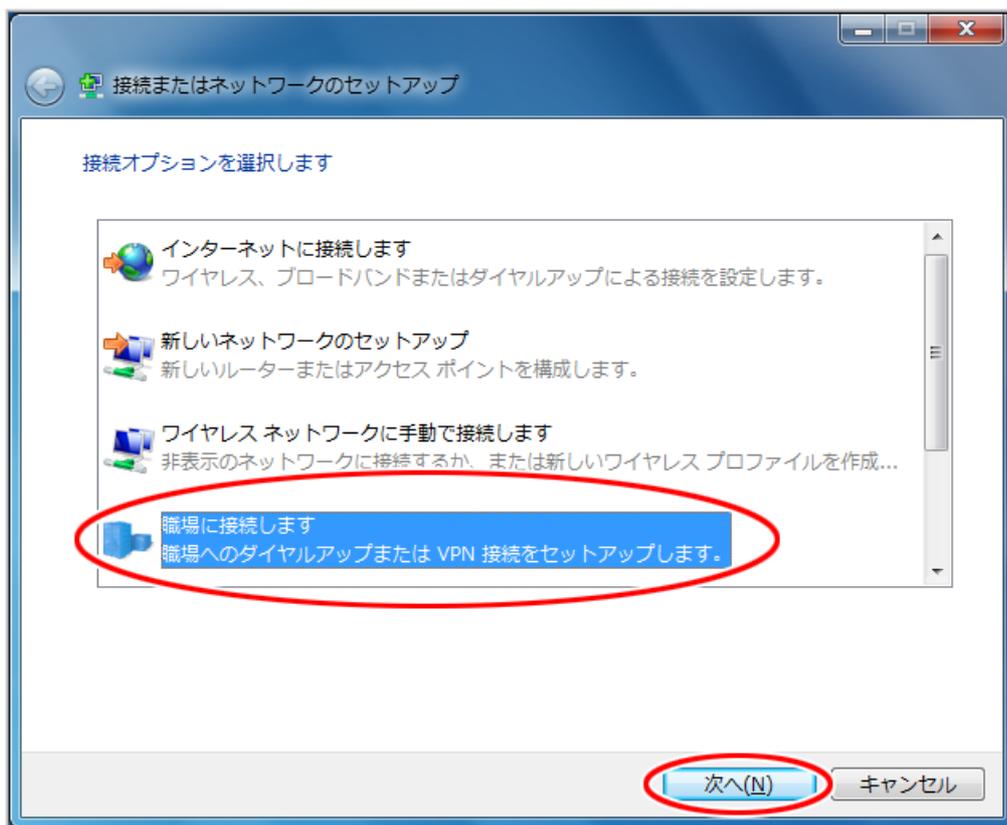
▶ 設定手順

PPTPサーバに接続する

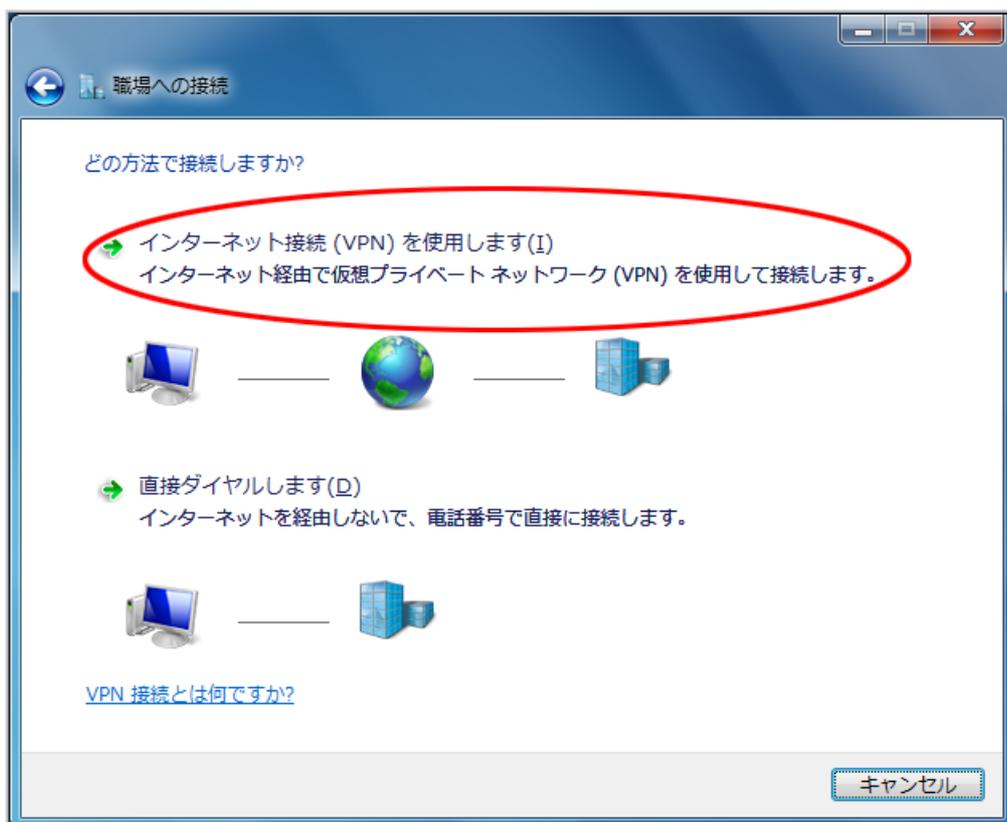
1. 「スタート」(Windowsのロゴボタン)－「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」をクリックします。
2. 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。



3. 接続オプションとして、「職場に接続します」を選択し、「次へ」をクリックします。



4. 「インターネット接続 (VPN) を使用します」を選択します。



5. 接続に使用するインターネットアドレスを入力します。

必要に応じて、接続先の名前の入力と各項目をチェックし、[次へ]をクリックします。

(すぐに接続しない場合は、「今は接続しない。自分が後で接続できるようにセットアップのみを行う」)にチェックし、次画面で[作成]をクリックしてください)

職場への接続

接続に使用するインターネット アドレスを入力してください

このアドレスは、ネットワーク管理者より受け取ることができます。

インターネット アドレス(I): XXX.XXX.XXX.XXX

接続先の名前(E): X X X 会社

スマートカードを使用する(S)

他の人がこの接続を使うことを許可する(A)
このオプションによって、このコンピューターにアクセスがあるすべての人がこの接続を使えるようになります。

今は接続しない。自分が後で接続できるようにセットアップのみを行う(D)

次へ(N) キャンセル

6. ユーザー名およびパスワードを入力します。

必要に応じて、ドメイン(オプション)を入力し、[接続]をクリックします。

職場への接続

ユーザー名およびパスワードを入力してください

ユーザー名(U): XXXXXX

パスワード(P): ●●●●●●

パスワードの文字を表示する(S)

このパスワードを記憶する(R)

ドメイン (オプション)(D):

接続(C) キャンセル

◆ 注意 ◆

- PPTPサーバへの接続に失敗した場合に[キャンセル]をクリックすると、VPN接続のプロファイルは削除されます。

接続方法

1. タスクトレイにあるネットワーク接続アイコンをクリックし、「ダイヤルアップとVPN」に表示される接続先の名前をクリックします。



2. [接続]をクリックします。



3. PPTPサーバに設定しているパスワードを入力し、[接続]をクリックします。



7.本製品でできること（中継機として使う）

7-1.本製品を中継機として使う

本製品は中継機として使用できます。親機との電波強度を確認したり、TVモードを使うことができます。

本製品の中継機能

本製品は、親機と子機の間で電波を中継(リレー)する中継機として使用できます。親機と子機の通信できる距離がさらに広がり、障害物の影響で電波の届きにくい場所でもWi-Fi通信が可能です。本製品には次の中継機能があり、ネットワーク環境や用途に合わせて設定してください。また、[多段接続](#)、[並列接続](#)をサポートしています。

● Wi-Fiデュアルバンド中継機能

- Wi-Fi デュアルバンド中継(Wi-Fi TVモード中継)
- Wi-Fi デュアルバンド中継(Wi-Fi中継)

● Wi-Fi TVモード中継機能

● Wi-Fi高速中継機能

● Wi-Fi中継機能

◆ 補足 ◆

- LANポートに端末を接続して、子機(イーサネットコンバータ)としても使用することができます。

Wi-Fiデュアルバンド中継機能

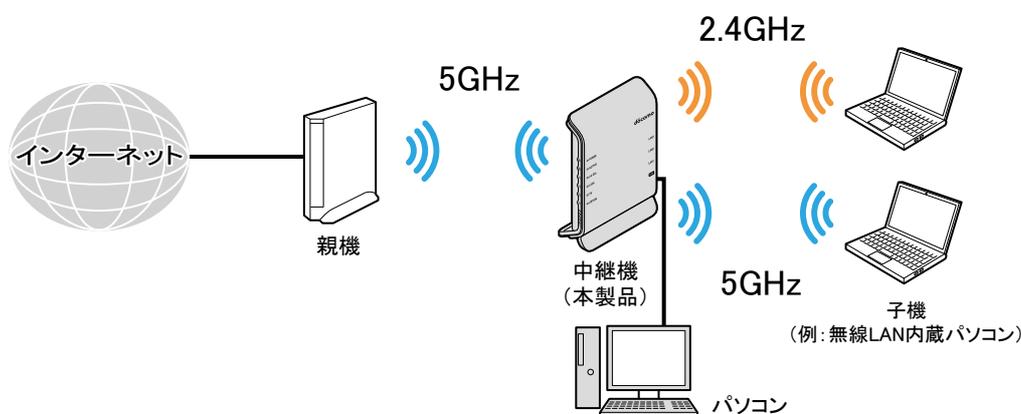
中継機(本製品)と子機間は、5GHz帯通信と2.4GHz帯通信の両方を同時に使用することができます。子機は、5GHz帯のネットワークか2.4GHz帯のネットワークを選択して接続することができます。親機と中継機(本製品)間は、5GHz帯または2.4GHz帯で通信します。

本機能には、親機と中継機(本製品)間の通信周波数帯によって、次の2種類があります。

- Wi-Fi デュアルバンド中継(Wi-Fi TVモード中継)

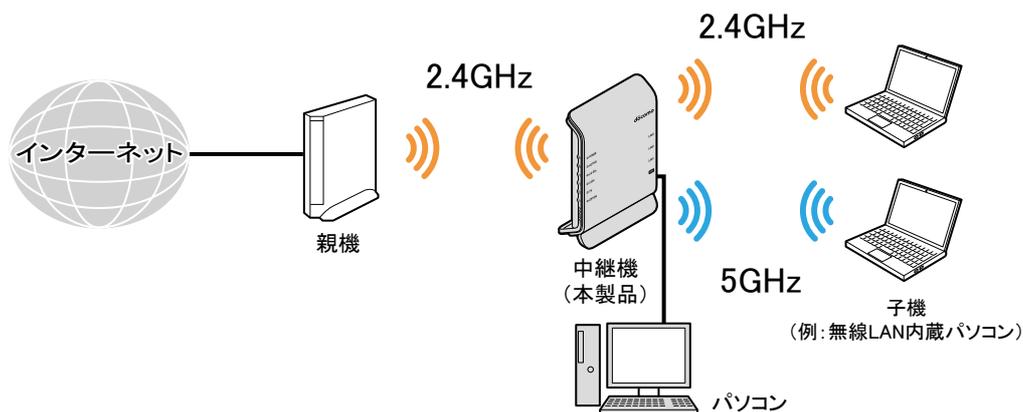
親機と中継機(本製品)間は5GHz帯で通信します。

本製品は、RT/BR/CNVモード切替スイッチがCNVのとき、お買い上げ時または初期化後の状態では、この中継機能に設定されています。



- Wi-Fi デュアルバンド中継 (Wi-Fi中継)

親機と中継機 (本製品) 間は2.4GHz帯で通信します。

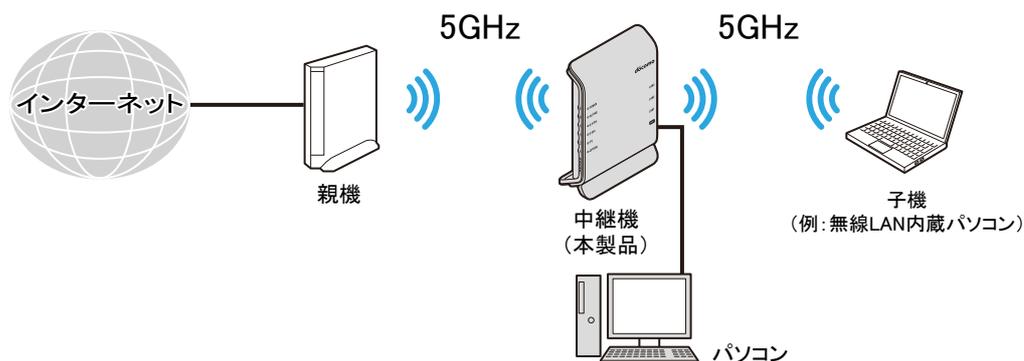


◆ 補足 ◆

- 親機とWi-Fi設定を行う際、お買い上げ時には、優先的に5GHz帯のネットワークに接続されます。
※ ご利用の環境や親機によっては、2.4GHz帯のネットワークに接続される場合があります。

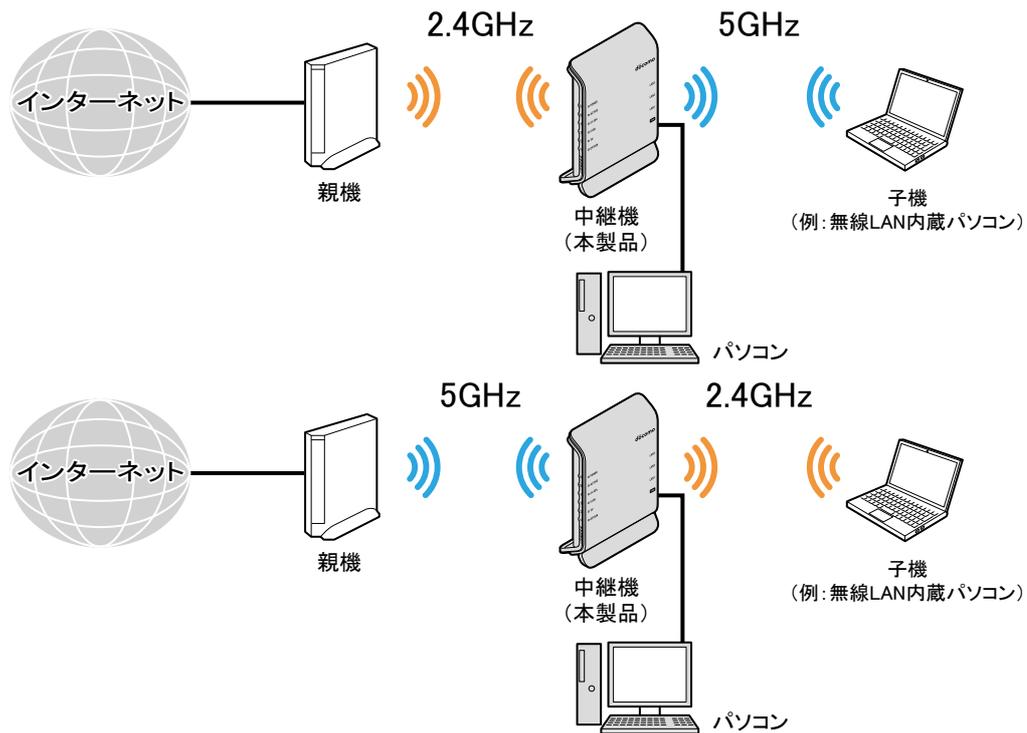
Wi-Fi TVモード中継機能

親機と中継機 (本製品) 間、中継機 (本製品) と子機間とも5GHz帯で通信します。動画の視聴に適しています。



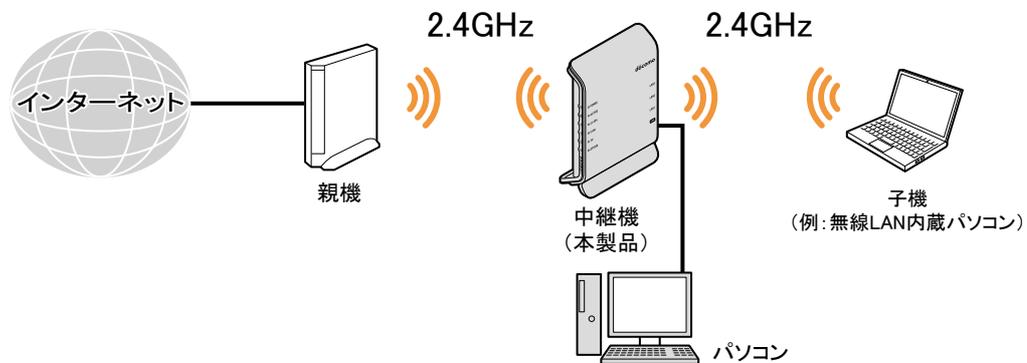
Wi-Fi高速中継機能

親機と中継機(本製品)間、中継機(本製品)と子機間を異なる周波数帯で通信します。



Wi-Fi中継機能

親機と中継機(本製品)間、中継機(本製品)と子機間ともに2.4GHz帯で通信します。



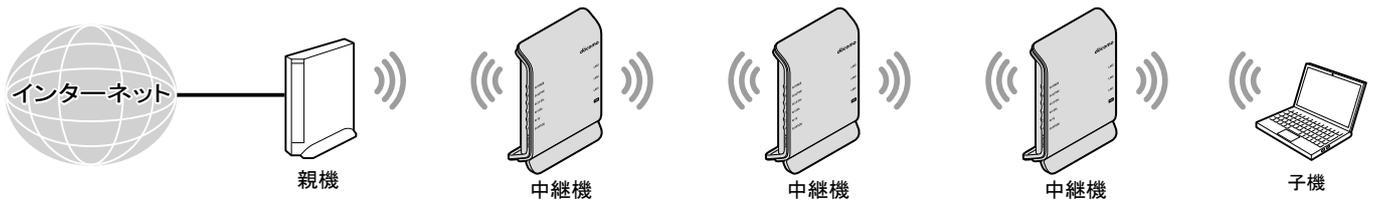
▶ 多段接続・並列接続について

本製品を中継機に設定して親機に接続する場合、1台の親機に、複数台を多段(直列)および並列に、同時接続することができます。

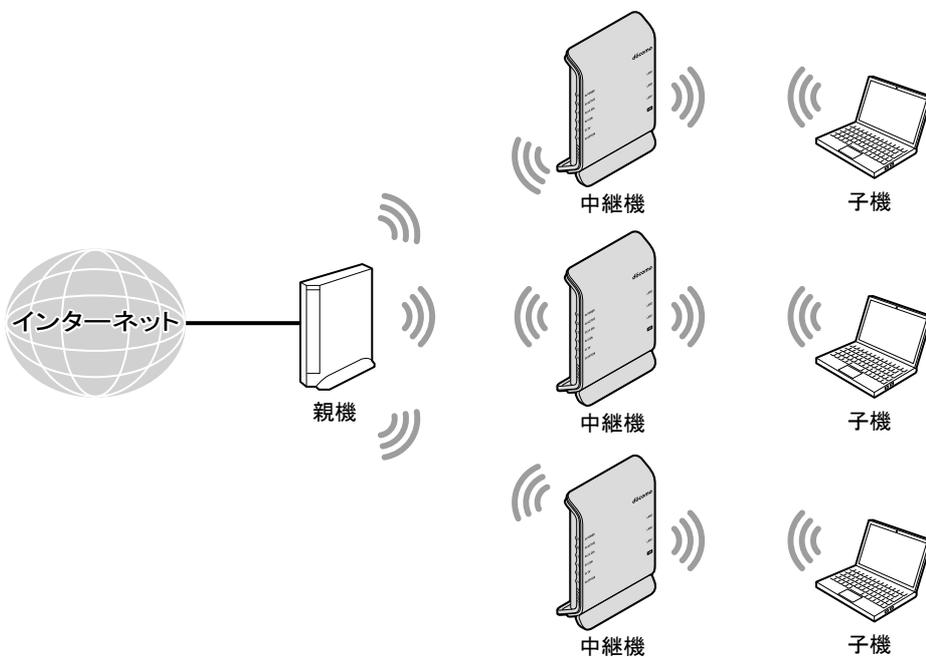
多段接続、並列接続混在の例



多段接続の例



並列接続の例



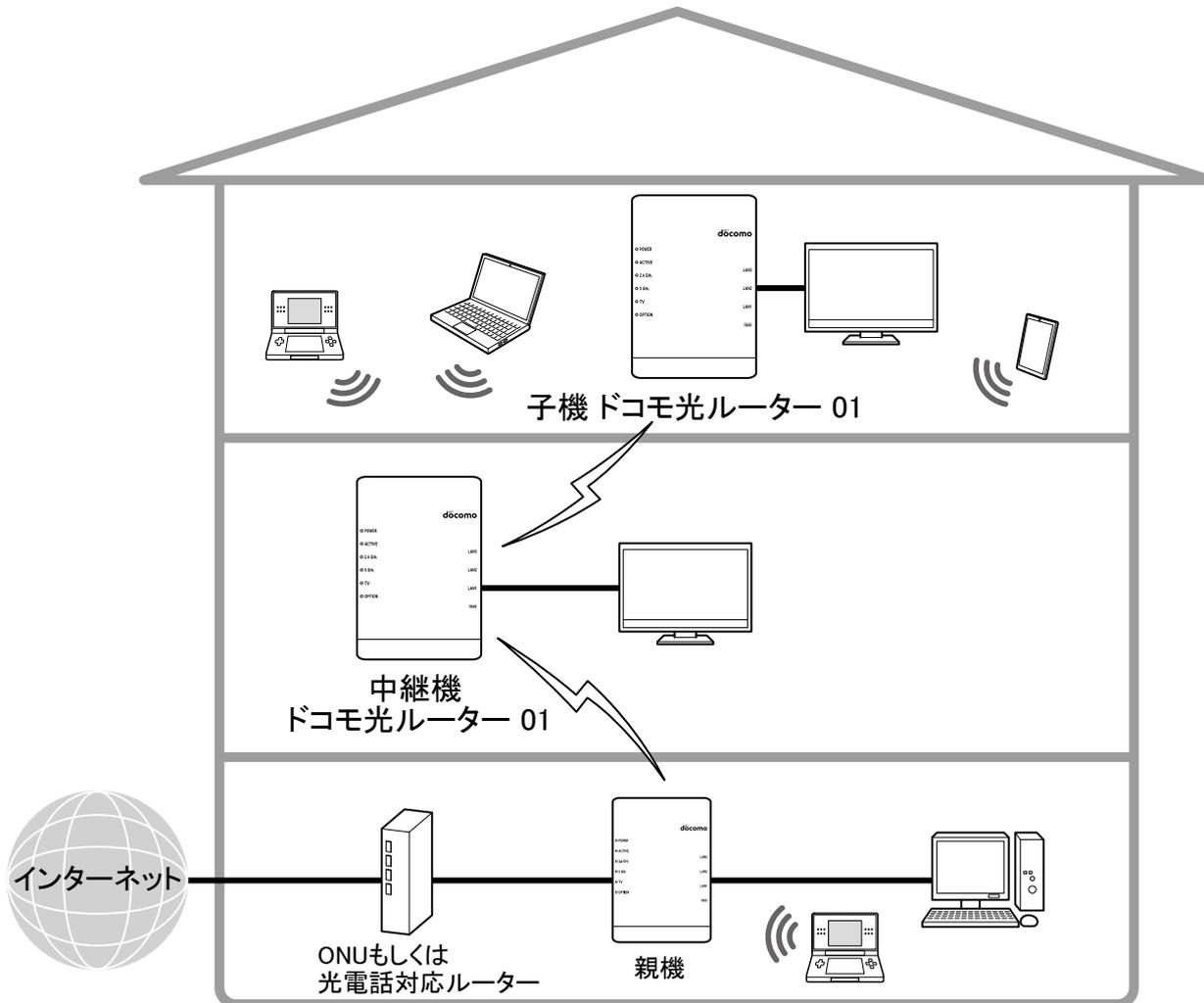
◆ 補足 ◆

- 安定してお使いいただくには、中継機は多段接続、並列接続合わせて3台以下を推奨します。
また、並列接続は5GHz帯と2.4GHz帯を併用した構成を推奨します。
 - 子機からSSIDを検索して接続する際に、同じSSIDの中継機が複数検索された場合は、どの中継機に接続するかは子機に依存します。
 - WPSに対応した他社製の親機と接続することができます。
※ 但し、すべての製品との接続を保障するものではありません。
 - 親機、中継機、子機間は、それぞれ、5GHz帯、2.4GHz帯どちらでもWi-Fi設定することができます。
(Wi-Fi設定時に、どちらかを選択します。)
-

本製品を中継機として使用する場合の設定方法や注意事項などは、[「本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する」](#)を参照してください。

本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する

本製品は、LANポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などを接続して、子機（イーサネットコンバータ）として使用したり、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したりすることができます。本製品の設定方法と、親機との接続方法をご案内します。



■ 中継機の多段接続・並列接続について

本製品を中継機に設定して親機に接続する場合、多段接続および並列接続をすることができます。但し、安定してお使いいただくには、多段接続、並列接続合わせて3台以下を推奨します。接続イメージは、[「本製品の中継機能」の「多段接続・並列接続について」](#)を参照してください。

◆ 注意 ◆

- 暗号化モード「WEP」は使用できません。
- 親機側で次の設定を変更した場合、5GHzランプ、2.4GHzランプが両方とも消灯したときは、親機との接続をやり直してください。
 - ・ ネットワーク名（SSID）
 - ・ 暗号化モード
 - ・ 暗号化キー
- 中継機としてご使用の場合、ネットワーク分離機能、MACアドレスフィルタリング機能はご使用になれません。

- 使用チャンネルは変更できません。
親機と接続している周波数帯のチャンネルは、親機と同一になります。
親機と接続していない周波数帯は、次のとおり固定になります。
 - ・2.4GHz帯:「自動」
 - ・5GHz帯:「W52」

◆ 補足 ◆

- 接続する親機が、中継機能に対応している必要があります。親機の取扱説明書などで確認してください。
- WPSに対応した他社製の親機と接続することができます。
※ 但し、すべての製品との接続を保証するものではありません。

▶ 設定手順

- [本製品を子機\(CONVERTER\)モード／中継機モードにする](#)
- [本製品を設定する](#)
- [親機とWi-Fi接続する](#)
- [パソコンなどの端末を接続する](#)

本製品を子機(CONVERTER)モード／中継機モードにする

[「RT/BR/CNVモード切替スイッチの使いかた」の「子機\(CONVERTER\)モード／中継機モードの設定方法」](#)を参照してください。

本製品を設定する

1. [クイック設定Web](#)を起動します。
2. 「基本設定」をクリックします。
※ 「詳細モード」の場合は、「基本設定」－「基本設定」をクリックします。



ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

基本設定

- Wi-Fi 詳細設定 (2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態

クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、設定をスタートしましょう。

装置情報	
装置名	DHR01-XXXXXX
動作モード	Wi-Fi デュアルバンド中継(Wi-Fi TV モード中継)
接続状態	-
受信レベル	-

最新状態に更新

取扱説明書

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

3. 「親機⇔中継機⇔子機の接続形式設定」で接続形式を設定します。



< 中継機能を使用する場合 >

設定		中継機能 (※1)
親機⇔中継機(本商品)	中継機(本商品)⇔子機	
5GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi デュアルバンド中継 (Wi-Fi TVモード中継)
	5GHz:使用する	
5GHz優先	2.4GHz:使用しない	Wi-Fi TVモード中継
	5GHz:使用する	
5GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi高速中継
	5GHz:使用しない	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi デュアルバンド中継 (Wi-Fi中継)
	5GHz:使用する	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用しない	Wi-Fi高速中継
	5GHz:使用する	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi中継
	5GHz:使用しない	

(※1) 親機と中継機(本製品)が、実際に「親機⇔中継機(本商品)」で設定した優先接続の周波数帯で接続された場合に、「中継機能」欄の中継機に設定されます。

<中継機能を停止する場合>

設定		中継機能
親機⇔中継機(本商品)	中継機(本商品)⇔子機	
5GHz優先	2.4GHz:使用しない	停止
	5GHz:使用しない	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用しない	停止
	5GHz:使用しない	

◆ 注意 ◆

- 「親機⇔中継機(本商品)」に「5GHz優先」を設定しても、ご利用の環境や親機によっては、2.4GHz帯で接続される場合があります。また、「2.4GHz優先」を設定しても、ご利用の環境や親機によっては、5GHz帯で接続される場合があります。
その場合、実際に接続した周波数帯に対応した中継機能になります。

<中継機能を使用する場合>

中継機能を使用しない場合は手順5に進んでください。

4. 他の中継機と多段接続する場合、本製品を親機から何段目に設置するかを「本商品の設置段数」で設定します。

1段目～3段目が設定できます。

多段接続をしない場合は、「1段目」(お買い上げ時)を設定してください。

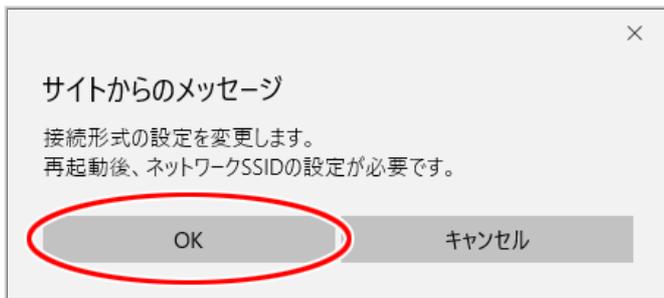


◆ 注意 ◆

- 「本商品の設置段数」に「2段目」、「3段目」を設定した場合(多段接続をする場合)、本製品は、親機ではなく1段上の中継機に接続します。

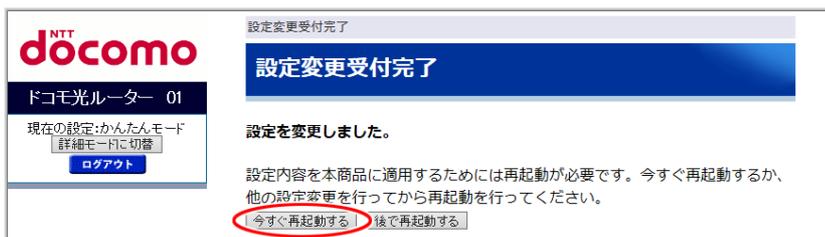
5. [設定]をクリックします。

6. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。



7. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



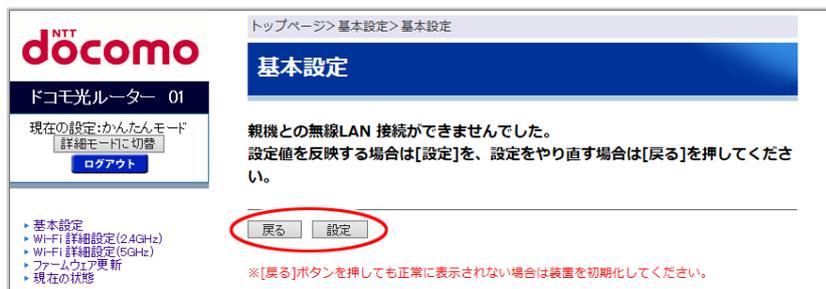
◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- 既に親機とのWi-Fi設定がされている場合は、この画面は表示されず、親機にWi-Fi接続した後、本製品が再起動します。

親機とのWi-Fi接続ができなかった場合は、下の画面が表示されます。



画面のメッセージを確認し、[戻る]または[設定]をクリックしてください。

・[戻る]

設定画面に戻ります。

・[設定]

設定内容を保存し、再起動します。再起動が完了しても、親機との通信は切断されたままです。

親機とWi-Fi接続する

親機とのWi-Fi設定には、次の方法があります。

- [WPSでWi-Fi接続する](#)
親機がWPSに対応している場合のWi-Fi接続方法です。
- [クイック設定WebからWi-Fi接続する](#)

親機がWPSに対応していない場合は、こちらの方法で接続できます。

また、本製品(中継機)を多段接続の2段目以降に設定した場合も、こちらの方法でWi-Fi接続していただくことを推奨します。

本製品(中継機)のクイック設定Webで、親機のWi-Fi設定内容を本製品に設定する方法です。

■ WPSでWi-Fi接続する

設定を行う前に

- Wi-Fi接続する親機がWPSに対応している必要があります。親機の取扱説明書などで確認してください。
- 本製品のOPTIONランプが、橙点灯または緑点灯していることを確認してください。

OPTIONランプが消灯している場合は、[「RT/BR/CNVモード切替スイッチの使いかた」](#)の「[子機\(CONVERTER\)モード／中継機モードの設定方法](#)」を参照して、動作モードを変更してください。

- 接続できる親機のネットワークはプライマリSSIDのみです。
お買い上げ時は、優先的に5GHz帯のネットワークに接続するように設定されています。
※ ご利用の環境や親機によっては、2.4GHz帯のネットワークに接続される場合があります。
- 親機とWi-Fi接続すると、接続に使用した親機のWi-Fi情報が、自動的に中継機(本製品)の接続帯域のWi-Fi設定に引き継がれます。

例:親機と5GHz帯でWi-Fi接続した場合、中継機(本製品)の5GHz帯のネットワーク名(SSID)、暗号化方式、暗号化キーに、親機のWi-Fi設定(5GHz帯のプライマリSSID)が設定されます。

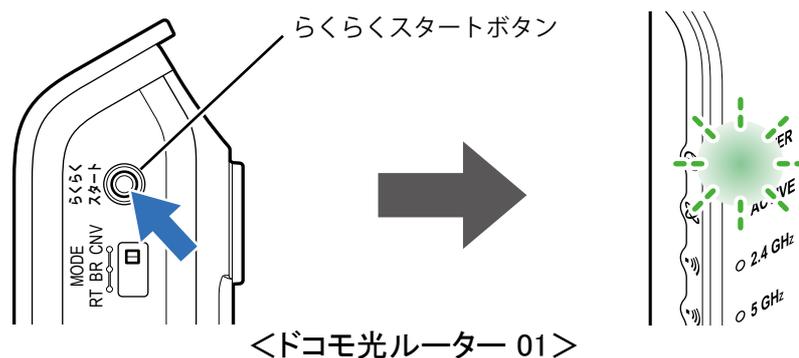
また、親機がWi-Fiデュアルバンド中継機能に対応している場合は、接続帯域にかかわらず、中継機(本製品)の2.4GHz帯、5GHz帯両方のWi-Fi設定に、親機のWi-Fi設定が引き継がれます。

- 本製品が、多段接続の2段目以降の中継機でも、上段の中継機ではなく親機と接続を行います。

※ 説明は、親機がドコモ光ルーター 01の例です。

親機のボタンおよびランプの名称、位置、形状、色などは、製品によって異なります。親機の取扱説明書などで確認してください。

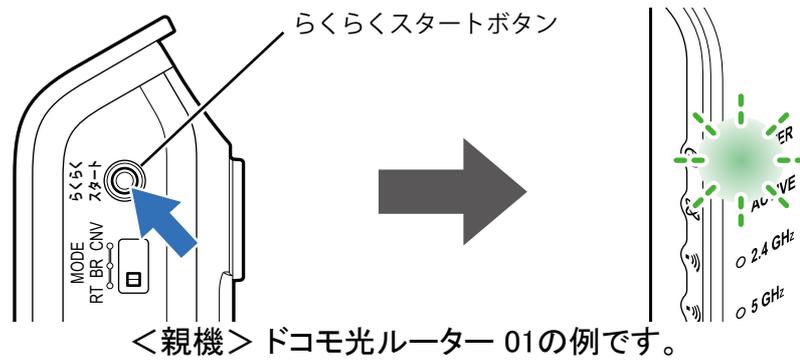
1. 本製品のらくらくスタートボタンを長押しして、POWERランプが黄緑点滅になったら離します。



◆ 補足 ◆

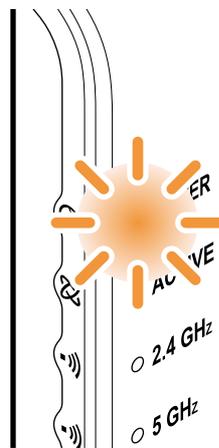
- POWERランプが黄緑点滅するまで、時間がかかる場合があります。

2. 親機のらくらくスタートボタンを長押しして(約10秒)、POWERランプが黄緑点滅になったら離します。



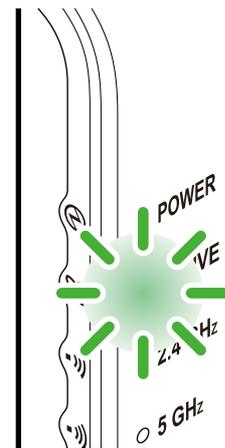
3. しばらく待って、親機のPOWERランプが橙点灯することを確認します。

※ 親機のPOWERランプは、約10秒間橙点灯した後、黄緑点灯に戻ります。



<親機> ドコモ光ルーター 01の例です。

4. 本製品のACTIVEランプが黄緑点灯することを確認します。



<ドコモ光ルーター 01>

◆ 注意 ◆

- 本製品のACTIVEランプが黄緑点灯しない場合は、本製品(中継機)のクイック設定Webで、[「本商品の設置段数」](#)を確認してください。
設定されている段数の、1段上の中継機が存在しない(または、親機と接続されていない)可能性があります。その場合は、[「本商品の設置段数」](#)を修正してから、Wi-Fi接続をやり直してください。

■ クイック設定WebからWi-Fi接続する

設定を行う前に

- Wi-Fi接続する親機のネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認してください。

1. [クイック設定Web](#)を起動します。

2. 「基本設定」をクリックします。

※ 「詳細モード」の場合は、「基本設定」→「基本設定」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

3. 親機、中継機(本製品)間の接続形式と、ネットワーク名 (SSID)を設定します。



・親機⇔中継機⇔子機の接続形式設定

親機と中継機(本製品)間の、接続したい周波数帯を設定します。

・ネットワーク名 (SSID)

接続したい親機のネットワーク名 (SSID) を入力します。

◆ 注意 ◆

- ・「本商品の設置段数」に「2段目」、「3段目」を設定した場合 (多段接続をする場合)、本製品は、親機ではなく1段上の中継機のSSIDを入力します。

◆ 参考 ◆

「ネットワーク名 (SSID)」の [アクセスポイント検索] をクリックして、親機を選択することもできます。接続したい親機の「ネットワーク名 (SSID)」のラジオボタンにチェックし、[選択] をクリックします。

「基本設定」の「親機⇄中継機⇄子機の接続形式設定」の親機、中継機 (本製品) 間、「ネットワーク名 (SSID)」、「暗号化モード」に、選択した親機の情報が入力されます。

ドコモ光ルーター 01
現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

基本設定
Wi-Fi 詳細設定 (2.4GHz)
Wi-Fi 詳細設定 (5GHz)
ファームウェア更新
現在の状態

トップページ > 基本設定 > 基本設定 > アクセスポイント検索

アクセスポイント検索

再検索

ネットワーク名 (SSID)	BSSID	使用チャネル	暗号化モード	受信レベル	選択
dhr01-XXXXXX-X	XX:XX:XX:XX:XX:XX	1 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK(AES)	強	<input checked="" type="radio"/>
		1&5 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK(AES)	強	<input type="radio"/>
		1 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	強	<input type="radio"/>
		11g (11g 2.4GHz)	WEP	強	<input type="radio"/>
		1&5 (11n 2.4GHz)	WPA2-PSK (AES)	強	<input type="radio"/>
		11 (11n 2.4GHz)	WPA2-PSK (AES)	強	<input type="radio"/>
		11 (11n 2.4GHz)	暗号化無効	強	<input type="radio"/>
		2 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	強	<input type="radio"/>

取扱説明書

※最大検索可能台数(32台)を超えるアクセスポイントを検出しました。
リストに表示されないアクセスポイントには接続できない可能性があります。

前のページへ戻る (選択)

※「暗号化」が「WEP」の親機は選択できません。

※ 接続したい親機のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、親機に設定されているWi-Fiのステルス設定を解除してから、再度本設定を行ってください。

※ 本製品 (中継機) とWi-Fi接続した子機 (パソコン、スマートフォン / タブレットなど) で、アクセスポイント検索を行うと、本製品 (中継機) とのWi-Fi接続が切断されます。

有線接続した子機から本設定を行うか、[「パソコンなどの端末を接続する」](#)を参照して本製品 (中継機) と子機のWi-Fi接続をやり直してください。

4. 次の項目を設定します。

親機と同じ設定にしてください。

- 暗号化モード

「暗号化無効」、「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」から選択できます。

「暗号化モード」に「暗号化無効」を設定した場合、次の項目は設定できません。

- 暗号化キー

親機と同じ暗号化キーを入力します。

※ 英字の大文字と小文字は区別されます。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

- 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態

取扱説明書

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

接続先の基本設定を行います。
設定方法を選択のうえ、詳細内容を入力してください。

親機⇄中継機⇄子機の接続形式設定			
親機	5GHz優先	中継機 (本商品)	2.4GHz:使用する 5GHz:使用する
			子機

接続先の基本設定	
ネットワーク名(SSID)	dhr01-XXXXXX-X アクセスポイント検索
暗号化モード	暗号化無効
暗号化キー	
本商品の設置段数	1 段目
2.4GHz 送信出力	100%
5GHz 送信出力	100%

設定

5. [設定]をクリックします。

6. 親機にWi-Fi接続した後、本製品が再起動します。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

パソコンなどの端末を接続する

- 本製品を子機(イーサネットコンバータ)として使用する場合
本製品のLANポートにパソコンなどを有線接続します。
- 本製品を中継機として使用する場合
 - ・ 親機がWi-Fiデュアルバンド中継機能に対応しているとき
Wi-Fi機能を持つパソコンなどを親機とWi-Fi接続します。
 - ・ 親機がWi-Fiデュアルバンド中継機能に対応していないとき／
親機と本製品(中継機)のWi-Fi接続を「クイック設定WebからWi-Fi接続する」で行ったとき
 1. 本製品(中継機)のクイック設定Webで、追加のWi-Fi設定を行います。
親機と本製品(中継機)が、2.4GHz帯でWi-Fi接続している場合は5GHz帯のWi-Fi設定を、5GHz帯でWi-Fi接続している場合は2.4GHz帯のWi-Fi設定を変更してください。
設定方法は「[Wi-Fiデュアルバンド中継機能に対応していない親機を使う場合の追加設定](#)」を参照してください。
 2. Wi-Fi機能を持つパソコンなどを親機とWi-Fi接続します。

◆ 注意 ◆

- 本製品(中継機)が親機に接続していない状態で、本製品(中継機)と子機をWi-Fi接続することはできません。先に親機と本製品(中継機)の接続を行ってください。

◆ 補足 ◆

- 本製品(中継機)の[クイック設定Web](#)で、本製品(中継機)、子機間のWi-Fi設定(ネットワーク名(SSID)、暗号化キーなど)を変更することができます。「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」、「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」で行います。
変更する場合は、子機とのWi-Fi接続を行う前に行ってください。

▶ うまく動作しない場合は

- 親機と中継機が正常に動作していることを、各機器のランプなどで確認してください。中継機が複数ある場合は、すべての中継機の状態を確認してください。
- 通信が不安定な場合には、接続した子機の電源をいったん切って入れ直したり、中継機(本製品)の向きや設置場所を変更したりすると改善する場合があります。
- 中継機(本製品)に接続している子機がインターネットに接続できなくなったときは、親機と中継機(本製品)の接続が切断された可能性があります。次を確認してください。
 - － 親機と中継機(本製品)が接続されていることを中継機(本製品)の2.4GHzランプまたは5GHzランプで確認してください。
 - － 親機にMACアドレスフィルタリング機能が設定されていないか確認してください。

Wi-Fiデュアルバンド中継機能に対応していない親機を使う場合の追加設定

本製品は親機とWPSでWi-Fi接続すると、親機のWi-Fi設定内容[ネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キー]が自動で引き継がれます。

親機がWi-Fiデュアルバンド中継機能に対応している場合は、接続帯域にかかわらず、本製品の2.4GHz帯、5GHz帯両方のWi-Fi設定に、親機のWi-Fi設定内容が引き継がれますが、親機が、Wi-Fiデュアルバンド中継機能に対応していない場合は、本製品と接続した帯域のWi-Fi設定内容しか引き継がれないため、追加の設定が必要です。

ここでは、本製品のWi-Fi設定を親機のWi-Fi設定と同じにする追加の設定を説明します。

▶ 設定手順

1. 親機のネットワーク名(SSID)と暗号化の設定を確認します。
2.4GHz帯と5GHz帯の両方のネットワーク名(SSID)、暗号化設定を控えておいてください。

以降は、親機の設定が次の場合を例にして説明します。

例:

親機2.4GHz帯

ネットワーク名(SSID): dhr01-aaaaaa-g

暗号化モード: WPA2-PSK

暗号化キー: xxxxxxxxxxxxxx

親機5GHz帯

ネットワーク名(SSID): dhr01-bbbbbbb-a

暗号化モード: WPA2-PSK

暗号化キー: yyyyyyyyyyyyyyy

2. [クイック設定Web](#)を起動します。
3. 2.4GHz帯のWi-Fi設定を確認して、親機に合わせます。

3-1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」をクリックします。

※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

3-2. ネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認します。

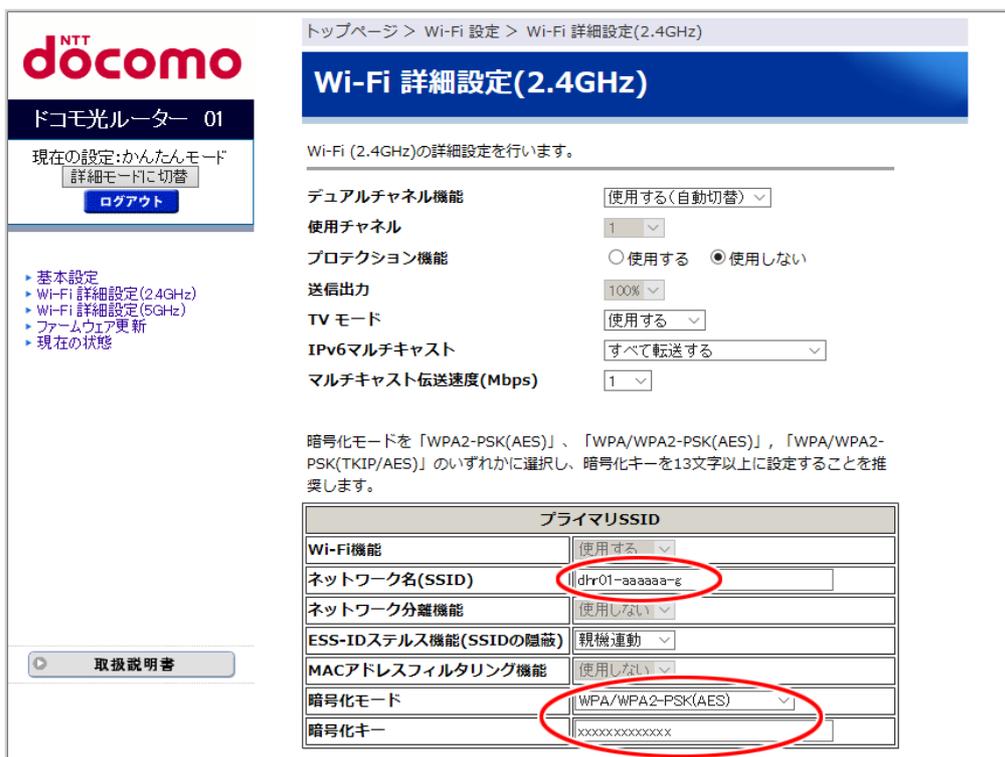
<手順1で確認した親機の2.4GHzの設定と同じ場合>

手順4に進んでください。2.4GHz帯の設定を修正する必要はありません。

<手順1で確認した親機の2.4GHzの設定と異なる場合>

次(手順3-3)に進んでください。本製品のWi-Fi設定を修正します。

3-3. ネットワーク名(SSID)、暗号化モード、WPA暗号化キー(PSK)を親機の2.4GHz帯に合わせます。



3-4. [設定]をクリックします。

3-5. 手順5に進みます。

◆ 補足 ◆

- 本製品と親機がWi-Fi接続済みで本製品の2.4GHz帯のWi-Fi設定が親機と異なっていた場合は、5GHz帯で親機とWi-Fi接続しています。本製品の5GHz帯のWi-Fi設定は親機と同じ設定になっていますので、修正する必要はありません。

4. 5GHz帯のWi-Fi設定を親機に合わせます。

4-1. 「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。

※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

4-2. ネットワーク名(SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認します。

< 手順1で確認した親機の5GHzの設定と同じ場合 >

5GHz帯の設定を修正する必要はありません。

< 手順1で確認した親機の5GHzの設定と異なる場合 >

次(手順4-3)に進んでください。本製品のWi-Fi設定を修正します。

4-3. ネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、WPA暗号化キー (PSK) を親機の5GHz帯に合わせます。

トップページ > Wi-Fi 設定 > Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi 詳細設定(5GHz)

Wi-Fi (5GHz)の詳細設定を行います。

クラウドチャンネル機能

使用チャンネル

送信出力

TV モード

IPv6マルチキャスト

マルチキャスト伝送速度(Mbps)

暗号化モードを「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」のいずれかに選択し、暗号化キーを13文字以上に設定することを推奨します。

プライマリSSID	
Wi-Fi機能	<input type="button" value="使用せず"/>
ネットワーク名(SSID)	<input type="text" value="drr01-bbbbb-a"/>
ネットワーク分離機能	<input type="button" value="使用しない"/>
ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)	<input type="button" value="親機連動"/>
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="button" value="使用しない"/>
暗号化モード	<input type="button" value="WPA/WPA2-PSK(AES)"/>
暗号化キー	<input type="text" value="yyyyyyyyyyyy"/>

4-4. [設定]をクリックします。

4-5. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。

サイトからのメッセージ

5.2/5.3GHz 帯域のワイヤレスネットワークは電波法により屋内使用に限定されています。選択された設定で動作させる場合は、屋外で使わないようにしてください。

よろしいですか？

5. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

◆ 注意 ◆

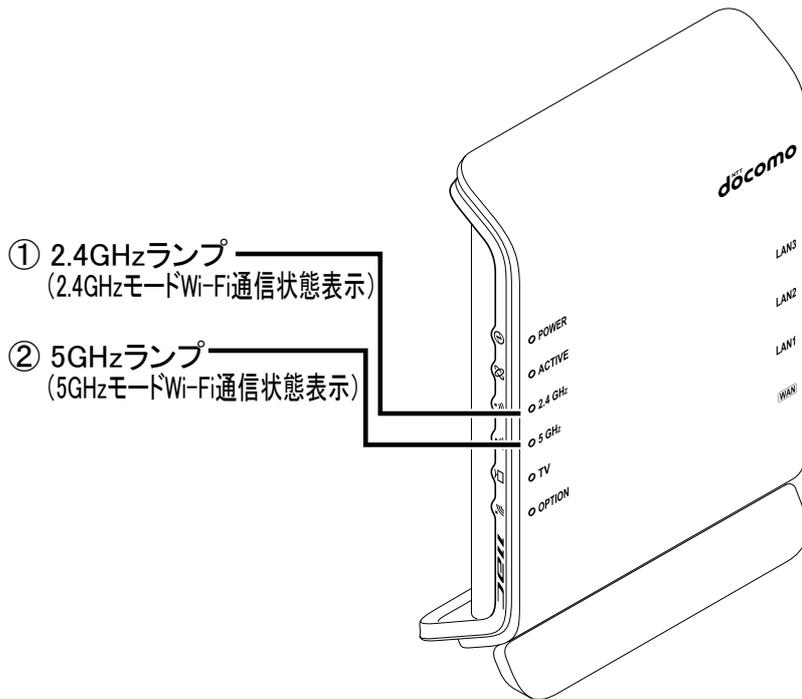
- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

親機との電波強度を確認する

本製品を子機または中継機としてご使用のとき、親機、本製品間の電波強度を、本製品のLEDランプで確認することができます。

▶ 使いかた

本製品の2.4GHzランプ、5GHzランプの色をご確認ください。



	電波強度		
	強	中	弱
①2.4GHzランプ 2.4GHz帯で親機と接続しているとき	黄緑点灯 (または点滅)	橙点灯 (または点滅)	赤点灯 (または点滅)
②5GHzランプ 5GHz帯で親機と接続しているとき	黄緑点灯 (または点滅)	橙点灯 (または点滅)	赤点灯 (または点滅)

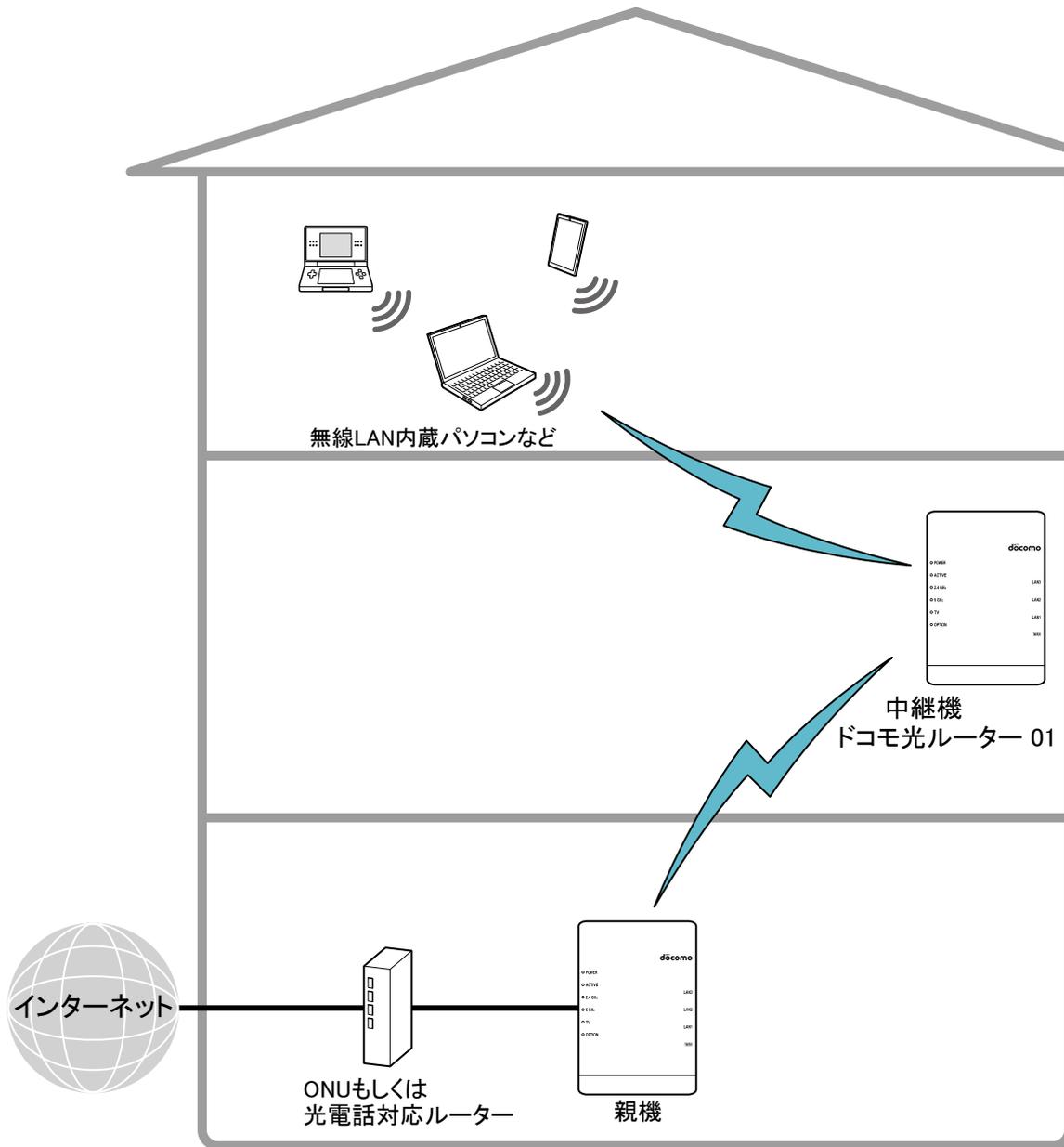
◆ 補足 ◆

- 2.4GHzランプまたは5GHzランプが点滅しているときは、データ送受信中です。
- 赤点灯(または点滅)の場合は、電波状態がよくありません。親機と本製品を近づけてみてください。
- 2.4GHzランプと5GHzランプの両方が消灯しているときは、電波が届いていないか、またはWi-Fi接続設定がされていません。

他のネットワークへの電波干渉を回避する

本製品が送信する電波の出力を変更することができます。送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できる場合があります。

通常は「100%」のままご利用ください。



◆ 補足 ◆

- 送信出力は、中継機（本製品）と親機間、中継機（本製品）と子機間とも同じです。

▶ 設定手順

送信出力を設定する

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「基本設定」をクリックします。
※ 「詳細モード」の場合は、「基本設定」→「基本設定」をクリックします。
2. 「2.4GHz 送信出力」、「5GHz 送信出力」を設定します。
※ 「100%」、「70%」、「50%」、「35%」、「15%」から選択できます。率が低いほど送信出力を抑えることができます。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

接続先の基本設定を行います。
設定方法を選択のうえ、詳細内容を入力してください。

親機⇄中継機⇄子機の接続形式設定			
親機	5GHz優先	中継機 (本商品)	子機
		2.4GHz:使用する	
		5GHz:使用する	

接続先の基本設定	
ネットワーク名(SSID)	dfr01-XXXXXXXX-X アクセスポイント検索
暗号化モード	WPA2-PSK(AES)
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXXX
本商品の設置段数	1 段目
2.4GHz 送信出力	100%
5GHz 送信出力	100%

設定

3. [設定]をクリックします。
4. 親機にWi-Fi接続した後、本製品が再起動します。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- 親機とのWi-Fi設定がされていない場合は、下の画面が表示されます。
[今すぐ再起動する]をクリックすると、本製品の再起動を開始します。

設定変更受付完了

設定変更受付完了

設定を変更しました。

設定内容を本商品に適用するためには再起動が必要です。今すぐ再起動するか、他の設定変更を行ってから再起動を行ってください。

[今すぐ再起動する](#) [後で再起動する](#)

TVモードを使う(子機／中継機の設定)

TVモードとは、Wi-Fi通信で本製品に有線接続したパソコン(ひかりTV対応機種)やテレビで、安定したストリーミング映像を視聴することができる機能です。

▶ 設定を行う前に

- 通信する親機がTVモードに対応している必要があります。親機の取扱説明書などをご確認ください。
- 本製品は、お買い上げ時および初期化後の状態で本機能が使用できる設定になっています。

▶ 設定手順

親機と5GHz帯でWi-Fi接続します。

接続方法は、[「本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する」](#)の[「親機とWi-Fi接続する」](#)を参照してください。

中継機としてご利用になる場合(本製品にWi-Fi接続した子機で映像の視聴などをされる場合)は、更に[「本製品を中継機としてご利用になる場合」](#)の設定を行ってください。

本製品を中継機としてご利用になる場合

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。
※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。
子機と接続している周波数帯の設定画面を選択してください。

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 「TVモード」で「自動」または「使用する」を選択します。



(画面は、「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」の例です。)

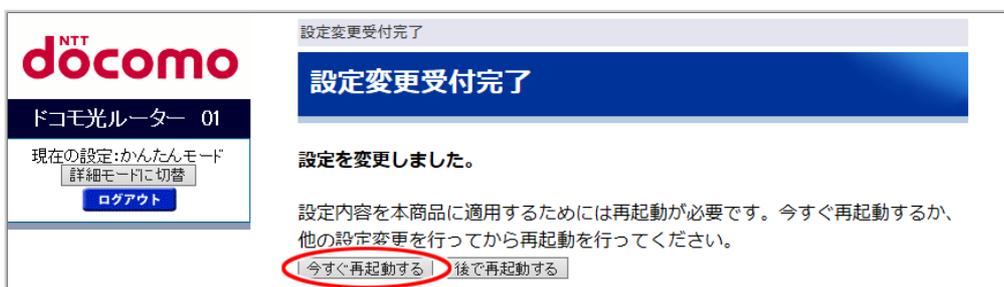
次の設定項目が選択できます。

- 使用する
常にTVモードを有効にします。
- 使用しない
TVモードを無効にします。
- 自動
TVモードの自動設定に対応した子機が接続されたときだけ有効になります。

3. [設定]をクリックします。

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- 本製品のTVランプで、状態が確認できます。
詳細は、「各部の名称とはたらき」の「子機／中継機としてご使用になる場合」を参照してください。

▶ うまく動作しない場合は

- 親機が本機能に対応しているか、ご確認ください。
親機の仕様や設定方法は、親機取扱説明書などを参照してください。

クイック設定Webの使いかた(子機／中継機としてご使用のとき)

本製品を子機(イーサネットコンバータ)または中継機としてご使用の場合のクイック設定Webの起動方法を説明します。

クイック設定Webとは、Microsoft EdgeやInternet ExplorerなどのWWWブラウザで表示できる本製品の設定画面です。本製品に有線接続されているパソコンからWWWブラウザを使用してクイック設定Webを起動することで、本製品の設定変更や状態確認を行うことができます。

スマートフォン／タブレット端末で使う場合は、[「クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)」](#)を参照してください。

▶ 設定を行う前に

- 本製品のランプを確認してください。
OPTIONランプが消灯している場合は、子機および中継機として動作していません。
<本製品を子機または中継機に設定する場合>
 - ① ACアダプタを電源コンセントから抜いて、電源を切ります。
 - ② RT/BR/CNVモード切替スイッチをCNV側に切り替えます。<本製品をそのまま親機としてご使用になる場合>

クイック設定Webの使いかたは[「クイック設定Webの使いかた」](#)を参照してください。
- 本製品のLANポートにパソコンを接続する必要があります。
- WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。ご利用のWWWブラウザやその設定によっては、説明されている操作を行った際に、WWWブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
- [WWWブラウザの接続設定](#)を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

▶ 使いかた

● [起動のしかた](#)

● [終了のしかた](#)

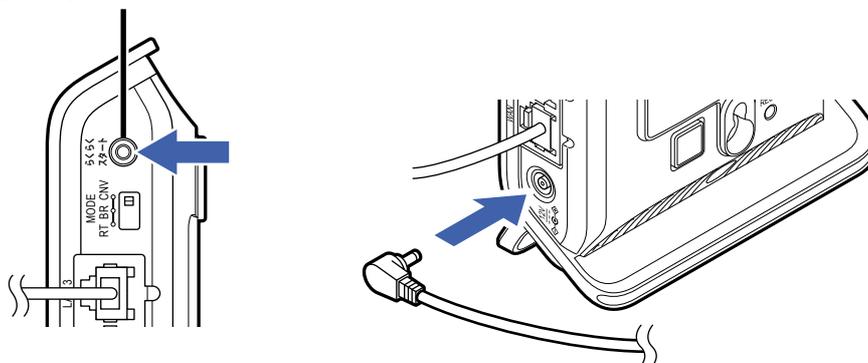
◆ 補足 ◆

- WWWブラウザの[戻る]、[進む]、[更新]ボタンは使用しないでください。本製品への操作が正しく行われない場合があります。
- WWWブラウザの設定により、セキュリティに関するダイアログが表示される場合があります。その場合は、表示内容をご確認のうえ、操作を行ってください。
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWWWブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

起動のしかた

1. 本製品の電源をいったん切ります。
2. 本製品のらくらくスタートボタンを押しながら電源を入れ、OPTIONランプが緑点滅したら離します。
本製品の強制DHCPサーバが起動します。動作中はOPTIONランプが緑点滅します。

らくらくスタートボタン



◆ 注意 ◆

- 親機とのWi-Fi接続はいったん切断されます。
そのため、次の機能は実行できません。
 - ・ オンラインバージョンアップ
 - ・ [時刻を合わせる]ボタン
 - ・ [設定用QRコードを表示]ボタン
 - ・ [取扱説明書]ボタン

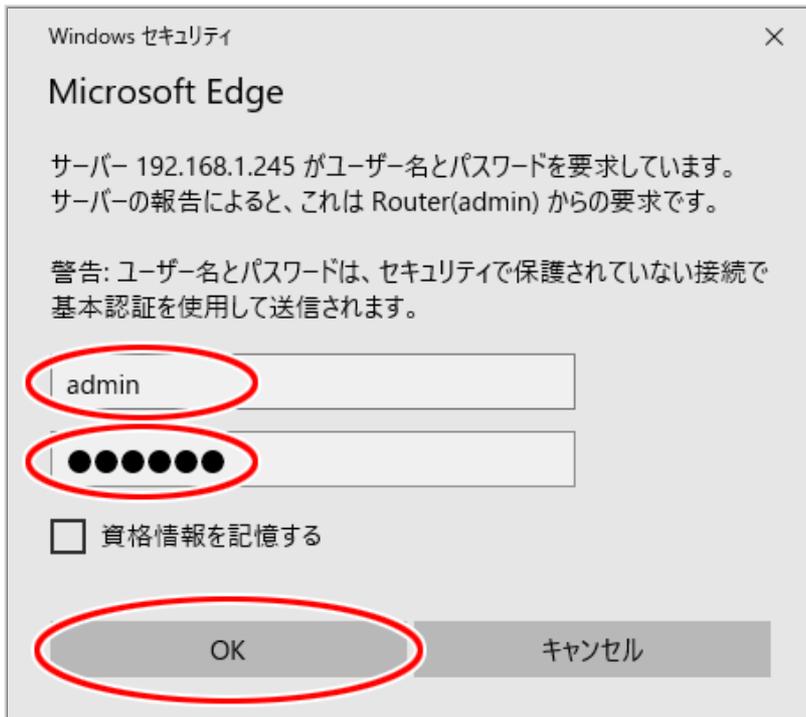
3. 本製品に有線接続したパソコンを起動します。
4. パソコンのWWWブラウザを起動し、アドレス欄に本製品のIPアドレスを入力してEnterキーを押します。
(お買い上げ時は192.168.1.245です)

例: <http://192.168.1.245/>

◆ 補足 ◆

- Windows 10搭載のパソコンでInternet Explorer を起動する方法は、下記のどちらかの方法で起動してください。
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [すべてのアプリ] - [Windowsアクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [Windows アクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック

5. 「ユーザー名」(上段)に「admin」を、「パスワード」(下段)に管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- ユーザー名「admin」は半角小文字で入力してください。
- 本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 管理者パスワードがわからない場合は、本製品を[初期化](#)し本製品に貼付のラベルに記載されているパスワード(Web PW)でログインしてください。
初期化方法は、「[初期化する](#)」を参照してください。

◆ 注意 ◆

- WWWブラウザの設定によってはパスワードがWWWブラウザに保存されます。
パスワードを再入力することなくログインが可能になりますが、セキュリティ上、WWWブラウザにはパスワードを保存しないことをお勧めします。
- 認証画面が表示されずに、「ログイン認証に失敗しました。」の画面が表示された場合は、手順1からやり直してください。
- 管理者パスワードを10回間違えると、本製品へのアクセスができなくなります。
その場合は、本製品の電源を入れ直すと、復旧することができます。手順1からやり直してください。

6. クイック設定Webのトップページが開きます。

1. 設定が完了したら、本製品を再起動します。

下記のどちらかの方法で再起動ができます。

- 「設定変更受付完了」の画面で[今すぐ再起動する]をクリック
- 「メンテナンス」-「再起動」の画面で[再起動]をクリック
※「メンテナンス」は[詳細モードに切替]をクリックするとメニューに表示されます。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。
- 親機に接続するには、再起動が必要です。

◆ 参考 ◆

- 再起動を行うことで、DHCPサーバ機能を停止します。

2. 再起動が完了してクイック設定Webのトップページが表示されたら、WWWブラウザ画面を閉じてください。

◆ 注意 ◆

- 不正アクセスを防止するため、WWWブラウザ画面は必ず閉じてください。

▶ うまく動作しない場合は

• クイック設定Webが起動しない。

ー WWWブラウザの設定で、JavaScriptの設定が有効になっていますか。

Microsoft Edgeでは、初期状態でJavaScriptは有効に設定されています。

ー パソコンにIPアドレスが設定されていますか。

[「故障かな?と思ったら」の「d パソコンにIPアドレスが設定されていない」](#)を参照してください。

※ 参照先の説明にあるパソコンのIPアドレス「192.168.10.XXX」は、「192.168.1.XXX」に置き換えてください。

ー WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定されていますか。

WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。

WWWブラウザの設定方法は、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

(例)Internet Explorer 11.0の場合

1. 「ツール」-「インターネットオプション」-「全般」-「閲覧の履歴」-「設定」を開きます。
2. 「インターネット一時ファイル」の「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択します。

7-2.セキュリティ対策をしよう

本製品を中継機として使用しているときに、送信元を詐称した通信を遮断することができます。

送信元を詐称した通信を遮断する(子機／中継機としてご使用のとき)

送信元検証機能により、LAN側、WAN側からのアクセスを監視し、送信元のアドレスが不正なパケットを廃棄します。

◆ 補足 ◆

- 本製品は、お買い上げ時および初期化後の状態で、本機能が使用できる設定になっています。
- 本機能の設定は、すべての動作モードで共通です。動作モードを変更しても、本機能の設定は引き継がれます。

▶ 設定を行う前に

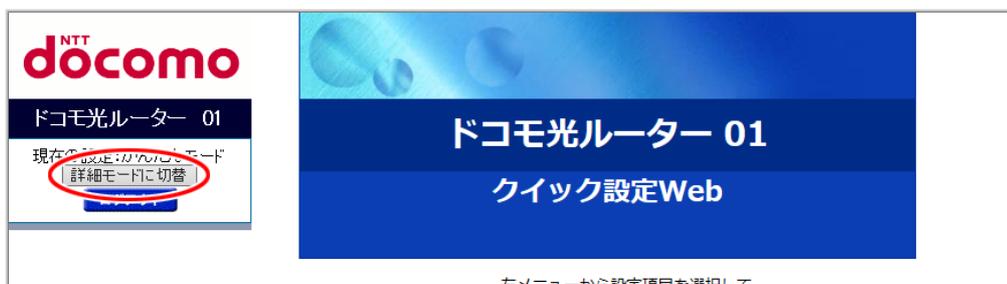
- 本製品がお買い上げ時または初期化したままの状態ならば、「送信元検証機能」は「使用する」に設定されています。本機能を使用する場合は、設定の必要はありません。
- 「送信元検証機能」を「使用しない」に設定すると、本製品のセキュリティが低下します。「使用する」でのご使用をお勧めします。

▶ 設定手順

送信元検証機能の設定を変更する

[クイック設定Web](#)で設定します。

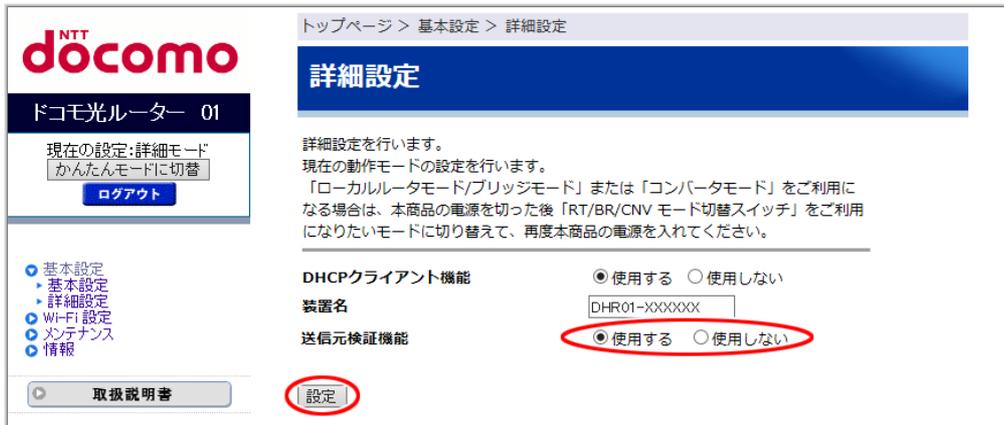
1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「詳細設定」をクリックします。

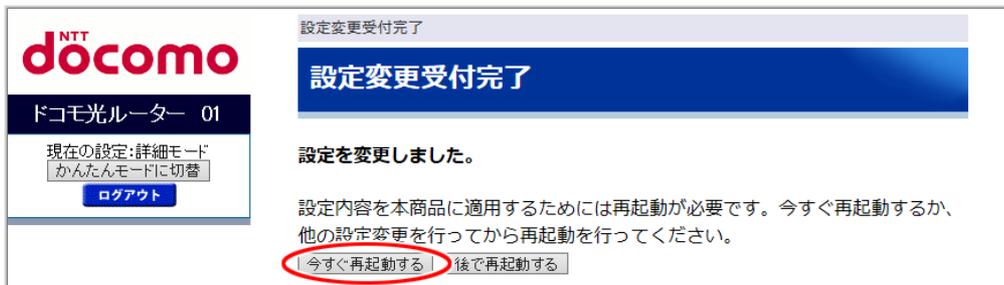


3. 「送信元検証機能」を設定して、[設定]をクリックします。



4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

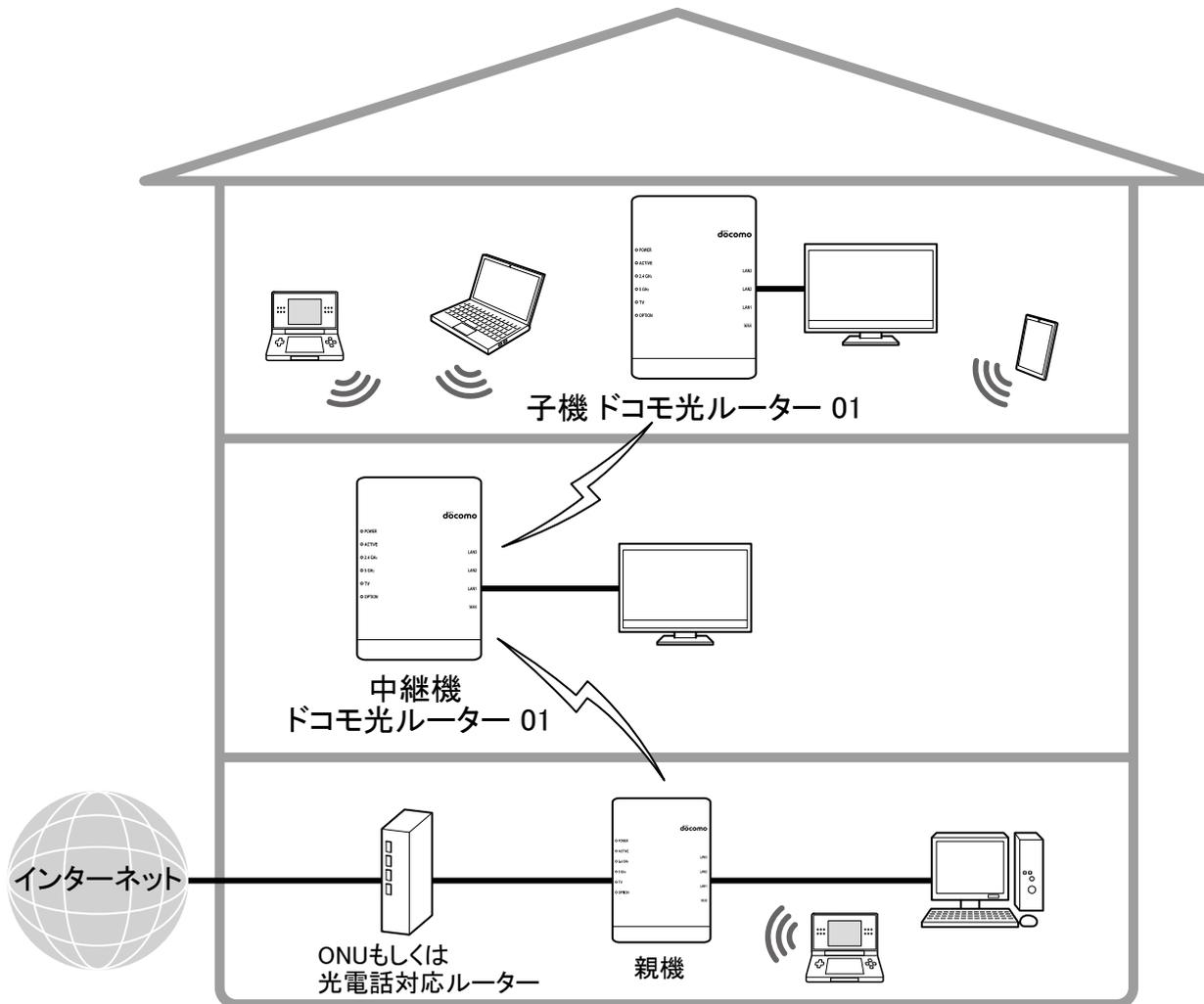
8.本製品でできること（Wi-Fi子機として使う）

8-1.本製品をWi-Fi子機として使う

本製品をWi-Fi子機として使用し、親機に接続することができます。親機との電波強度を確認したり、TVモードを使うことができます。

本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する

本製品は、LANポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などを接続して、子機（イーサネットコンバータ）として使用したり、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したりすることができます。本製品の設定方法と、親機との接続方法をご案内します。



■ 中継機の多段接続・並列接続について

本製品を中継機に設定して親機に接続する場合、多段接続および並列接続をすることができます。但し、安定してお使いいただくには、多段接続、並列接続合わせて3台以下を推奨します。接続イメージは、[「本製品の中継機能」の「多段接続・並列接続について」](#)を参照してください。

◆ 注意 ◆

- 暗号化モード「WEP」は使用できません。
- 親機側で次の設定を変更した場合、5GHzランプ、2.4GHzランプが両方とも消灯したときは、親機との接続をやり直してください。
 - ・ ネットワーク名（SSID）
 - ・ 暗号化モード
 - ・ 暗号化キー
- 中継機としてご使用の場合、ネットワーク分離機能、MACアドレスフィルタリング機能はご使用になれません。

- 使用チャンネルは変更できません。
親機と接続している周波数帯のチャンネルは、親機と同一になります。
親機と接続していない周波数帯は、次のとおり固定になります。
 - ・2.4GHz帯:「自動」
 - ・5GHz帯:「W52」

◆ 補足 ◆

- 接続する親機が、中継機能に対応している必要があります。親機の取扱説明書などで確認してください。
- WPSに対応した他社製の親機と接続することができます。
※ 但し、すべての製品との接続を保証するものではありません。

▶ 設定手順

- [本製品を子機\(CONVERTER\)モード／中継機モードにする](#)
- [本製品を設定する](#)
- [親機とWi-Fi接続する](#)
- [パソコンなどの端末を接続する](#)

本製品を子機(CONVERTER)モード／中継機モードにする

[「RT/BR/CNVモード切替スイッチの使いかた」の「子機\(CONVERTER\)モード／中継機モードの設定方法」](#)を参照してください。

本製品を設定する

1. [クイック設定Web](#)を起動します。
2. 「基本設定」をクリックします。
※ 「詳細モード」の場合は、「基本設定」－「基本設定」をクリックします。



ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替

ログアウト

基本設定

- Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態

クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、設定をスタートしましょう。

装置情報	
装置名	DHR01-XXXXXX
動作モード	Wi-Fi デュアルバンド中継(Wi-Fi TV モード中継)
接続状態	-
受信レベル	-

取扱説明書

最新状態に更新

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

3. 「親機⇔中継機⇔子機の接続形式設定」で接続形式を設定します。



< 中継機能を使用する場合 >

設定		中継機能 (※1)
親機⇔中継機(本商品)	中継機(本商品)⇔子機	
5GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi デュアルバンド中継 (Wi-Fi TVモード中継)
	5GHz:使用する	
5GHz優先	2.4GHz:使用しない	Wi-Fi TVモード中継
	5GHz:使用する	
5GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi高速中継
	5GHz:使用しない	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi デュアルバンド中継 (Wi-Fi中継)
	5GHz:使用する	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用しない	Wi-Fi高速中継
	5GHz:使用する	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用する	Wi-Fi中継
	5GHz:使用しない	

(※1) 親機と中継機(本製品)が、実際に「親機⇔中継機(本商品)」で設定した優先接続の周波数帯で接続された場合に、「中継機能」欄の中継機に設定されます。

<中継機能を停止する場合>

設定		中継機能
親機⇔中継機(本商品)	中継機(本商品)⇔子機	
5GHz優先	2.4GHz:使用しない	停止
	5GHz:使用しない	
2.4GHz優先	2.4GHz:使用しない	停止
	5GHz:使用しない	

◆ 注意 ◆

- 「親機⇔中継機(本商品)」に「5GHz優先」を設定しても、ご利用の環境や親機によっては、2.4GHz帯で接続される場合があります。また、「2.4GHz優先」を設定しても、ご利用の環境や親機によっては、5GHz帯で接続される場合があります。
その場合、実際に接続した周波数帯に対応した中継機能になります。

<中継機能を使用する場合>

中継機能を使用しない場合は手順5に進んでください。

4. 他の中継機と多段接続する場合、本製品を親機から何段目に設置するかを「本商品の設置段数」で設定します。

1段目～3段目が設定できます。

多段接続をしない場合は、「1段目」(お買い上げ時)を設定してください。

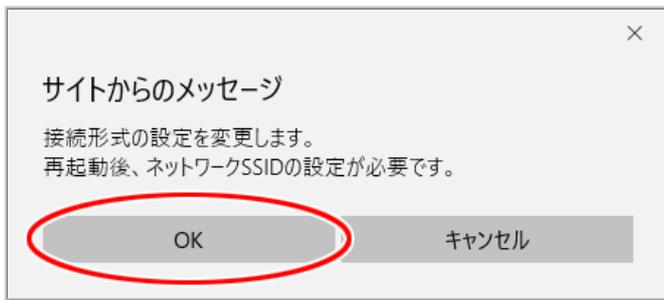


◆ 注意 ◆

- 「本商品の設置段数」に「2段目」、「3段目」を設定した場合(多段接続をする場合)、本製品は、親機ではなく1段上の中継機に接続します。

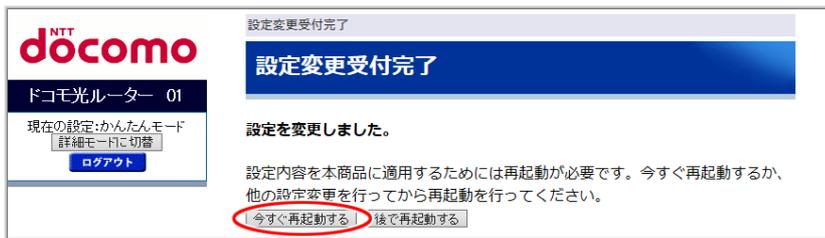
5. [設定]をクリックします。

6. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。



7. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



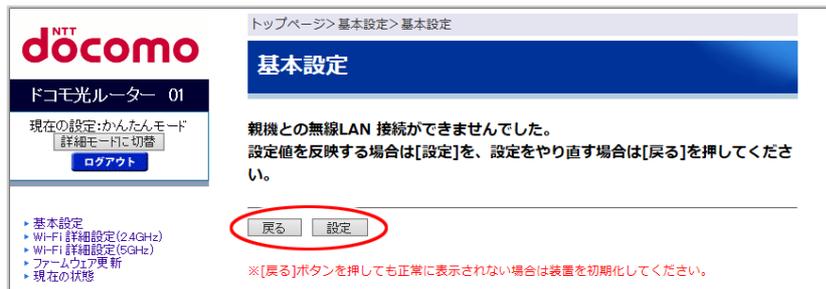
◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- 既に親機とのWi-Fi設定がされている場合は、この画面は表示されず、親機にWi-Fi接続した後、本製品が再起動します。

親機とのWi-Fi接続ができなかった場合は、下の画面が表示されます。



画面のメッセージを確認し、[戻る]または[設定]をクリックしてください。

・[戻る]

設定画面に戻ります。

・[設定]

設定内容を保存し、再起動します。再起動が完了しても、親機との通信は切断されたままです。

親機とWi-Fi接続する

親機とのWi-Fi設定には、次の方法があります。

- [WPSでWi-Fi接続する](#)
親機がWPSに対応している場合のWi-Fi接続方法です。
- [クイック設定WebからWi-Fi接続する](#)

親機がWPSに対応していない場合は、こちらの方法で接続できます。

また、本製品(中継機)を多段接続の2段目以降に設定した場合も、こちらの方法でWi-Fi接続していただくことを推奨します。

本製品(中継機)のクイック設定Webで、親機のWi-Fi設定内容を本製品に設定する方法です。

■ WPSでWi-Fi接続する

設定を行う前に

- Wi-Fi接続する親機がWPSに対応している必要があります。親機取扱説明書などで確認してください。
- 本製品のOPTIONランプが、橙点灯または緑点灯していることを確認してください。

OPTIONランプが消灯している場合は、[「RT/BR/CNVモード切替スイッチの使いかた」の「子機\(CONVERTER\)モード／中継機モードの設定方法」](#)を参照して、動作モードを変更してください。

- 接続できる親機のネットワークはプライマリSSIDのみです。
お買い上げ時は、優先的に5GHz帯のネットワークに接続するように設定されています。
※ ご利用の環境や親機によっては、2.4GHz帯のネットワークに接続される場合があります。
- 親機とWi-Fi接続すると、接続に使用した親機のWi-Fi情報が、自動的に中継機(本製品)の接続帯域のWi-Fi設定に引き継がれます。

例:親機と5GHz帯でWi-Fi接続した場合、中継機(本製品)の5GHz帯のネットワーク名(SSID)、暗号化方式、暗号化キーに、親機のWi-Fi設定(5GHz帯のプライマリSSID)が設定されます。

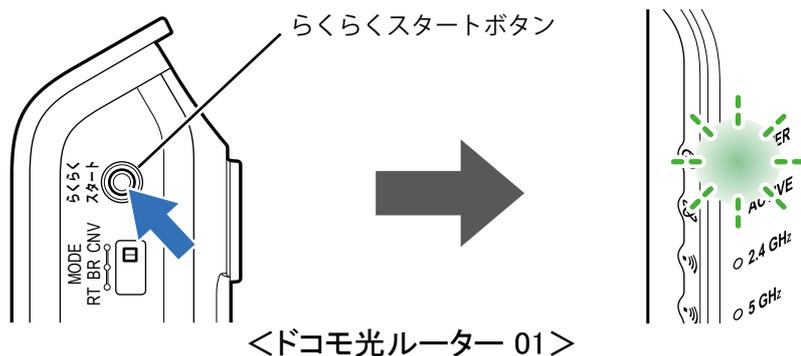
また、親機がWi-Fiデュアルバンド中継機能に対応している場合は、接続帯域にかかわらず、中継機(本製品)の2.4GHz帯、5GHz帯両方のWi-Fi設定に、親機のWi-Fi設定が引き継がれます。

- 本製品が、多段接続の2段目以降の中継機でも、上段の中継機ではなく親機と接続を行います。

※ 説明は、親機がドコモ光ルーター 01の例です。

親機のボタンおよびランプの名称、位置、形状、色などは、製品によって異なります。親機取扱説明書などで確認してください。

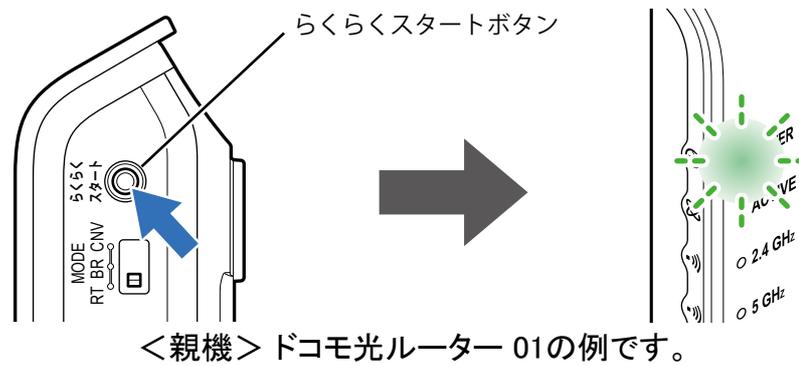
1. 本製品のらくらくスタートボタンを長押しして、POWERランプが黄緑点滅になったら離します。



◆ 補足 ◆

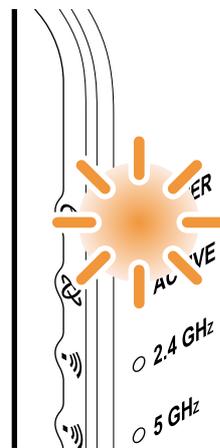
- POWERランプが黄緑点滅するまで、時間がかかる場合があります。

2. 親機のらくらくスタートボタンを長押しして(約10秒)、POWERランプが黄緑点滅になったら離します。

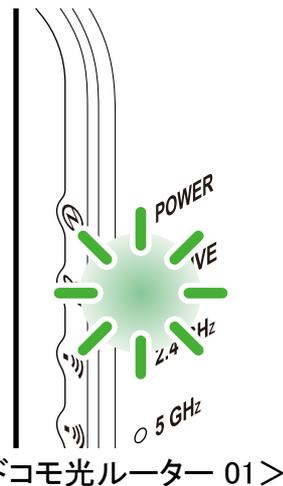


3. しばらく待って、親機のPOWERランプが橙点灯することを確認します。

※ 親機のPOWERランプは、約10秒間橙点灯した後、黄緑点灯に戻ります。



4. 本製品のACTIVEランプが黄緑点灯することを確認します。



◆ 注意 ◆

- 本製品のACTIVEランプが黄緑点灯しない場合は、本製品(中継機)のクイック設定Webで、[「本商品の設置段数」](#)を確認してください。
設定されている段数の、1段上の中継機が存在しない(または、親機と接続されていない)可能性があります。その場合は、[「本商品の設置段数」](#)を修正してから、Wi-Fi接続をやり直してください。

■ クイック設定WebからWi-Fi接続する

設定を行う前に

- Wi-Fi接続する親機のネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キーを確認してください。

1. [クイック設定Web](#)を起動します。

2. 「基本設定」をクリックします。

※ 「詳細モード」の場合は、「基本設定」-「基本設定」をクリックします。



◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

3. 親機、中継機(本製品)間の接続形式と、ネットワーク名 (SSID)を設定します。



・親機⇔中継機⇔子機の接続形式設定

親機と中継機(本製品)間の、接続したい周波数帯を設定します。

・ネットワーク名 (SSID)

接続したい親機のネットワーク名 (SSID) を入力します。

◆ 注意 ◆

- ・「本商品の設置段数」に「2段目」、「3段目」を設定した場合 (多段接続をする場合)、本製品は、親機ではなく1段上の中継機のSSIDを入力します。

◆ 参考 ◆

「ネットワーク名 (SSID)」の [アクセスポイント検索] をクリックして、親機を選択することもできます。接続したい親機の「ネットワーク名 (SSID)」のラジオボタンにチェックし、[選択] をクリックします。

「基本設定」の「親機⇄中継機⇄子機の接続形式設定」の親機、中継機 (本製品) 間、「ネットワーク名 (SSID)」、「暗号化モード」に、選択した親機の情報が入力されます。



ネットワーク名 (SSID)	BSSID	使用チャネル	暗号化モード	受信レベル	選択
dhr01-XXXXXX-X	XX:XX:XX:XX:XX:XX	1 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK(AES)	強	<input checked="" type="radio"/>
		1&5 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK(AES)	強	<input type="radio"/>
		1 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	強	<input type="radio"/>
		11g (11g 2.4GHz)	WEP	強	<input type="radio"/>
		1&5 (11n 2.4GHz)	WPA2-PSK (AES)	強	<input type="radio"/>
		11 (11n 2.4GHz)	WPA2-PSK (AES)	強	<input type="radio"/>
		11 (11n 2.4GHz)	暗号化無効	強	<input type="radio"/>
		2 (11n 2.4GHz)	WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	強	<input type="radio"/>

※ 「暗号化」が「WEP」の親機は選択できません。

※ 接続したい親機のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、親機に設定されているWi-Fiのステルス設定を解除してから、再度本設定を行ってください。

※ 本製品 (中継機) とWi-Fi接続した子機 (パソコン、スマートフォン / タブレットなど) で、アクセスポイント検索を行うと、本製品 (中継機) とのWi-Fi接続が切断されます。

有線接続した子機から本設定を行うか、[「パソコンなどの端末を接続する」](#)を参照して本製品 (中継機) と子機のWi-Fi接続をやり直してください。

4. 次の項目を設定します。

親機と同じ設定にしてください。

- 暗号化モード

「暗号化無効」、「WPA2-PSK(AES)」、「WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)」から選択できます。

「暗号化モード」に「暗号化無効」を設定した場合、次の項目は設定できません。

- 暗号化キー

親機と同じ暗号化キーを入力します。

※ 英字の大文字と小文字は区別されます。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

- 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態

取扱説明書

基本設定

接続先の基本設定を行います。
設定方法を選択のうえ、詳細内容を入力してください。

親機⇄中継機⇄子機の接続形式設定			
親機	5GHz優先	中継機 (本商品)	2.4GHz:使用する 5GHz:使用する
			子機

接続先の基本設定	
ネットワーク名(SSID)	dhr01-XXXXXX-X アクセスポイント検索
暗号化モード	暗号化無効
暗号化キー	
本商品の設置段数	1 段目
2.4GHz 送信出力	100%
5GHz 送信出力	100%

設定

5. [設定]をクリックします。

6. 親機にWi-Fi接続した後、本製品が再起動します。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

パソコンなどの端末を接続する

- 本製品を子機(イーサネットコンバータ)として使用する場合
本製品のLANポートにパソコンなどを有線接続します。
- 本製品を中継機として使用する場合
 - ・ 親機がWi-Fiデュアルバンド中継機能に対応しているとき
Wi-Fi機能を持つパソコンなどを親機とWi-Fi接続します。
 - ・ 親機がWi-Fiデュアルバンド中継機能に対応していないとき／
親機と本製品(中継機)のWi-Fi接続を「クイック設定WebからWi-Fi接続する」で行ったとき
 1. 本製品(中継機)のクイック設定Webで、追加のWi-Fi設定を行います。
親機と本製品(中継機)が、2.4GHz帯でWi-Fi接続している場合は5GHz帯のWi-Fi設定を、5GHz帯でWi-Fi接続している場合は2.4GHz帯のWi-Fi設定を変更してください。
設定方法は「[Wi-Fiデュアルバンド中継機能に対応していない親機を使う場合の追加設定](#)」を参照してください。
 2. Wi-Fi機能を持つパソコンなどを親機とWi-Fi接続します。

◆ 注意 ◆

- 本製品(中継機)が親機に接続していない状態で、本製品(中継機)と子機をWi-Fi接続することはできません。先に親機と本製品(中継機)の接続を行ってください。

◆ 補足 ◆

- 本製品(中継機)の[クイック設定Web](#)で、本製品(中継機)、子機間のWi-Fi設定(ネットワーク名(SSID)、暗号化キーなど)を変更することができます。「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」、「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」で行います。
変更する場合は、子機とのWi-Fi接続を行う前に行ってください。

▶ うまく動作しない場合は

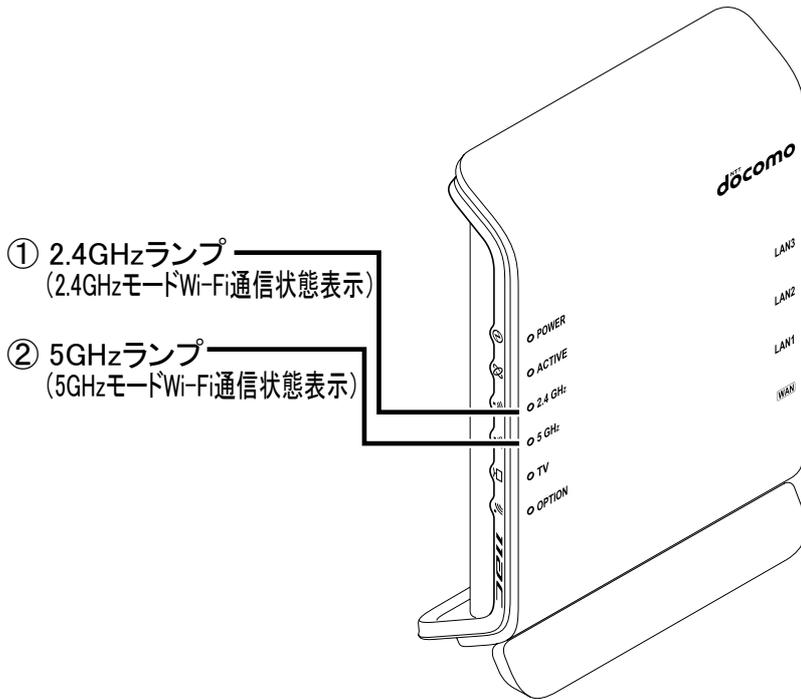
- 親機と中継機が正常に動作していることを、各機器のランプなどで確認してください。中継機が複数ある場合は、すべての中継機の状態を確認してください。
- 通信が不安定な場合には、接続した子機の電源をいったん切って入れ直したり、中継機(本製品)の向きや設置場所を変更したりすると改善する場合があります。
- 中継機(本製品)に接続している子機がインターネットに接続できなくなったときは、親機と中継機(本製品)の接続が切断された可能性があります。次を確認してください。
 - － 親機と中継機(本製品)が接続されていることを中継機(本製品)の2.4GHzランプまたは5GHzランプで確認してください。
 - － 親機にMACアドレスフィルタリング機能が設定されていないか確認してください。

親機との電波強度を確認する

本製品を子機または中継機としてご使用のとき、親機、本製品間の電波強度を、本製品のLEDランプで確認することができます。

▶ 使いかた

本製品の2.4GHzランプ、5GHzランプの色をご確認ください。



	電波強度		
	強	中	弱
①2.4GHzランプ 2.4GHz帯で親機と接続しているとき	黄緑点灯 (または点滅)	橙点灯 (または点滅)	赤点灯 (または点滅)
②5GHzランプ 5GHz帯で親機と接続しているとき	黄緑点灯 (または点滅)	橙点灯 (または点滅)	赤点灯 (または点滅)

◆ 補足 ◆

- 2.4GHzランプまたは5GHzランプが点滅しているときは、データ送受信中です。
- 赤点灯(または点滅)の場合は、電波状態がよくありません。親機と本製品を近づけてみてください。
- 2.4GHzランプと5GHzランプの両方が消灯しているときは、電波が届いていないか、またはWi-Fi接続設定がされていません。

TVモードを使う(子機／中継機の設定)

TVモードとは、Wi-Fi通信で本製品に有線接続したパソコン(ひかりTV対応機種)やテレビで、安定したストリーミング映像を視聴することができる機能です。

▶ 設定を行う前に

- 通信する親機がTVモードに対応している必要があります。親機の取扱説明書などをご確認ください。
- 本製品は、お買い上げ時および初期化後の状態で本機能が使用できる設定になっています。

▶ 設定手順

親機と5GHz帯でWi-Fi接続します。

接続方法は、[「本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する」](#)の[「親機とWi-Fi接続する」](#)を参照してください。

中継機としてご利用になる場合(本製品にWi-Fi接続した子機で映像の視聴などをされる場合)は、更に[「本製品を中継機としてご利用になる場合」](#)の設定を行ってください。

本製品を中継機としてご利用になる場合

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. 「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。
※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。
子機と接続している周波数帯の設定画面を選択してください。

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 「TVモード」で「自動」または「使用する」を選択します。



(画面は、「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」の例です。)

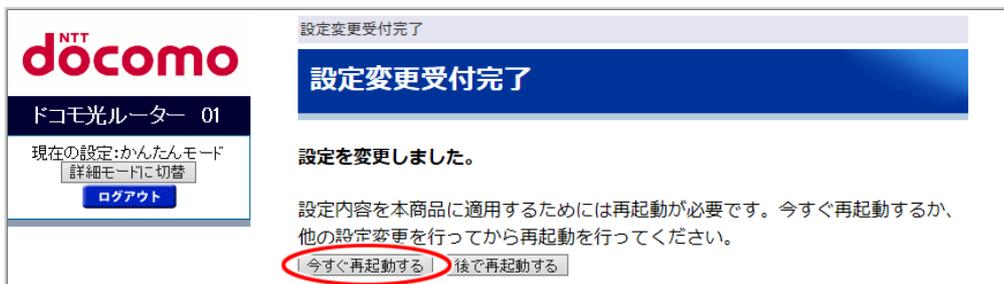
次の設定項目が選択できます。

- 使用する
常にTVモードを有効にします。
- 使用しない
TVモードを無効にします。
- 自動
TVモードの自動設定に対応した子機が接続されたときだけ有効になります。

3. [設定]をクリックします。

4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 補足 ◆

- 本製品のTVランプで、状態が確認できます。
詳細は、「各部の名称とはたらき」の「子機／中継機としてご使用になる場合」を参照してください。

▶ うまく動作しない場合は

- 親機が本機能に対応しているか、ご確認ください。
親機の仕様や設定方法は、親機取扱説明書などを参照してください。

クイック設定Webの使いかた(子機／中継機としてご使用のとき)

本製品を子機(イーサネットコンバータ)または中継機としてご使用の場合のクイック設定Webの起動方法を説明します。

クイック設定Webとは、Microsoft EdgeやInternet ExplorerなどのWWWブラウザで表示できる本製品の設定画面です。本製品に有線接続されているパソコンからWWWブラウザを使用してクイック設定Webを起動することで、本製品の設定変更や状態確認を行うことができます。

スマートフォン／タブレット端末で使う場合は、[「クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)」](#)を参照してください。

▶ 設定を行う前に

- 本製品のランプを確認してください。
OPTIONランプが消灯している場合は、子機および中継機として動作していません。
<本製品を子機または中継機に設定する場合>
 - ① ACアダプタを電源コンセントから抜いて、電源を切ります。
 - ② RT/BR/CNVモード切替スイッチをCNV側に切り替えます。<本製品をそのまま親機としてご使用になる場合>

クイック設定Webの使いかたは[「クイック設定Webの使いかた」](#)を参照してください。
- 本製品のLANポートにパソコンを接続する必要があります。
- WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。ご利用のWWWブラウザやその設定によっては、説明されている操作を行った際に、WWWブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
- [WWWブラウザの接続設定](#)を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

▶ 使いかた

● [起動のしかた](#)

● [終了のしかた](#)

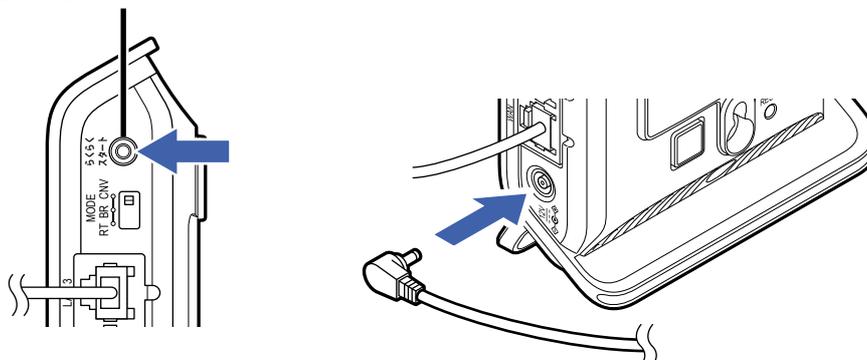
◆ 補足 ◆

- WWWブラウザの[戻る]、[進む]、[更新]ボタンは使用しないでください。本製品への操作が正しく行われない場合があります。
- WWWブラウザの設定により、セキュリティに関するダイアログが表示される場合があります。その場合は、表示内容をご確認のうえ、操作を行ってください。
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWWWブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

起動のしかた

1. 本製品の電源をいったん切ります。
2. 本製品のらくらくスタートボタンを押しながら電源を入れ、OPTIONランプが緑点滅したら離します。
本製品の強制DHCPサーバが起動します。動作中はOPTIONランプが緑点滅します。

らくらくスタートボタン



◆ 注意 ◆

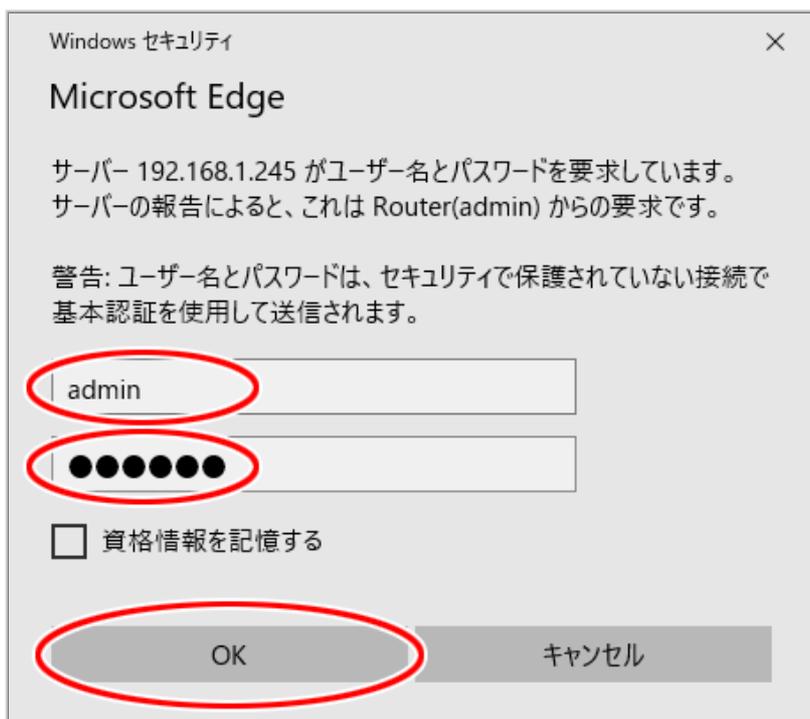
- 親機とのWi-Fi接続はいったん切断されます。
そのため、次の機能は実行できません。
 - ・ オンラインバージョンアップ
 - ・ [時刻を合わせる]ボタン
 - ・ [設定用QRコードを表示]ボタン
 - ・ [取扱説明書]ボタン

3. 本製品に有線接続したパソコンを起動します。
4. パソコンのWWWブラウザを起動し、アドレス欄に本製品のIPアドレスを入力してEnterキーを押します。
(お買い上げ時は192.168.1.245です)
例: `http://192.168.1.245/`

◆ 補足 ◆

- Windows 10搭載のパソコンでInternet Explorer を起動する方法は、下記のどちらかの方法で起動してください。
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [すべてのアプリ] - [Windowsアクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック
 - － [スタート] (Windowsのロゴボタン) - [Windows アクセサリ] - [Internet Explorer] をクリック

5. 「ユーザー名」(上段)に「admin」を、「パスワード」(下段)に管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



◆ 補足 ◆

- ユーザー名「admin」は半角小文字で入力してください。
- 本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 管理者パスワードがわからない場合は、本製品を[初期化](#)し本製品に貼付のラベルに記載されているパスワード(Web PW)でログインしてください。
初期化方法は、「[初期化する](#)」を参照してください。

◆ 注意 ◆

- WWWブラウザの設定によってはパスワードがWWWブラウザに保存されます。
パスワードを再入力することなくログインが可能になりますが、セキュリティ上、WWWブラウザにはパスワードを保存しないことをお勧めします。
- 認証画面が表示されずに、「ログイン認証に失敗しました。」の画面が表示された場合は、手順1からやり直してください。
- 管理者パスワードを10回間違えると、本製品へのアクセスができなくなります。
その場合は、本製品の電源を入れ直すと、復旧することができます。手順1からやり直してください。

6. クイック設定Webのトップページが開きます。

1. 設定が完了したら、本製品を再起動します。

下記のどちらかの方法で再起動ができます。

- 「設定変更受付完了」の画面で[今すぐ再起動する]をクリック
- 「メンテナンス」-「再起動」の画面で[再起動]をクリック
※「メンテナンス」は[詳細モードに切替]をクリックするとメニューに表示されます。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。
- 親機に接続するには、再起動が必要です。

◆ 参考 ◆

- 再起動を行うことで、DHCPサーバ機能を停止します。

2. 再起動が完了してクイック設定Webのトップページが表示されたら、WWWブラウザ画面を閉じてください。

◆ 注意 ◆

- 不正アクセスを防止するため、WWWブラウザ画面は必ず閉じてください。

▶ うまく動作しない場合は

• クイック設定Webが起動しない。

ー WWWブラウザの設定で、JavaScriptの設定が有効になっていますか。

Microsoft Edgeでは、初期状態でJavaScriptは有効に設定されています。

ー パソコンにIPアドレスが設定されていますか。

[「故障かな?と思ったら」の「d パソコンにIPアドレスが設定されていない」](#)を参照してください。

※ 参照先の説明にあるパソコンのIPアドレス「192.168.10.XXX」は、「192.168.1.XXX」に置き換えてください。

ー WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定されていますか。

WWWブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。

WWWブラウザの設定方法は、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

(例)Internet Explorer 11.0の場合

1. 「ツール」-「インターネットオプション」-「全般」-「閲覧の履歴」-「設定」を開きます。
2. 「インターネット一時ファイル」の「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択します。

8-2.セキュリティ対策をしよう

本製品をWi-Fi子機として使用しているときに、送信元を詐称した通信を遮断することができます。

送信元を詐称した通信を遮断する(子機／中継機としてご使用のとき)

送信元検証機能により、LAN側、WAN側からのアクセスを監視し、送信元のアドレスが不正なパケットを廃棄します。

◆ 補 足 ◆

- 本製品は、お買い上げ時および初期化後の状態で、本機能が使用できる設定になっています。
- 本機能の設定は、すべての動作モードで共通です。動作モードを変更しても、本機能の設定は引き継がれます。

▶ 設定を行う前に

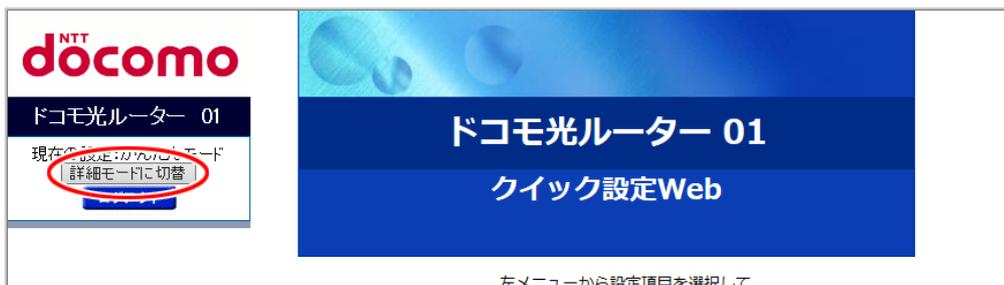
- 本製品がお買い上げ時または初期化したままの状態ならば、「送信元検証機能」は「使用する」に設定されています。本機能を使用する場合は、設定の必要はありません。
- 「送信元検証機能」を「使用しない」に設定すると、本製品のセキュリティが低下します。「使用する」でのご使用をお勧めします。

▶ 設定手順

送信元検証機能の設定を変更する

[クイック設定Web](#)で設定します。

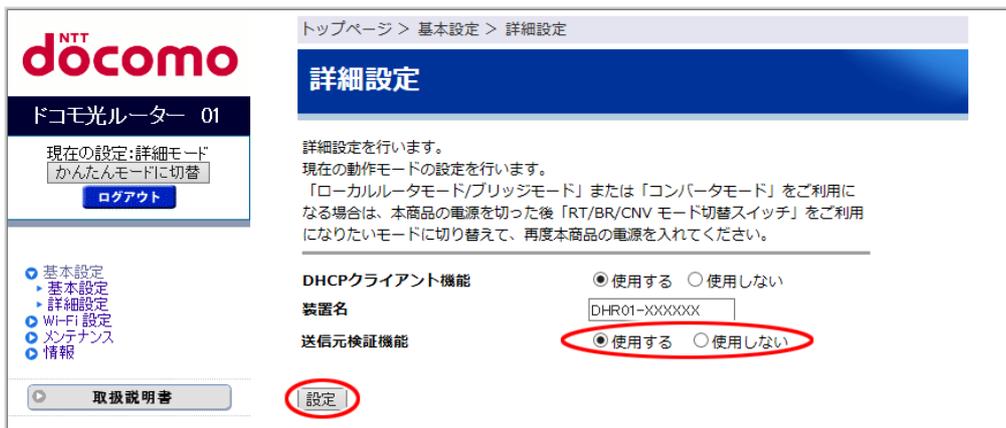
1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「詳細設定」をクリックします。

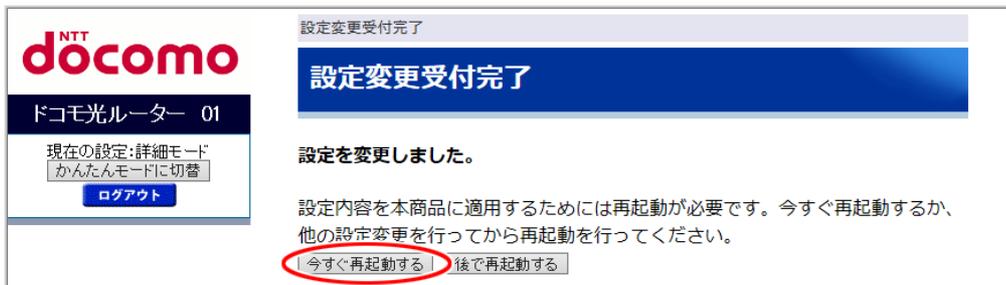


3. 「送信元検証機能」を設定して、「設定」をクリックします。



4. [今すぐ再起動する]をクリックします。

※ 他に設定したい項目がある場合は[後で再起動する]をクリックしてください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

9.メンテナンス・こんなときには

9-1.メンテナンス

本製品の設定内容の確認・保存・復元方法、再起動や初期化のしかた、ファームウェアをバージョンアップする方法、時刻の合わせかたについて説明しています。

設定内容を確認・保存・復元する

Wi-Fi接続に必要な情報やファームウェアのバージョンなど、本製品の装置情報を確認できます。また、本製品を初期化する場合などに、設定内容を保存し復元することができます。

◆ 注意 ◆

- 設定値の保存と復元は同じ動作モードで行ってください。
- 設定値を保存しても、管理者パスワードは保存されません。本製品を初期化し、設定値を復元した場合は、本製品に貼付のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)になります。
- 他機種バックアップファイルを指定して復元しないようご注意ください。正しく復元できません。
- 設定値のファイルは圧縮形式になっており、編集はできません。

● [設定内容を確認する](#)

● [設定値を保存する](#)

● [設定値を復元する](#)

親機としてお使いの場合の画面を例に説明しています。Wi-Fiの子機／中継機としてお使いの場合も、同様の手順で設定することができます。

クイック設定Webで行います。

クイック設定Webの起動方法は、下記を参照してください。

- 親機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた」](#)
- Wi-Fiの子機／中継機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた\(子機／中継機としてご使用のとき\)」](#)

設定内容を確認する

1. 「現在の状態」をクリックします。

※ 「詳細モード」の場合は、「情報」-「現在の状態」をクリックします。



ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

セキュリティ
ペアレンタルコントロール機能

基本設定(かんたんモード)
Wi-Fi 基本設定
Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
設定の更新
現在の状態

設定用QRコードを表示
取扱説明書

ドコモ光ルーター 01
クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	
	IPv6	
自動判定結果		
現在の動作状態		
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	

最新状態に更新

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 設定内容が表示されます。



ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
[詳細モードに切替]

[ログアウト]

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

- 基本設定(かんたんモード)
- Wi-Fi 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態

トップページ > 情報 > 現在の状態

現在の状態

本商品の状態、設定情報を表示します。
[現在の時刻]の設定には、本商品がインターネットに接続されている必要があります。
時刻を合わせるには[時刻を合わせる]ボタンをクリックしてください。

装置情報 時刻を合わせる

現在の時刻	
ファームウェアバージョン	
動作モード	

Wi-Fi 情報(2.4GHz プライマリSSID)

ネットワーク名(SSID)	
使用チャンネル	
暗号化モード	
MACアドレス(Wi-Fi)	
接続端末数	

Wi-Fi 情報(5GHz プライマリSSID)

ネットワーク名(SSID)	
使用チャンネル	
暗号化モード	
MACアドレス(Wi-Fi)	
接続端末数	

LAN側情報

IPアドレス	
ネットマスク	
MACアドレス(LAN)	

WAN側情報

接続状態	
IPアドレス	
ネットマスク	
ゲートウェイ	
プライマリDNS	
セカンダリDNS	
MACアドレス(WAN)	

IPv6情報

IPv6アドレス(WAN側自ホスト)	
IPv6アドレス(LAN側グローバル)	
IPv6アドレス(LAN側リンクローカル)	
ゲートウェイ	
プライマリDNS	
セカンダリDNS	
検索ドメイン	

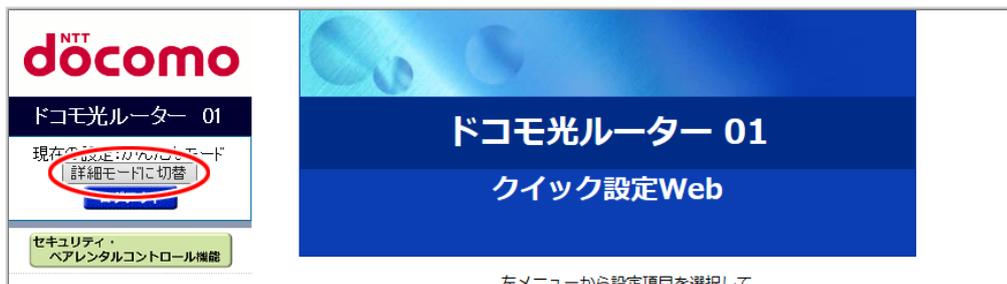
 設定用QRコードを表示

 取扱説明書

最新状態に更新

設定値を保存する

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



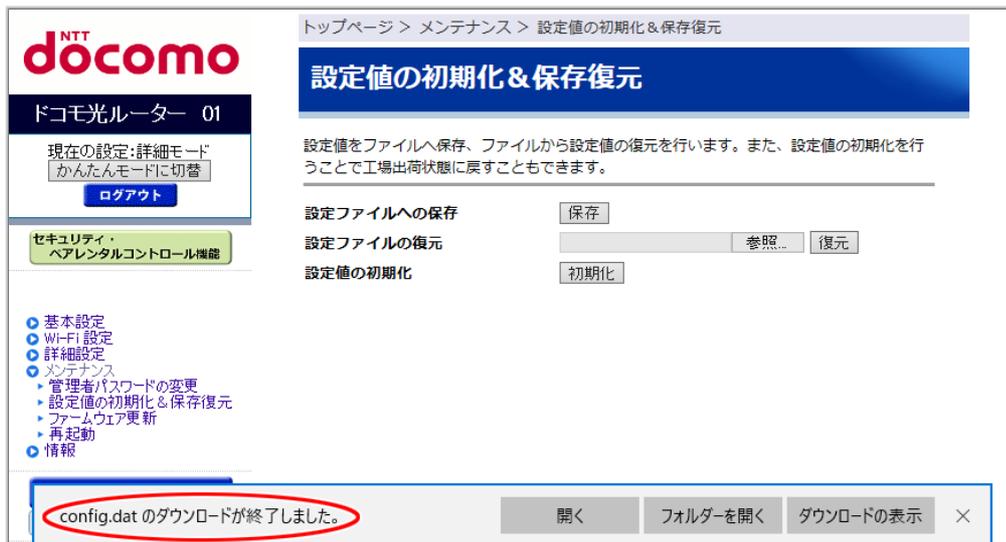
2. 「メンテナンス」→「設定値の初期化 & 保存復元」をクリックします。



3. [保存]をクリックします。



4. 「ダウンロードが終了しました。」と表示されます。

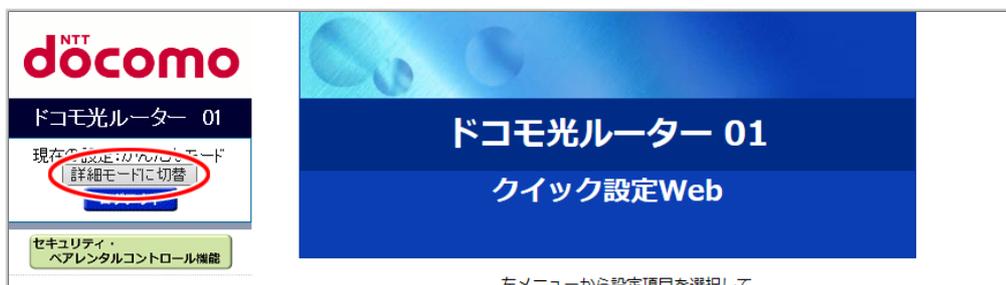


◆ 補足 ◆

- 過去に保存したファイルも残す場合は、別のファイル名に変更するなどして保存してください。
【変更例】 20171120_config.dat
復元する際に保存したファイルを選択しますので、保存場所を忘れないようにしてください。

設定値を復元する

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「メンテナンス」－「設定値の初期化 & 保存復元」をクリックします。

The screenshot shows the 'ドコモ光ルーター 01' (Docomo Light Router 01) settings page. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 基本設定 (Basic Settings), Wi-Fi設定 (Wi-Fi Settings), 詳細設定 (Detailed Settings), メンテナンス (Maintenance), 設定値の初期化 & 保存復元 (Reset & Restore Settings - highlighted with a red circle), 再起動 (Restart), and 情報 (Information). The main content area is titled 'ドコモ光ルーター 01 クイック設定Web' (Docomo Light Router 01 Quick Setup Web). Below the title, there is a table of device information:

装置情報		
装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	[Redacted]
	IPv6	[Redacted]
自動判定結果	[Redacted]	
現在の動作状態	[Redacted]	
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	
最新状態に更新		

Below the table, there is a copyright notice: © NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

3. [参照]をクリックします。

表示された画面で復元するバックアップファイルを選択します。

The screenshot shows the '設定値の初期化 & 保存復元' (Reset & Restore Settings) page. The breadcrumb trail at the top reads: トップページ > メンテナンス > 設定値の初期化 & 保存復元. The page title is '設定値の初期化 & 保存復元'. Below the title, there is a paragraph of text: '設定値をファイルへ保存、ファイルから設定値の復元を行います。また、設定値の初期化を行うことで工場出荷状態に戻すこともできます。' (We save settings to a file, restore settings from a file. Also, by resetting settings, you can return to the factory default state.) Below this text, there are three sections with buttons:

- 設定ファイルへの保存 (Save to settings file) with a '保存' (Save) button.
- 設定ファイルの復元 (Restore from settings file) with a '参照...' (Reference...) button (highlighted with a red circle) and a '復元' (Restore) button.
- 設定値の初期化 (Reset settings) with a '初期化' (Reset) button.

4. 選択したファイルの保存先パスが入ります。[復元]をクリックします。

トップページ > メンテナンス > 設定値の初期化&保存復元

設定値の初期化&保存復元

設定値をファイルへ保存、ファイルから設定値の復元を行います。また、設定値の初期化を行うことで工場出荷状態に戻すこともできます。

設定ファイルへの保存	保存
設定ファイルの復元	C:\XXXXXXXX\XXXXXXXX\XX\ 参照... 復元
設定値の初期化	初期化

基本設定
Wi-Fi 設定
詳細設定
メンテナンス
 管理者パスワードの変更
 設定値の初期化&保存復元
 ファームウェア更新
再起動
情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

5. [OK]をクリックします。

サイトからのメッセージ

設定値の復元を行ったあと、再起動を行います。よろしいですか？

OK キャンセル

6. 復元完了のメッセージが表示されます。

トップページ > メンテナンス > 設定値の復元完了

設定値の復元完了

設定ファイルの復元が完了しました。

設定値を有効にするために再起動を行っています。再起動中は本商品の電源を切らないでください。

しばらくお待ちください XX 秒...

※カウント終了後、ページが表示されない場合は、WWW ブラウザを一度終了し、WWW ブラウザを開きなおしてください。

基本設定
Wi-Fi 設定
詳細設定
メンテナンス
 管理者パスワードの変更
 設定値の初期化&保存復元
 ファームウェア更新
再起動
情報

設定用QRコードを表示
取扱説明書

再起動する

無線速度が遅いなど、通信が不安定なときに再起動することで改善する場合があります。

▶ 設定を行う前に

- クイック設定Webで本製品の設定を変更した場合は、再起動を行う前に設定を保存しないと変更内容が失われます。
再起動の前に[設定]をクリックし、変更内容を保存してください。

▶ 設定手順

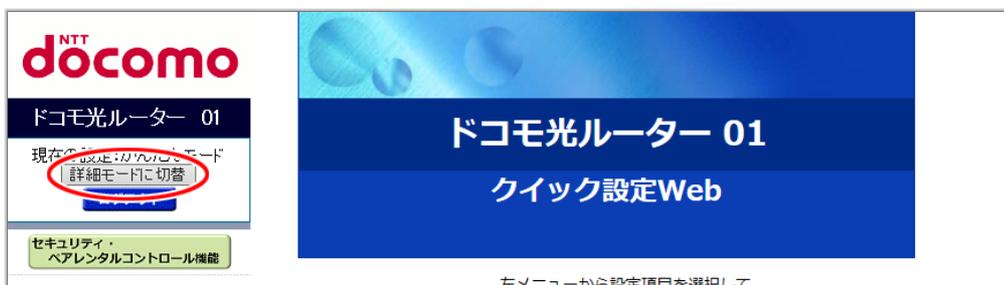
親機としてお使いの場合の画面を例に説明しています。Wi-Fiの子機／中継機としてお使いの場合も、同様の手順で設定することができます。

クイック設定Webで行います。

クイック設定Webの起動方法は、下記を参照してください。

- 親機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた」](#)
- Wi-Fiの子機／中継機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた\(子機／中継機としてご使用のとき\)」](#)

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「メンテナンス」-「再起動」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替

ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

- 基本設定
- Wi-Fi 設定
- 詳細設定
- メンテナンス
 - 管理者パスワードの変更
 - 設定値の初期化 & 保存復元
 - ファームウェア更新
 - 再起動**
 - 情報

設定用QRコードを表示

取扱説明書

ドコモ光ルーター 01

ドコモ光ルーター 01

クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	
	IPv6	
自動判定結果		
現在の動作状態		
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	

最新状態に更新

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

3. [再起動]をクリックします。

トップページ > メンテナンス > 再起動

再起動

本商品の再起動を行う場合は、[再起動]ボタンをクリックしてください。

再起動

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替

ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

- 基本設定
- Wi-Fi 設定
- 詳細設定
- メンテナンス
 - 管理者パスワードの変更
 - 設定値の初期化 & 保存復元
 - ファームウェア更新
 - 再起動
 - 情報

設定用QRコードを表示

取扱説明書

4. [OK]をクリックします。

×

サイトからのメッセージ

再起動を行います。よろしいですか？

OK キャンセル

5. 「再起動中」の画面が表示され、完了するとクイック設定Webのトップページが表示されます。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

初期化する

本製品の設定内容を初期状態に戻します。

管理者パスワードがわからない場合や本製品がうまく動作しない場合は、本製品を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。

◆ 補足 ◆

- 初期化しても、お買い上げ後にお客様がバージョンアップした本製品のファームウェアは、お客様がバージョンアップしたバージョンのままとなります。

▶ 設定を行う前に

- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、[「設定内容を確認・保存・復元する」](#)を参照して設定内容を保存し、初期化後に復元してください。

▶ 設定手順

初期化には、次の方法があります。

- [RESETスイッチで初期化する](#)
- [クイック設定Webで初期化する](#)

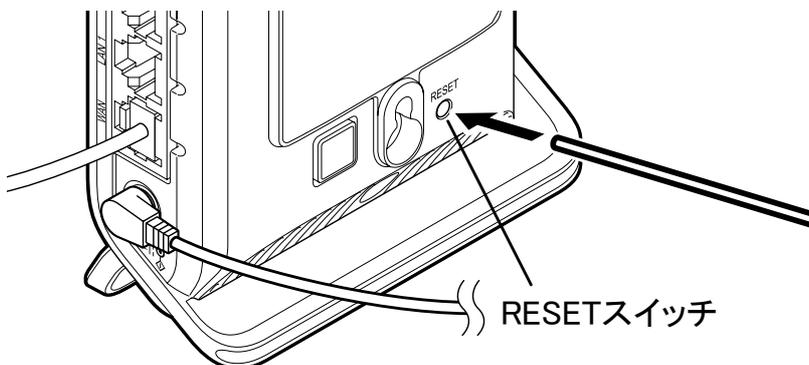
RESETスイッチで初期化する

1. POWERランプが黄緑点灯していることを確認します。

◆ 補足 ◆

- 電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、60秒ほどお待ちください。

2. RESETスイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で押し続け、POWERランプが赤点滅したら離します。

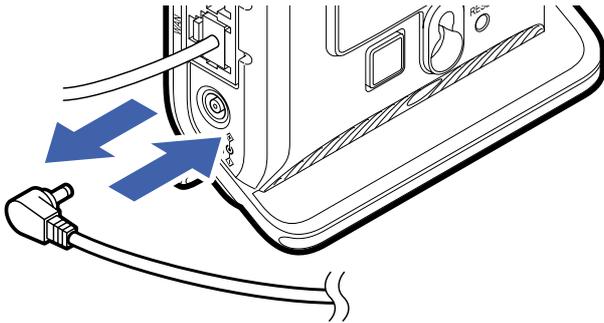


◆ 補足 ◆

- つまようじを使う場合は、先が尖ったほうで押してください。
- POWERランプが赤点滅をはじめると約6秒かかります。
- POWERランプが赤点滅にならない場合は、RESETスイッチを押せていない可能性があります。RESETスイッチを押している感触がないときは、別の素材で再度お試しください。

3. 本製品からACアダプタのプラグを取り外して、約10秒待ってから差し込みます。

※ 正面のすべてのランプが一斉に黄緑および緑に点滅後、POWERランプが黄緑点灯したら初期化が完了します。



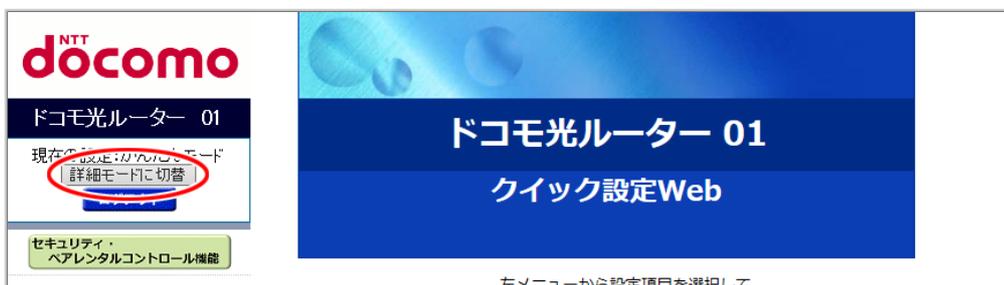
クイック設定Webで初期化する

親機としてお使いの場合の画面を例に説明しています。Wi-Fiの子機／中継機としてお使いの場合も、同様の手順で初期化することができます。

クイック設定Webで行います。

- 親機としてご使用の場合の起動方法は、[「クイック設定Webの使いかた」](#)を参照してください。
- Wi-Fiの子機／中継機としてご使用の場合の起動方法は、[「クイック設定Webの使いかた\(Wi-Fiの子機／中継機としてご使用のとき\)」](#)を参照してください。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「メンテナンス」－「設定値の初期化&保存復元」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:詳細モード
かんたんモードに切替

ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

- 基本設定
- Wi-Fi 設定
- 詳細設定
- メンテナンス
- 設定値の初期化&保存復元
- 再起動
- 情報

設定用QRコードを表示

取扱説明書

ドコモ光ルーター 01

クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	
	IPv6	
自動判定結果		
現在の動作状態		
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	

最新状態に更新

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

3. [初期化]をクリックします。

トップページ > メンテナンス > 設定値の初期化&保存復元

設定値の初期化&保存復元

設定値をファイルへ保存、ファイルから設定値の復元を行います。また、設定値の初期化を行うことで工場出荷状態に戻すこともできます。

設定ファイルへの保存

設定ファイルの復元

設定値の初期化

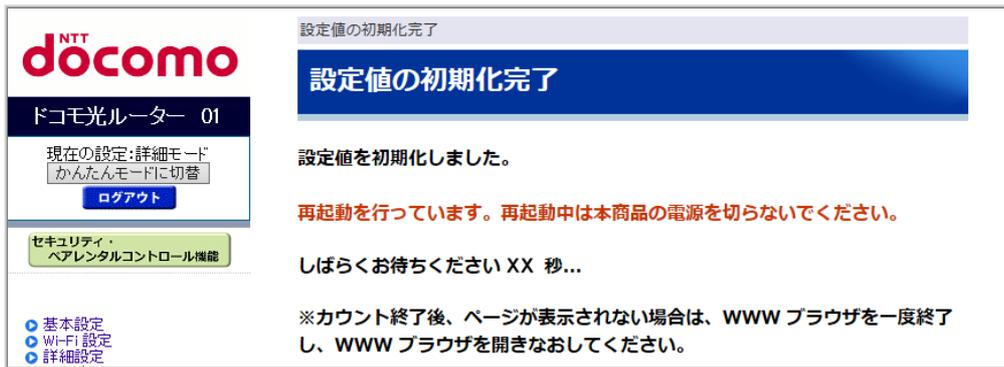
4. 下の画面が表示されたら、内容をよく読んで[OK]をクリックします。

×

サイトからのメッセージ

工場出荷状態に戻した後、再起動を行います。よろしいですか？

5. 「設定値の初期化完了」の画面が表示され、再起動を行います。
WWWブラウザを終了し、クイック設定Webを開き直してください。



◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

▶ うまく動作しない場合は

- ローカルルータモードで、クイック設定Webによる初期化を行った場合、再起動後は自動的に本製品のお買い上げ時のIPアドレス(192.168.10.1)で、クイック設定Web画面が開く場合があります。Internet Explorerをご利用で「JavaScript無効」と表示されて画面が開かない場合は、いったん画面を閉じて開き直すか、JavaScriptを有効にしてください。

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。

オンラインバージョンアップすることで、不具合が修正されたり、新機能が使えたりします。ファームウェアは最新のバージョンでご使用ください。

▶ 設定を行う前に

- オンラインバージョンアップを行う場合は、本製品がインターネットに接続されている必要があります。
- バージョンアップをしても、設定した内容はそのまま保存され、バージョンアップ前の設定でご使用になります。念のため、バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域(タスクトレイ)などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

◆ 注意 ◆

- バージョンアップ中は、本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。
- バージョンアップ中は、本製品に接続している端末との接続は、いったん切断されます。
- 本製品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。

◆ 参考 ◆

- このバージョンアップは、当社が独自に提供するサービスであり、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。

▶ 設定手順

オンラインバージョンアップ

親機としてお使いの場合の画面を例に説明しています。Wi-Fiの子機／中継機としてお使いの場合も、同様の手順で設定することができます。

クイック設定Webで設定します。

- ルータモードでご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた」](#)
- ブリッジモードでご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)」](#)
スマートフォン／タブレット端末から、「Atermスマートリモコン」アプリでクイック設定Webを起動してください。
「クイック設定Webの使いかた」の方法では、オンラインバージョンアップでファームウェアの更新をすることはできません。
- Wi-Fiの子機／中継機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)」](#)
スマートフォン／タブレット端末から、「Atermスマートリモコン」アプリでクイック設定Webを起動してください。
「クイック設定Webの使いかた(子機／中継機としてご使用のとき)」の方法では、オンラインバージョンアップでファームウェアの更新をすることはできません。

1. 「ファームウェア更新」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

- 基本設定(かんたんモード)
- Wi-Fi 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新**
- おしよけ

設定用QRコードを表示
取扱説明書

ドコモ光ルーター 01

クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	
	IPv6	
自動判定結果		
現在の動作状態		
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	

最新状態に更新

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」の場合は、「メンテナンス」→[ファームウェア更新]をクリックします。

2. 「オンラインバージョンアップ」の[更新]をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
詳細モードに切替
ログアウト

セキュリティ・
ペアレンタルコントロール機能

- 基本設定(かんたんモード)
- Wi-Fi 基本設定

トップページ > メンテナンス > ファームウェア更新

ファームウェア更新

ファームウェアの更新を行います。
更新時はインターネットに接続されている必要があります。
ファームウェア更新中は本商品の電源を切らないでください。

現在のファームウェアバージョン X.X.X

オンラインバージョンアップ **更新**

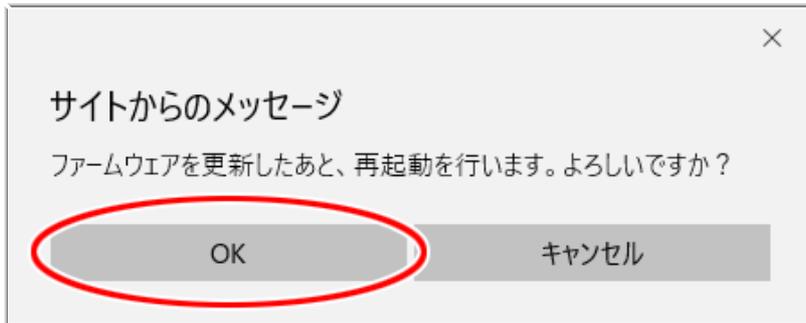
3. 画面に表示されるメッセージにしたがってください。次の画面が表示されたら[OK]をクリックします。しばらくすると、「ファームウェア更新が完了しました。再起動を行っています。…」と表示されますので、再起動が完了するまでしばらくお待ちください。

◆ 注意 ◆

- 再起動中(バージョンアップ中)は、本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

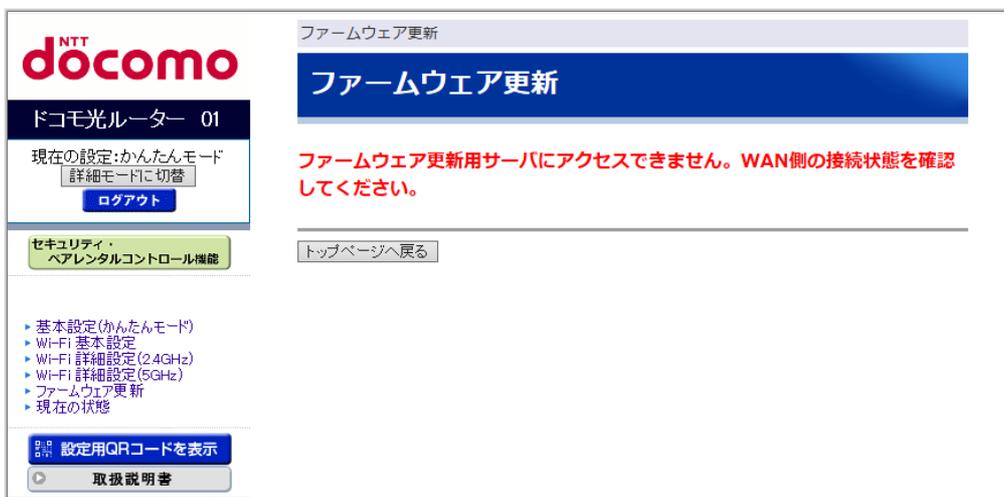
◆ 補足 ◆

- 「最新のファームウェアが適用されていますので、更新の必要はありません。」と表示された場合、ファームウェアは最新になっています。



▶ うまく動作しない場合は

- 次のような画面が表示されて自動更新ができない場合には、インターネットに接続できていない可能性があります。インターネットに接続できる状態であることを確認してください。



時刻を合わせる

本製品の時刻は、お買い上げ時の状態では「2017年01月01日00時00分00秒」に設定されています。電源を入ると1時間以内に現在の時刻が自動的に設定されますが、すぐに設定したい場合は、以下の手順で設定してください。

本製品を初期化した場合、または電源を入れ直した場合にはお買い上げ時に戻ります。

▶ 設定を行う前に

- 本製品がインターネットに接続されている必要があります。

▶ 設定手順

親機としてお使いの場合の画面を例に説明しています。Wi-Fiの子機／中継機としてお使いの場合も、同様の手順で設定することができます。

クイック設定Webで設定します。

- ルータモードでご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた」](#)
- ブリッジモードでご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)」](#)
スマートフォン／タブレット端末から、「Atermスマートリモコン」アプリでクイック設定Webを起動してください。
「クイック設定Webの使いかた」の方法では、インターネットに接続されていないため時刻を設定することができません。
- Wi-Fiの子機／中継機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた\(Atermスマートリモコン\)」](#)
スマートフォン／タブレット端末から、「Atermスマートリモコン」アプリでクイック設定Webを起動してください。
「クイック設定Webの使いかた(子機／中継機としてご使用のとき)」の方法では、インターネットに接続されていないため時刻を設定することができません。

1. 「現在の状態」をクリックします。

※ 「詳細モード」の場合は、「情報」－「現在の状態」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
[詳細モードに切替]
ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

- 基本設定(かんたんモード)
- Wi-Fi 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新
- 現在の状態**

設定用QRコードを表示
取扱説明書

ドコモ光ルーター 01
クイック設定Web

左メニューから設定項目を選択して、
設定をスタートしましょう。

装置情報

装置名	DHR01-XXXXXX	
動作モード	IPv4	[REDACTED]
	IPv6	[REDACTED]
自動判定結果	[REDACTED]	
現在の動作状態	[REDACTED]	
接続状態(IPv4)	インターネット利用可能	

最新状態に更新

© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

◆ 補足 ◆

- 「詳細モード」は、クイック設定Webの左側メニュー上部にある[詳細モードに切替]をクリックすることで表示されます。

2. 「時刻を合わせる」をクリックします。

ドコモ光ルーター 01

現在の設定:かんたんモード
[詳細モードに切替]
ログアウト

セキュリティ・
ヘアレンタルコントロール機能

- 基本設定(かんたんモード)
- Wi-Fi 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定(2.4GHz)
- Wi-Fi 詳細設定(5GHz)
- ファームウェア更新

トップページ > 情報 > 現在の状態

現在の状態

本商品の状態、設定情報を表示します。
[現在の時刻]の設定には、本商品がインターネットに接続されている必要があります。
時刻を合わせるには[時刻を合わせる]ボタンをクリックしてください。

装置情報

現在の時刻	[REDACTED]
ファームウェアバージョン	[REDACTED]
動作モード	[REDACTED]

時刻を合わせる

◆ 補足 ◆

- 本製品に設定されている現在時刻は「現在の時刻」で確認できます。

9-2.こんなときには

本製品の動作モードや管理者パスワードの変更方法について説明しています。また、親機の装置名やホスト名の変更方法や、ネームサーバの設定方法について説明しています。

動作モードを変更する

本製品は、動作モードを変更することで、親機としてもWi-Fiの子機（イーサネットコンバータ）や中継機としてもご使用になることができます。

下記から動作モードを選択してください。設定方法をご案内します。

- ご使用環境に合った親機のモードを自動判定して変更する
[「回線を自動判定して設定する」](#)を参照してください。
- ご使用環境に合った親機のモードに変更する
 - PPPoEルータモード
[「PPPoEルータモードでインターネットに接続する」](#)を参照してください。
 - ローカルルータモード
[「ローカルルータモードでインターネットに接続する」](#)を参照してください。
 - 「transix」モード
[「「transix」モードでインターネットに接続する」](#)を参照してください。
 - 「v6プラス」モード
[「「v6プラス」モードでインターネットに接続する」](#)を参照してください。
 - 「OCNバーチャルコネク」モード
[「「OCNバーチャルコネク」モードでインターネットに接続する」](#)を参照してください。
 - 「IPv6オプション（BIGLOBE）」モード
[「「IPv6オプション（BIGLOBE）」モードでインターネットに接続する」](#)を参照してください。
 - ブリッジモード
[「RT/BR/CNV モード切替スイッチでのブリッジモードの設定方法」](#)を参照してください。
- Wi-Fiの子機（イーサネットコンバータ）またはWi-Fiの中継機に変更する
 - Wi-Fi子機（CONVERTER）モード／中継機モード
[「本製品を子機／中継機に設定して親機に接続する」](#)を参照してください。

管理者パスワードを変更する

管理者パスワードは、クイック設定Webで本製品の設定をする場合や、不正アクセスを防止するためのパスワードです。

◆ 注意 ◆

- 管理者パスワードには、名前や生年月日など、他人から類推されやすい単語を用いることは避けてください。
- 管理者パスワードは、本製品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本製品を**初期化**してすべての設定がやり直しになります。
- 管理者パスワードは、他者に知られないようにしてください。

▶ 設定手順

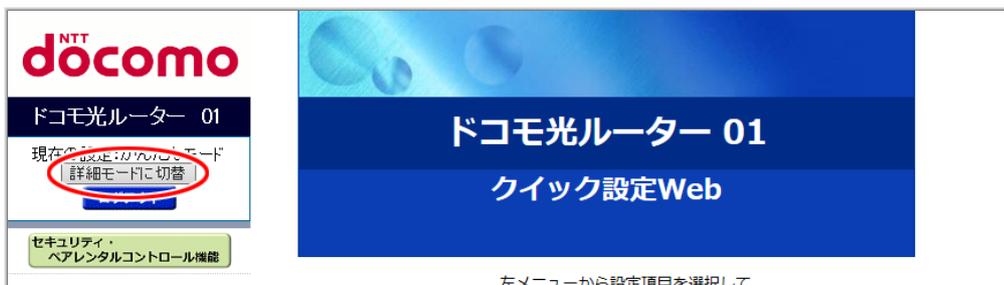
親機としてお使いの場合の画面を例に説明しています。Wi-Fiの子機／中継機としてお使いの場合も、同様の手順で設定することができます。

クイック設定Webで変更します。

クイック設定Webの起動方法は、下記を参照してください。

- 親機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた」](#)
- Wi-Fiの子機／中継機としてご使用の場合 → [「クイック設定Webの使いかた\(子機／中継機としてご使用のとき\)」](#)

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「メンテナンス」-「管理者パスワードの変更」をクリックします。

3. 「新しいパスワード」と「新しいパスワード再入力」に新しいパスワードを入力し、「設定」をクリックします。入力できる文字は、半角の0~9、a~z、A~Z、-(ハイフン)、_(アンダースコア)です。1~30桁で設定します。

4. [OK]をクリックします。
設定内容が保存されます。

5. 本製品が再起動します。

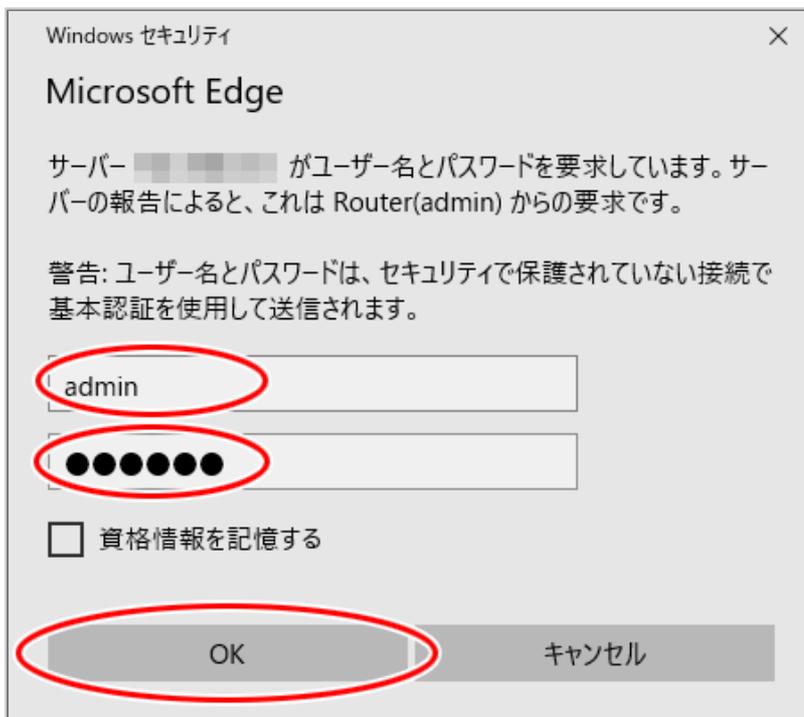


◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

◆ 参考 ◆

- 再起動が完了した後、管理者パスワードの入力画面が表示される場合があります。クイック設定Webを再度表示させたい場合は、「ユーザー名」(上段)に「admin」、「パスワード」(下段)には上記で設定したパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。



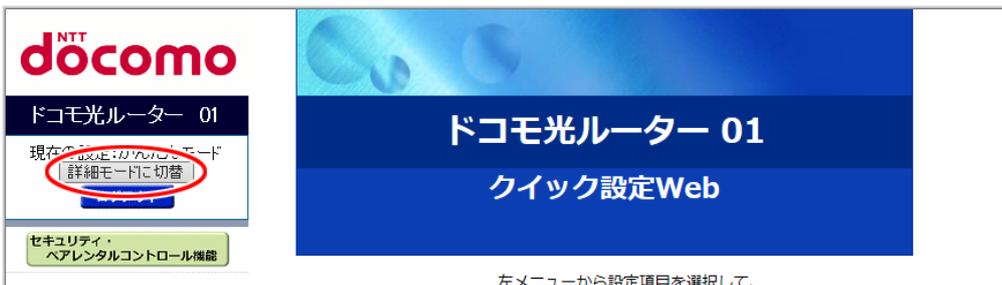
装置名を変更する(親機のみ)

本製品の装置名を変更します。お買い上げ時には、末尾の6桁は本製品のMACアドレスの下6桁が設定されています。

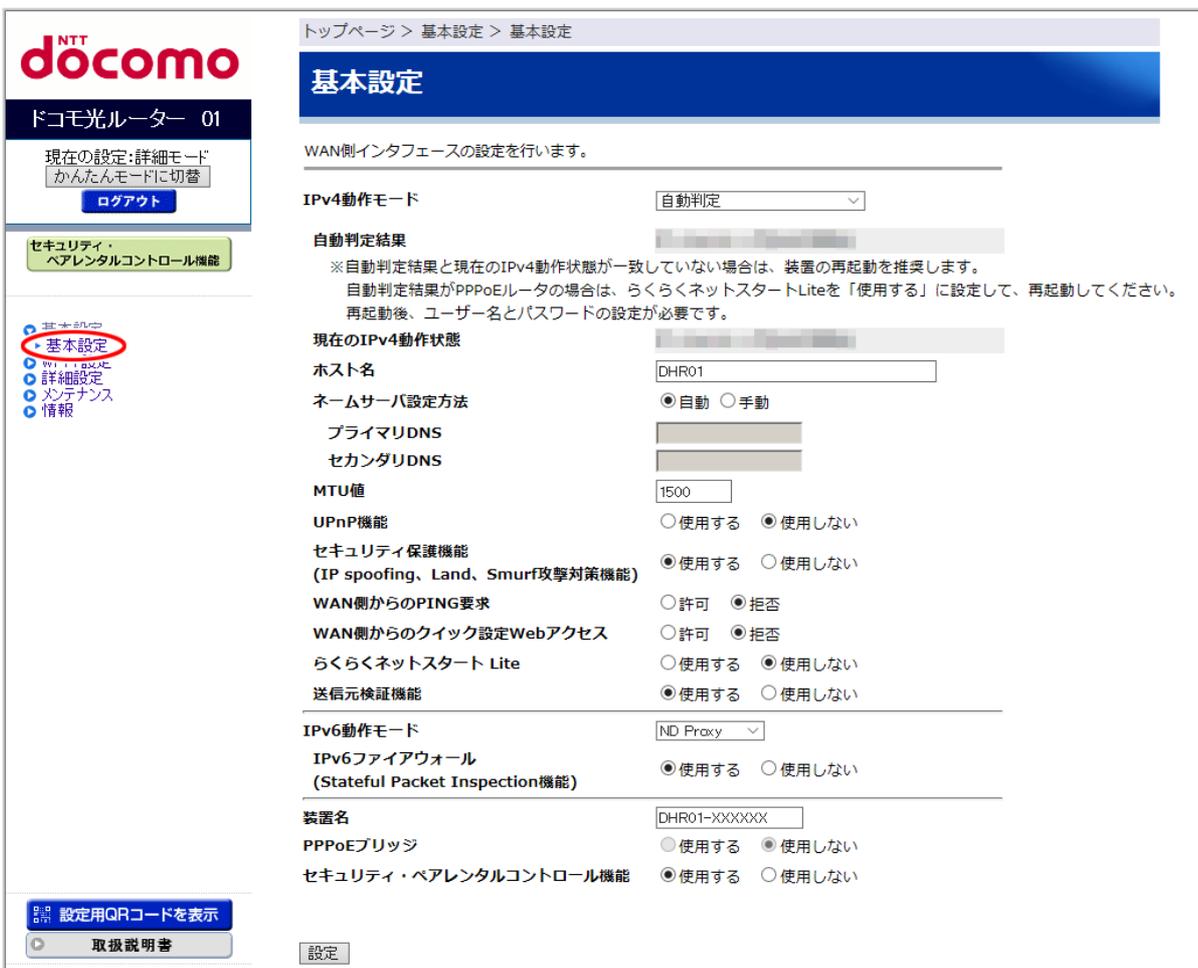
▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。



3. 「装置名」に任意の装置名を入力し、[設定]をクリックします。

入力できる文字は、半角の0～9、a～z、A～Z、-(ハイフン)、_(アンダースコア)です。15桁以内で設定します。数字のみで設定することはできません。

4. [OK]をクリックします。

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

ホスト名を設定する(親機のみ)

本製品のWAN側に公開するホスト名を設定することができます。

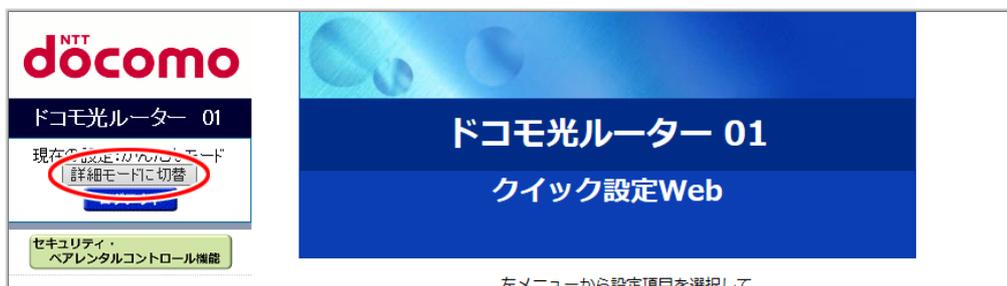
◆ 補足 ◆

- 本機能は、ローカルルータ(DHCP有効)モードでご使用になれます。

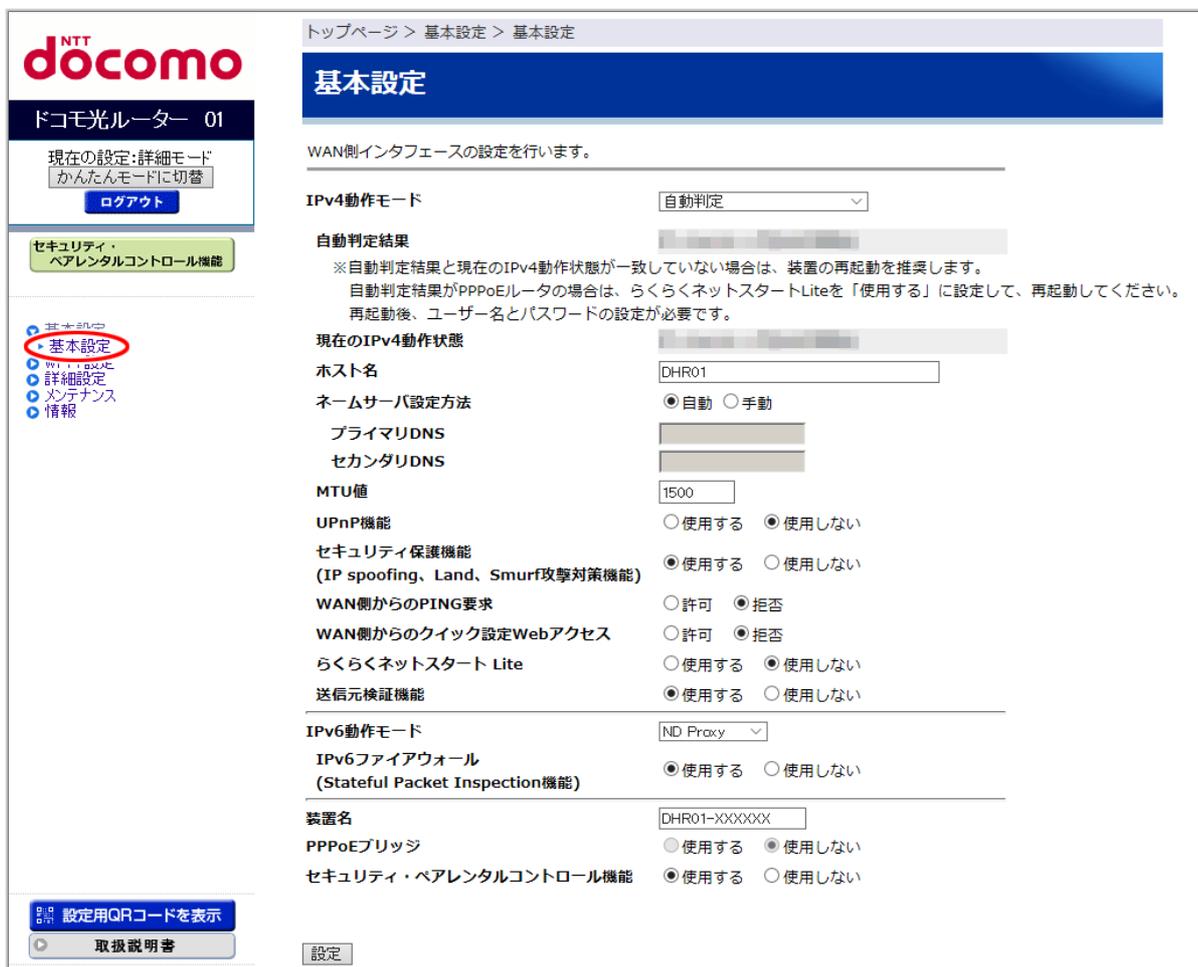
▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。



3. 「ホスト名」にWAN側に通知する本製品のホスト名を入力し、[設定]をクリックします。
入力できる文字は、スペースを含まない半角英数字です。30桁以内で設定します。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果
※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

◆ 補 足 ◆

- 本項目は、「現在のIPv4動作状態」が「ローカルルータ (DHCP有効)」の場合のみ設定できます。

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注 意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

ネームサーバを設定する(親機のみ)

DNSサーバを指定するサービスを使用したい場合に、ネームサーバを設定します。
通常は「自動」のままご利用ください。

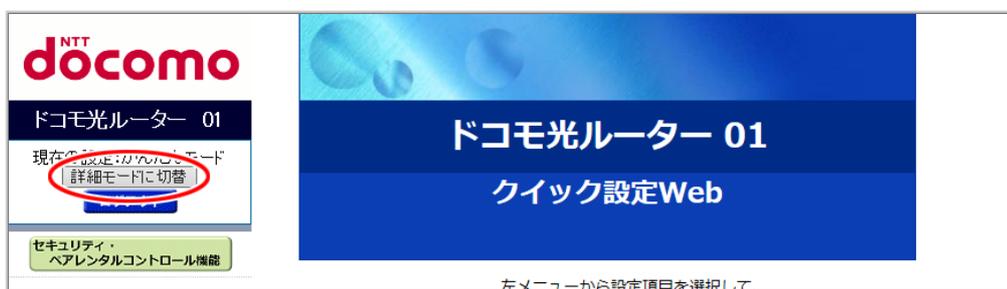
◆ 補足 ◆

- 本機能は、PPPoEルータモードまたはローカルルータモードでご使用になれます。

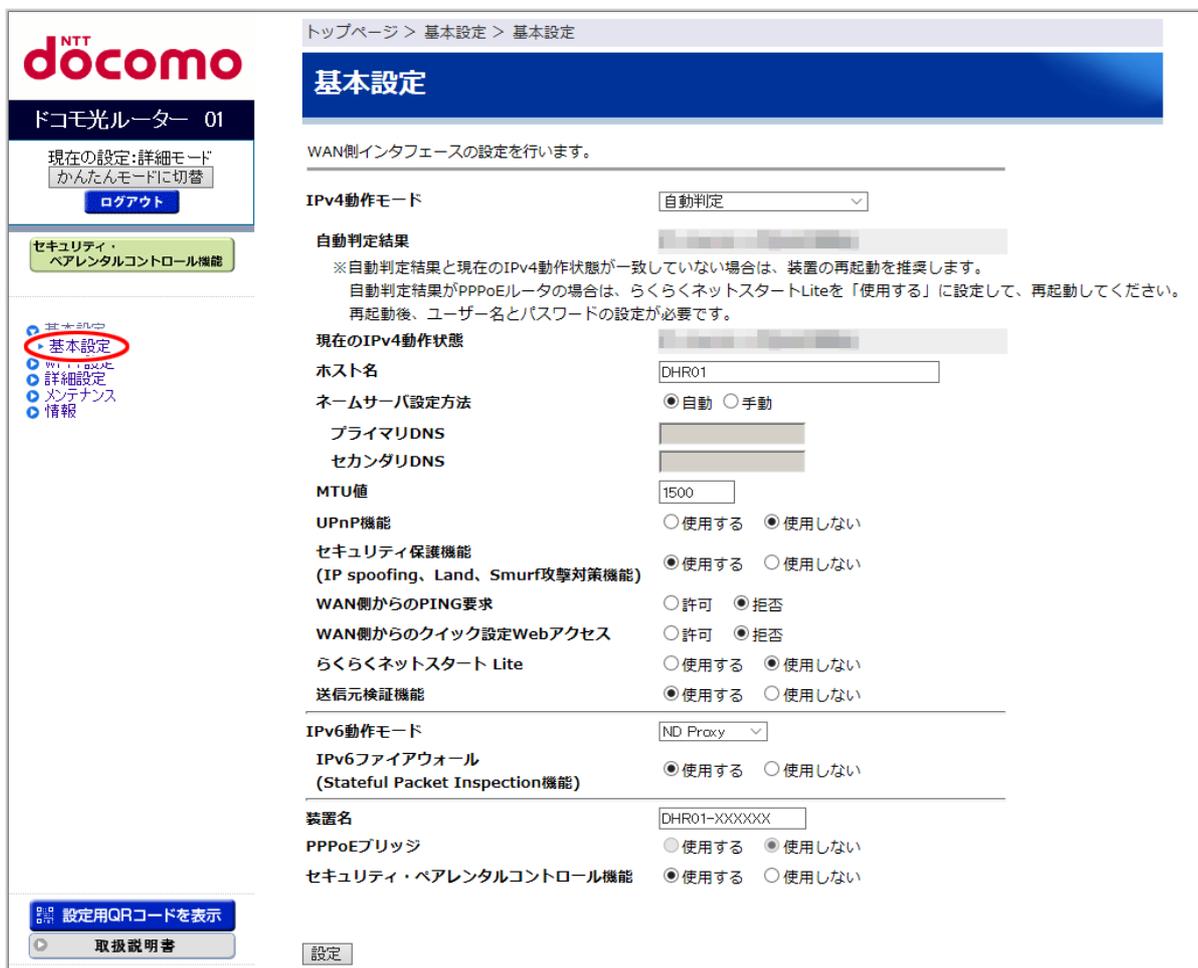
▶ 設定手順

[クイック設定Web](#)で設定します。

1. [詳細モードに切替]をクリックし、「詳細モード」に切り替えます。



2. 「基本設定」-「基本設定」をクリックします。



3. 「ネームサーバ設定方法」で「手動」を選択して「プライマリDNS」を入力し(複数のDNSサーバを指定する場合は「セカンダリDNS」も入力します)、[設定]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

WAN側インタフェースの設定を行います。

IPv4動作モード

自動判定結果

※自動判定結果と現在のIPv4動作状態が一致していない場合は、装置の再起動を推奨します。
自動判定結果がPPPoEルータの場合は、らくらくネットスタートLiteを「使用する」に設定して、再起動してください。
再起動後、ユーザー名とパスワードの設定が必要です。

現在のIPv4動作状態

ホスト名

ネームサーバ設定方法 自動 手動

プライマリDNS

セカンダリDNS

MTU値

UPnP機能 使用する 使用しない

セキュリティ保護機能 (IP spoofing、Land、Smurf攻撃対策機能) 使用する 使用しない

WAN側からのPING要求 許可 拒否

WAN側からのクイック設定Webアクセス 許可 拒否

らくらくネットスタート Lite 使用する 使用しない

送信元検証機能 使用する 使用しない

IPv6動作モード

IPv6ファイアウォール (Stateful Packet Inspection機能) 使用する 使用しない

装置名

PPPoEブリッジ 使用する 使用しない

セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能 使用する 使用しない

設定用QRコードを表示

取扱説明書

設定

◆ 補足 ◆

- 本項目は、「現在のIPv4動作状態」が「ローカルルータ(DHCP有効)」または「PPPoEルータ」の場合のみ設定できます。

4. [OK]をクリックします。

トップページ > 基本設定 > 基本設定

基本設定

設定内容を本商品に適用するために再起動を行います。よろしいですか？
キャンセルボタン押下 もしくは OKボタンを押下せずにWWWブラウザを閉じる
などの操作をした場合は、設定は反映されません。
※再起動後はWWWブラウザ(本画面)を必ず閉じてください。

OK キャンセル

◆ 注意 ◆

- 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

10.付録／索引

10-1.故障かな？と思ったら

本製品をルータモードで設置・接続するにあたって、トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や対処をしてもトラブルが解決しない場合は、本製品を初期化し、最初から設定し直してみてください。

※ 初期化すると本製品のすべての設定がお買い上げ時に戻りますので、ご注意ください。なお、初期化する前にクイック設定Webの「詳細モード」画面－「メンテナンス」－「設定値の初期化 & 保存復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同設定画面にて復元することができます。

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認の上、その原因と対策を参照してください。

本製品のPOWERランプは黄緑点灯していますか？(※)

→いいえ([a参照](#))

↓はい

本製品のWANランプは黄緑点灯していますか？

→いいえ([b参照](#))

↓はい

Wi-Fi通信はできますか？(Wi-Fiをご利用の場合)

→いいえ([c参照](#))

↓はい

パソコンにIPアドレスが設定されていますか？

→いいえ([d参照](#))

↓はい

本製品の設定が行えますか？

→いいえ([e参照](#))

WWWブラウザ(クイック設定Web)で本製品の設定画面が表示できますか？

↓はい

設定後、本製品のACTIVEランプが黄緑点灯していますか？

→いいえ([f参照](#))

クイック設定Webのトップ画面の「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能」と表示されていますか？

↓はい

インターネットに接続できましたか？

→いいえ([g参照](#))

(※)本製品の電源を入れるといったん正面のすべてのランプが黄緑および緑点灯します。

a POWERランプが黄緑点灯しない

症状	原因と対策
POWERランプが黄緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源が切れていませんか。 → 電源を入れてください。 ● ACアダプタが外れていませんか。 → ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ● ACアダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれていませんか。 → ACアダプタをパソコンの電源などに連動したコンセントに差し込んだ場合、パソコンの電源が切れると本製品に供給されている電源も切れてしまいます。ACアダプタは壁などの電源コンセントに直接接続してください。 ● ACアダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタを本製品とコンセントから外して、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にお問い合わせください。 ● 本製品の電源を切った後、すぐに電源を入れ直さず10秒以上の間隔をあけてください。間隔をあげないと、電源が入らないことがあります。

b WANランプが黄緑点灯しない

症状	原因と対策
WANランプが黄緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● ONUもしくは光電話対応ルーターの電源が切れていませんか。 → ONUもしくは光電話対応ルーターの電源を入れて、正しく回線のリンクが確立できていることを確認してください。 ● 本製品のWANポートがONUもしくは光電話対応ルーターにLANケーブル(試供品)で正しく接続されているか確認してください。 LANケーブルはWANポートにカチッと音がするまで差し込んでください。強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因となることがあります。LANケーブルをなくした場合は、市販のLANケーブルをお買い求めください。 ● 市販のLANケーブルをお使いの場合は、LANケーブルの規格(カテゴリ5eストレート)が正しいか確認してください。 ● 本製品のWANポートと本製品のLANポートをLANケーブルで接続してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> <WANランプが黄緑点灯する場合> 本製品は、問題ありません。 ONUもしくは光電話対応ルーターの故障が考えられます。 <黄緑点灯しない場合> 本製品を初期化してください。それでも解決しない場合は本製品の故障が考えられます。裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」までお問い合わせください。

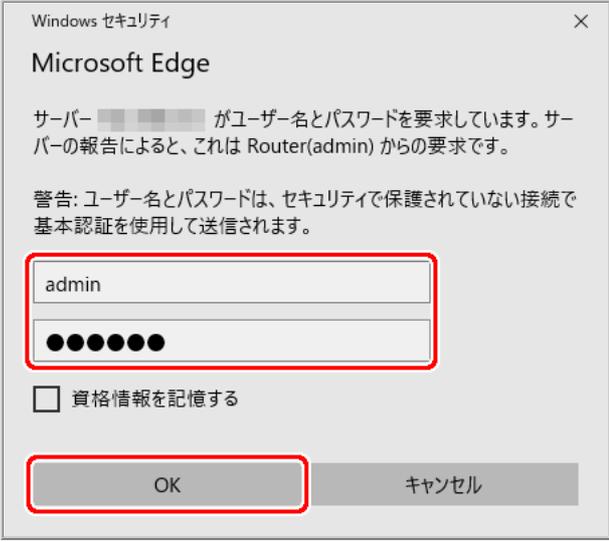
C Wi-Fi通信ができない

症状	原因と対策
本製品に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされていると、ファイアウォールなどの動きによって本製品との通信に必要なポートが止められている場合があります。その場合には、次の手順で設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ① ファイアウォールソフト側で本製品との通信に必要なポートをあける (アドレス:192.168.10.*、TCPポート番号:23/53/75/80、UDPポート番号:69/161) ② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする 停止方法は、パソコンメーカーへお問い合わせください。 ● 暗号化キーの設定が本製品と子機とで一致しているかを確認してください。
本製品と子機間の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の届く範囲まで子機を移動したり、本製品や子機の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
セカンダリSSIDが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● セカンダリSSIDは、お買い上げ時で無効に設定されています。クイック設定Webの「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」でWi-Fi機能を「使用する」に設定してから、Wi-Fi接続してください。 ※「詳細モード」の場合は、「Wi-Fi設定」-「Wi-Fi詳細設定(2.4GHz)」または「Wi-Fi詳細設定(5GHz)」をクリックします。 また、IEEE802.11bに対応している子機によっては、セカンダリSSIDをサーチできない場合があります。この場合、ネットワーク名(SSID)を直接設定することにより、接続可能となります。 例) <お買い上げ時のセカンダリSSID> 2.4GHz : dhr01-xxxxxx-gw 5GHz : dhr01-xxxxxx-ax

d パソコンにIPアドレスが設定されていない

症状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.10.XXX」に設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの設定で、「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本製品の方が先に起動されて内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、「パソコンなどのIPアドレスを確認する」を参照してパソコンのIPアドレスを確認する b. 「パソコンなどのIPアドレスを再取得する」を参照してIPアドレスを取り直す

e WWWブラウザで本製品の設定画面が表示されない(クイック設定Webが起動しない)

症状	原因と対策
<p>WWWブラウザ画面のアドレスに「http://192.168.10.1/」もしくは「http://dhr.tool/」と入力してもクイック設定Webが表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか。 → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。 Internet Explorerの場合、以下の設定を行ってください。 ①「ツール」-「インターネットオプション」-「接続」-「LANの設定」の順にクリックする ②「LANにプロキシサーバーを使用する」の「詳細設定」をクリックして、例外に「192.168.10.1」もしくは「dhr.tool」を入れる ● IPアドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。 ● Wi-Fi接続してクイック設定Webを表示させる場合、セカンダリSSIDにWi-Fi接続していると、お買い上げ時の状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定Webは表示できません。その場合は、いったん有線で本製品とパソコンを接続して、クイック設定Webを表示してください。設定が終わったら、再度Wi-Fi接続してください。
<p>WWWブラウザで本製品にアクセスすると、ユーザー名とパスワードを要求される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には管理者パスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。 管理者パスワードは、クイック設定Webで本製品の設定をする場合や、不正アクセスを防止するためのパスワードです。本製品背面のラベルに記載された数字6桁のパスワード(Web PW)が、お買い上げ時の管理者パスワードです。管理者パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを入力してください。 
<p>クイック設定Webが開かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScriptが無効に設定されていませんか。 → WWWブラウザの設定でJavaScriptを有効に設定してください。 ● IPアドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンのIPアドレスを自動取得に設定してみてください。

症状	原因と対策
クイック設定Web画面が表示されるが、「自動判定機能 実行中」と表示され、設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 回線契約の自動判定機能を実行中です。本製品の電源を切らず、自動判定が終わるまで数分間お待ちください。

f クイック設定Webのトップ画面の「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能」と表示されていない

症状	原因と対策
ACTIVEランプが黄緑点灯しない(クイック設定Webの「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能」と表示されていない)	<ul style="list-style-type: none"> ● ONUもしくは光電話対応ルーターがWAN側に接続されていることを確認してください。 ● ONUもしくは光電話対応ルーターの電源が入っているか確認してください。 ● 光電話対応ルーターの設定が合っているか確認してください。 ● ONUもしくは光電話対応ルーターに接続していたホームゲートウェイやパソコンを本製品に置き換える場合、ONUもしくは光電話対応ルーターの機種によっては、過去に接続していたホームゲートウェイやパソコンのMACアドレスと本製品のMACアドレスが一致しないので通信できない場合があります。この場合は、ONUもしくは光電話対応ルーターの電源をいったん切って、20～30分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ● 本製品を光電話対応ルーターに接続してご利用になる場合、光電話対応ルーターのPPPoEブリッジ機能を有効に設定する必要があります。 ● クイック設定Webのトップ画面の中央下部に案内が表示されていませんか。 → 案内に従って、「再起動」または「再試行」をクリックしてください。 再起動中は本製品の電源を切らないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。 ● ACTIVEランプが黄緑点滅する場合は、接続回線の状態を確認しています。しばらくそのままお待ちください。 ● ACTIVEランプが橙点滅する場合は、本製品の電源をいったん切って電源を入れ直し、約180秒お待ちください。ACTIVEランプが黄緑点灯に変わったら、インターネットに接続できることを確認してください。 ● ACTIVEランプが消灯する場合は、「らくらくネットスタートLiteで設定する」を参照して、設定を行ってください。 ● ACTIVEランプが赤点滅する場合は、クイック設定Webのトップ画面の案内表示を確認してください。 ● 「接続状態(IPv4)」が「インターネット利用可能(本商品でIPv4 over IPv6通信不可)」と表示された場合は、インターネットの利用に支障はありませんが、本製品で一時的にIPv4 over IPv6通信ができない状態、もしくは別の装置(光電話対応ルーターや他のIPv4 over IPv6通信対応ルーター)でIPv4 over IPv6通信を行っている状態になっている場合があります。 時間をおいてもこの表示が継続する場合は、ご契約のプロバイダのIPv4 over IPv6通信のサービス状態についてプロバイダにご確認ください。

g インターネットに接続できない

症状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが表示される	● WWWブラウザやメールソフトの設定が、LAN接続の設定になっているか確認してください。

保証について

- 本製品をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本製品の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- LANケーブルは、無料修理保証の対象外となります。
- LANケーブルは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。

アフターサービスについて

- 調子が悪い場合
 - 修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。
 - お問い合わせの結果、修理が必要な場合
ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 - 保証期間内は
 - 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
 - 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(外部接続端子などの破損)による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
 - ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
 - 以下の場合、修理できないことがあります。
 - お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
 - ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。
- 保証期間が過ぎたときは
ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/support/repair_shop/compatible.html

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

● お願い

● 本製品および付属品の改造はおやめください。

- ・ 火災・けが・故障の原因となります。
- ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ボタン部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本製品に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

- ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

● 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。

銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

● 各種機能の設定などの情報は、本製品の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。

- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスが変更される場合があります。
- 本製品にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本製品が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本製品の状態によって修理できないことがあります。

故障修理時のデータのお取扱いについて

本製品を故障修理する際は、データが消失いたします。データについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の製品を代替品と交換することにより修理に代える場合がありますが、その際にはデータを交換後の製品に移し替えることはできません。

▶ 仕様一覧表

項目		諸元および機能	備考
WAN インタ フェース	物理インタフェース	8ピンモジュージャック(RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース	WANポート 1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-T ※1	Auto MDI/MDI-X対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/ 10Mbps ※1	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
LAN インタ フェース	物理インタフェース	8ピンモジュージャック(RJ-45) × 3ポート	スイッチングHUB × 3ポート
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-T ※1	Auto MDI/MDI-X対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/ 10Mbps ※1	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
無線LAN インタ フェース	IEEE802. 11ac	周波数帯域 /チャンネル	[W52] 5.2GHz帯(5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定
			[W53] 5.3GHz帯(5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定
			[W56] 5.6GHz帯(5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式 / 搬送波数[VHT20]56、[VHT40]114、[VHT80]242 MIMO(空間多重)方式	
伝送速度 ※2	最大867Mbps(VHT80の場合) ※3 (自動フォールバック)		

項目			諸元および機能	備考
無線LAN インタ フェース	IEEE802. 11n	周波数帯域 ／チャンネル	2.4GHz帯(2,400～2,484MHz) : 1～13ch	
			[W52] 5.2GHz帯(5,150～5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz帯(5,250～5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz帯(5,470～5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式 / 搬送波数[HT20]56、[HT40]114 MIMO(空間多重)方式	
		伝送速度 ※2	2.4GHz帯 5.2GHz帯(W52) 5.3GHz帯(W53) 5.6GHz帯(W56) 最大300Mbps(HT40の場合) ※4 (自動フォールバック)	
	IEEE802. 11a	周波数帯域 ／チャンネル	[W52] 5.2GHz帯(5,150～5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz帯(5,250～5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz帯(5,470～5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch	
			伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式 / 搬送波数 52
		伝送速度 ※2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802. 11g	周波数帯域 ／チャンネル	2.4GHz帯(2,400～2,484MHz) : 1～13ch	
伝送方式		OFDM(直交周波数分割多重)方式 / 搬送波数 52		
伝送速度 ※2		54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		

項目			諸元および機能	備考
無線LAN インタ フェース	IEEE802. 11b	周波数帯域 ／チャンネル	2.4GHz帯(2,400～2,484MHz) : 1～13ch	
		伝送方式	DS-SS(スペクトラム直接拡散)方式	
		伝送速度 ※2	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ		送信2 × 受信2 (内蔵アンテナ)	
	セキュリティ		SSID、MACアドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、 WEP(128bit)、WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(AES)、 WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES) ※ WEPは2.4GHzセカンダリSSIDのみサポート ※ IEEE802.11ac、IEEE802.11nは、対向機とAESで接続された場合のみ使用 可能	
	ビームフォーミング		本製品がルータモードまたはブリッジモードの場合対応 ※ お使いになる子機がビームフォーミングに対応している必要があります	
ヒューマン インタ フェース	状態 表示 ランプ	POWER	電源通電状態表示	
		ACTIVE	親機として使う場合 : ネット通信状態表示 Wi-Fi子機／中継機として使う場合 : Wi-Fi接続状態表示	
		2.4GHz	2.4GHzモードWi-Fi通信状態表示	
		5GHz	5GHzモードWi-Fi通信状態表示	
		TV	TVモード通信状態表示	
		OPTION	親機として使う場合 : セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能のサービス状態、 親機状態表示 Wi-Fi子機／中継機として使う場合 : 子機状態表示	
		WAN	リンク確立状態表示	
		LAN1 ～ 3	リンク確立状態表示	

項目		諸元および機能	備考
ヒューマン インタ フェース	スイッチ	らくらくスタートボタン × 1 遠隔設定ボタン × 1 RESETスイッチ × 1 RT/BR/CNVモード切替スイッチ × 1	
動作保証環境		温度0～40℃ 湿度10～90%	結露しないこと
外形寸法		約33(W) × 97(D) × 146(H)mm	突起部除く
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	ACアダプタ使用
消費電力		8.4W(最大)	
質量		約224g	スタンドを含む
VCCI		VCCI クラスB	

※1 本製品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T(1000Mbps)の方式での接続を推奨します。

※2 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。

※3 ご利用環境によっては、VHT80/VHT40/VHT20モードが自動で切り替わるため、クワッドチャネルを「使用する」に設定しても、VHT20などで接続する場合があります。

※4 ご利用環境によっては、HT40/HT20モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20で接続する場合があります。

接続可能機器条件

本製品には、以下の条件を満たす機器を接続することができます。

- TCP/IPプロトコルスタックに対応していること
以下に記載しているOSで動作確認しています。(2017年1月現在)
Windows 10
Windows 8.1
Windows 7
macOS v10.12およびOS X v10.11/v10.10(Mac)
iOS 10.3/10.2/10.1/10.0/9.3
Android 7.1/7.0/6.0/5.1

ただし、お客様の環境・機器によってはご使用になれない場合があります。

また、サポート対象は、上記OSのプレインストール製品、またはメーカーが上記OSの利用を保証している製品です。(自作パソコンはサポート対象外です)

なお、本製品の設定を行えるWWWブラウザ(日本語が表示可能であること)は次のとおりです。
記載のないブラウザおよびバージョンでは設定が行えない場合があります。(2017年1月現在)

■ Windows 10の場合

Microsoft Edgeに対応

Internet Explorer 11.0に対応

Firefoxに対応

Google Chromeに対応

■ Windows 8.1の場合

Internet Explorer 11.0に対応

Firefoxに対応

Google Chromeに対応

■ Windows 7の場合

Internet Explorer 11.0に対応

Firefoxに対応

Google Chromeに対応

■ macOS v10.12の場合

Safari 10.0に対応

■ OS X v10.11 (Mac)の場合

Safari 10.0に対応

■ OS X v10.10 (Mac)の場合

Safari 10.0に対応

Firefoxに対応

■ iOS 10.3/10.2/10.1/10.0/9.3の場合 ※1

Safariに対応

■ Android 7.1/7.0/6.0/5.1の場合 ※1

Google Chromeに対応

■ ゲーム系 ※2

「プレイステーション 4」/PlayStation®Vita/ニンテンドー3DS/Wii U本体のインターネットブラウザに対応

※ 設定を行う端末は、事前に有線またはWi-Fiで本製品に接続してください。

※1 次の内容は設定できません。(2017年1月現在)

・「設定値の初期化&保存復元」の「設定ファイルへ保存」、「設定ファイルの復元」

※2 らくらくネットスタートLiteのみ

10-4.輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

著作権・肖像権

お客様が本製品を使用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的利用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。また、お客様が本製品を使用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標

- 「dアカウント」は(株)NTTドコモの登録商標です。
- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Firefox® は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「PlayStation」、「プレイステーション」、「PS4」、「PS3」および「PSP」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。また、「プレイステーション 3」、「プレイステーション 4」、「PSP®「プレイステーション・ポータブル」」、「PSP®「プレイステーション・ポータブル」go」および「PlayStation®Vita」は同社の商品です。
©Sony Interactive Entertainment Inc.
- Wii U、ニンテンドーDS、ニンテンドー3DSは任天堂の登録商標または商標です。
- 「Google」、「Google Chrome」、「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum,Inc. の商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- TREND MICRO、およびTrend Micro Smart Home Networkはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 「transix」は、インターネットマルチフィード株式会社の登録商標です。
- 「v6プラス」は、日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標です。
- 「OCNバーチャルコネクト」は、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- 「BIGLOBE」は、ビッグロブ株式会社の商標です。
- Atermは、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタート、らくらくネットスタート、らくらくQRスタート、らくらく「かざして」スタートは、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 Operating System(Home、Pro、Education、Enterprise)の略です。
- Windows 8.1は、Microsof® Windows® 8.1 Operating System(Pro、Enterprise)の略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

本製品で使用しているソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License(GPL)またはGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。

GPL/LGPL適用オープンソースコードのダウンロードは、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.necplatforms.co.jp/product/hgw/dhr-01/oss.html>

ア

アドバンスドNAT(IPマスカレード/NAPT).....	260 、 292
アフターサービス.....	433
暗号化.....	236
インターネットに接続.....	159 、 166 、 169 、 173 、 176 、 179
オートチャネルセレクト機能.....	118
置き場所を決める.....	35

カ

各部の名称とはたらき.....	26
管理者パスワード.....	127 、 136 、 365 、 389 、 417
クイック設定Web.....	126 、 133 、 363 、 387
クイック設定Webで初期化する.....	407
クイック設定Webの使いかた.....	126 、 133 、 363 、 387
クワッドチャネル機能.....	122
子機.....	372
故障かな?と思ったら.....	427
ご利用にあたっての注意事項.....	8

サ

再起動.....	403
自動判定.....	149
初期化.....	406
製品仕様.....	435
セキュリティ対策.....	185
セキュリティ・ペアレンタルコントロール機能.....	187
設置に関するトラブル.....	427

タ

知的財産権.....	441
デュアルチャネル機能.....	122

ナ

ネットマスク.....	167
ネットワークゲーム.....	317
ネットワーク分離機能.....	256

ハ

バージョンアップ.....	410
はじめに.....	5
ファイアウォール.....	429 、 430
ファームウェア.....	410
ブラックリスト.....	188
ブリッジモード.....	23
プロテクション機能.....	122
ポートマッピング機能.....	317
ホワイトリスト.....	188
本製品の動作モードについて.....	21
本体付属品.....	6

マ

マルチSSID機能.....	116
無線LANアクセスポイント.....	5
無線LAN端末.....	5

ラ

らくらくQRスタート.....	278
らくらくスタートボタン.....	32
らくらくネットスタートLite.....	154
らくらく無線スタート.....	279
らくらく無線スタートEX.....	279
ランプ表示.....	27 、 30
ルータ機能を停止.....	143 、 148
ローカルルータモード.....	22

ワ

ワイヤレスネットワーク接続.....	54 、 64 、 73
--------------------	--

英数字

2.4GHzランプ	28、30	WANランプ	32
5GHzランプ	29、31	Wi-Fi接続する	43
ACTIVEランプ	28、30	macOSおよびOS X (Mac)から本製品に	
ACアダプタ接続コネクタ	32	Wi-Fi接続する	79
AES	116	Windows 7から本製品にWi-Fi接続する	70
DHCPサーバ機能	305	Windows 8.1から本製品にWi-Fi接続する	60
ESS-IDステルス機能	248	Windows 10から本製品にWi-Fi接続する	44
IPv6オプション (BIGLOBE)	23、179	ゲーム機から本製品にWi-Fi接続する	107
IPv6ファイアウォール	270	スマートフォン／タブレット (Android端末)から	
IPv6ブリッジ機能	297	本製品にWi-Fi接続する	82
IPパケットフィルタリング	261	スマートフォン／タブレット (iOS端末)から	
JavaScript	430	本製品にWi-Fi接続する	93
LANポート	32	プリンタから本製品にWi-Fi接続する	113
LANランプ	32		
MACアドレスフィルタリング機能	252		
ND Proxy	294		
OCNバーチャルコネクタ	23、176		
OPTIONランプ	29、31		
PIN方式	47		
POWERランプ	27、30		
PPPoEブリッジ機能	300		
PPPoEルータモード	21		
RESETスイッチ	32、406		
RT/BR/CNVモード切替スイッチ	32、143		
SSIDの隠蔽	248		
TKIP	242		
transix	23、169		
TVモード	286		
TVランプ	29、31		
UPnP機能	309		
v6プラス	23、173		
WANポート	32		

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

● 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・
修理お申込み先

■ ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>) ⇒ 「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

● システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。

● 「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID /パスワード」が必要です。

AtermアプリおよびLANケーブル (試供品) のお問い合わせ先

Aterm (エーターム) インフォメーションセンター

ナビダイヤル **0570-550777** (有料)

※ 携帯電話からも同一番号です。

受付時間 午前9:00～午後6:00 (土曜日は午前9:00～午後5:00、日曜日は午前10:00～午後5:00)
(祝日、年末年始、NECプラットフォームズ株式会社所定の休日を除く。)

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

● ドコモ光ルーター 01でご利用になれるAtermアプリは以下のとおりとなります。

- ・ AtermらくらくQRスタート
- ・ Atermらくらく「かざして」スタート
- ・ Atermスマートリモコン
- ・ らくらく無線スタートEX

● 試供品については、本書内でご確認ください。

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 NECプラットフォームズ株式会社

'16.12 (1.6版)